

株式会社松山バーク

廃棄物焼却施設整備事業に係る

環境影響評価 事後調査報告書

令和 6 年 11 月

株式会社 松山バーク

目 次

第1章 事業者の氏名及び住所	1- 1
1.1 事業者の名称及び代表者の氏名	1- 1
1.2 事業者の主たる事務所の所在地	1- 1
第2章 対象事業の目的及び内容	2- 1
2.1 事業の目的	2- 1
2.2 事業の種類	2- 1
2.3 事業の規模	2- 1
2.4 事業の位置	2- 1
2.5 環境保全の配慮に係る検討の経緯及びその内容	2- 4
2.6 工事計画・工程の概要	2- 4
2.6.1 土地利用計画	2- 4
2.6.2 工事内容	2- 6
2.6.3 工事工程	2- 6
2.6.4 資材等運搬車両の主要走行ルート	2- 6
2.6.5 工事中の環境保全対策	2- 8
2.7 対象事業の実施状況	2- 9
2.7.1 土地利用（施設配置）	2- 9
2.7.1 施設整備計画	2- 11
2.7.3 公害防止に係る法規制値	2- 19
2.7.4 供用後の環境保全対策	2- 20
2.7.5 給排水フロー	2- 21
2.7.6 廃棄物搬入等計画	2- 23
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3- 1
3.1 自然的状況	3- 1
3.1.1 大気環境の状況	3- 1
3.1.2 水環境の状況	3- 5
3.1.3 環境中のダイオキシン類の状況	3- 6
3.1.4 地形及び地質の状況	3- 6
3.1.5 動植物及び生態系の状況	3- 7
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況	3- 8
3.2 社会的状況	3- 10
3.2.1 人口の状況	3- 10
3.2.2 行政区画の状況	3- 10
3.2.3 土地利用の状況	3- 12
3.2.4 河川、湖沼及び海域の状況	3- 12

3.2.5	交通の状況	3- 12
3.2.6	環境の保全についての配慮が特に必要な施設の状況	3- 12
3.2.7	上水道、下水道及び廃棄物処理施設の整備の状況及び将来の計画	3- 12
3.2.8	都市計画法に基づく地域地区の状況	3- 12
3.2.9	文化財及び埋蔵文化財包蔵地の状況	3- 12
3.2.10	環境関連法令	3- 13
第4章	事後調査の項目及び手法	4- 1
第5章	事後調査計画に対する住民意見及び知事意見の概要と事業者の見解	5- 1
5.1	住民意見についての事業者の見解	5- 1
5.2	知事意見についての事業者の見解	5- 2
第6章	事後調査の結果	6- 1
6.1	工事の実施	6- 1
6.1.1	騒音	6- 1
6.1.2	振動	6- 9
6.1.3	水質	6- 13
6.2	土地又は工作物の存在及び供用	6- 17
6.2.1	大気質	6- 17
6.2.2	騒音	6- 28
6.2.3	振動	6- 35
6.2.4	悪臭	6- 39
6.3	その他（補足事項）	6- 41
6.3.1	土壌汚染	6- 41
第7章	環境の保全のための措置	7- 1
第8章	事後調査結果の総括	8- 1
8.1	環境影響評価との比較	8- 1
第9章	事後調査を委託した者の名称・代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	9- 1
資料編		
1.	大気質調査結果	資 1- 1
2.	騒音調査結果	資 2- 1
3.	振動調査結果	資 3- 1

第 1 章 事業者の氏名及び住所

第 1 章 事業者の氏名及び住所

1 事業者の名称及び代表者の氏名

名 称：株式会社 松山パーク

代表者：代表取締役 大野照旺

2 事業者の主たる事務所の所在地

愛媛県松山市西垣生町 2892 番地

第2章 対象事業の目的及び内容

第2章 対象事業の目的及び内容

1 事業の目的

弊社は昭和54年、産業廃棄物の収集運搬業及び処分業の許可により、松山市西垣生町において産業廃棄物の中間処分（焼却、圧縮）を行ってきた。平成5年には、特別管理産業廃棄物の収集運搬業及び処分業の許可により、同様に中間処分を行ってきた。

現在、稼働している焼却施設は、平成15年に供用を開始し、この間、一貫して安全と環境に配慮した施設の管理運営を行ってきた。

施設の稼働も10年を超え、老朽化が進むなか、次の機器設備を検討すべき時期を迎えた。廃棄物処理に対する考え方もこの10年で大きく変わってきており、従来の廃棄物を燃やすだけの処理から、資源循環型社会の構築に向け、リサイクルへと変換してきている。

本事業はこのような状況を踏まえ、廃棄物を利用して発電を行う最新鋭の設備へと建て替え更新を行い、より良い機器設備をもって地球の環境保全を図ることを目的とするものである。

2 事業の種類

- ・産業廃棄物焼却施設の設置の事業

（処理対象物）

木くず、紙くず、繊維くず、汚泥、廃プラスチック類、動植物性残さ、廃油※、廃酸※、
廃アルカリ※、感染性廃棄物

（※：特別管理廃棄物含む）

3 事業の規模

事業の規模は、以下に示すとおりである。

- ・敷地面積：約24,000m²（旧施設面積8,000m²を含む）
- ・施設規模（焼却能力）：5t/時（120t/日）×1基
- ・年間稼働日数：310日

4 事業の位置

対象事業実施区域の位置は、愛媛県松山市西垣生町地内であり図2.4-1に示すとおりである。



対象事業実施区域

凡例

資料) 電子地形図25000 (国土地理院) に加筆



S = 1 : 25, 000

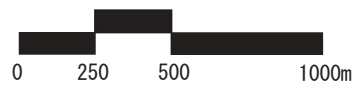


図2.4-1(1) 対象事業実施区域の位置



資料)「国土地理院の空中写真」に加筆

図2. 4-1 (2) 対象事業実施区域の位置

5 環境保全の配慮に係る検討の経緯及びその内容

弊社では、廃棄物処理業から「廃棄物を利用した発電事業」への変革を図っていく方針及び方向性のもと、これまで、様々な検討を行ってきた。

以上の検討の内容は以下のとおりである。

- ・発電施設の設置（最大約2,700kWを発電）
- ・熱回収効率10%以上とし、その他、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、環境省令の基準を満たす施設として、熱回収施設設置者としての認定を申請する。
- ・安定した燃焼と発電の効率を高めるため、屋内に破碎選別等を行う最新の設備を導入する。

6 工事計画・工程の概要

6.1 土地利用計画

対象事業における環境影響評価実施時の土地利用計画の概要を表 2.6.1-1、図 2.6.1-1 に示す。

旧施設の廃棄物選別場の南側に新施設の焼却炉等を設置し、その南側に廃棄物選別場及び破碎設備を設置する計画である。

土地利用計画については、方法書に対する知事意見等を踏まえて以下の点に考慮した。

- ・周辺地域への騒音に係る影響をできるだけ低減することを目的として、配置する設備機器のうち、比較的大きな騒音を発生させる機器を配置する焼却施設を出来る限り北側に配置した。
- ・煙突の位置について、周辺集落から離して出来る限り北側に配置した。
- ・焼却施設は騒音や悪臭による周辺への影響を低減するため、施設全体を建屋内に収めることとした。
- ・緑地帯を設けることとし、敷地東側に緑地帯を確保し、敷地東側道路や集落からの目隠しの効果も期待できる配置とした。

旧施設は、新施設の供用後に解体撤去するが、新施設が順調に稼働していることを確認した後、計画を立案し解体撤去する。

なお、旧施設を解体撤去するまでの間において、新施設との同時稼働は行わない。

表 2.6.1-1 土地利用計画の概要

区 分		備 考
新施設	建築物	工場棟、計量棟
	その他	場内道路、緑地、その他
旧施設		工場棟
		事務所



6.2 工事内容

図 2.6.1-1 に示した新施設の設置エリアは平坦な裸地であることから、大規模な造成工事は実施しておらず、機器の設置やごみピットの設置に伴う掘削を行う程度とした。

対象事業の工事の内容は表 2.6.2-1 に示すとおりであり、新施設建設工事（土木建築工事、プラント工事、外構工事、試運転）を行った。

事業区域は沿岸部に位置すること、また、埋立地であることなどから、地震時における津波や液状化の懸念がある。

津波の影響については、想定されている津波高さは、高潮と津波高さを考慮して標高 4.75m とされており、これらを考慮して地盤高さを標高 5.0m とし、機器設備の水没を防止するとともに、ごみピット内への海水の流入やごみピットからのごみの流出を防止した。

液状化を想定し、杭打ち工事の工法として、地盤の状況に対応可能であり液状化に強い「場所打ちコンクリート杭工法」とし、より高支持力及びコンクリート量や排出土を削減でき、かつ、（一財）日本建築センターの基礎評定委員会で定めた「場所打ちコンクリート拡底ぐい評定基準（平成 22 年 5 月 28 日）」に対して確認され、評定書が出されている「拡底場所打ちコンクリート杭」を選定した。

表 2.6.2-1 工事の内容

工 種	工事内容
土木建築工事	土木工事では、ごみピット等の設置に伴う掘削、コンクリートの打設及び基礎工事を行い、建築工事では、工場棟、煙突等の設置に伴いクレーンによる鉄骨及び鉄筋の組み立て及びコンクリートの打設を行う。
プラント工事	土木建築工事と並行して実施する。プラント工事は、トラックにより搬入し、組み立て、据え付けはクレーン等を用いて行う。
外構工事	場内道路の整備、場内排水設備、門扉等の設備及び植栽等を行う。
試運転	プラント工事完了後に試運転を行い、処理能力及び公害防止機能等を確認する。

6.3 工事工程

工事は令和 3 年～5 年の約 2 年間実施され、令和 4 年 11 月から試運転が、令和 5 年 4 月から供用が開始されている。

表 2.6.3-1 工事工程

区分	2021年												2022年												2023年													
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5											
プラント実施設計	■																																					
土木建築工事	■											■											▼ 受電															
プラント工事											■																											
試運転																					■																	
ごみ受入開始																															●							

6.4 資材等運搬車両の主要走行ルート

資材等運搬車両の主要走行ルートは、図 2.6.4-1 に示すとおりであり、幹線道路（県道 22 号線）から新施設までの走行ルートを定めることにより、生活道路等へは進入しない。

また、走行ルート沿道環境保全の観点から、資材等運搬車両の走行には十分注意し、丁寧な運転に努めるとともに、搬入が集中することのない工事計画の立案など、搬入時期・時間の分散化に努めた。



6.5 工事中の環境保全対策

工事にあたっての環境保全対策は、以下のとおりである。

1) 大気汚染防止対策

(1) 建設機械の稼働による影響

- ・建設機械は、極力排出ガス対策型(低公害型)の建設機械を使用する。
- ・建設機械は、運転する際に必要以上の暖機運転(アイドリング)をしないよう、毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。

(2) 資材等の運搬による影響

- ・資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。
- ・資材等運搬車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。
- ・資材等運搬車両のアイドリングストップを毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。
- ・資材等運搬車両は、低公害車を積極的に導入するよう努める。

(3) 土工による粉じんの影響

- ・工事の実施時は、適度な散水を行い粉じんの発生を防止する。
- ・強風が予想される場合など、粉じん等の飛散が考えられる際には、作業を一時中止するなど、粉じん等の飛散をできる限り防止する。
- ・裸地の早期緑化に努め、粉じんの発生を防止する。

2) 騒音・振動防止対策

- ・建設機械は、極力低騒音型・低振動型の建設機械を使用する。
- ・工事工程等を十分検討し、建設機械の配置についても一箇所で集中して稼働しないよう努める。
- ・資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。
- ・資材等運搬車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。
- ・資材等運搬車両のアイドリングストップを毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。

3) 交通安全対策

- ・資材等運搬車両の主要走行ルートを設定する。
- ・資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。
- ・資材等運搬車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。

4) 建設廃棄物の排出等における環境配慮

- ・建設工事に伴い発生する産業廃棄物の分別排出を徹底する。
- ・産業廃棄物は、適正に処理する。
- ・積極的に廃棄物の再利用・再資源化に努める。

7 対象事業の実施状況

7.1 土地利用（施設配置）

土地利用（施設配置）の状況について図 2.7.1-1 に、施設の外観等を写真 2.7.1-1 に示す。

対象事業は令和 5 年 5 月から供用を開始している。土地利用の概要は「第 2 章 6.1 土地利用計画」から大幅な変更はないが、事務所棟の形状及び位置を変更している。

また、休止中の旧施設東側に新施設の受電室棟及び水処理棟（ろ過処理水・軟水・RO 水 製造設備）を建設しており、これに伴って敷地境界東側に設置される予定であった植栽範囲が減少している。



写真 2.7.1-1 施設の外観等

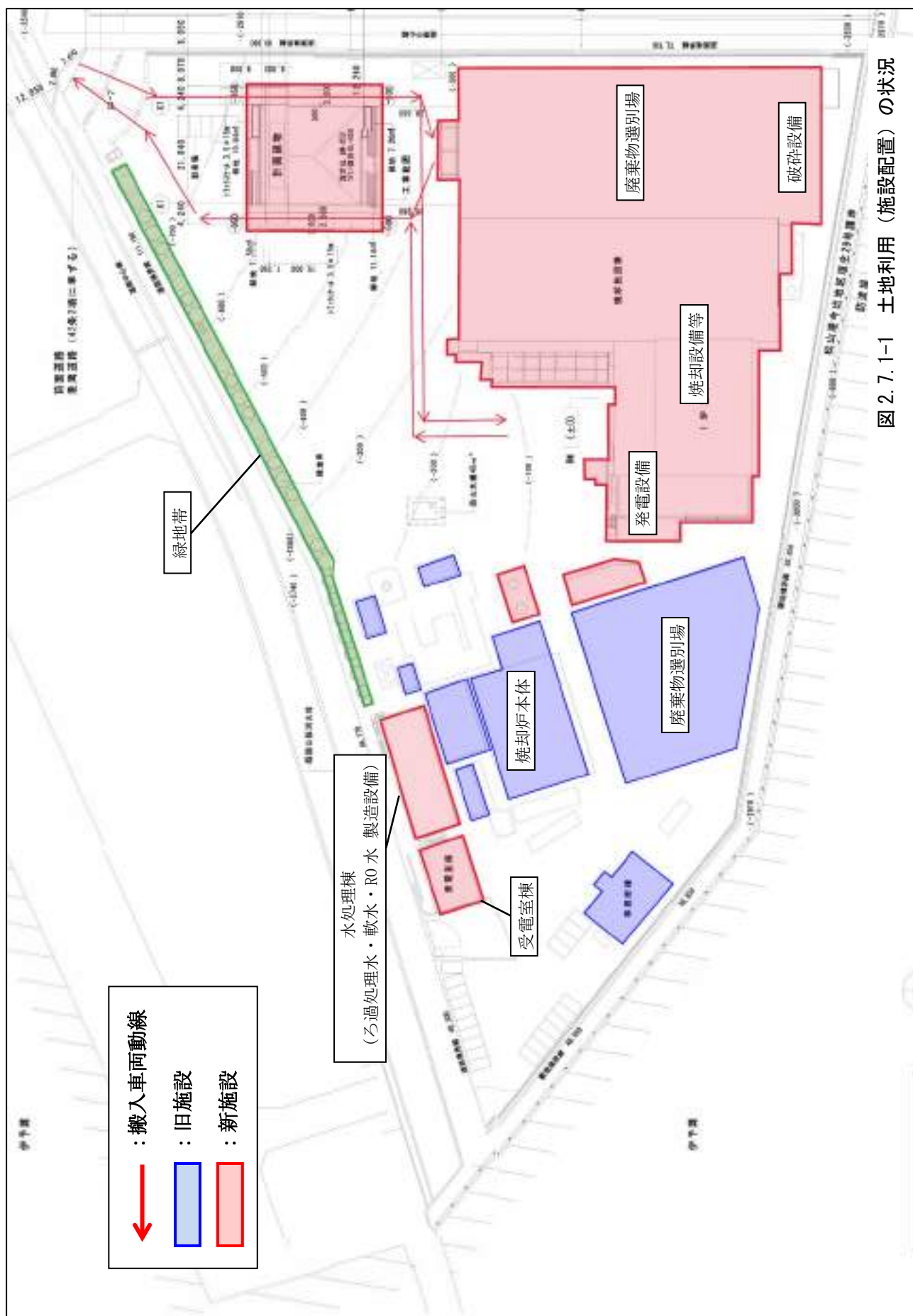


図 2.7.1-1 土地利用（施設配置）の状況

7.2 施設整備計画

1) 施設規模の設定

新施設の規模の検討に際しては、近隣で発生した廃棄物が遠方で処理されていること、旧施設は処理能力目一杯の処理を行っており、処理依頼を断っている状況にあることを踏まえて新施設の規模を決定した。

安定した廃棄物量を確保できる施設とすることを考慮して、旧施設の受入実績より、受入量約 14,000 t、処理依頼を断った約 4,000 t、弊社関連企業が実施している松山圏域での建物解体業務等で発生した木くず等可燃物約 19,000 t、これらを合計すると年間 37,000 t であり、310 日稼動予定を考慮して施設規模 120 t/日とした。

これらの廃棄物処理に対応することで、廃棄物運搬距離の短縮等により環境影響の低減に寄与できるとともに廃棄物を発電燃料とすることで再資源化する計画である。

また、一般廃棄物の処理については、災害時の受入を想定し、通常時の受入は想定していない。万が一の大規模災害の発生時においては通常の建設解体工事、事業活動に伴う廃棄物の発生は災害復旧後になることから、災害時には復旧工事の廃棄物を優先して処理する計画とする。

新施設で処理する廃棄物の種類と量は、表 2.7.2-1 に示すとおりである。

表 2.7.2-1 処理する廃棄物の種類及び量

廃棄物の種類	処理量 (t/日)	
	新施設	旧施設
汚泥	15.1	3.6
廃油(特管含む)	4.7	0.15
廃酸・廃アルカリ(特管含む)	1.7	0.882
廃プラスチック類	13.7	7.2
木くず・紙くず	76.5	29.268
繊維くず	3.3	
動植物性残さ	3.6	1.2
感染性廃棄物	1.4	2.4
合計	120	44.7

2) 主要設備の概要等

対象事業の主要施設等の概要は表 2.7.2-2 に示すとおりである。

環境影響評価実施時からの相違点として、旧施設の東側に受電室棟及び水処理棟を新設しているほか、事務所及びごみ計量機の形状及び配置を変更している。また、新施設の煙突高を 43m(標高 49 m)に変更している。

表 2.7.2-2 主要施設等の概要

区 分		概 要	
		新施設	評価書からの相違点
建築物		工場棟、煙突、廃棄物選別棟、事務所等	旧施設東側に受電室棟及び水処理棟を新たに建設している。 また、事務所及びごみ計量機の形状及び配置を評価書時から変更している。
破 砕 選 別 施 設	処理能力	40m ³ /時 (960 m ³ /日)	評価書からの相違点はない。
	破砕設備	二軸破砕機	
	選別方式	磁力選別、スクリーン選別、風力選別、サイクロン選別、手選別	
	粉じん対策	集じん機	
焼 却 施 設	処理能力	5 t/時 (120 t/日)	煙突高を計画時の 44m (標高 49 m) から 43m (標高 49m) に変更している。
	炉形式	縦型ストーカ炉	
	処理方式	全連続燃焼方式	
	排出ガス処理方式	バグフィルター	
	余熱利用	発電 (2,700 KW)	
	煙突高	43m (標高 49m)	

(1) 破砕選別施設

破砕選別施設の概要は以下のとおりである。

破砕選別施設の処理フローを図 2.7.2-1 に、設備配置図を図 2.7.2-2 に示す。

- ・混合廃棄物について、資源（金属類）の回収及び安定燃焼を目的として破砕選別を行う。
- ・選別の方法としては、磁力、スクリーン、風力、サイクロンによる選別ののち、重量物については、人による手選別を行う。

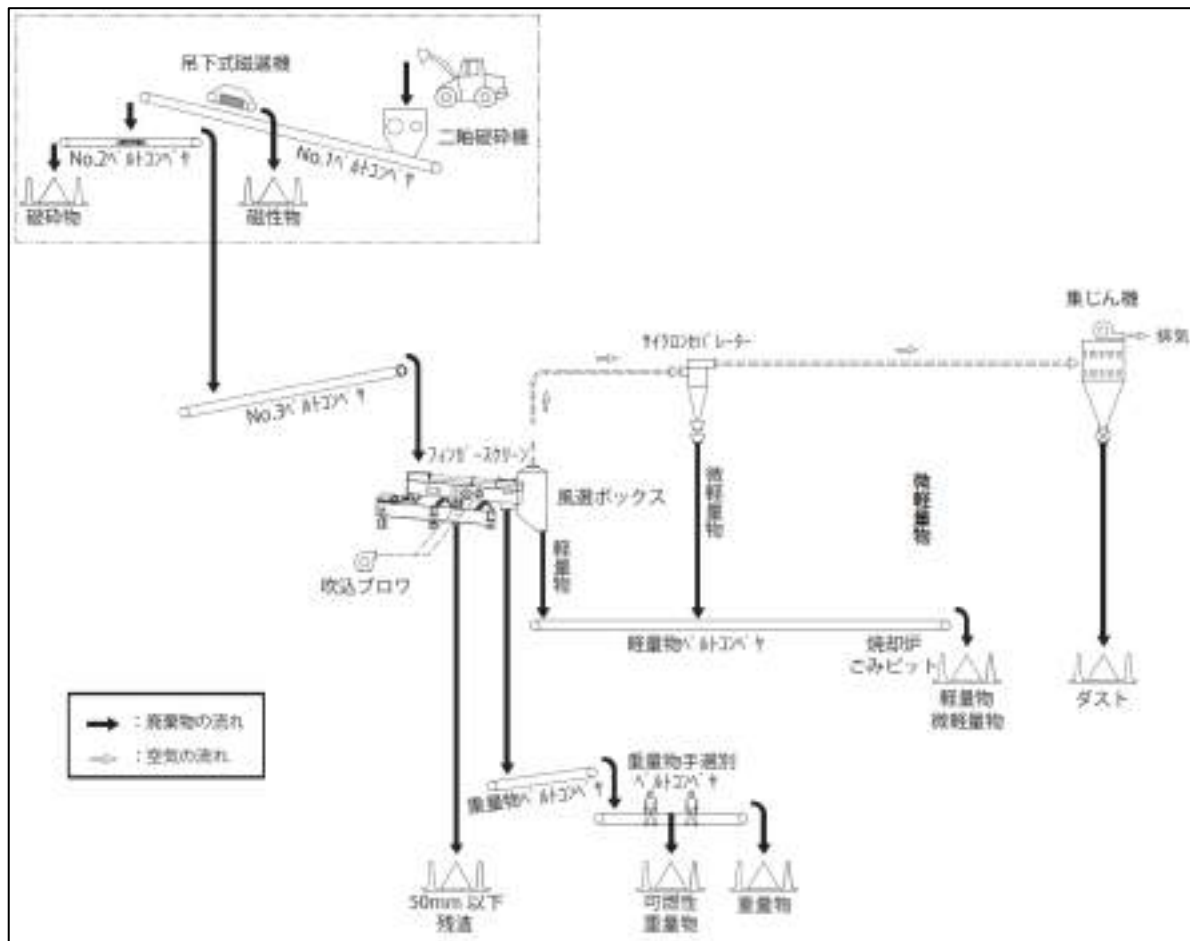


図 2.7.2-1 破碎選別施設の処理フロー図

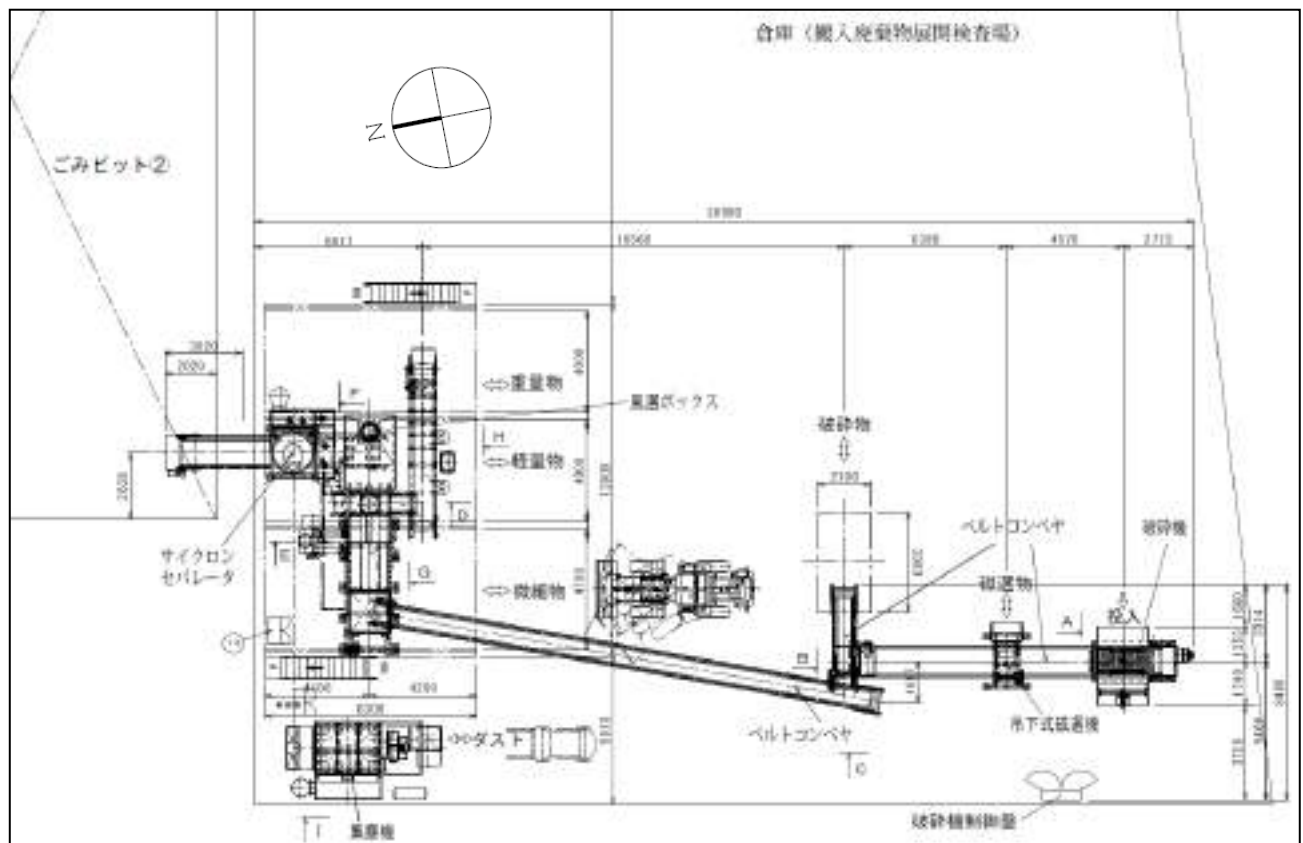


図 2.7.2-2 設備配置図（破碎選別施設）

(2) 焼却施設

新施設は縦型ストーカ炉を採用している。

縦型ストーカ炉は、従来のストーカ炉における各段階（乾燥ゾーン、燃焼ゾーン及び後燃焼ゾーン）を垂直に積み上げて処理する方式である。図 2.7.2-3 に示すとおり、各層が垂直に重なり、この厚いごみ層の下から高温の燃焼用空気を吹き込むことにより、下層の可燃物（固定炭素）が燃焼する。発生した燃焼ガスは上部のごみ層を通過するため、発生熱量はごみの乾燥・熱分解に有効に利用される。

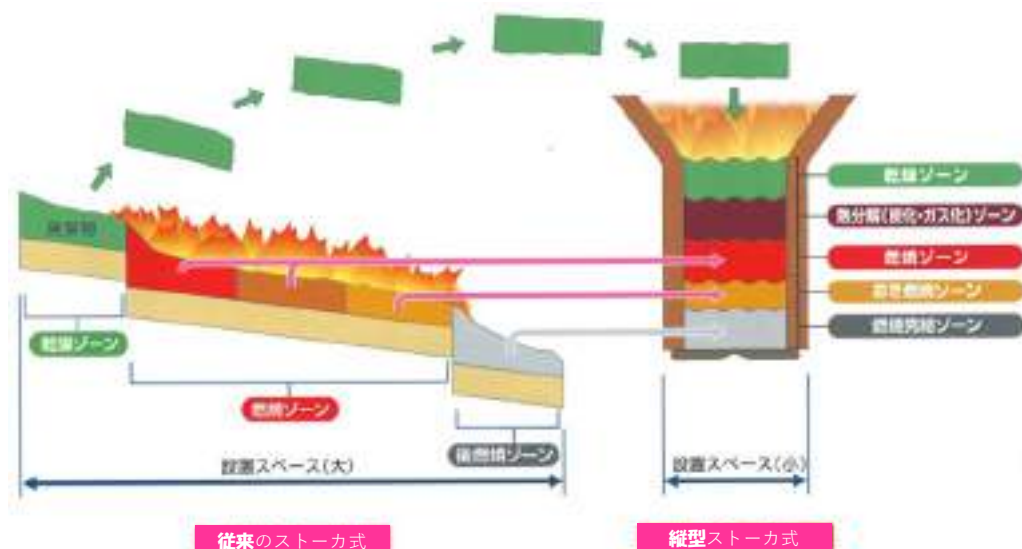


図 2.7.2-3 従来のストーカ炉と縦型火格子式ストーカ炉の焼却工程の比較

縦型ストーカ炉と従来のストーカ炉の焼却工程の比較については以下のとおりである。

図 2.7.2-4 に炉の構造を示す。

- 産業廃棄物（医療系廃棄物含む）から一般廃棄物まで幅広い処理実績を有しており、特に多種多様なごみが混在し、ごみ質の変動が大きい産業廃棄物の処理に適している。
- ごみは二重ダンパの開閉動作により、上部から供給する。二重ダンパにより外気と遮断された状態で定量ずつ連続的にごみを供給することが可能である。
- ごみは自重落下するため、上層のごみによる圧縮がなく、厚焚きにもかかわらず通気性が良い。
- 炉下部に厚く積んだごみ層の下から一次燃焼空気を空気比 0.5 以下で一定量供給し、ごみを熱分解・ガス化させる。熱分解は、熱分解残渣（固定炭素）の燃焼によって維持される。
- 高温の熱分解・燃焼ガスは上層部のごみの乾燥に利用された後、燃焼室で十分な二次燃焼空気と特殊整流装置の混合攪拌効果により完全燃焼される。
- 固形未燃分はおき燃焼ゾーンで炉底から供給される高温空気により十分な滞留時間で完全燃焼する。

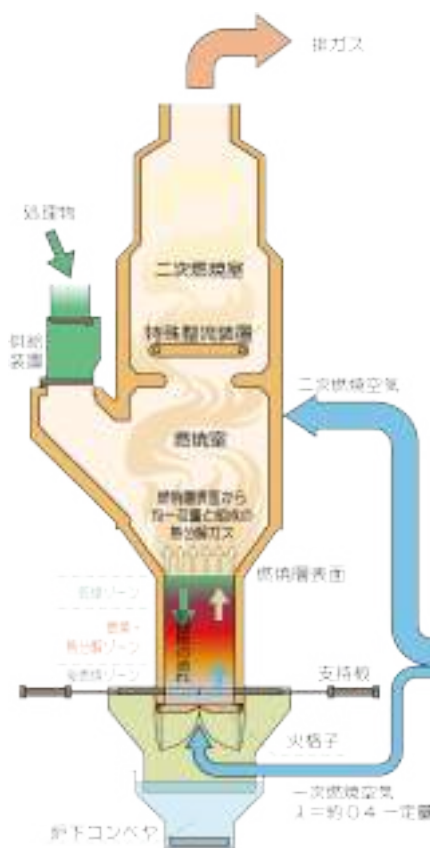


図 2.7.2-4 縦型ストーカ炉の構造

- ・炉底部の燃焼完結ゾーン（灰層）では火格子が炎に直接曝されることがなく、灰が火格子を保護する役割を担っている。
- ・焼却灰はごみ支持板と焼却灰排出板の一連の動作により一定量ずつ排出する。まず、ごみ支持板を灰層内に突出させ閉じ切り、ごみ及び焼却灰を保持する。その後、焼却灰排出板を反転し、焼却灰を排出する。灰排出後は焼却灰排出板を閉じ、ごみ支持板を開くことで定常運転に戻る。
- ・縦型ストーカ炉は円筒縦型であるため、キルンストーカ炉等と比較して設置スペースを大幅に低減することができ、狭い敷地でも設置できる。

なお、施設の強度については十分配慮することとし、機械設備の耐震設計は「火力発電所の耐震設計規定」（一般社団法人日本電気協会）に準じる。

焼却施設の処理フロー（排出ガス・灰の流れ）を図 2.7.2-5 に、設備配置図を図 2.7.2-6 に示す。また、灰は湿潤状態で、飛灰はキレート処理したのちに管理型最終処分場で埋立処分する。

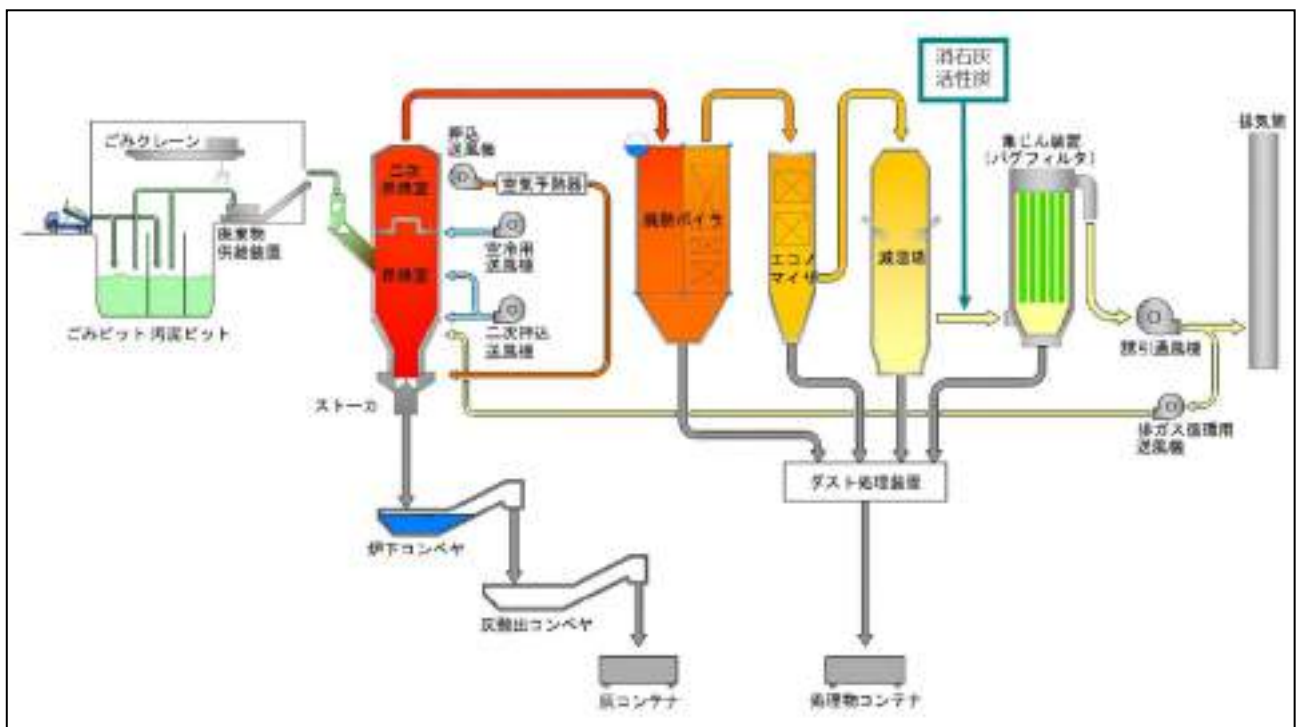


図 2.7.2-5 焼却施設処理フロー図(排出ガス・灰の流れ)

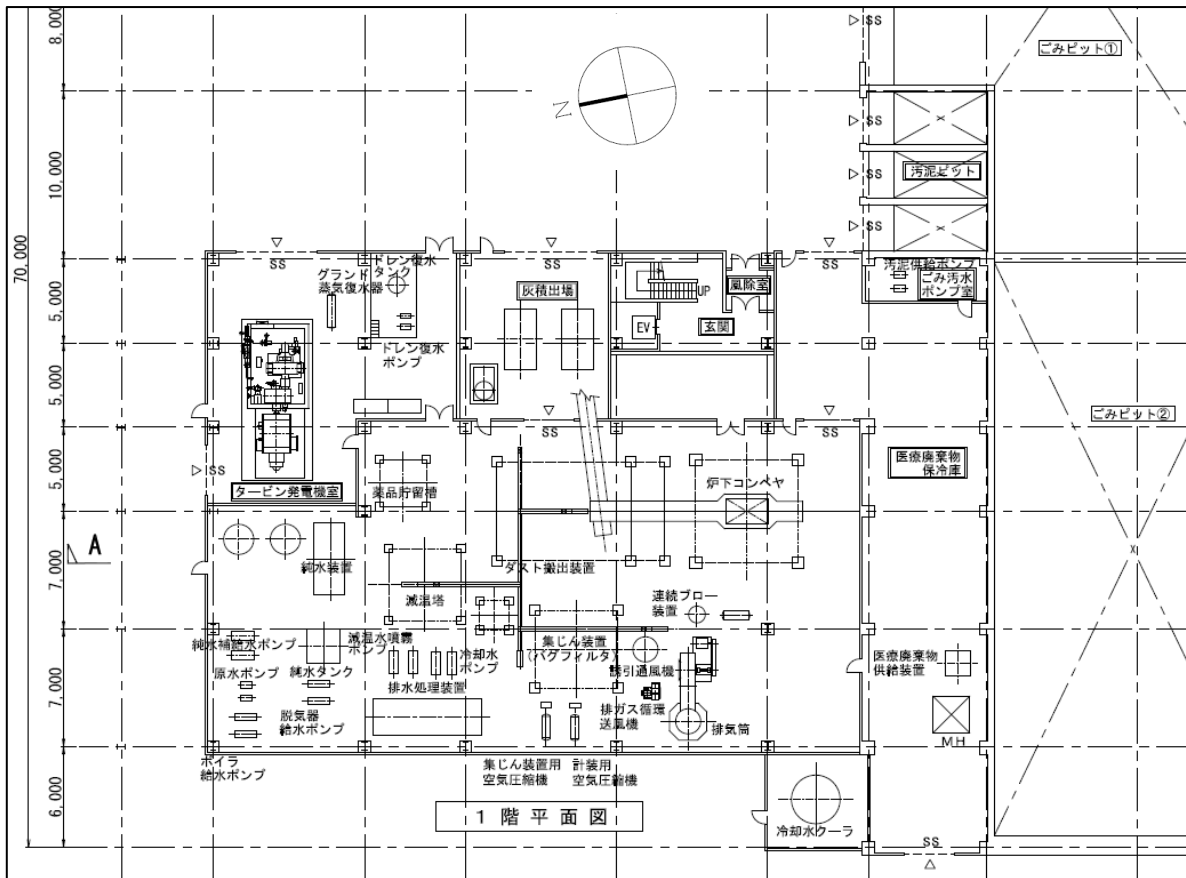


図 2.7.2-6(1) 設備配置図 (焼却施設 1 階)

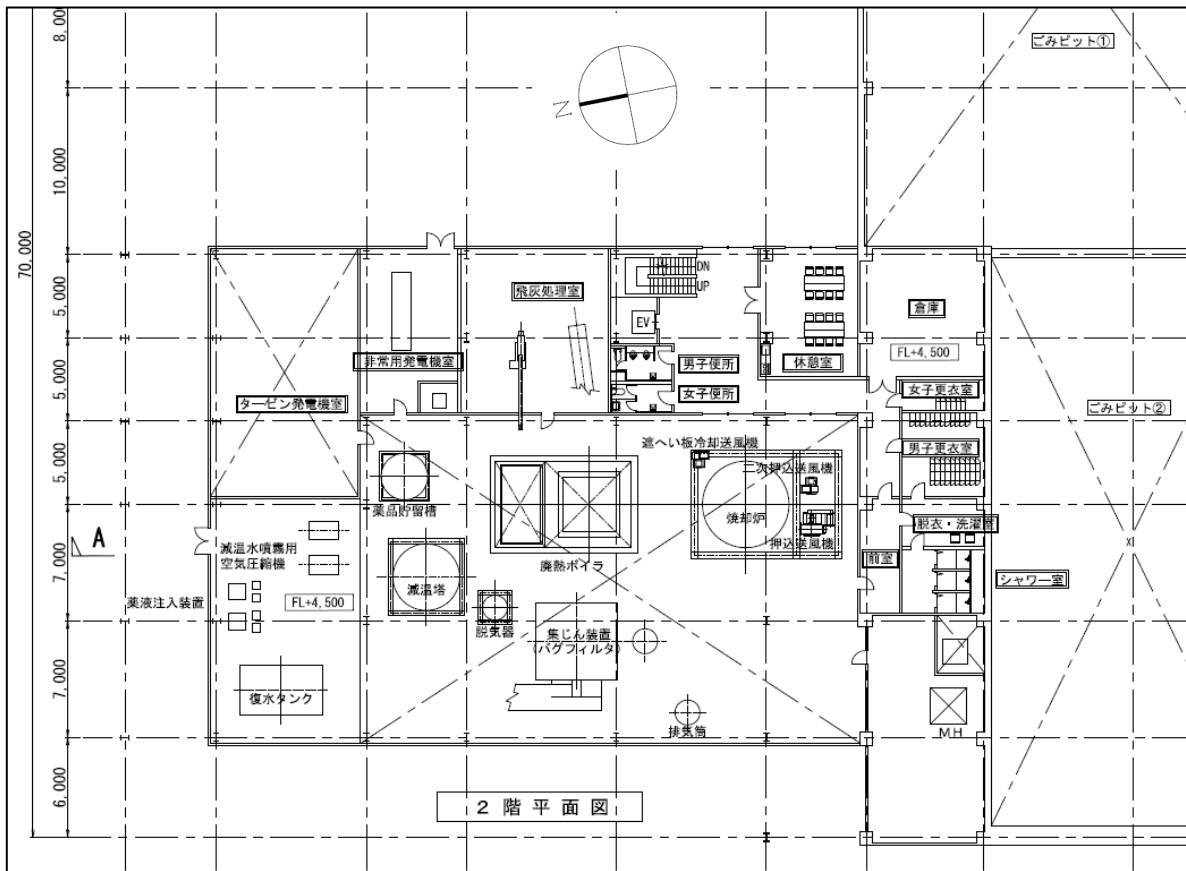


図 2.7.2-6(2) 設備配置図 (焼却施設 2 階)

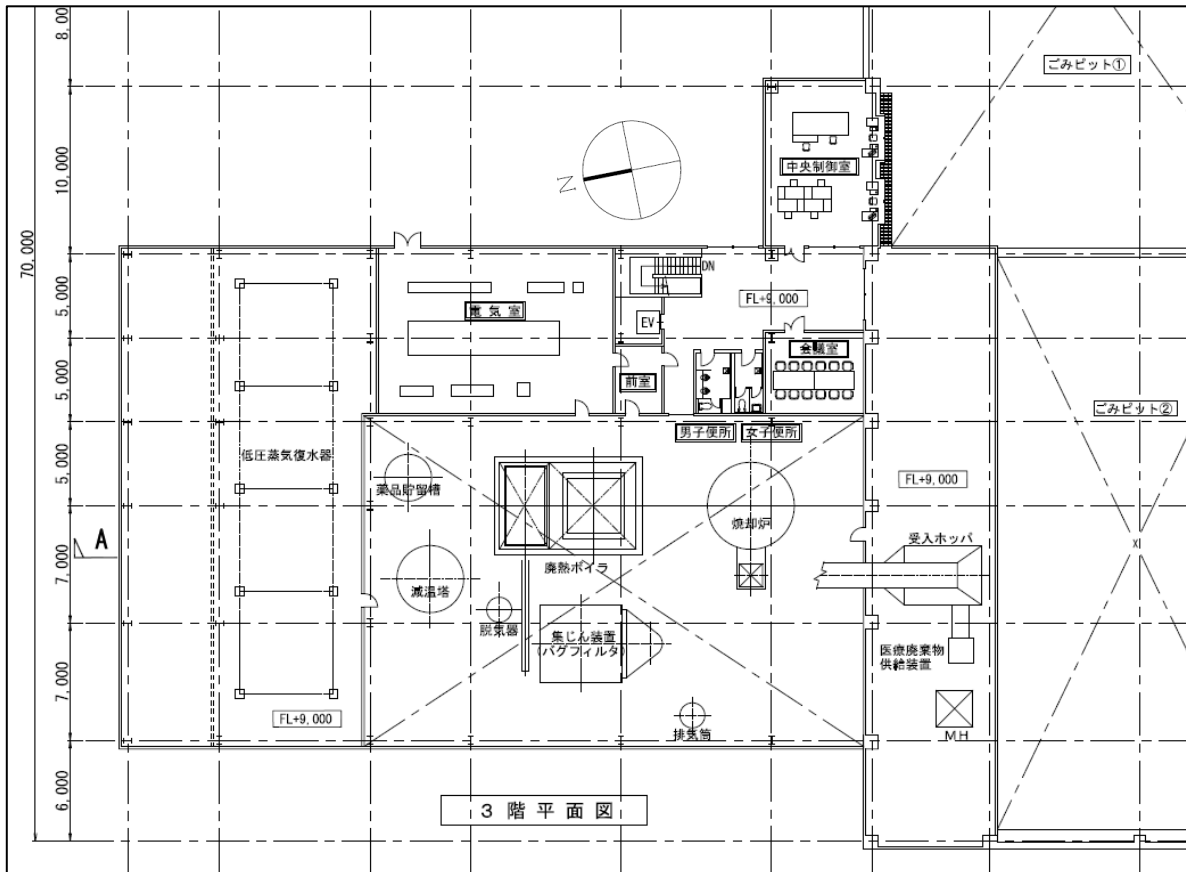


図 2.7.2-6(3) 設備配置図 (焼却施設 3階)

(3) 余熱利用 (発電設備)

発電設備の概要は以下のとおりである。

- ・ 焼却炉で発生した燃焼ガスを利用して、廃熱ボイラにより熱回収を行う。廃熱ボイラで発生した蒸気は蒸気タービンに送られ 2,700kW の発電を行う。蒸気タービンから排出された蒸気は蒸気復水器で温水として回収し、再度ボイラ給水として循環利用する (図 2.7.2-7 参照)。
- ・ 蒸気タービン発電機で発電した電気は、場内 (焼却施設及び破砕選別施設) にて使用し、余剰分は電力会社に売電する。従来焼却していただけのごみのエネルギーを利用して発電を行うことで、火力発電所等で使用する化石燃料の消費削減、地球温暖化防止にも寄与できる。

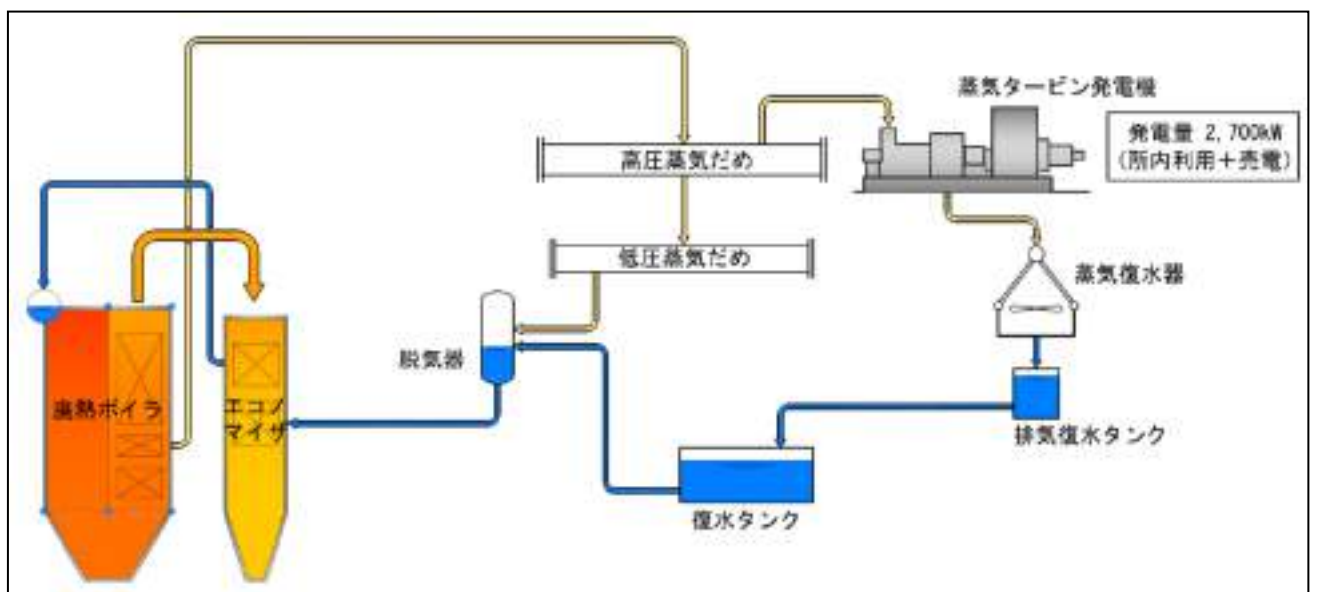


図 2.7.2-7 発電設備フロー図 (蒸気の流れ)

(4) 公害防止設備

公害防止対策設備の概要は以下のとおりである。

また、有害ガスの除去効率は表 2.7.2-3 に示すとおりである。

表 2.7.2-3 有害ガスの除去効率

項 目	単 位	許容入口 濃度	設計出口 濃度	除去効率 (%)	備 考
ばいじん	g/m ³ N (O ₂ 12%)	5.0	0.04	99.2	
SO _x	ppm (O ₂ 12%)	300	200	33.3	
NO _x	ppm (O ₂ 12%)	250	250	0.0	燃焼制御による 発生抑制
HCl	mg/m ³ N (O ₂ 12%)	652	151	76.8	
Hg	μg/m ³ N (O ₂ 12%)	50	30	40.0	
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N (O ₂ 12%)	5.0	0.1	98.0	

注)設計出口濃度は許容入口濃度に対する計画薬品使用量での値を示す。

(ダイオキシン類対策)

- ・800℃以上で排出ガス滞留時間 2 秒以上を確保できる再燃室を設けている。また発熱量の低いごみ質時でも継続して 800℃を下回らないように、助燃バーナ及び再燃バーナを設ける。
- ・集じん器入口燃焼ガス温度を速やかに 200℃以下に冷却できる減温塔を設置している。
- ・廃棄物供給装置から投入される廃棄物は、燃焼室と供給装置の間に二重ダンパを設けることにより、燃焼室と外気を常に遮断した状態で定量ずつ連続的に燃焼室に投入する。

(ダイオキシン類・水銀対策)

- ・活性炭吸着ののち、バグフィルタで捕集するものである。この設備(活性炭+バグフィルタ)は、廃棄物処理施設で実績が多く、除去性能が高い。

新施設においてはプレコート式バグフィルタを採用している。

以下にプレコート式バグフィルタの特徴を示す。

- ・排出ガス処理用の薬剤は、酸性ガスの中和処理用として消石灰を、ダイオキシン類、水銀の吸着除去用として活性炭を使用する。
- ・プレコートバグフィルタの構造は汎用の連続吹込み式バグフィルタとほぼ同様であるが、薬剤の噴霧方式が特徴となっている。
- ・通常 4 時間分の消石灰・活性炭をバグフィルタ入口煙道に短時間(10 分間程度)で吹込んで、ろ布表面に消石灰・活性炭の反応吸着層を形成する。4 時間経過以降、酸性ガス濃度の上昇あるいはバグフィルタの差圧上昇により反応吸着層(酸性ガスとの反応生成物及び飛灰)を払落し、再度ろ布表面に反応吸着層を形成する。
- ・ろ布表面には均一で厚みのある反応吸着層が形成され、飛灰は反応吸着層の表面で分離除去される。反応吸着層の厚みはろ布全面でほぼ均一であり、排出ガスは偏り無くろ布全体を通過することから排出ガスと消石灰・活性炭の接触効率が高く、HCl、SO_x は高効率で中和され、ダイオキシン類、水銀は吸着除去される。
- ・連続吹込み式バグフィルタは煙道内での反応が中心で、ろ布上での反応は補足的であるが、プレコート式バグフィルタではろ布上での反応が中心となるため反応効率が高く、有害物質の高効率除去が可能となる。

7.3 公害防止に係る法規制値

対象事業の排出ガス及び排出水の各項目における法規制値について表 2.7.3-1 に、また新施設における排出ガス中の大気汚染物質濃度の自主基準値について表 2.7.3-2 に示す。

廃棄物処理施設で重要と考えられる大気質については、施設の立地条件、最近の公害防止技術等を考慮して法規制値よりも厳しい自主基準値を設定している。

表 2.7.3-1 公害防止に係る法規制値等（排出ガス、排水水）

項目		法規制値等	
排出ガス	硫黄酸化物	K 値 ¹⁾ = 11.5	—
	ばいじん	0.04g/m ³ N 以下	大気汚染防止法（4t/時以上の廃棄物焼却炉）
	窒素酸化物	250ppm 以下	大気汚染防止法（廃棄物焼却炉（連続炉））
	塩化水素	700mg/m ³ N 以下	大気汚染防止法（廃棄物焼却炉）
	水銀	30 μg/m ³ N 以下	大気汚染防止法（廃棄物焼却炉）
	ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N 以下	ダイオキシン類対策特別措置法（4t/時以上の廃棄物焼却炉）
排水水	BOD	20 mg/L 以下及び除去率 90%以上	浄化槽法（浄化槽に関する基準等）

注) K 値は、地域ごとに定められる値であり、対象事業実施区域における「大気汚染防止法」の排出基準は 11.5 である。

表 2.7.3-2 自主基準値（排出ガス）

項目		単位	自主基準値	備考
排出ガス濃度	SO _x	K 値	約 3.2 以下	
		ppm (O ₂ 12%)	200 以下	
	ばいじん	g/m ³ N (O ₂ 12%)	0.04 以下	
	NO _x	ppm (O ₂ 12%)	250 以下	
	HCl	mg/m ³ N (O ₂ 12%)	151 以下	
		ppm (O ₂ 12%)	約 93 以下	
	Hg	μg/m ³ N (O ₂ 12%)	30 以下	
	ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N (O ₂ 12%)	0.1 以下	
	CO	ppm	100 以下	1 時間平均値

7.4 供用後の環境保全対策

新施設供用後の環境保全対策は、以下のとおりである。

また、従業員に対し、試験運転時のメーカーからの運転教育に加え、毎月の従業員全体勉強会、毎週の施設管理ミーティング、毎朝の始業点検ミーティングで適切な運転管理を指導・教育する。

1) 大気汚染防止対策

- ・焼却ガスの温度、排出ガス中の一酸化炭素の連続測定装置、自動的に連続して記録できる記録装置を設置し適切な運転管理を行う。
- ・排出ガス中の大気汚染物質の濃度は、定期的に測定し記録を保存する。
- ・排出ガス中の大気汚染物質については、最新の公害防止設備により除去・分解を行うことで、規制基準以下に設定した、より厳しい自主的な基準値の遵守を徹底する。
- ・日常の設備点検や運転監視を着実にを行い、ごみの性状に的確に対応した施設の稼働を確保する。
- ・ごみピットに貯留されているごみをできる限り均一になるように攪拌することで、安定した焼却を行う。

2) 騒音振動防止対策

- ・著しい騒音を発生させる機器設備を設置する場合には、屋内に設置して騒音による周辺への影響を低減する。
- ・著しい振動を発生させる機器設備を設置する場合には、単独基礎や防振ゴムの設置等の対策を講じて、振動による周辺への影響を低減する。
- ・機器の異常音等を発生させないよう、機器設備を適切に維持管理する。
- ・廃棄物運搬車両は、速度や積載量等、交通規制の遵守を要請する。
- ・廃棄物運搬車両の走行について、特に住宅等の近接する地域の走行については、丁寧な運転に努めるよう、運転手等に協力を要請する。
- ・廃棄物運搬車両のアイドリングストップを徹底するよう運転手等に協力を要請する。

3) 水質汚濁防止対策

- ・焼却施設の稼働に伴う排水は無い。
- ・降雨による雨水等は、敷地内の油水分離槽を経て放流する。

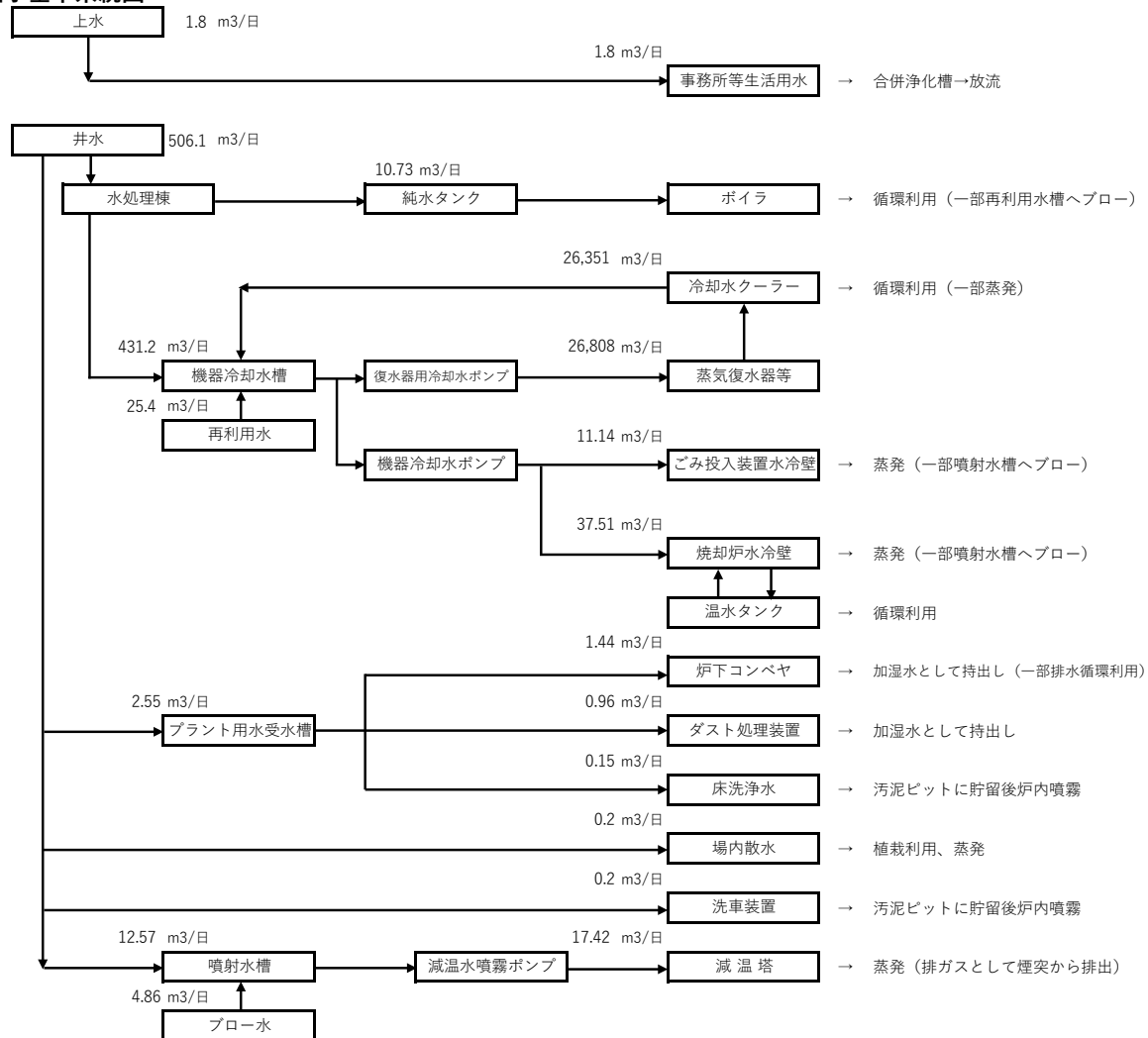
7.5 給排水フロー

新施設のプラント用水（冷却水、洗浄水等）については井水を、生活用水は上水を利用する。

新施設の稼働に伴う給排水フローは図 2.7.5-1 に示すとおりであり、プラント用水の放流はしない。

また、事務所等の生活排水は旧施設と同じ規模の浄化槽を設置し、浄化槽にて処理したのち、図 2.7.5-2 に示すルート（排水管）を経由して今出港に放流する。

給水基本系統図



排水基本系統図

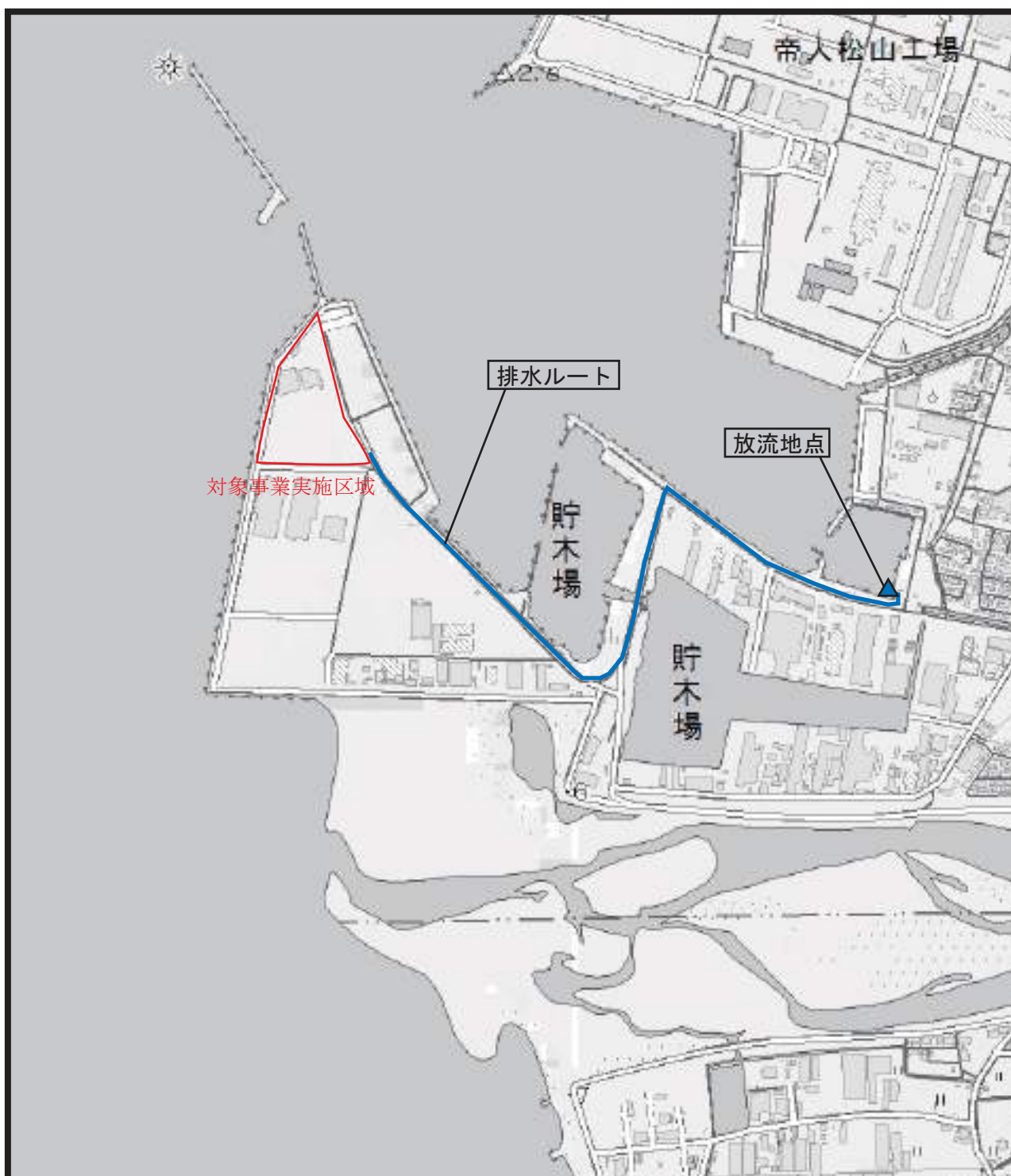
生活系



プラント系



図 2.7.5-1 給排水フロー図



凡例

資料) 電子地形図25000 (国土地理院) に加筆



S = 1 : 10, 000



図2. 7. 4-2 排水ルート

7.6 廃棄物搬入車両等の主要走行ルート

廃棄物の搬入等に伴い走行する関連車両は、南北から県道 22 号線から市道を経由する走行ルートを設定している。

幹線道路（県道 22 号線）から新施設までの走行ルートを設定することにより、生活道路等へは侵入しない（図 2.6.4-1 に示す資材等運搬車両の主要走行ルートと同様とする）。

また、走行ルート沿道環境保全の観点から、廃棄物の搬入等に伴う車両の走行には十分注意し、丁寧な運転に努める。

特に取引業者には「搬入時間」、「搬入ルート」、「運転マナー」、「運搬中の落下防止」等について遵守徹底を図り、搬入ルール of 直接送付・窓口配布を行い、ルールを守らない業者は受入停止するなど安全教育に取り組んでおり、今後も引き続き安全教育の徹底に努める。

なお、自社ならびにグループ会社の搬出入については渋滞時間をさける・間引き運転を行うなど安全に配慮した運行を実施している。

第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

1 自然的状況

1.1 大気環境の状況

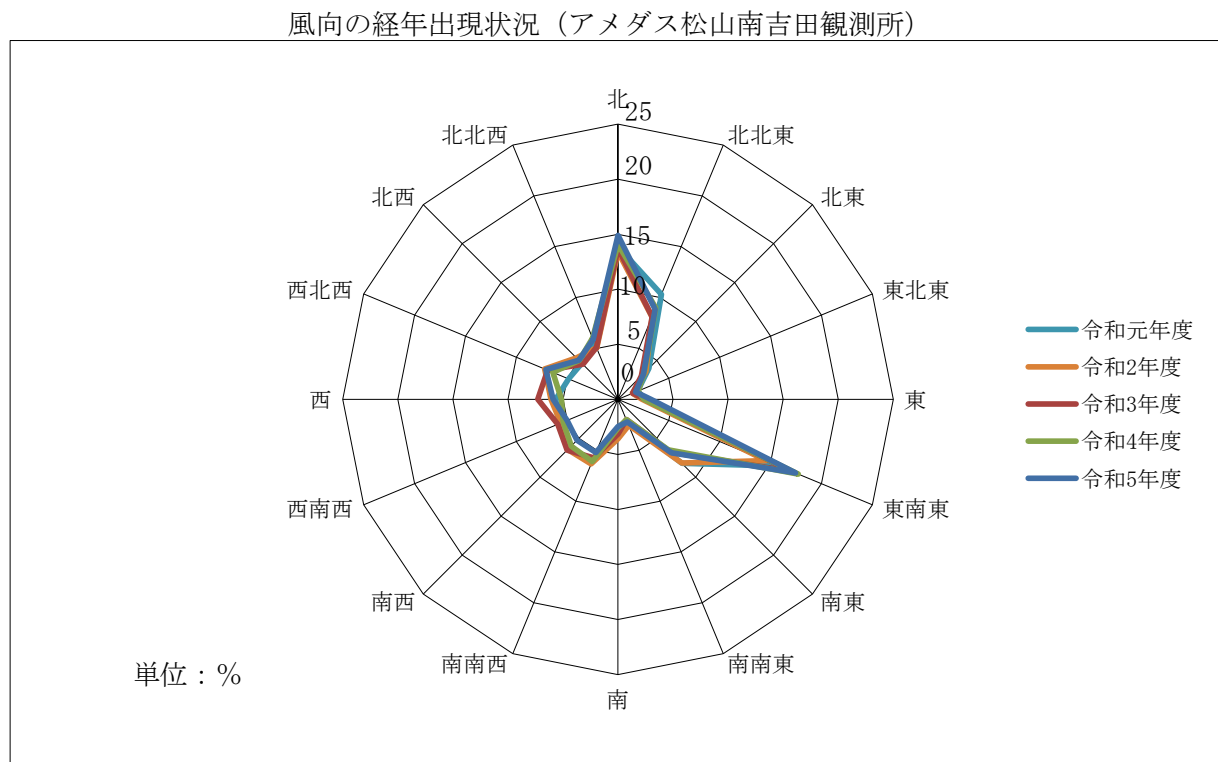
1) 気象の状況

対象事業実施区域周辺の気象観測地点として、東北東約 9km に松山地方気象台、北東約 2km にアメダス松山南吉田観測所が存在している。

松山地方気象台及びアメダス松山南吉田観測所における令和5年度の降水量、平均気温、平均風速の観測結果は、表 3.1.1-1 に示すとおりである。

月別降水量については、松山地方気象台では7.5～274.5mm、アメダス松山南吉田観測所では10.0～265.5mmであり、両地点ともに6月に最も多くなっている。

月別平均風速については、松山地方気象台では1.8～2.5m/s、アメダス松山南吉田観測所では2.5～4.9m/sである。



注) 平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日までのデータを集計。

資料) 気象庁 過去の気象データ検索（松山南吉田）

図 3.1.1-1 風向出現状況

表 3. 1. 1-1 月別降水量、月別平均気温、月別平均風速

項目	測定地点	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月別降水量 (mm)	松山地方気象台	228.0	260.5	274.5	273.5	76.5	7.5	7.5	47.0	37.0	34.0	117.0	197.5
	アメダス松山 南吉田観測所	195.0	218.0	265.5	240.5	83.5	14.5	10.0	45.5	28.5	27.0	120.0	187.0
月別平均気温 (℃)	松山地方気象台	15.9	19.8	23.1	28.0	28.9	27.3	19.4	14.8	9.3	7.4	9.0	10.1
	アメダス松山 南吉田観測所	15.3	18.8	21.8	26.6	27.9	26.7	19.7	15.1	9.8	7.9	9.1	10.1
月別平均風速 (m/s)	松山地方気象台	2.4	2.2	1.8	2.2	2.3	2.1	2.2	2.5	2.4	2.3	2.1	2.4
	アメダス松山 南吉田観測所	3.7	3.3	2.5	2.6	2.8	3.0	4.0	4.9	4.9	4.7	3.9	4.2

注 1) 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日までのデータを集計。

資料) 気象庁 過去の気象データ検索 (松山、松山南吉田)

2) 大気質の状況

対象事業実施区域周辺における5地点で大気質の常時監視が行われている。

常時測定局の測定結果は、表3. 1. 1-2に示すとおりであり、光化学オキシダントは測定が実施されている3地点で環境基準を超過しており、微小粒子状物質は富久町の4地点で環境基準を超過している。

表 3. 1. 1-2(1) 常時測定局の大気質測定実績

(二酸化硫黄：令和 4 年度)

測定局		有効測定 日数	測定 時間	年平均値	1時間値が0. 1ppm を超えた時間数と その割合		日平均値が 0. 04ppmを超えた 日数とその割合		1時間値の 最高値	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0. 04ppmを 超えた日が 2日以上連続 したことの 有無	環境基準の 長期的評価に よる日平均値 が0. 04ppmを 超えた日数
		日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm	ppm	有×・無○	日
一般局	富久町	358	8,598	0.002	0	0.0	0	0.0	0.061	0.005	○	0
	垣生小学校	360	8,653	0.002	0	0.0	0	0.0	0.117	0.007	○	0
	味生	362	8,678	0.003	0	0.0	0	0.0	0.09	0.010	○	0
自排局	朝生田	349	8,425	0.001	0	0.0	0	0.0	0.021	0.004	○	0

注) 環境基準：1時間値が0. 1ppm以下かつ日平均値が0. 04ppm以下

(窒素酸化物：令和 4 年度)

測定局		有効測定 日数	測定 時間	一酸化窒素 (NO)					二酸化窒素 (NO ₂)										窒素酸化物 (NO _x)			
				年平均値	1時間値 の最高値	日平均値 の年間 98%値	年平均値	1時間値 の最高値	1時間値が 0.2ppmを超 えた時間数 とその割合	1時間値が 0.1以上 0.2ppm以下 の時間数と その割合	日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 とその割合	日平均値が 0.04ppm以 上0.06ppm 以下の日数 とその割合	日平均値 の年間 98%値	98%値評価 による 日平均値が 0.06ppmを 超えた日数	年平均値	1時間値 の最高値	日平均値 の年間 98%値	年平均値 NO ₂ /NO _x				
		日	時間	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日	ppm	ppm	ppm	%
一般局	富久町	356	8,544	0.001	0.059	0.005	0.008	0.050	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.017	0	0.009	0.093	0.021	84.8
	垣生小学校	354	8,532	0.001	0.045	0.006	0.009	0.049	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.021	0	0.010	0.075	0.025	87.5
	味生	357	8,566	0.002	0.048	0.006	0.008	0.055	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.020	0	0.010	0.093	0.022	83.4
自排局	朝生田	354	8,529	0.004	0.061	0.010	0.009	0.044	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.018	0	0.013	0.096	0.027	69.9

注) 環境基準 (二酸化窒素)：日平均値が0. 04～0. 06ppmのゾーン内あるいはそれ以下

資料) 令和 5 年版 愛媛県環境白書(愛媛県HP)

表 3.1.1-2(2) 常時測定局の大気質測定実績

(浮遊粒子状物質：令和4年度)

測定局		有効測定 日数	測定時間	年平均値	1時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数と その割合		1時間値 の最高値	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を超 えた日が2日 以上連続した ことの有無	環境基準の長 期的評価によ る日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数
		日	時間	mg/m ³	時間	%	日	%	mg/m ³	mg/m ³	有×・無○	日
一般局	富久町	359	8,660	0.013	0	0.0	0	0.0	0.104	0.028	○	0
	垣生小学校	360	8,653	0.012	0	0.0	0	0.0	0.184	0.026	○	0
	味生	362	8,681	0.018	0	0.0	0	0.0	0.098	0.037	○	0
自排局	朝生田	349	8,436	0.011	0	0.0	0	0.0	0.091	0.027	○	0

注) 環境基準：1時間値が0.2mg/m³以下かつ日平均値が0.1mg/m³以下

(光化学オキシダント：令和4年度)

測定局		昼間測定 日数	昼間測定 時間	昼間の1 時間値の 年平均値	昼間の1時間値 が0.06ppmを 超えた日数と その時間数		昼間の1時間値 が0.12ppmを 超えた日数と その時間数		昼間の1時間 値の最高値	昼間の日最高 1時間値の 年平均値
		日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
一般局	富久町	365	5,370	0.033	51	229	0	0	0.087	0.046
	垣生小学校	365	5,363	0.030	43	198	0	0	0.092	0.043
自排局	朝生田	364	5,330	0.028	41	197	0	0	0.091	0.041

注) 環境基準：1時間値が0.06ppm以下

(微小粒子状物質 (PM2.5)：令和4年度)

測定局		有効測定 日数	年平均値	日平均値 の98%除 外値	日平均値が35μg/m ³ を 超えた日数とその割合	
		日	μg/m ³	μg/m ³	日	%
一般局	富久町	359	9.4	21.0	0	0
	垣生小学校	358	11.8	24.8	1	0.3
	味生	361	9.3	23.5	1	0.3
	松前	343	11.1	26.8	1	0.3
自排局	朝生田	358	12.1	26.0	2	0.6

注) 環境基準：1年平均値が15μg/m³以下であり、かつ、1日平均値
が35μg/m³以下

資料) 令和5年版 愛媛県環境白書(愛媛県HP)

3) 騒音の状況

対象事業実施区域が位置する松山市では、市内の主要幹線道路（高速自動車国道、一般国道、県道および4車線以上の市道）38路線の自動車騒音を監視し、環境基準の達成状況を把握している。

対象事業実施区域から最も近い自動車騒音常時監視路線は、伊予松山港線であり、6.4km（3区間）の評価区間のうち、99.2%が環境基準を達成している。

また、県道22号線東レ前では交通騒音の測定が行われており、その結果、後背地及び沿道のどちらにおいても環境基準を達成していた（表3.1.1-3参照）。

表3.1.1-3 交通騒音測定実績（ L_{Aeq} ）

測定場所	測定年月日	環境基準 類型	騒音レベル (dB : L_{Aeq})		環境基準適合状況		
			昼間	夜間	昼間	夜間	総合 評価
県道22号線東レ前(背後地)	令和4年10月27日～10月28日	B	47	41	○	○	○
県道22号線東レ前(沿道)	令和4年10月27日～10月28日	近接	63	56	○	○	○

注1) 昼間：午前6時～午後10時、夜間：午後10時～翌朝の午前6時

注2) 環境基準類型の近接は、幹線交通を担う道路に近接する空間を示す。

資料) 令和4年度松前町環境報告書（松前町 HP）

4) 悪臭の状況

対象事業実施区域から最も近い悪臭調査地点は松前町の東レ北であり、調査結果を表3.1.1-4に示す。

令和4年度に2回の調査が実施されたが、臭いは感じられず、悪臭物質は検出されなかった。

表 3.1.1-4 悪臭測定実績

項目	単位	東レ北	
採取日時		令和4年6月6日	令和4年12月12日
採取開始時間		14:17	11:13
採取終了時間		14:47	11:43
天候	-	曇	晴
風向	-	南	東
風速	m/s	1.4	0.6
気温	℃	21.0	12.5
湿度	%	87	48
臭いの状況	-	臭いを感じない	臭いを感じない
アンモニア	ppm	<0.1	<0.1
硫化水素	ppm	<0.0005	<0.0005
硫化メチル	ppm	<0.0005	<0.0005
二硫化メチル	ppm	<0.0005	<0.0005
アセトアルデヒド	ppm	<0.005	<0.005

資料) 令和4年度松前町環境報告書（松前町 HP）

1.2 水環境の状況

対象事業実施区域周辺の河川は、東北に洗地川、東に三反地川、南に重信川、重信川の更に南には国近川が流れている。また、対象事業実施区域の西側は、伊予灘に面している。

対象事業実施区域周辺の公共用水域（海域、河川、汽水域）における水質測定実績及び調査地点（生活環境項目）は、表 3.1.2-1～3 に示すとおりである。

海域の測定結果については、松山海域 ST-12、ST-13 及び松前海域 ST-1 が A、Ⅱ 類型に指定されており、すべての項目で環境基準を満足していた。

河川の測定結果については、重信川（甲）が A 類型に指定されており、pH が環境基準を超過していた。なお、洗地川及び国近川は類型指定を受けていない。

汽水域については、両地点ともに類型指定を受けていない。

表 3.1.2-1 公共用水域（海域）測定実績（令和 4 年度）

	類型	pH	DO (mg/L)	COD (mg/L)	油分 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)
松山海域 ST-12	A、Ⅱ	8.0～8.1	7.6	1.2	<0.5	0.13	0.023	10
松山海域 ST-13	A、Ⅱ	8.0～8.1	7.7	1.2	<0.5	0.15	0.024	13
松前海域 ST-1	A、Ⅱ	8.1	8.1	1.0	－	0.14	0.018	－
塩屋北	－	8.0～8.1	8.1	1.3	<0.5	－	－	87
塩屋南	－	8.0～8.1	8.1	1.2	<0.5	－	－	110
環境基準	A、Ⅱ	7.8～8.3	7.5 以上	2 以下	検出されないこと	0.3 以下	0.03 以下	300 以下

注) COD は日間平均値の年間の 75% 値であり、DO、全窒素、全りん、大腸菌数は日間平均値の年平均値である。

資料) 令和 4 年度公共用水域の水質測定結果（愛媛県 HP）

令和 4 年度松前町環境測定調査報告書（松前町 HP）

表 3.1.2-2 公共用水域（河川）測定実績（令和 4 年度）

	類型	河川名	pH	BOD (mg/L)	DO (mg/L)	SS (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	LAS (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)
桃山橋	－	洗地川	7.4～7.9	4.0	11	10	3.1	0.22	－	830
川口大橋	A	重信川（甲）	7.6～9.0	0.7	10	2	0.95	0.067	－	77
古城橋	－	国近川	7.2～7.9	1.8	6.6	2	1.6	0.11	－	903
環境基準	A	－	6.5～8.5	2 以下	7.5 以上	25 以下	－	－	－	300 以下

注 1) 桃山橋、古城橋においては、pH 以外は日間平均値の年平均値である。

注 2) 川口大橋において、BOD は日間平均値の年間の 75% 値、DO、SS、全窒素、全りん、大腸菌群数は日間平均値の年平均値である。

資料) 令和 4 年度 市内河川水質測定結果（松山市 HP）

令和 4 年度重信川水系水質測定結果（松山市 HP）

令和 4 年度松前町環境測定調査報告書（松前町 HP）

表 3.1.2-3 公共用水域（汽水域）測定実績（令和 4 年度）

	類型	河川名	pH	COD (mg/L)	DO (mg/L)	鉛 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	砒素 (mg/L)
塩美橋河川域 (河川水)	－	国近川	7.4～7.5	4.9	7.5	<0.005	<0.0005	<0.0005	<0.005
塩美橋海域 (海水)	－	－	8.0	2.6	7.8	<0.005	<0.0005	<0.0005	<0.005

注) COD は日間平均値の年間の 75% 値であり、DO、鉛、総水銀、PCB、砒素は日間平均値の年平均値である。

資料) 令和 4 年度松前町環境測定調査報告書（松前町 HP）

1.3 環境中のダイオキシン類の状況

対象事業実施区域周辺におけるダイオキシン類測定実績は、表 3.1.3-1 に示すとおりである。

大気、河川（水質、底質）、海域（水質、底質）、地下水、土壌について調査が実施されており、それぞれ全地点で環境基準を達成している。

表 3.1.3-1 ダイオキシン類測定実績

調査対象		測定地点	平成30年度 測定実績 (年平均値)	令和元年度 測定実績 (年平均値)	令和2年度 測定実績 (年平均値)	令和3年度 測定実績 (年平均値)	令和4年度 測定実績 (年平均値)	環境基準
大気 (pg-TEQ/m3)		松山市庁舎	0.014	0.014	0.010	0.0075	0.0072	0.6
		富久町測定局	0.017	0.013	0.021	0.016	0.0083	
		朝生田測定局	0.014	0.0074	0.014	0.012	0.0083	
		垣生小学校測定局	0.028	0.0180	0.079	0.025	0.022	
		東垣生測定局	0.024	0.013	0.037	0.028	0.014	
		垣生中学校	－	－	－	－	0.073	
		住吉公園	0.060	0.11	0.17	0.25	0.31	
河川	水質 (pg-TEQ/L)	堂之元川 (挿桃橋)	0.11	－	－	－	－	1
海域	水質 (pg-TEQ/L)	今出港沖	－	0.018	－	－	－	1
		飛行場沖	0.017	－	－	－	－	
	底質 (pg-TEQ/g)	今出港沖	－	1.0	－	－	－	150
		飛行場沖	3.9	－	－	－	－	
地下水 (pg-TEQ/L)		立花5丁目	－	0.016	－	－	－	1
		小栗5丁目	0.015	－	－	－	－	
土壌 (pg-TEQ/g)		住吉公園	－	3.2	－	－	－	1000
		大字筒井	－	－	－	－	0.24	

資料) 平成30～令和4年度 ダイオキシン類環境調査結果 (松山市HP)
平成30～令和4年度 松山市環境報告書 (松山市HP)
令和元年～5年版 愛媛県環境白書 (愛媛県HP)

1.4 地形及び地質の状況

1) 地形概要

松山平野は、扇状地性の平野で、背後三方を標高 200～400m 余りの山地に囲まれている。

対象事業実施区域付近の道路面の標高は約 TP+5m であるが、調査敷地はこれより 1m 程度嵩上げされている。

2) 地質概要

対象事業実施区域周辺は、地質的には中央構造線北側の領家帯にあたり、上部白亜系和泉層群（砂岩・泥岩）が基盤をなしていると推定されるが、新生代第四紀の未固結な堆積物に広く覆われている。

1.5 動植物及び生態系の状況

植物については対象事業実施区域周辺を対象に、動物については松山市、松前町を対象に文献等を調査した。

1) 植物

対象事業実施区域の南を流れる重信川にはヨシクラス、塩沼地植生等の植生がみられる。また、対象事業実施区域は工場地帯となっている。

2) 動物

松山市、松前町における絶滅あるいは絶滅の危惧がある動物種とその指定状況をまとめたものを表 3.1.5-1 に示す。

松山市における絶滅あるいは絶滅の危惧がある動物種の指定状況は、「愛媛県レッドリスト 2022」では、ほ乳類 5 種、鳥類 46 種、は虫類・両生類 12 種、淡水魚類 10 種、昆虫類 194 種、クモガタ類・多足類 12 種、海岸動物 6 種、貝類・淡水甲殻類 10 種が指定されている。また、「レッドデータブックまつやま 2012」では、ほ乳類 12 種、鳥類 59 種、は虫類・両生類 18 種、淡水魚類 22 種、昆虫類 166 種、クモガタ・多足類 10 種、海岸動物 6 種、貝類・淡水甲殻類 50 種が指定されている。

松前町における絶滅あるいは絶滅の危惧がある動物種の指定状況は、「愛媛県レッドリスト 2022」によると鳥類 9 種、淡水魚類 3 種、昆虫類 15 種が指定されている。

表 3.1.5-1 絶滅あるいは絶滅の危惧がある動物種

指定状況 分類群	松山市													松前町																									
	愛媛県レッドリスト2022													レッドデータブックまつやま2012													愛媛県レッドリスト2022												
	絶滅 (EX)	野生絶滅 (EW)	絶滅危惧 I 類 (CR +EN)		絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	情報不足 (DD)	要注意種 (AN)	絶滅 (EX)	野生絶滅 (EW)	絶滅危惧類 (CR+EN+VU)		準絶滅危惧 (NT)	情報不足 (DD)	絶滅 (EX)	野生絶滅 (EW)	絶滅危惧 I 類 (CR +EN)		絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	情報不足 (DD)	要注意種 (AN)																	
			絶滅危惧 I A 類 (CR)	絶滅危惧 I B 類 (EN)							絶滅危惧 I 類 (CR +EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)					絶滅危惧 I A 類 (CR)	絶滅危惧 I B 類 (EN)																					
ほ乳類	1				1	2	1		2		1		6	3																									
鳥類			9		22	12	3				8	10	16	18	7			1		6	2																		
は虫類・両生類					3	4	5				6		5	6	1																								
淡水魚類	1		1		2	3	3				2	3	5	6	6	1		1				1																	
昆虫類	5		36		47	68	30	5	12	1	44		42	54	13			4		4	5	2																	
クモガタ類・多足類			2	1										5	5																								
海岸動物			3		3						1																												
貝類・淡水甲殻類	1		7		1	1			3		4	1		15	1																								

注) 指定状況の区分カテゴリーの基本概念は、以下に示すとおりである。

絶滅 (EX) : すでに絶滅したと考えられる種。

野生絶滅 (EW) : 野生では絶滅し、飼育・栽培下でのみ存続している種。

絶滅危惧 I 類 (CR+EN) : 絶滅の危機に瀕している種。現在の状態をもたらしした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧 IA 類 (CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。

絶滅危惧 IB 類 (EN) : IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。

絶滅危惧 II 類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種。現在の状態をもたらしした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。

準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤が脆弱な種現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種。

要注意種 (AN) : 愛媛県内の分布域全体を俯瞰すると、現時点で種として絶滅のおそれがあるものではないため上記カテゴリー (CR~NT・DD) には該当しないが、県内の生物多様性の保全の観点から今後の個体数や生息条件の変化に十分に注意する必要があると考えられる種。(愛媛県独自で設定したカテゴリー)

資料) 愛媛県レッドデータブック 2014
愛媛県レッドリスト 2022
レッドデータブックまつやま 2012

1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

対象事業実施区域周辺の主要な眺望点と主要な眺望景観の状況は表 3.1.6-1 に示すとおりである。また、対象事業実施区域周辺の主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況は表 3.1.6-2 に示すとおりである。

表 3.1.6-1 主要な眺望点と主要な眺望景観の状況

主要な眺望点	眺望資源	主要な眺望景観の状況	対象事業 実施区域 からの距離
重信川河口	重信川河口の水鳥群	松山市南西端の重信川河口付近にはいくつもの中洲があり、干潟是水鳥たちの格好のすみかになっている。また、重信川河口の水鳥群はえひめ自然百選に選ばれている。	約 1km
塩屋海岸	伊予灘の景観と夕日	海岸の景色が良く、伊予灘方向の夕日も美しい景観となっている。	約 1.5km
松山空港 送迎・展望デッキ	離着陸する飛行機	送迎・展望デッキからは、飛行機が離着陸する一部始終を見ることができ、カメラマンや家族連れの人が多く集まる。	約 2.5km
弁天山・垣生山・津田山	各山頂からの景観	北の弁天山と南の垣生山を繋ぐ尾根に津田山があり、「エ」の字状に山並みが連なっている。いずれの山も標高 120m 前後で、松山平野を取り囲む高縄山系、石鎚山系、皿ヶ嶺連峰、双海の山並みまでのパノラマが楽しめる。また、垣生山山頂には展望台と公園が整備されている。	約 4km
五色浜	港内風景、瀬戸内海に浮かぶ島々	美しい松林の中に歴史を誇る記念碑が多くあり、旧灯台や彩浜館、さざえ掘をはじめ、内港風景や沖に見える島々の美しい景観がみられる。また、隣接する五色姫海浜公園は、白砂が美しく、波静かな瀬戸内海に浮かぶ島々の姿をみることができる場所である。	約 6km
松山総合公園 展望塔	展望塔からの景観	公園の最も高い位置に展望広場があり、ヨーロッパ城郭風の展望塔からは四国連峰、松山市街地や瀬戸内海など 360 度のパノラマが楽しめる。	約 6km
三津の渡し	三津地区の漁村風景	三津の渡しとは、三津港の西性寺前と港山地区を結ぶ渡船であり、船上からは三津地区の漁村風景を楽しむことができる。	約 6.5km
黒岩海岸	四十島（ターナー島）、瀬戸内海、興居島	ターナー島を始め、瀬戸内の海や興居島を望むことができる。また、ターナー島は国登録文化財（名勝）に指定されている。	約 7km
恋人峠	瀬戸の内海、松山市街	穏やかな瀬戸の内海と松山市街を一望できる。	約 7km
城山公園（堀之内地区） やすらぎ広場	松山城周辺の史跡景観	松山城のお城山と豊かな緑を背景に天守や二之丸などの史跡景観が眺望できる憩いとやすらぎの空間として、やすらぎ広場が設置されている。	約 7.5km
伊予小富士	登山道からの景観	高さ 282m の小山がゆるやかに裾野を広げる姿は興居島のシンボルで、地元では「こふじ」と呼ばれる。泊港から集落の間を抜け登山道を登ると、海と丘陵、みかん畑の織りなす変化に富んだ景色が楽しめる。	約 7.5km
市役所前榎町通り	通りから松山城への街並	松山市民にとってシンボルの景観であり、景観計画区域に指定されている。	約 8km
えひめ森林公園	森林、大谷池等	皿ヶ嶺連峰県立自然公園内に位置する緑豊かな森林公園である。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬はバードウォッチングなど、年間を通して自然の姿を満喫することができ、周辺には全国ため池 100 選にも選定されている愛媛県最大の灌漑用人造池・大谷池もある。	約 8.5km
谷上山公園第 2 展望台	展望台からの景観	東南には雄大な皿ヶ峰連峰の山々が左右に開け、北方には松山市を擁する道後平野とそこを貫流する重信川が展開し、西は伊予灘が広がり、遠くは中国地方の島々が一望の中に収められている。また、春は桜の名所としても知られ、多くの人で賑わっている。	約 8.5km
鷺ヶ巣海水浴場	瀬戸内海、カモセ島、釣島	白い砂浜と遠浅の海に、カモセ島と釣島が見える。海岸は整備され、歩いて楽しむことができる。	約 9km
釣島	瀬戸内海と周辺の島々	島の大部分を占める傾斜地は、みかん、いよかん、レモンなどの絶好の耕地となっており、整備された農道からは瀬戸内そのものの青い海と島々が見渡せる。	約 9km

表 3.1.6-2 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

名称	概要	対象事業 実施区域 からの距離
防波堤	釣りを楽しむことができる。	近接
重信川河口	四季折々に野鳥が飛来し、バードウォッチングの名所として多くの愛鳥家が訪れる。夕暮れ時のシチュエーションも抜群で、手軽なドライブコースとしても人気がある。	約 1km
塩屋海岸	釣り、海水浴、潮干狩りなどを楽しむことができる。	約 1.5km
松前公園	多目的グラウンド、老人広場、テニスコート、遊具広場など、数多くの設備があり、豊かな自然環境の中で、スポーツやレクリエーションを楽しむことができる。	約 4km
有明公園	大間地区の集落を貫流する国近川沿い一帯で、川岸には家ごとの洗い場（くみじ）が作られ、かつてはそこで顔や野菜などを洗っていた。盆にはこの地区独特の伝統火祭り行事として、川に浮かべた麦わらに火をつけ祖霊を迎える迎え火、また送り火が行われている。川が地区の人々の生活の密着した場となっており、国近川の残された自然環境を高めつつ、地区住民や泉のエリアを散策する人たちの休憩、語らいの場となっている。	約 5km
松山中央公園	野球場、テニスコート、運動場、多目的競技場、プールなどの施設があり、スポーツやレクリエーション活動などの場である。	約 5km
福德泉公園	北伊予地区の中心部に位置しているため、将来の人口増や町民のレクリエーション需要にも対応できる東部地区の核を形成する公園である。泉や川への理解と啓蒙を深めるために、治水、利水、親水の働きを、遊びを通じて体験できる学習施設型の公園としている。	約 6km
松山総合公園	小型犬ドッグラン、坊っちゃん夢ランド、ちびっこ広場・花見広場などの触れ合いの活動の場が存在する。	約 6km
ひょこたん池公園	重信川の堤防下を伏流とした水が浸出して池を形成したものであり、水性植物を積極的に取り入れた公園とするとともに、地域住民の憩いの場となっている。	約 6km
城山公園（堀之内地区） ふれあい広場	家族や友人同士でキャッチボールなどの軽スポーツが楽しめ、各種イベント開催も可能な空間として、ふれあい広場が設置されている。	約 7.5km

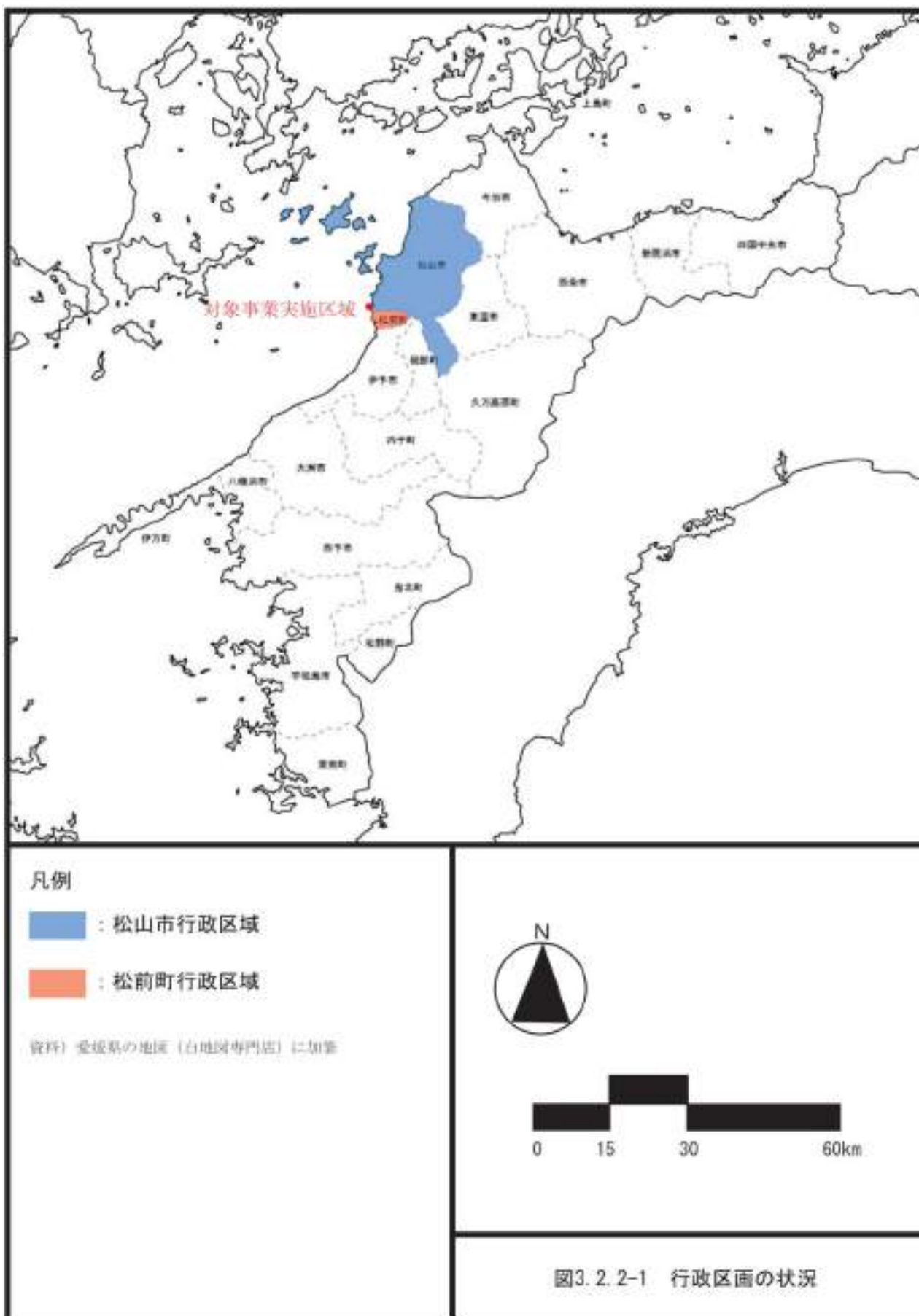
2 社会的状況

2.1 人口の状況

松山市及び松前町の人口は平成21年から緩やかな減少傾向にあるが、世帯数は増加傾向にあり、1世帯当たりの人員が徐々に減少している。

2.2 行政区画の状況

松山市と松前町の行政区画の状況は、図3.2.2-1に示すとおりである。



2.3 土地利用の状況

松山市では山林（33.3％）が最も多く、以下、その他（23.4％）、畑（16.5％）、宅地（16.2％）の順となっている。

松前町では田（42.2％）が最も多く、以下、宅地（29.2％）、その他（24.9％）、畑（3.6％）の順となっている。

2.4 河川、湖沼及び海域の状況

対象事業実施区域周辺の海域には、共同漁業権（免許番号 伊共第63・64・65号）が設定されており、対象事業実施区域直近の海域は、免許番号 伊共第63号の漁場の区域に該当する。

2.5 交通の状況

対象事業実施区域周辺の主要な交通網としては、道路、鉄道、松山空港がある。

1) 道路

事業実施区域周辺の主要な道路網としては、国道56号線、県道18号線、県道22号線、県道190号線、県道326号線がある。

2) 鉄道

対象事業実施区域周辺にはJR予讃線及び伊予鉄道があり、最も近い駅である松前駅（伊予鉄道郡中線）までの直線距離は約3.5kmである。

3) 空港

松山空港では、国際定期路線が上海及びソウルの2路線、国内定期路線は東京、伊丹など9路線が運航されている。松山空港の乗降客数は平成30年度まで増加傾向にあったが、令和元年度にわずかに減少した後、令和2年度には1/4程度まで減少した。それ以降は増加傾向にある。

2.6 環境の保全についての配慮が特に必要な施設の状況

対象事業実施区域周辺約1km圏内には、学校、保育園、老人福祉施設等は存在しない。

2.7 上水道、下水道及び廃棄物処理施設の整備の状況及び将来の計画

松山市における上水道の普及状況は令和4年度の段階で、96.9%となっている。

松山市の公共下水道事業は、市街地を地勢水系などから中央、西部、北部、北条、上野の5処理区に分けて整備を進めている。対象事業実施区域は西部処理区域に位置するが、整備予定MAP（松山市HP）によると、整備時期未定（令和4年4月1日現在）とされている。

松山市の令和4年度末の下水道処理人口普及率は、65.8%である。

2.8 都市計画法に基づく地域地区の状況

対象事業実施区域は、工業専用地域に位置している。

2.9 文化財及び埋蔵文化財包蔵地の状況

対象事業実施区域周辺約1.5km圏内には周知の埋蔵文化財包蔵地は存在しない。

2.10 環境関連法令

環境関連の法令や指定の状況をまとめると、表 3.2.10-1～3 に示すとおりである。

表 3.2.10-1 環境基準及び公害防止に係る地域の指定の状況

法律、条例等		新施設に係る内容	適用の有無
大気汚染	環境基本法	・対象事業実施区域周辺は、工業専用地域であり環境基準の適用を受けない。	×
	大気汚染防止法	・新施設では、本法のばい煙発生施設に該当するため、大気汚染物質について、物質の種類ごとに排出基準の適用を受ける。	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・新施設は構造基準及び維持管理基準の適用を受ける。	○
	ダイオキシン類対策特別措置法	・新施設は本法の特定施設（大気基準適用）に該当するため、大気排出基準の適用を受ける。	○
騒音	環境基本法	・対象事業実施区域は、工業専用地域であり環境基準の適用を受けない。	×
	騒音規制法	・対象事業実施区域は、基準の適用となる地域指定を受けない。	×
振動	振動規制法	・対象事業実施区域は、基準の適用となる地域指定を受けない。	×
悪臭	悪臭防止法	・対象事業実施区域は、基準の適用となる地域指定を受けない。	×
水質汚濁	環境基本法	・対象事業実施区域周辺の公共用水域の類型指定状況は、河川では重信川（甲）、海域では伊予灘（松山海域ST-12、ST-13、松前海域ST-1）がA類型、また、対象事業実施区域周辺の海域（伊予灘一般）は、全窒素、全りんについてⅡ類型の指定を受ける。 ・対象事業実施区域周辺の地下水は、環境基準の適用を受ける。 ・ダイオキシン類による水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）の汚染に係る環境基準の適用を受ける。	○
	水質汚濁防止法	・新施設は産業廃棄物焼却施設であり、特定施設に該当しないため、本法は適用されない。 ・新施設では尿処理施設を設置するが、処理対象人員が200人以下の浄化槽であるため、本法の特定施設に該当しない。	×
	瀬戸内海環境保全特別措置法	・新施設は、1日当たりの最大の排水量が50m ³ 未満であるため、本法の適用を受けない。 ・新施設では尿処理施設を設置するが、処理対象人員が200人以下の浄化槽であるため、本法の特定施設に該当しない。	×
	ダイオキシン類対策特別措置法	・新施設は、本法の特定施設（水質基準適用）に該当しない。	×
	下水道法 松山市下水道条例	・新施設は、公共下水道に放流しないため、下水排除基準の適用を受けない。	×
	上乗せ排水基準（愛媛県条例）	・新施設は、1日当たりの最大の排水量が50m ³ 未満であるため、上乗せ排水基準の適用を受けない。	×
	浄化槽法	・新施設では尿処理施設として浄化槽を設置し、公共用水域への放流を行うことから、本法の適用を受ける。	○
土壌	環境基本法	・対象事業実施区域周辺の土壌は、環境基準の適用を受ける。	○
	土壌汚染対策法	・新施設整備に係る土地の形質変更面積は、約24,000m ² となる。3,000m ² を超えることから、本法の適用を受ける。	○
	ダイオキシン類対策特別措置法	・対象事業実施区域は、本法のダイオキシン類土壌汚染対策地域に指定されていない。	×

表 3. 2. 10-2 自然環境、その他環境に係る地域指定状況

法律、条例等	計画施設に係る内容	適用の有無
自然公園法	・対象事業実施区域周辺は、本法の普通地域に指定されている。	○
自然環境保全法	・対象事業実施区域は、本法の対象地域には含まれていない。	×
史跡、名勝、天然記念物	・対象事業実施区域には、史跡、名勝、天然記念物として指定されたものはない。	×
鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律	・対象事業実施区域周辺海域は、本法の鳥獣保護区に指定されている。	○
松山市景観条例	・対象事業実施区域は、本条例における景観計画区域に該当していない。	×
防災関連	・対象事業実施区域は、土砂災害危険箇所や浸水想定区域などの災害に関する指定を受けていないが、東南海地震では震度6弱、南海地震時では震度6強の揺れが発生すると予想される地域に指定されている。	○

表 3. 2. 10-3 公害関係法令に係る法規制値等

公害関係法令		本事業における規制項目等	規制対象等	法規制値等
大気質	大気汚染防止法に係る規制基準	硫黄酸化物	煙突排ガス	K 値 11.5 以下
		ばいじん		0.04 g/m ³ N 以下
		窒素酸化物		250 ppm 以下
		塩化水素		700 mg/m ³ N 以下
		水銀		30 μg/m ³ N 以下
	ダイオキシン類対策特別措置法	ダイオキシン類		0.1 ng-TEQ/m ³ N 以下
水質	浄化槽法	BOD	放流水 (生活排水)	20mg/L 以下及び 除去率 90%以上

第4章 事後調査の項目及び手法

第4章 事後調査の項目及び手法

選定した事後調査項目とその理由を表4-1及び表4-2に、実施した事後調査の項目に係る手法及びその選定理由を表4-3に示す。

表4-1 事後調査項目の選定

環境要因の区分 影響要素の区分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用				
				造成等の施工による一時的な影響	建設機械の稼働	工事用資材等の搬出入	地形変化及び施設の使用	施設の稼働 排ガス	排水	機械等の稼働	廃棄物の搬出入 廃棄物の発生
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	粉じん等	×	×						
			硫黄酸化物					○			
			窒素酸化物					○			○
			浮遊粒子状物質					○			○
			有害物質					○			
		騒音	騒音		×	○				○	○
		振動	振動		×	○				×	○
		悪臭	悪臭					○			
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水環境	水質	水の濁り	○							
	動物		重要な種及び注目すべき生息地	×							
	植物		重要な種及び群落	×							
人と自然との豊かな触れ合いの確保及び地域の歴史的文化的特性の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	生態系		地域を特徴づける生態系	×							
	景観		主要な眺望地点及び景観資源並びに主要な眺望景観				×				
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場				×				
	廃棄物等		廃棄物								×
			建設工事に伴う副産物	×							
	温室効果ガス等		二酸化炭素等					×			

注○：環境影響評価を実施した項目のうち、事後調査を行う項目。

×：環境影響評価を実施した項目のうち、事後調査を行わない項目。

表 4-2(1) 事後調査項目の選定・非選定の理由

影響要因の区分 環境要素の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用				事後調査項目の選定・非選定理由	
			造成等の施工による一時的な影響	建設機械の稼働	工事用資材等の搬出入	地形改変及び施設の存在	施設の稼働		廃棄物の搬出入		廃棄物の発生
							排ガス	機械等の稼働			
大気環境	大気質	粉じん	×	×						工事の実施に伴う造成等及び工事用資材等の搬出入の際に発生するによる影響が考えられるが、いずれも周辺地域への影響は小さいと予測されたことから、事後調査項目として選定しない。 計画施設の種類や既存施設よりも規模が大きくなること及び住民等の関心も高いことが予想されることから、事後調査項目として選定する。 また、廃棄物の搬出入については、車両台数の増加が見込まれ、主となる走行ルートへの影響を確認することを目的として、事後調査項目として選定する。	
		硫黄酸化物				○					
		窒素酸化物				○		○			
		浮遊粒子状物質				○		○			
		有害物質 (塩化水素、水銀、ダイオキシン類)				○					
	騒音	騒音		×	○			○	○		
		振動		×	○			×	○		
悪臭	悪臭					○			計画施設の稼働に伴う排ガス及び施設からの漏えいによる悪臭への影響が考えられることから、事後調査項目として選定する。		
水環境	水質	水の濁り	○							工事中の造成等を実施する際の降雨により濁水が発生することが考えられることから、事後調査項目として選定する。	
動物・植物・生態系		・重要な種及び注目すべき生息地 ・重要な種及び群落 ・地域を特徴づける生態系	×							工事中に発生する濁水の影響が考えられるが、発生した濁水は沈砂池等を経由して排出することとしており、排出する水について、十分に管理することから、動物・植物及び生態系への影響はほとんどないものと考えられることから、事後調査項目として選定しない。	

注) ○：環境影響評価を実施した項目のうち、事後調査を行う項目。

×：環境影響評価を実施した項目のうち、事後調査を行わない項目。

表 4-2(2) 事後調査項目の選定・非選定の理由

影響要因の区分 環境要素の区分		工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用				事後調査項目の選定・非選定理由	
		造成等の施工による一時的な影響	建設機械の稼働	工事中資材等の搬出入	地形改変及び施設の存在	施設の稼働		廃棄物の搬出入		廃棄物の発生
						排ガス	機械等の稼働			
景観	主要な眺望景観				×					施設の存在等により、最寄りからの眺望景観は変化することとなるが、既存施設に比較して眺望点から離れて計画施設は位置し、眺望景観への影響はほとんどないものと考えられることから、事後調査項目として選定しない。
人と自然との触れ合いの場の活動	主要な人と自然との触れ合いの活動の場				×					計画施設の存在等による人と自然との触れ合いの活動の場及び利用への直接的・間接的な影響はないと予測されたことから、事後調査項目として選定しない。
廃棄物等	廃棄物								×	本事業の実施に伴い発生する焼却灰等については、適切に埋立処分する計画とされていること、また、金属類等については再資源化を実施し、環境負荷の低減に努めていることから、事後調査項目としては選定しない。 工事に伴う副産物については、発生の抑制などの環境保全措置の実施や発生した副産物については、適切に処理・処分する計画とされていることから、事後調査項目として選定しない。
	建設工事に伴う副産物	×								
温室効果ガス等	二酸化炭素等					×				計画施設供用後には、既設規模の拡大に伴う焼却量の増加により二酸化炭素排出量は増加するが、燃料使用量が削減されること、また、新たに発電することにより、大幅に二酸化炭素排出量は削減されることから、事後調査項目として選定しない。

注) ○：環境影響評価を実施した項目のうち、事後調査を行う項目。

×：環境影響評価を実施した項目のうち、事後調査を行わない項目。

表 4-3 事後調査の項目に係る手法及びその選定理由

環境影響 評価項目	影響要因の 区分	調査項目	調査地点	調査の手法	評価の手法	手法の選定理由
大気質	「土地又は工作物の存在及び供用」 ・ 施設の稼働(排ガス)	硫黄酸化物、 浮遊粒子状物質 ((ばいじん(発生源))、 窒素酸化物、 塩化水素、水銀、 ダイオキシシン類	周辺地域の地点 No. 1 No. 2 発生源(排出ガス) 煙突出口	「調査時期」 計画施設の稼働が定常的に稼働している4季(1週間/季) 発生源について、周辺地域調査期間中に各1回(1回/季) 「調査方法」 大気汚染防止法、ダイオキシシン類対策特別措置法等に基づき調査結果により把握する。	事後調査結果について、環境影響評価における環境保全目標及び評価結果と比較する方法による。 排出ガスについて、予測条件とした排出諸元と比較する方法による。	1 調査の手法 周辺地域の大気質の状況及び発生源における排出ガスについて調査することにより、予測結果及び予測条件との整合性を確認できる。 廃棄物の搬出入の走行ルートで調査を行うことで、予測結果との整合性を確認できる。
		・ 廃棄物の搬出入 窒素酸化物、 浮遊粒子状物質	走行ルート2地点 No. 3 No. 4	「調査時期」 計画施設の稼働が定常的に稼働している時期(1週間) 「調査方法」 化学発光法及びβ線吸収法による連続測定	事後調査結果について、環境影響評価における環境保全目標及び評価結果と比較する方法による。	2 評価の手法 測定結果と環境影響評価における環境保全目標との整合性が確認できる。
騒音	「工事の実施」 ・ 工事用資材の搬出入 「土地又は工作物の存在及び供用」 ・ 廃棄物の搬出入	騒音レベル、 交通量	走行ルート2地点 No. 3 No. 4	「調査時期」 資材等運搬車両の走行が最大と考えられる時期(1日) 計画施設の稼働が定常的に稼働している時期(1日)	事後調査結果について、環境影響評価における環境保全目標及び評価結果と比較する方法による。	1 調査の手法 走行ルート及び施設稼働後の敷地境界での測定をすることで、予測結果との整合性を確認できる。
		騒音レベル ・ 施設の稼働(機械等の稼働)	敷地境界	「調査方法」 「騒音に係る環境基準について」 等に定める方法 カウンター計測等による方法	事後調査結果について、環境影響評価における環境保全目標との整合性が確認できる。	2 評価の手法 測定結果と環境影響評価における環境保全目標との整合性が確認できる。
振動	「工事の実施」 ・ 工事用資材の搬出入 「土地又は工作物の存在及び供用」 ・ 廃棄物の搬出入	振動レベル	走行ルート2地点 No. 3 No. 4	「調査時期」 資材等運搬車両の走行が最大と考えられる時期(1日) 計画施設の稼働が定常的に稼働している時期(1日)	事後調査結果について、環境影響評価における環境保全目標及び評価結果と比較する方法による。	1 調査の手法 資材等運搬車両及び廃棄物搬出入車両の走行ルートにおいて測定することで、予測結果との整合性を確認できる。
		臭気指数	2地点 敷地境界(ごみピットを挟んで風上と風下) 1箇所(発生源) 煙突排出口	「調査方法」 「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法」 に定める方法	事後調査結果について、環境影響評価における環境保全目標及び評価結果と比較する方法による。	2 評価の手法 測定結果と環境影響評価における環境保全目標との整合性が確認できる。
悪臭	「土地又は工作物の存在及び供用」 ・ 施設の稼働	臭気指数	2地点 敷地境界(ごみピットを挟んで風上と風下) 1箇所(発生源) 煙突排出口	「調査時期」 施設が定常的に稼働している時期(1日) 「調査方法」 「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法」 に定める方法	事後調査結果について、環境影響評価における環境保全目標及び評価結果と比較する方法による。	1 調査の手法 敷地境界及び排出源で測定を行うことで、予測結果又は予測条件との整合性を確認できる。
水質	「工事の実施」 ・ 造成等の施工による一時的な影響	浮遊物質(SS) * * 濁度測定による換算値	沈砂池放流点	「調査時期」 土工事等の濁水の発生が考えられる時期(降雨中または降雨後1回/日) 「調査方法」 簡易測定器による濁度を測定する。 水の濁りについては、予め対象事業実施区域の濁水を対象に、浮遊物質濃度と濁度との関係を把握する。	水の濁りにについては、予め沈砂池から放流される濁水について測定を行うことで、予測結果との整合性を確認できる。	1 調査の手法 沈砂池から放流される濁水について測定を行うことで、予測結果との整合性を確認できる。
						2 評価の手法 測定結果と環境影響評価における環境保全目標との整合性が確認できる。

第5章 事後調査計画に対する住民意見及び知事意見の概要と事業者の見解

第5章 事後調査計画に対する住民意見及び知事意見の概要と事業者の見解

1 住民意見についての事業者の見解

準備書に対する住民意見と、それに対する事業者の見解を表 5.1-1 に示す。

表 5.1-1 準備書に対する住民意見についての事業者の見解

区分	意 見	回 答
大型施設は環境汚染の拡大、拡散、並びに大型事故発生の恐れあり	大型化施設（煙突の高さ 45m）による、大気汚染調査の測定地（局）、測定回数の増設拡張をすべきでは。 特に海岸部特有を考慮し、風向、風速の現地通年観測の実施をすべきでは。	施設が稼働した後に、事後調査を計画しております。 事後調査は施設の稼働後の 1 年間とし、現地調査を実施しました垣生小学校と塩屋集会所の 2 箇所で行います。いずれの地点とも周辺には住居が多くある事、また、排ガスによる影響の予測結果では、計画施設と最大着地濃度出現地点との距離は約 1.5km であり、各調査地点と計画施設との距離は垣生小学校で約 1.8km、塩屋集会所で約 1.4km と同程度の距離であることから、妥当な地点と考えております。 なお、調査については、計画施設が稼働後の 1 年間に 4 回（各 7 日間）の調査を行います。垣生小学校の地点では、通年で二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質などの調査が行われておりますので、この観測結果を利用し、観測されていない、ダイオキシン類、水銀、塩化水素について現地調査を実施します。 また、風向、風速の通年調査の実施に際しては、最寄りの松山空港での通年観測が気象台によって行われており、計画地と同様に海岸部特有の状況を把握できると考えています。なお、計画施設の供用開始後、現地において風向風速の通年観測を実施します。

2 知事意見についての事業者の見解

準備書に対する知事意見と、それに対する事業者の見解を表 4.2.4-1 に示す。

表 5.2-1 準備書に対する知事意見についての事業者の見解

区分		意 見	回 答
個別事項	1 大気質	施設の稼働に伴う排ガスに係る事後調査は、煙突出口における 1 回の測定では不十分であるため、一般環境大気の通年（四季毎）調査及び同期間中における排ガス測定により実施すること。	ご指摘のとおり、施設の稼働に伴う排ガスに係る事後調査は、四季で一般環境大気質及び同期間中に排ガス測定を実施することとします。
	2 騒音及び振動	計画施設供用後の機械等の稼働に伴う騒音について、予測結果は環境保全目標を満足しているものの、現況騒音より 8～10dB の上昇が予測されていることから、事後調査項目に選定すること。	ご指摘のとおり、現況よりも騒音予測値が大きくなることを踏まえて、計画施設供用後に事後調査を実施することとします。
	3 水質	建設工事中に実施する沈砂池放流口における浮遊粒子状物質濃度に異常が認められた場合は、工事を中断し、原因究明及びその対策を十分講じるとともに、必要に応じて海生動物に対する影響を調査すること。	ご指摘のとおり、建設工事中に沈砂池からの放流水の浮遊粒子状物質濃度に異常が認められた場合には、工事を中断するとともにその原因を究明し新たな環境保全措置を講じます。

第6章 事後調査の結果

第6章 事後調査の結果

1 工事の実施

1.1 騒音

1) 調査の概要

調査の概要を表 6.1.1-1 に、調査地点を図 6.1.1-1 に示す。

調査は、工事中の資材等運搬車両の走行が最大と考えられる時期に、走行ルート2地点で実施した。

表 6.1.1-1 調査の概要

区分	調査項目	調査年月日	調査方法	調査地点
工事用資材の 搬出入	騒音レベル 交通量	令和4年7月14日 6:00 ～ 令和4年7月15日 6:00	「騒音に係る環境 基準について」等 に定める方法 カウンター計測等 による方法	走行ルート2地点 No.3 No.4



2) 調査結果

調査結果を表 6. 1. 1-2 に示す。

調査結果について、No. 4 の昼間の時間帯で環境基準を超過していた。一方、2 地点ともにすべての時間帯で要請限度を満足していた。

表 6. 1. 1-2 調査結果

単位：dB

区 分	時間区分	
	昼 間 (6時～22時)	夜 間 (22時～翌6時)
No. 3	70	65
環境基準 (特例)	70	65
要請限度 (特例)	75	70
No. 4	67	60
環境基準 (C地域)	65	60
要請限度 (c区域)	75	70

注： 1)適用している基準値等の区分については以下の通り

環境基準(特例)：幹線道路に近接する空間における特例

環境基準(C地域)：B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及び
C地域のうち車線を有する道路に面する地域

要請限度(特例)：幹線道路に近接する空間における特例

要請限度(c区域)：b区域のうち、2車線以上の車線を有する道路に面する地域及び
c区域の道路に面する地域

3) 評価

騒音の予測結果との比較を表 6.1.1-3 及び図 6.1.1-2 に、交通量の予測結果との比較を表 6.1.1-4 及び図 6.1.1-3 に示す。なお、比較対象は環境保全目標を設定した 6 時～22 時のデータとした。

騒音の調査結果は 2 地点ともに予測結果を上回っていた。

No. 3 について、断面交通量は予測交通量と比較してやや減少していた。台数の減少に伴い走行速度が速くなった影響により騒音が大きくなったと考えられる。

No. 4 について、断面交通量は環境影響評価の予測交通量と比較してやや増加していた。ほぼすべての時間帯で大型車の交通量は減少しており、小型車の交通量は増加していたため、小型車の交通量増加の影響により騒音が大きくなったと考えられる。

なお、工事中の環境保全対策として資材等運搬車両の搬入時期・時間の分散化を実施しており、2 地点ともに調査結果は環境保全目標を満足していた。

表 6. 1. 1-3(1/2) 騒音予測結果との比較(No. 3)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和4年度工事中調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L _{Aeq}	(b) - (a)	L _{Aeq}	(b) - (c)	L _{Aeq}	
6～7時	70.8	- 0.1	70.7	- 0.1	70.8	「騒音に係る環境基準」 幹線交通を担う道路に近 接する空間 70dB以下 (昼間：6時～22時) 「騒音規制地域における 自動車交通騒音の大きさ の限度」 幹線交通を担う道路に近 接する空間 75dB以下 (昼間：6時～22時)
7～8時	67.3	+ 2.7	70.0	+ 2.6	67.4	
8～9時	68.4	+ 2.0	70.4	+ 1.9	68.5	
9～10時	69.2	+ 1.8	71.0	+ 1.8	69.2	
10～11時	69.1	+ 1.4	70.5	+ 1.3	69.2	
11～12時	69.7	+ 1.2	70.9	+ 1.1	69.8	
12～13時	69.5	+ 1.6	71.1	+ 1.6	69.5	
13～14時	69.8	+ 1.3	71.1	+ 1.2	69.9	
14～15時	69.3	+ 2.2	71.5	+ 2.2	69.3	
15～16時	69.4	+ 1.1	70.5	+ 1.0	69.5	
16～17時	68.3	+ 2.0	70.3	+ 1.9	68.4	
17～18時	66.6	+ 2.8	69.4	+ 2.8	66.6	
18～19時	69.1	+ 0.8	69.9	+ 0.8	69.1	
19～20時	69.2	+ 1.0	70.2	+ 1.0	69.2	
20～21時	67.9	- 0.3	67.6	- 0.3	67.9	
21～22時	67.8	- 2.9	64.9	- 2.9	67.8	
6～22時平均	69.0	+ 1.3	70.2	+ 1.2	69.0	目標との適否：適合

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 網掛けは工事関係車両が走行していた時間帯を示す。

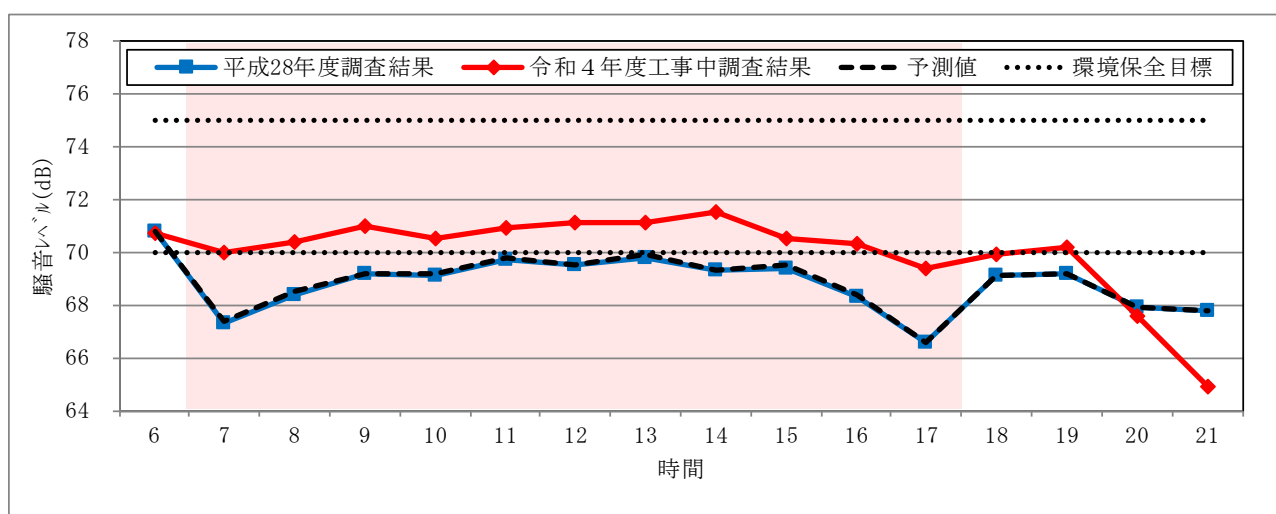


図 6. 1. 1-2(1/2) 予測結果との比較(No. 3)

表 6. 1. 1-3 (2/2) 騒音予測結果との比較 (No. 4)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和4年度工事中調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L _{Aeq}	(b) - (a)	L _{Aeq}	(b) - (c)	L _{Aeq}	
6～7時	63.7	+ 0.4	64.1	+ 0.4	63.7	「騒音に係る環境基準」 C地域のうち2車線以上の 車線を有する道路に面 する地域 65dB以下 (昼間：6時～22時)
7～8時	67.2	+ 1.0	68.2	+ 0.9	67.3	
8～9時	66.8	+ 1.8	68.6	+ 1.6	67.0	
9～10時	65.9	+ 1.4	67.3	+ 1.2	66.1	
10～11時	65.8	+ 1.4	67.2	+ 1.2	66.0	
11～12時	65.7	+ 2.5	68.2	+ 2.3	65.9	
12～13時	64.3	+ 2.5	66.8	+ 2.5	64.3	
13～14時	65.5	+ 2.3	67.8	+ 2.1	65.7	「騒音規制地域における 自動車交通騒音の大きさ の限度」 b区域のうち、2車線以上の 車線を有する道路に面 する地域及びc区域の道 路に面する地域 75dB以下 (昼間：6時～22時)
14～15時	65.8	+ 1.7	67.5	+ 1.5	66.0	
15～16時	65.0	+ 1.9	66.9	+ 1.7	65.2	
16～17時	65.3	+ 1.3	66.6	+ 1.1	65.5	
17～18時	65.6	+ 0.7	66.3	+ 0.6	65.7	
18～19時	63.8	+ 0.8	64.6	+ 0.7	63.9	
19～20時	60.8	+ 2.6	63.4	+ 2.6	60.8	
20～21時	58.6	+ 2.5	61.1	+ 2.5	58.6	
21～22時	57.2	+ 1.9	59.1	+ 1.9	57.2	
6～22時平均	64.8	+ 1.6	66.5	+ 1.5	65.0	目標との適否：適合

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価における調査結果。

2) 網掛けは工事関係車両が走行していた時間帯を示す。

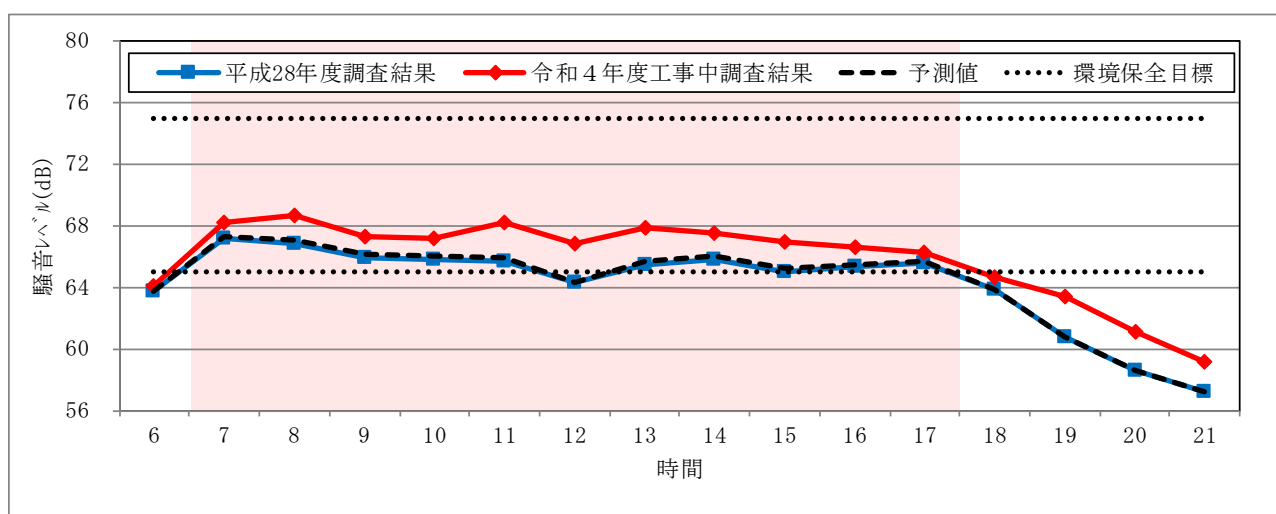


図 6. 1. 1-2 (2/2) 予測結果との比較 (No. 4)

表 6.1.1-4 (1/2) 交通量予測結果との比較 (No. 3)

単位：台/1時間

方向・車種 調査時刻	(1) 予測交通量					(2) 工事中交通量					(2) - (1)			
	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量			
	大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計
6:00 ~ 7:00	147	592	59	798	19.9	99	592	42	733	14.3	-48	0	-17	-65
7:00 ~ 8:00	165	930	92	1,187	15.1	149	1,006	78	1,233	12.9	-16	76	-14	46
8:00 ~ 9:00	242	849	101	1,192	22.2	239	860	46	1,145	21.7	-3	11	-55	-47
9:00 ~ 10:00	301	878	28	1,207	25.5	260	830	28	1,118	23.9	-41	-48	0	-89
10:00 ~ 11:00	296	932	30	1,258	24.1	274	860	25	1,159	24.2	-22	-72	-5	-99
11:00 ~ 12:00	266	945	26	1,237	22.0	231	845	31	1,107	21.5	-35	-100	5	-130
12:00 ~ 13:00	209	881	36	1,126	19.2	184	886	33	1,103	17.2	-25	5	-3	-23
13:00 ~ 14:00	283	929	28	1,240	23.3	220	860	23	1,103	20.4	-63	-69	-5	-137
14:00 ~ 15:00	291	900	41	1,232	24.4	249	907	17	1,173	21.5	-42	7	-24	-59
15:00 ~ 16:00	236	982	28	1,246	19.4	171	907	44	1,122	15.9	-65	-75	16	-124
16:00 ~ 17:00	193	1,042	58	1,293	15.6	143	1,048	31	1,222	12.0	-50	6	-27	-71
17:00 ~ 18:00	130	1,297	88	1,515	9.1	70	1,261	95	1,426	5.3	-60	-36	7	-89
18:00 ~ 19:00	88	1,111	77	1,276	7.3	56	1,085	51	1,192	4.9	-32	-26	-26	-84
19:00 ~ 20:00	67	834	62	963	7.4	30	779	41	850	3.7	-37	-55	-21	-113
20:00 ~ 21:00	34	543	40	617	5.9	28	419	27	474	6.3	-6	-124	-13	-143
21:00 ~ 22:00	22	432	28	482	4.8	44	706	37	787	5.9	22	274	9	305
合計	2,970	14,077	822	17,869	17.4	2,447	13,851	649	16,947	15.0	-523	-226	-173	-922

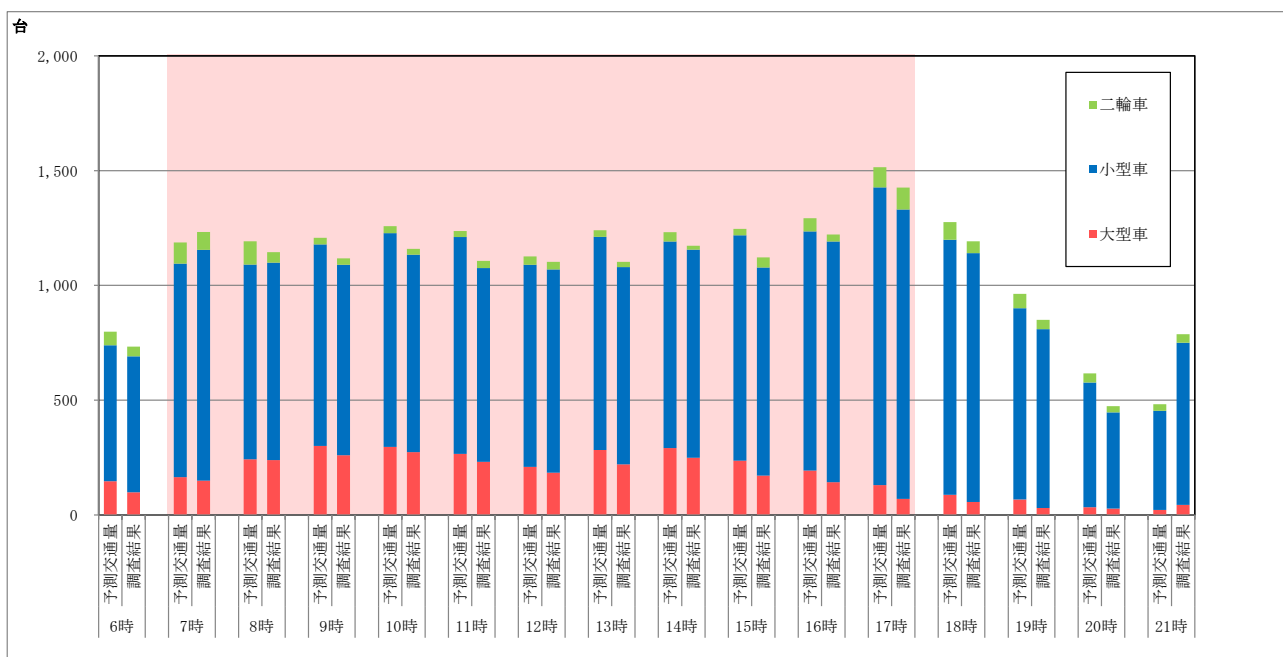


図 6.1.1-3 (1/2) 交通量予測結果の比較 (No. 3)

表 6.1.1-4 (2/2) 交通量予測結果との比較 (No. 4)

単位：台/1時間

方向・車種 調査時刻	(1) 予測交通量					(2) 工事中交通量					(2) - (1)			
	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量			
	大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計
6:00 ~ 7:00	46	117	9	172	28.2	40	132	3	175	23.3	-6	15	-6	3
7:00 ~ 8:00	63	427	48	538	12.9	58	423	39	520	12.1	-5	-4	-9	-18
8:00 ~ 9:00	117	279	11	407	29.5	102	372	23	497	21.5	-15	93	12	90
9:00 ~ 10:00	116	140	6	262	45.3	114	221	2	337	34.0	-2	81	-4	75
10:00 ~ 11:00	114	151	6	271	43.0	118	177	8	303	40.0	4	26	2	32
11:00 ~ 12:00	94	194	6	294	32.6	124	203	4	331	37.9	30	9	-2	37
12:00 ~ 13:00	83	211	15	309	28.2	67	279	11	357	19.4	-16	68	-4	48
13:00 ~ 14:00	142	170	6	318	45.5	131	200	5	336	39.6	-11	30	-1	18
14:00 ~ 15:00	130	187	9	326	41.0	96	246	6	348	28.1	-34	59	-3	22
15:00 ~ 16:00	103	196	5	304	34.4	58	254	8	320	18.6	-45	58	3	16
16:00 ~ 17:00	98	241	12	351	28.9	77	262	6	345	22.7	-21	21	-6	-6
17:00 ~ 18:00	33	364	34	431	8.3	23	456	40	519	4.8	-10	92	6	88
18:00 ~ 19:00	21	242	18	281	8.0	10	189	12	211	5.0	-11	-53	-6	-70
19:00 ~ 20:00	7	106	10	123	6.2	3	114	12	129	2.6	-4	8	2	6
20:00 ~ 21:00	3	74	3	80	3.9	8	48	2	58	14.3	5	-26	-1	-22
21:00 ~ 22:00	3	56	4	63	5.1	4	39	1	44	9.3	1	-17	-3	-19
合計	1,173	3,155	202	4,530	27.1	1,033	3,615	182	4,830	22.2	-140	460	-20	300

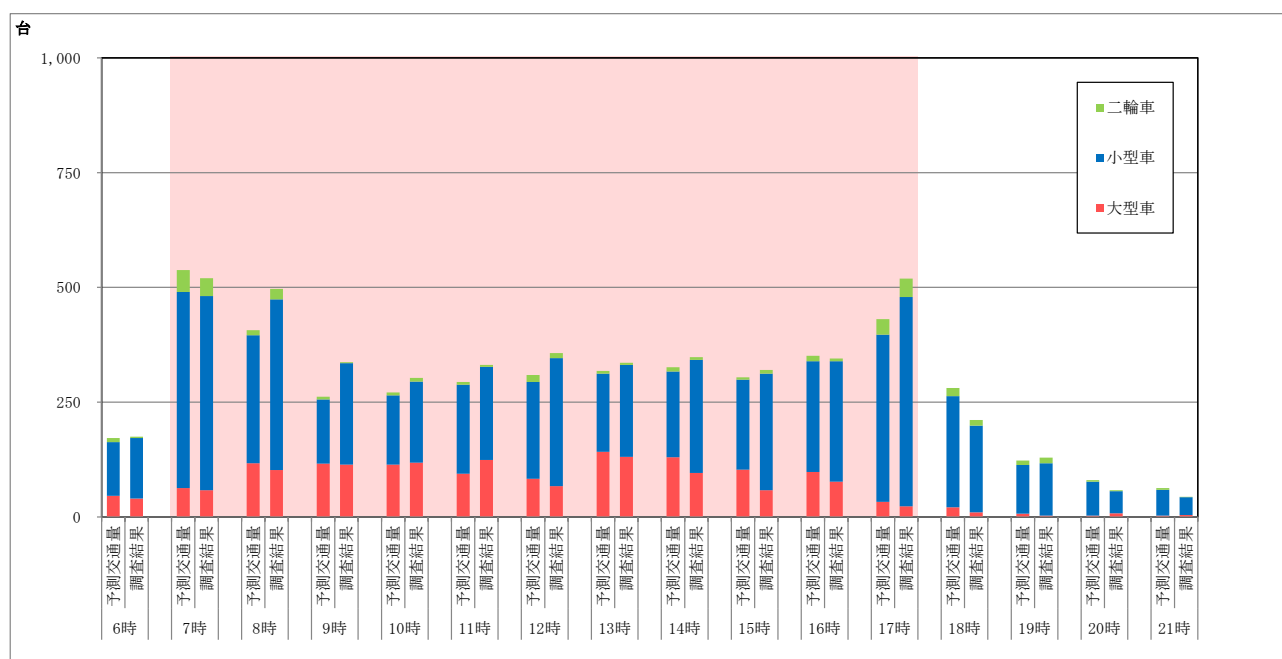


図 6.1.1-3 (2/2) 交通量予測結果の比較 (No. 4)

1.2 振動

1) 調査の概要

調査の概要を表 6.1.2-1 に、調査地点を図 6.1.1-1 (p6-2 参照) に示す。

調査は、資材等運搬車両の走行が最大と考えられる時期に、走行ルート 2 地点で実施した。

表 6.1.2-1 調査の概要

区分	調査項目	調査年月日	調査方法	調査地点
工事用資材の 搬出入	振動レベル	令和 4 年 7 月 14 日 6:00 ～ 令和 4 年 7 月 15 日 6:00	「振動規制法施行 規則」別表第二に 定める方法	走行ルート 2 地点 No. 3 No. 4

2) 調査結果

調査結果を表 6.1.2-2 に示す。

調査結果について、2 地点とも要請限度を満足していた。

表 6.1.2-2 調査結果

単位：dB

時間区分 区 分	昼 間 (8時～19時)	夜 間 (19時～翌8時)
No. 3	42	34
No. 4	43	33
要請限度	70	65

注1) 時間率振動レベルの各観測時間値及び平均値は、算術平均値である。なお、時間区分の全ての時間で「<30」の場合は「<30」とし、一部の時間帯が「<30」の場合は「<30」を30dBとして算出した。

注2) 要請限度は、振動規制法の指定区域内における道路交通振動の要請限度における「第2種区域」の値を示した。

3) 評価

予測結果との比較を表 6.1.2-3 及び図 6.1.2-1 に示す。

No. 3 について、予測結果を下回っていた。

No. 4 について、予測結果を上回っていた。この要因について、環境影響評価の調査が実施された際、南西側は空き地であったが、事後調査実施時には運送会社の駐車場として整備されている。多数の大型車が駐車されていることが確認されることから、駐車場を出入りする車両の影響によって朝の時間帯における振動が高くなっている。

なお、工事中の環境保全対策として資材等運搬車両の搬入時期・時間の分散化を実施しており、2 地点ともに調査結果は環境保全目標を満足していた。

表 6.1.2-3(1/2) 予測結果との比較(No. 3)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和4年度工事中調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L ₁₀	(b) - (a)	L ₁₀	(b) - (c)	L ₁₀	
6～7時	43	- 2	41	- 2	43	「道路交通振動の限度 (要請限度)」第2種区域 昼間(8時～19時) 70dB以下 夜間(19時～8時) 65dB以下
7～8時	39	0	39	0	39	
8～9時	44	- 3	41	- 3	44	
9～10時	45	0	45	0	45	
10～11時	44	0	44	0	44	
11～12時	44	+ 1	45	+ 1	44	
12～13時	43	+ 2	45	+ 2	43	
13～14時	44	+ 1	45	+ 1	44	
14～15時	44	+ 1	45	+ 1	44	
15～16時	44	- 1	43	- 1	44	
16～17時	41	- 1	40	- 1	41	
17～18時	37	0	37	0	37	
18～19時	38	- 1	37	- 1	38	
19～20時	37	- 3	34	- 3	37	
20～21時	34	+ 2	36	+ 2	34	
21～22時	33	- 2	31	- 2	33	
22～23時	<30	0	<30	0	<30	
23～24時	<30	0	<30	0	<30	
24～1時	<30	0	<30	0	<30	
1～2時	<30	0	<30	0	<30	
2～3時	<30	+ 1	31	+ 1	<30	
3～4時	30	+ 2	32	+ 2	30	
4～5時	37	+ 1	38	+ 1	37	
5～6時	39	0	39	0	39	
昼間(8～19時)	43	- 1	42	- 1	43	目標との適否：適合
夜間(19～8時)	34	0	34	0	34	

注：1)平成28年度調査結果は、環境影響評価の調査結果。

注：2)振動レベルの計算について、「<30」を「30」として取扱った。

注：3)網掛けは工事関係車両が走行していた時間帯を示す。

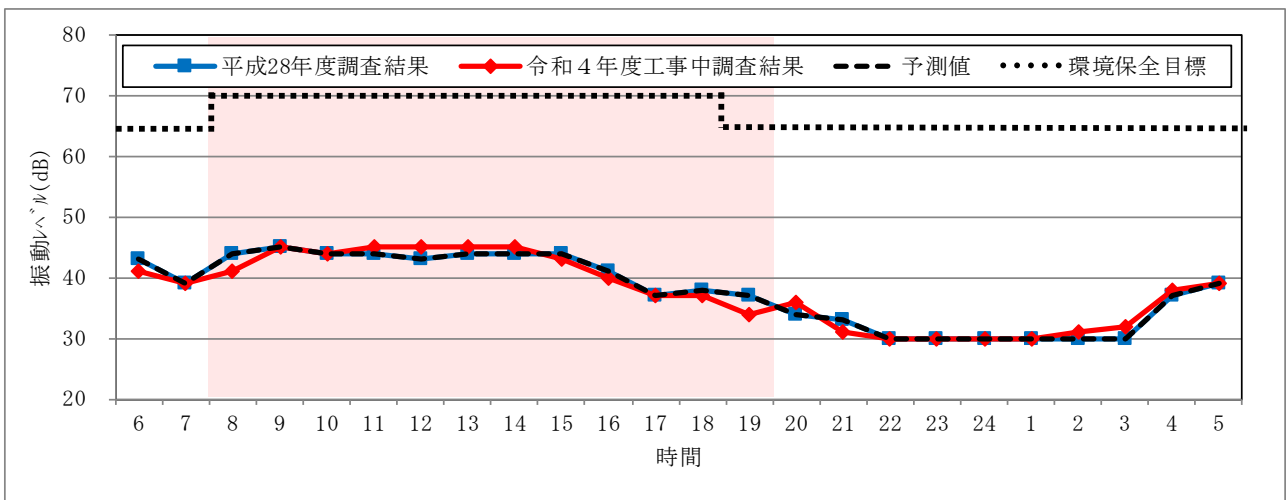


図 6.1.2-1(1/2) 予測結果との比較(No. 3)

表 6. 1. 2-3 (2/2) 予測結果との比較 (No. 4)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和4年度工事中調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L ₁₀	(b) - (a)		(b) - (c)	L ₁₀	
6～7時	<30	+ 9	39	+ 9	<30	「道路交通振動の限度 (要請限度)」第2種区域 昼間(8時～19時) 70dB以下 夜間(19時～8時) 65dB以下
7～8時	30	+ 14	44	+ 14	30	
8～9時	32	+ 14	46	+ 14	32	
9～10時	40	+ 6	46	+ 6	40	
10～11時	44	+ 2	46	+ 2	44	
11～12時	43	+ 4	47	+ 4	43	
12～13時	41	+ 2	43	+ 2	41	
13～14時	43	+ 4	47	+ 4	43	
14～15時	43	+ 3	46	+ 3	43	
15～16時	43	+ 1	44	+ 1	43	
16～17時	41	+ 2	43	+ 2	41	
17～18時	39	- 3	36	- 3	39	
18～19時	35	- 1	34	- 1	35	
19～20時	30	0	<30	0	30	
20～21時	<30	+ 1	31	+ 1	<30	
21～22時	<30	0	<30	0	<30	
22～23時	<30	0	<30	0	<30	
23～24時	<30	0	<30	0	<30	
24～1時	<30	0	<30	0	<30	
1～2時	<30	+ 1	31	+ 1	<30	
2～3時	<30	+ 1	31	+ 1	<30	
3～4時	<30	+ 1	31	+ 1	<30	
4～5時	32	+ 5	37	+ 5	32	
5～6時	36	+ 1	37	+ 1	36	
昼間(8～19時)	40	+ 3	43	+ 3	40	目標との適否：適合
夜間(19～翌8時)	31	+ 2	33	+ 2	31	

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価の調査結果。

注：2) 振動レベルの計算について、「<30」を「30」として取扱った。

注：3) 網掛けは工事関係車両が走行していた時間帯を示す。

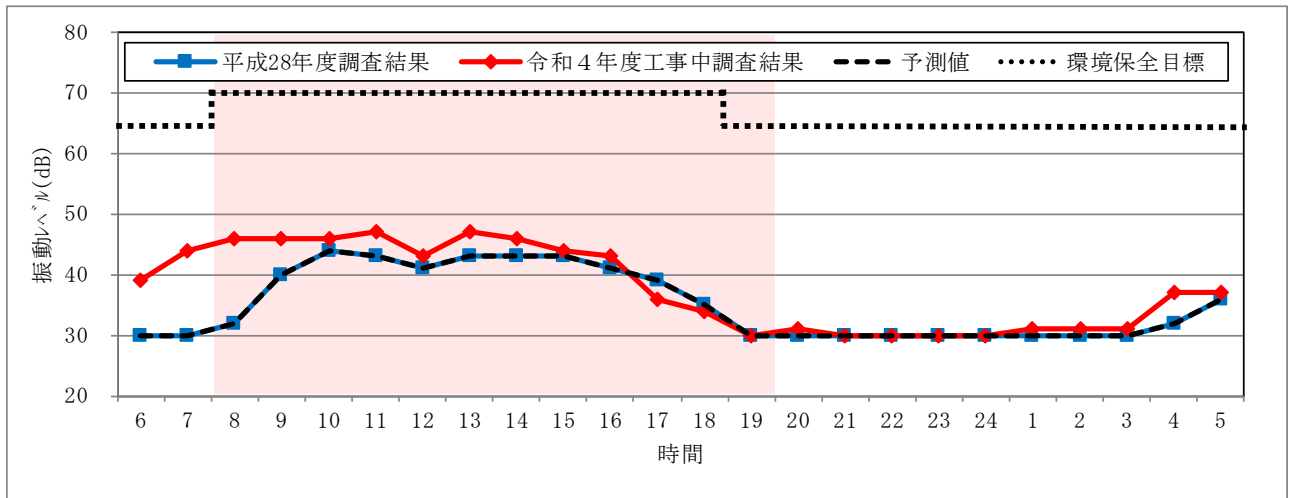


図 6. 1. 2-1 (2/2) 予測結果との比較 (No. 4)

1.3 水質

1) 調査の概要

調査の概要を表 6.1.3-1 に、調査地点を図 6.1.3-1 に、並びに沈砂池設置状況を写真 6.1.3-1 に、濁水放流状況を写真 6.1.3-2 に示す。

調査は、土工事等の濁水の発生が考えられる時期の降雨中もしくは降雨後に実施した。

表 6.1.3-1 調査の概要

区分	調査項目	調査年月日	調査方法	調査地点
造成等の施工による一時的な影響	浮遊物質 (SS)	降雨中もしくは降雨後	簡易測定器による濁度を測定する。	敷地内 雨水排水処理槽



図 6.1.3-1 水質調査地点



写真 6. 1. 3-1 沈砂池設置状況



写真 6. 1. 3-2 濁水放流状況

2) 調査結果

調査結果を表 6. 1. 3-2 に示す。

すべての測定結果は参考として示した水質汚濁防止法に基づく排出基準を下回っていた。

なお、令和 4 年 3 月 31 日から 6 月 14 日までの期間については目視による測定を実施した。測定状況を写真 6. 1. 3-3 に、ポータブル SS 計を写真 6. 1. 3-4 に示す。目視による測定は浮遊物質量 200mg/L 相当に調整した試料と採取した濁水を比較して実施した。なお、浮遊物質量 200mg/L の試料は調査を実施した雨水処理槽に残留した土砂を採取して調整した。

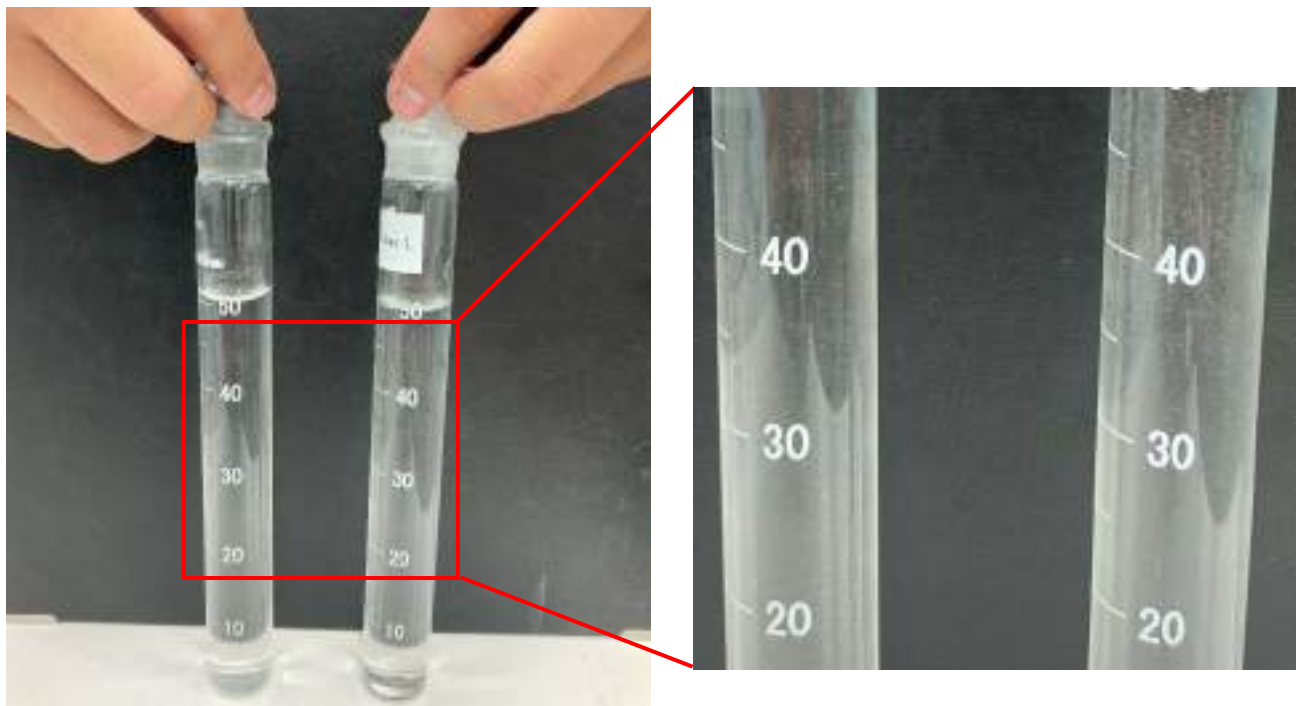
表 6. 1. 3-2 調査結果

単位：mg/L

測定日		測定方法	測定結果	排水基準 ¹⁾ (参考)	
				合否	
令和4年	3月31日	目視確認	-	合	200
	4月14日		-	合	
	4月21日		-	合	
	4月26日		-	合	
	4月29日		-	合	
	5月11日		-	合	
	5月12日		-	合	
	5月13日		-	合	
	5月26日		-	合	
	6月14日		-	合	
	6月25日	ポータブルSS計	16	合	
	7月4日		23	合	
	7月5日		29	合	
	8月24日		144	合	
	9月2日		31	合	

注：1) 水質汚濁防止法に基づく排出基準を参考として示す。

2) 令和4年6月14日までの期間は半導体供給不足の影響によってポータブルSS計の入手が不可能であったため、目視確認を実施した。



左：測定試料

右：浮遊物質質量 200mg/L
相当に調整した試料

写真 6. 1. 3-3 測定状況（目視確認）



写真 6. 1. 3-4 ポータブル SS 計

3) 評価

工事の実施時には掘削面をブルーシートで被覆するなどの措置を実施しており、濁水の測定結果はすべて 200mg/L 以下となっていた。

よって、工事の実施による水質への影響は低減されていた。

2 土地又は工作物の存在及び供用

2.1 大気質

1) 調査の概要

調査の概要を表 6.2.1-1 に、調査地点を図 6.2.1-1 に示す。

調査は、施設が平常稼働している時期に実施した。

なお、No.1 における二酸化硫黄、浮遊粒子状物質及び二酸化窒素の測定結果について、調査地点の至近にある一般環境大気測定局の垣生小学校測定局における測定結果をとりまとめた。

表 6.2.1-1 調査の概要

区分	調査項目		調査年月日	調査方法	調査地点
施設の稼働	環境大気質	二酸化硫黄、 浮遊粒子状物質、 二酸化窒素、 塩化水素、 水銀、 ダイオキシン類	令和5年7月12日 ～7月18日 令和5年10月20日 ～10月26日 令和5年12月14日 ～12月20日 令和6年5月21日 ～5月27日	紫外線蛍光法、 化学発光法、 β 線吸収法、 イオンクロマト グラフ法、 ダイオキシン類対 策特別措置法等に 基づく調査結果	周辺の地点 No.1 No.2
	排出ガス	硫黄酸化物、 ばいじん、 窒素酸化物、 塩化水素、 水銀、 ダイオキシン類	令和5年7月12日 令和5年10月24日 令和5年12月16日 令和6年5月21日	大気汚染防止法、 ダイオキシン類対 策特別措置法等に 基づく調査結果	発生源(排ガス) 煙突出口
搬出入 廃棄物の	窒素酸化物、 浮遊粒子状物質		令和5年4月25日 ～5月1日	化学発光法及び β 線吸収法による 連続測定	走行ルート2地点 No.3 No.4



2) 調査結果

(1) 施設の稼働

環境大気質の調査結果を表 6. 2. 1-2 に、排出ガスの調査結果を表 6. 2. 1-3 に示す。

環境大気質について、2 地点ともにすべての項目で環境基準等を満足していた。

排出ガスについて、すべての項目で自主基準値を満足していた。

表6. 2. 1-2 (1/6) 調査結果 (二酸化硫黄)

調査地点	調査項目	調査結果					環境基準 ¹⁾	
		令和5年度			令和6年度	年間		
		夏季	秋季	冬季	春季	年間	適合：○ 不適合：×	
No. 1	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.002	0.001	0.002	0.003	0.002	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.020	0.012	0.019	0.052	0.052	○	0.1以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.004	0.003	0.004	0.006	0.006	○	0.04以下
	1 時間濃度が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0	0	0	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0	0	0	0	—	—
No. 2	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.001	0.002	0.003	0.003	0.002	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.011	0.022	0.017	0.023	0.023	○	0.1以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.002	0.003	0.006	0.005	0.006	○	0.04以下
	1 時間濃度が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0	0	0	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0	0	0	0	—	—

注：1) 「大気の汚染に係る環境基準について」に基づく。

表6. 2. 1-2 (2/6) 調査結果 (二酸化窒素)

調査地点	調査項目	調査結果					環境基準 ¹⁾	
		令和5年度			令和6年度	年間		
		夏季	秋季	冬季	春季	年間	適合：○ 不適合：×	
No. 1	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.007	0.005	0.015	0.012	0.010	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.026	0.012	0.050	0.041	0.050	—	—
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.012	0.007	0.028	0.019	0.028	○	0.04～ 0.06以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0	0	0	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0	0	0	0	—	—
No. 2	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.005	0.004	0.007	0.009	0.006	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.038	0.013	0.028	0.037	0.038	—	—
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.009	0.005	0.017	0.016	0.017	○	0.04～ 0.06以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0	0	0	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0	0	0	0	—	—

注：1) 「二酸化窒素に係る環境基準について」に基づく。

表 6.2.1-2 (3/6) 調査結果 (浮遊粒子状物質)

調査地点	調査項目	調査結果					環境基準 ¹⁾	
		令和5年度			令和6年度	年間		
		夏季	秋季	冬季	春季	年間	適合：○ 不適合：×	
No. 1	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.009	0.009	0.006	0.016	0.010	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.042	0.042	0.040	0.060	0.060	○	0.20以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.018	0.011	0.014	0.023	0.023	○	0.10以下
	1 時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	0	0	0	—	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	0	0	0	—	—	—
No. 2	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.016	0.013	0.009	0.022	0.015	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.058	0.029	0.032	0.039	0.058	○	0.20以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.024	0.016	0.019	0.034	0.034	○	0.10以下
	1 時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	0	0	0	—	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	0	0	0	—	—	—

注：1) 「大気の汚染に係る環境基準について」に基づく。

表6.2.1-2 (4/6) 調査結果 (塩化水素)

単位：ppm

調査地点	調査結果 ¹⁾					目標値 ²⁾	
	令和5年度			令和6年度	年間		
	夏季	秋季	冬季	春季	年間	適合：○ 不適合：×	
No. 1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	0.02
No. 2	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	0.02

注：1) 各季の調査結果は7日間の最大値を、年間の調査結果は平均値を示す。

2) 環境庁大気保全局長通達(昭和52年環大規第136号)に基づく。

表6.2.1-2 (5/6) 調査結果 (水銀)

単位：ng/m³

調査地点	調査結果 ¹⁾					指針値 ²⁾	
	令和5年度			令和6年度	年間		
	夏季	秋季	冬季	春季	年間	適合：○ 不適合：×	
No. 1	4.3	3.2	3.4	3.7	3.7	○	40
No. 2	3.8	1.3	1.8	3.4	2.6	○	40

注：1) 各季の調査結果は7日間の最大値を、年間の調査結果は平均値を示す。

2) 今後の有害大気汚染物質対策のあり方について(第7次答申：平成15年7月31日)に基づく。

表6.2.1-2 (6/6) 調査結果 (ダイオキシン類)

単位：pg-TEQ/m³

調査地点	調査結果 ¹⁾					環境基準 ²⁾	
	令和5年度			令和6年度	年間		
	夏季	秋季	冬季	春季	年間	適合：○ 不適合：×	
No. 1	0.13	0.028	0.014	0.093	0.066	○	0.6
No. 2	0.13	0.015	0.023	0.067	0.059	○	0.6

注：1) 各季の調査結果は7日間の測定結果を、年間の調査結果は年平均値を示す。

2) ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境基準(環境庁告示第68号平成11年12月27日)に基づく。

表 6. 2. 1-3 排出ガス測定結果

項 目			自主 基準値	令和5年度			令和6年度
				7月12日	10月24日	12月16日	5月21日
排 出 ガ ス 量	湿り	(m ³ N/h)	－	30,700	30,400	17,400	20,600
	乾き	(m ³ N/h)	－	24,700	27,400	15,400	17,900
排出ガス温度		(℃)	－	175	173	172	183
O ₂ 濃度		(%)	－	7.8	9.8	8.5	7.4
排 出 ガ ス 濃 度	ばいじん	実測濃度	(g/m ³ N)	－	<0.001	<0.001	<0.001
		O ₂ 12%換算値	(g/m ³ N)	0.04	<0.001	<0.001	<0.001
	硫黄酸化物	実測濃度	(volppm)	200	11	0.9	4.0
		K 値	－	2.4	<0.01	<0.01	0.03
	窒素酸化物	実測濃度	(volppm)	－	120	84	100
		O ₂ 12%換算値		250	80	78	66
	塩化水素	実測濃度	(volppm)	－	94	58	21
			(mg/m ³ N)	－	150	94	34
		O ₂ 12%換算値	(volppm)	－	73	45	13
			(mg/m ³ N)	151	110	74	21
	一酸化炭素		(ppm)	100	15	5	4
	全水銀	実測濃度	(μg/m ³ N)	30 ¹⁾	1.2	(0.5)	(0.3)
		O ₂ 12%換算値			(0.7)	(0.4)	検出されず ²⁾
	粒子状水銀	実測濃度			検出されず ²⁾	検出されず ²⁾	検出されず ²⁾
		O ₂ 12%換算値			検出されず ²⁾	検出されず ²⁾	検出されず ²⁾
	ガス状水銀	実測濃度			1.2	(0.5)	(0.3)
		O ₂ 12%換算値			(0.7)	(0.4)	検出されず ²⁾
	ダイオキシン類		(ng-TEQ/m ³ N)	0.1	0.087	0.023	0.012
							0.047

注：1) 全水銀の自主基準値は、ガス状と粒子状の合計の値に適用する。

注：2) 全水銀の測定値は、定量下限未満かつ検出下限以上の場合、()内に測定値を示した。

(2) 廃棄物の搬出入

調査結果を表 6. 2. 1-4 に示す。

調査結果より、2 地点ともに環境基準を満足していた。

表6. 2. 1-4 (1/2) 調査結果（二酸化窒素）

調査地点	調査項目	調査結果 令和5年度	環境基準 ¹⁾	
			適合：○ 不適合：×	
No. 3	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.012	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.031	○	0.04～ 0.06以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.018	○	0.04以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	—
No. 4	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.013	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.059	○	0.04～ 0.06以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.024	○	0.04以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	—

注：1) 「二酸化窒素に係る環境基準について」に基づく。

表6. 2. 1-4 (2/2) 調査結果（浮遊粒子状物質）

調査地点	調査項目	調査結果 令和5年度	環境基準 ¹⁾	
			適合：○ 不適合：×	
No. 3	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.020	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.040	○	0.2以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.027	○	0.10以下
	1 時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	—	—
No. 4	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.018	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.058	○	0.2以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.032	○	0.10以下
	1 時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	—	—

注：1) 「大気汚染に係る環境基準について」に基づく。

3) 評価

(1) 施設の稼働

環境大気質について、環境影響評価における調査結果及び予測結果、環境保全目標との比較を表 6.2.1-5 に、各季の調査期間における風配図を図 6.2.1-2 に示す。

No.1 について、二酸化窒素の日平均最高値、水銀の日最高値及びダイオキシン類の年平均値が予測結果よりも高くなっていた。

No.2 について、水銀の日最高値及びダイオキシン類の年平均値が予測結果よりも高くなっていた。

風配図について、冬季に No.2 の方向に吹く風が確認できるが、冬季調査の結果に顕著な変化は見られなかった (p6-18~19, 表 6.2.1-2 参照)。

なお、新施設では適切な運転管理・焼却管理を実施しており、調査結果はすべての項目で環境保全目標を満足していた。

表 6.2.1-5 (1/6) 予測結果及び環境保全目標との比較 (二酸化硫黄)

調査地点	調査項目	環境影響評価		調査結果	環境保全目標 ²⁾	
		平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測濃度		適合：○ 不適合：×	
No.1	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.008	0.008	0.002	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.056	0.095	0.052	○	0.1以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.018	0.021	0.006	○	0.04以下
	1 時間濃度が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
No.2	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.006	0.006	0.002	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.047	0.095	0.023	○	0.1以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.016	0.016	0.006	○	0.04以下
	1 時間濃度が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—

注：1) 平成28年度平均値は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 「大気の汚染に係る環境基準について」に基づく。

表 6.2.1-5 (2/6) 予測結果及び環境保全目標との比較（二酸化窒素）

調査地点	調査項目	環境影響評価		調査結果	環境保全目標 ²⁾	
		平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測濃度		適合：○ 不適合：×	
No. 1	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.011	0.010	0.010	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.042	0.090	0.050	○	0.1以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.016	0.022	0.028	○	0.04以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
No. 2	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.012	0.011	0.006	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.039	0.090	0.038	○	0.1以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.020	0.023	0.017	○	0.04以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—

注：1) 平成28年度平均値は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 「二酸化窒素に係る環境基準について」に基づく。

表 6.2.1-5 (3/6) 予測結果及び環境保全目標との比較（浮遊粒子状物質）

調査地点	調査項目	環境影響評価		調査結果	環境保全目標 ²⁾	
		平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測濃度		適合：○ 不適合：×	
No. 1	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.019	0.019	0.010	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.079	0.087	0.060	○	0.20以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.040	0.046	0.023	○	0.10以下
	1 時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
No. 2	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.019	0.019	0.015	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.062	0.087	0.058	○	0.20以下
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.035	0.046	0.034	○	0.10以下
	1 時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	—	0	—	—

注：1) 平成28年度平均値は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 「大気汚染に係る環境基準について」に基づく。

表 6.2.1-5 (4/6) 予測結果及び環境保全目標との比較（塩化水素）

単位：ppm

調査地点	環境影響評価		調査結果	環境保全目標 ³⁾	
	平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測結果 ²⁾		適合：○ 不適合：×	
No. 1	<0.002	0.020	<0.002	○	0.02
No. 2	<0.002	0.020	<0.002	○	0.02

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 予測結果は、評価書記載の近隣施設、近隣住居における1時間値の予測結果の最高値。

注：3) 環境庁大気保全局長通達(昭和52年環大規第136号)に基づく。

表 6.2.1-5 (5/6) 予測結果及び環境保全目標との比較（水銀）

単位：ng/m³

調査地点	環境影響評価		調査結果	環境保全目標 ³⁾	
	平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測結果 ²⁾		適合：○ 不適合：×	
No. 1	2.0	2.0	3.7	○	40
No. 2	2.0	2.0	2.6	○	40

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 指針値、今後の有害大気汚染物質対策のあり方について(第7次答申：平成15年7月31日)に基づく。

表 6.2.1-5 (6/6) 予測結果及び環境保全目標との比較（ダイオキシン類）

単位：pg-TEQ/m³

調査地点	環境影響評価		調査結果 ³⁾	環境保全目標 ⁴⁾	
	平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測結果 ²⁾		適合：○ 不適合：×	
No. 1	0.024	0.024	0.066	○	0.6
No. 2	0.024	0.024	0.059	○	0.6

注：1) 平成28年度調査結果は、評価書記載の調査結果の平均値。

注：2) 予測結果は年平均値。

注：3) 調査結果は年平均値。

注：4) ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準（環境庁告示第68号平成11年12月27日）に基づく。

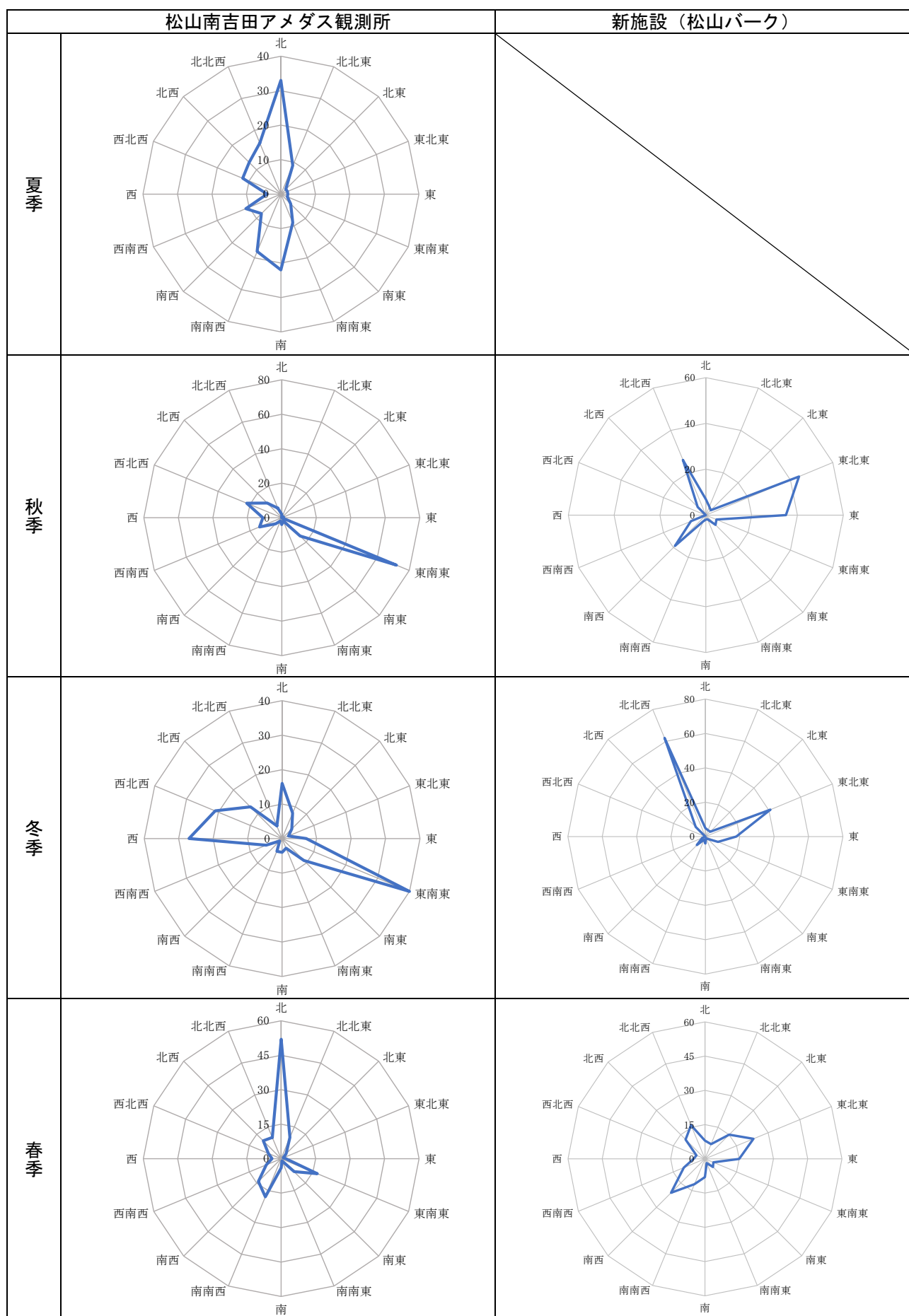


図 6.2.1-2 風配図（各季の調査実施時）

(2) 廃棄物の搬出入

調査結果について、環境影響評価における調査結果及び予測結果、環境保全目標との比較を表 6.2.1-6 に示す。

No.3 について、調査結果はすべて予測結果を下回っていた。

No.4 について、二酸化窒素の期間内平均濃度が予測結果を上回っていた。

なお、廃棄物運搬車両は低公害車の導入などの措置を実施しており、大気質の調査結果は環境保全目標を満足していた。

表 6.2.1-6 (1/2) 予測結果及び環境保全目標との比較（二酸化窒素）

調査地点	調査項目	環境影響評価		調査結果	環境保全目標 ²⁾	
		平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測濃度		適合：○ 不適合：×	
No.3	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.013	0.013	0.012	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.050	—	0.031	—	—
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.029	0.027	0.018	○	0.04以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
No.4	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.012	0.012	0.013	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	0.043	—	0.059	—	—
	日 平 均 最 高 濃 度 (ppm)	0.022	0.026	0.024	○	0.04以下
	日平均濃度が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	—	0	—	—

注：1) 平成28年度平均値は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 「二酸化窒素に係る環境基準について」に基づく。

表 6.2.1-6 (2/2) 予測結果及び環境保全目標との比較（浮遊粒子状物質）

調査地点	調査項目	環境影響評価		調査結果	環境保全目標 ²⁾	
		平成28年度 調査結果 ¹⁾	予測濃度		適合：○ 不適合：×	
No.3	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.021	0.021	0.020	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.092	—	0.040	—	—
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.042	0.051	0.027	○	0.10以下
	1時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	—	0	—	—
No.4	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³)	0.021	0.021	0.018	—	—
	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	0.064	—	0.058	—	—
	日 平 均 最 高 濃 度 (mg/m ³)	0.041	0.051	0.032	○	0.10以下
	1時間濃度が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	—	0	—	—
	日平均濃度が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	—	0	—	—

注：1) 平成28年度平均値は、環境影響評価における調査結果。

注：2) 「二酸化窒素に係る環境基準について」に基づく。

2.2 騒音

1) 調査の概要

騒音について、調査の概要を表 6.2.2-1 に、調査地点を図 6.1.1-1（p6-2 参照）及び図 6.2.2-1 に示す。

調査は施設が平常稼働している平日に実施した。

表 6.2.2-1 調査の概要

区分	調査項目	調査年月日・時間	調査方法	調査地点
施設の稼働	騒音レベル	令和 6 年 5 月 20 日 13:00 ～ 令和 6 年 5 月 21 日 13:00	騒音レベル：「騒音に係る環境基準について」等に定める方法 交通量：カウンター計測等による方法	敷地境界
廃棄物の搬出入	騒音レベル 交通量	令和 5 年 5 月 1 日 0:00 ～ 令和 5 年 5 月 1 日 24:00		走行ルート 2 地点 No. 3 No. 4

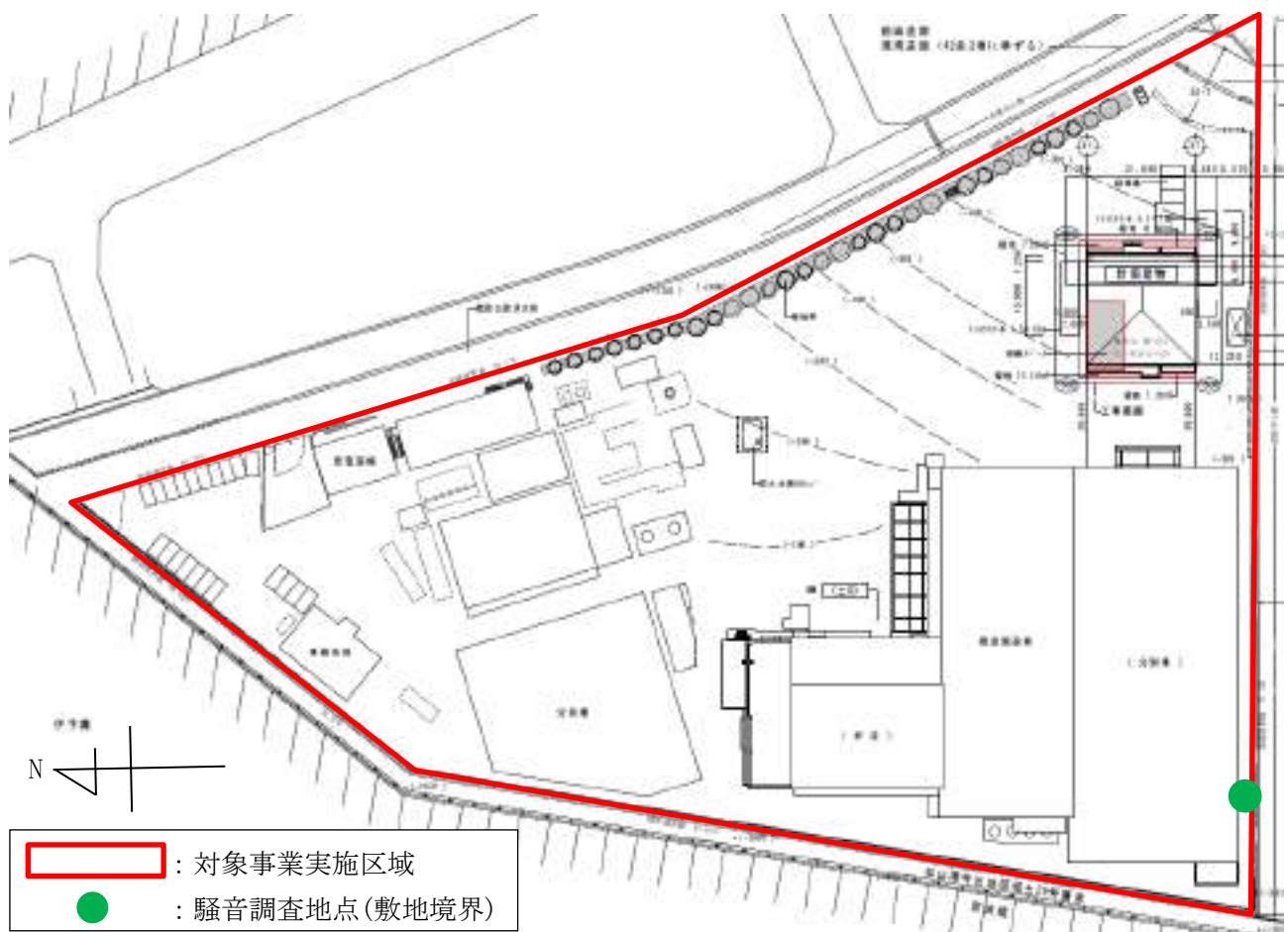


図 6.2.2-1 調査地点図

2) 調査結果

(1) 施設の稼働

騒音の調査結果を表 6. 2. 2-2 に示す。

調査結果より、敷地境界における騒音は参考として示した第 4 種区域の環境基準を下回っていた。

表 6. 2. 2-2 調査結果（施設の稼働）

単位：dB

時間区分 調査地点		朝 (6時～8時)	昼 間 (8時～19時)	夕 (19時～22時)	夜 間 (22時～翌6時)
敷地境界		51	61	45	43
基準値（参考）		70	70	70	60

注：1) 敷地境界は騒音規制法に基づく規制の指定がない地域ではあるが、参考として第 4 種区域の基準を示した。

第 4 種区域：主として工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住民の生活環境を悪化させないため、著しい騒音の発生を防止する必要がある区域。

(2) 廃棄物の搬出入

騒音の調査結果を表 6. 2. 2-3 に示す。

調査結果より、No. 3 の夜間及び No. 4 の昼間は環境基準を超過していた。一方、2 地点ともに要請限度については満足していた。

表 6. 2. 2-3 調査結果（廃棄物の搬出入）

単位：dB

時間区分 区 分		昼 間 (6時～22時)	夜 間 (22時～翌6時)
No. 3		70	66
環境基準（特例）		70	65
要請限度（特例）		75	70
No. 4		66	58
環境基準（C地域）		65	60
要請限度（c区域）		75	70

注：1) 適用している基準値等の区分については以下の通り

環境基準(特例)：幹線道路に近接する空間における特例

環境基準(C地域)：B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及び
C地域のうち車線を有する道路に面する地域

要請限度(特例)：幹線道路に近接する空間における特例

要請限度(c区域)：b区域のうち、2車線以上の車線を有する道路に面する地域及び
c区域の道路に面する地域

3) 評価

(1) 施設の稼働

予測結果との比較について表 6. 2. 2-5 に示す。

調査結果は予測結果を下回っており、環境保全目標を満足していた。

表 6. 2. 2-5 予測結果との比較（施設の稼働）

単位：dB

調査地点 \ 時間区分	朝 (6時～8時)	昼 間 (8時～19時)	夕 (19時～22時)	夜 間 (22時～翌6時)
予測結果	66	66	65	60
調査結果	51	61	45	43
環境保全目標	70	70	－	－

(2) 廃棄物の搬出入

騒音の予測結果との比較について表 6. 2. 2-6 及び図 6. 2. 2-2 に、交通量の予測結果との比較を表 6. 2. 2-7 及び図 6. 2. 2-3 に示す。

騒音の調査結果は 2 地点ともに予測結果を上回っていた。

No. 3 について、断面交通量が予測結果と比較してやや減少していた。よって、台数の減少に伴い走行速度が速くなり、その影響で騒音が大きくなったと考えられる。

No. 4 について、断面交通量が予測結果と比較してやや減少しており、小型車・大型車ともに減少していた。

なお、供用後の環境保全対策として廃棄物運搬車両は交通規則の遵守などを実施しており、2 地点ともに調査結果は環境保全目標を満足していた。

表 6.2.2-6 (1/2) 予測結果との比較 (No. 3)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和5年度供用時調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L _{Aeq}	(b) - (a)	L _{Aeq}	(b) - (c)	L _{Aeq}	
6～7時	70.8	+ 0.7	71.5	+ 0.7	70.8	「騒音に係る環境基準」 幹線交通を担う道路に近 接する空間 70dB以下 (昼間：6時～22時) 「騒音規制地域における 自動車交通騒音の大きさ の限度」 幹線交通を担う道路に近 接する空間 75dB以下 (昼間：6時～22時)
7～8時	67.3	+ 3.3	70.6	+ 3.3	67.3	
8～9時	68.4	+ 2.3	70.7	+ 2.2	68.5	
9～10時	69.2	+ 1.2	70.4	+ 1.1	69.3	
10～11時	69.1	+ 0.5	69.6	+ 0.4	69.2	
11～12時	69.7	- 0.2	69.5	- 0.3	69.8	
12～13時	69.5	+ 1.1	70.6	+ 1.1	69.5	
13～14時	69.8	- 0.2	69.6	- 0.3	69.9	
14～15時	69.3	+ 1.4	70.7	+ 1.3	69.4	
15～16時	69.4	+ 1.0	70.4	+ 0.9	69.5	
16～17時	68.3	+ 1.9	70.2	+ 1.8	68.4	
17～18時	66.6	+ 2.3	68.9	+ 2.2	66.7	
18～19時	69.1	+ 0.9	70.0	+ 0.9	69.1	
19～20時	69.2	+ 0.5	69.7	+ 0.5	69.2	
20～21時	67.9	+ 0.6	68.5	+ 0.6	67.9	
21～22時	67.8	- 0.7	67.1	- 0.7	67.8	
6～22時平均	69.0	+ 1.0	70.0	+ 1.0	69.0	目標との適否：適合

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価の調査結果。

注：2) 網掛けは廃棄物運搬車両が走行している時間帯を示す。

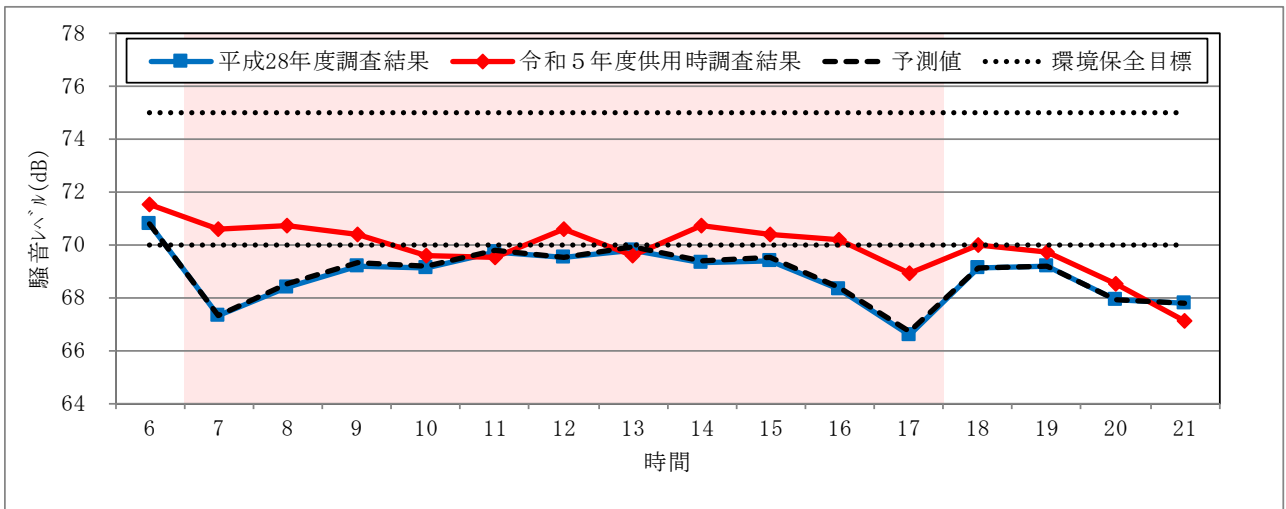


図 6.2.2-2 (1/2) 予測結果との比較 (No. 3)

表 6.2.2-6 (1/2) 予測結果との比較 (No. 4)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和5年度供用時調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L _{Aeq}	(b) - (a)	L _{Aeq}	(b) - (c)	L _{Aeq}	
6～7時	63.7	+ 2.4	66.1	+ 2.3	63.8	「騒音に係る環境基準」 C地域のうち2車線以上の 車線を有する道路に面 する地域 65dB以下 (昼間：6時～22時) 「騒音規制地域における 自動車交通騒音の 大きさの限度」 b区域のうち、2車線以上の 車線を有する道路に面 する地域及びc区域の道 路に面する地域 75dB以下 (昼間：6時～22時)
7～8時	67.2	+ 1.0	68.2	+ 1.0	67.2	
8～9時	66.8	+ 1.1	67.9	+ 0.8	67.1	
9～10時	65.9	+ 1.1	67.0	+ 0.8	66.2	
10～11時	65.8	+ 1.6	67.4	+ 1.2	66.2	
11～12時	65.7	+ 1.1	66.8	+ 0.7	66.1	
12～13時	64.3	+ 2.7	67.0	+ 2.7	64.3	
13～14時	65.5	+ 1.0	66.5	+ 0.7	65.8	
14～15時	65.8	+ 0.9	66.7	+ 0.6	66.1	
15～16時	65.0	+ 2.1	67.1	+ 1.8	65.3	
16～17時	65.3	+ 0.2	65.5	- 0.2	65.7	
17～18時	65.6	+ 0.5	66.1	+ 0.1	66.0	
18～19時	63.8	- 0.4	63.4	- 0.5	63.9	
19～20時	60.8	+ 0.5	61.3	+ 0.5	60.8	
20～21時	58.6	+ 1.1	59.7	+ 1.1	58.6	
21～22時	57.2	+ 0.6	57.8	+ 0.6	57.2	
6～22時平均	64.8	+ 1.2	66.0	+ 0.9	65.1	目標との適否：適合

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価の調査結果。

注：2) 網掛けは廃棄物運搬車両が走行している時間帯を示す。

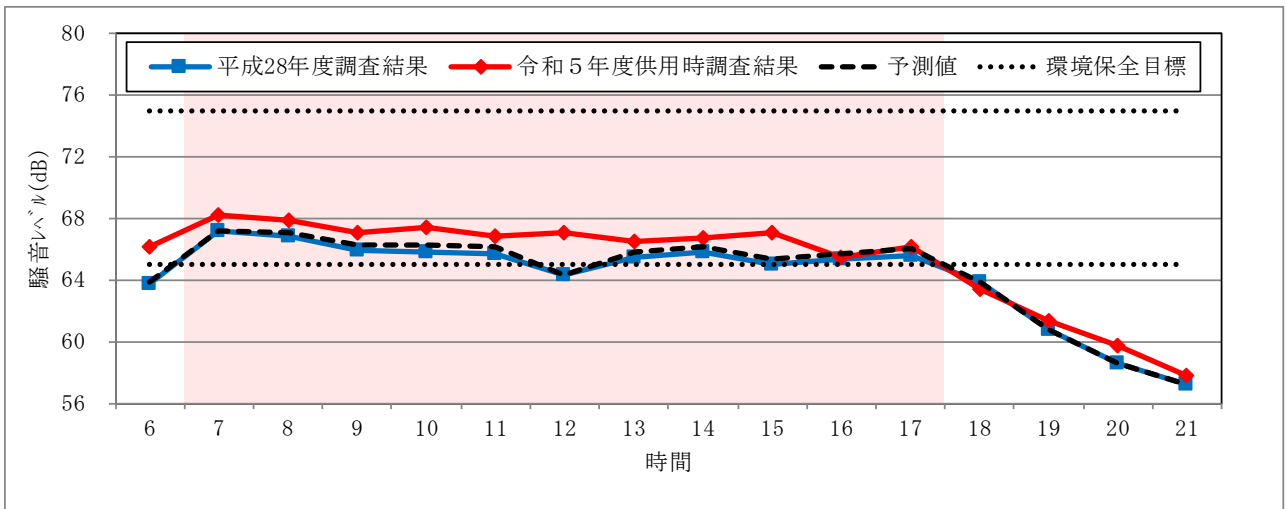


図 6.2.2-2 (2/2) 予測結果との比較 (No. 4)

表 6. 2. 2-7 (1/2) 交通量予測結果の比較 (No. 3)

単位：台/1時間

方向・車種 調査時刻	(1) 予測交通量					(2) 供用時交通量					(2)-(1)			
	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量			
	大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計
6:00 ~ 7:00	147	598	59	804	19.7	100	527	39	666	15.9	-47	-71	-20	-138
7:00 ~ 8:00	165	909	92	1,166	15.4	147	980	76	1,203	13.0	-18	71	-16	37
8:00 ~ 9:00	244	859	101	1,204	22.1	210	896	48	1,154	19.0	-34	37	-53	-50
9:00 ~ 10:00	303	888	28	1,219	25.4	273	841	26	1,140	24.5	-30	-47	-2	-79
10:00 ~ 11:00	298	944	30	1,272	24.0	229	964	32	1,225	19.2	-69	20	2	-47
11:00 ~ 12:00	270	957	26	1,253	22.0	278	996	24	1,298	21.8	8	39	-2	45
12:00 ~ 13:00	209	881	36	1,126	19.2	167	970	35	1,172	14.7	-42	89	-1	46
13:00 ~ 14:00	287	941	28	1,256	23.4	244	945	38	1,227	20.5	-43	4	10	-29
14:00 ~ 15:00	293	910	41	1,244	24.4	222	985	24	1,231	18.4	-71	75	-17	-13
15:00 ~ 16:00	238	992	28	1,258	19.3	220	973	43	1,236	18.4	-18	-19	15	-22
16:00 ~ 17:00	197	1,052	58	1,307	15.8	141	1,054	46	1,241	11.8	-56	2	-12	-66
17:00 ~ 18:00	140	1,289	88	1,517	9.8	89	1,237	97	1,423	6.7	-51	-52	9	-94
18:00 ~ 19:00	88	1,104	77	1,269	7.4	51	1,008	79	1,138	4.8	-37	-96	2	-131
19:00 ~ 20:00	67	834	62	963	7.4	38	702	37	777	5.1	-29	-132	-25	-186
20:00 ~ 21:00	34	543	40	617	5.9	25	435	29	489	5.4	-9	-108	-11	-128
21:00 ~ 22:00	22	432	28	482	4.8	16	270	11	297	5.6	-6	-162	-17	-185
合計	3,002	14,133	822	17,957	17.5	2,450	13,783	684	16,917	15.1	-552	-350	-138	-1,040

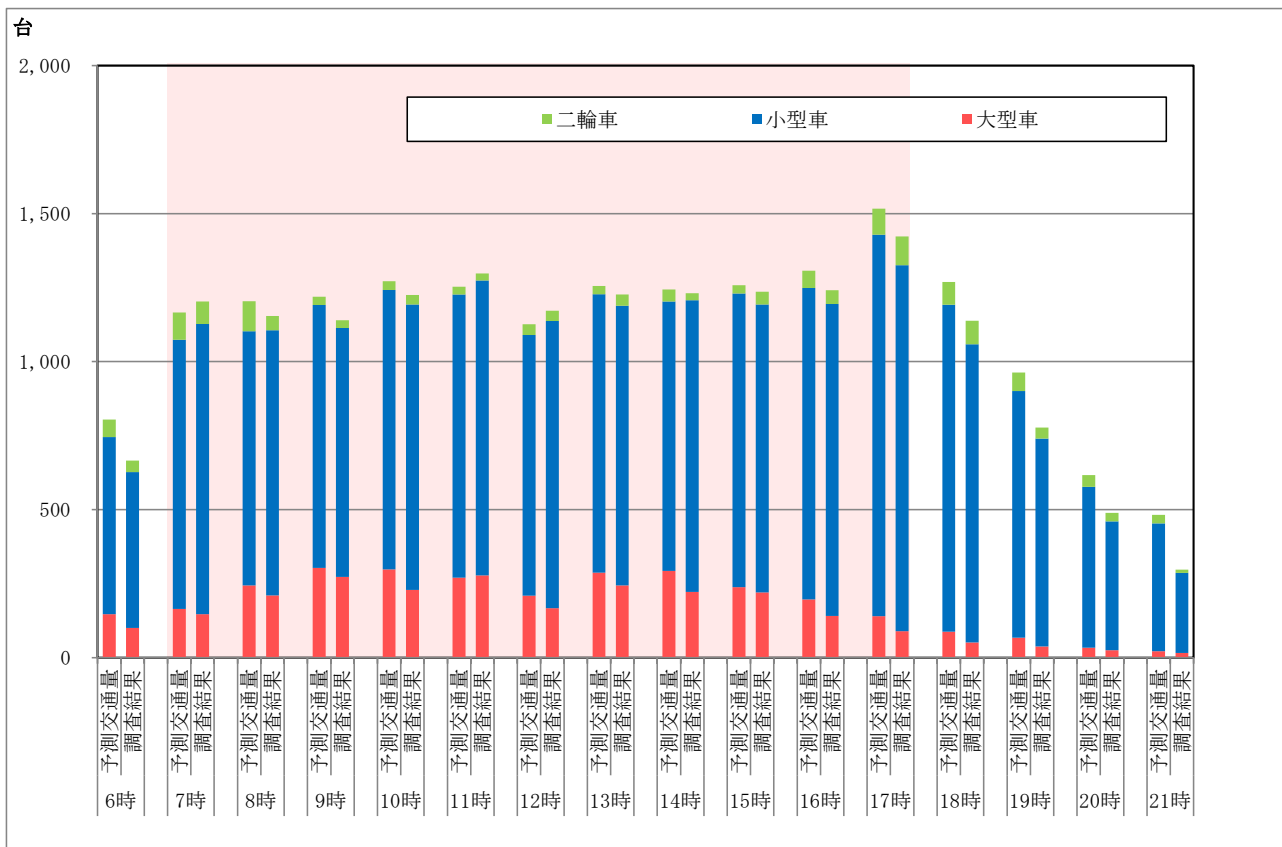


図 6. 2. 2-3 (1/2) 交通量予測結果の比較 (No. 3)

表 6. 2. 2-7 (2/2) 交通量予測結果の比較 (No. 4)

単位：台/1時間

方向・車種 調査時刻	(1) 予測交通量					(2) 供用時交通量					(2)-(1)			
	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量				大型車 混入率 (%)	断面交通量			
	大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計		大型車	小型車	二輪車	合計
6:00 ~ 7:00	46	123	9	178	27.2	41	102	3	146	28.7	-5	-21	-6	-32
7:00 ~ 8:00	63	406	48	517	13.4	53	354	44	451	13.0	-10	-52	-4	-66
8:00 ~ 9:00	119	289	11	419	29.2	101	337	27	465	23.1	-18	48	16	46
9:00 ~ 10:00	118	150	6	274	44.0	95	144	6	245	39.7	-23	-6	0	-29
10:00 ~ 11:00	116	163	6	285	41.6	113	193	3	309	36.9	-3	30	-3	24
11:00 ~ 12:00	98	206	6	310	32.2	95	183	3	281	34.2	-3	-23	-3	-29
12:00 ~ 13:00	83	211	15	309	28.2	62	234	16	312	20.9	-21	23	1	3
13:00 ~ 14:00	146	182	6	334	44.5	72	216	8	296	25.0	-74	34	2	-38
14:00 ~ 15:00	132	197	9	338	40.1	87	212	5	304	29.1	-45	15	-4	-34
15:00 ~ 16:00	105	206	5	316	33.8	78	176	7	261	30.7	-27	-30	2	-55
16:00 ~ 17:00	102	251	12	365	28.9	70	206	15	291	25.4	-32	-45	3	-74
17:00 ~ 18:00	43	356	34	433	10.8	36	388	41	465	8.5	-7	32	7	32
18:00 ~ 19:00	21	235	18	274	8.2	11	150	17	178	6.8	-10	-85	-1	-96
19:00 ~ 20:00	7	106	10	123	6.2	6	107	12	125	5.3	-1	1	2	2
20:00 ~ 21:00	3	74	3	80	3.9	4	52	2	58	7.1	1	-22	-1	-22
21:00 ~ 22:00	3	56	4	63	5.1	6	36	0	42	14.3	3	-20	-4	-21
合計	1,205	3,211	202	4,618	27.3	930	3,090	209	4,229	23.1	-275	-121	7	-389

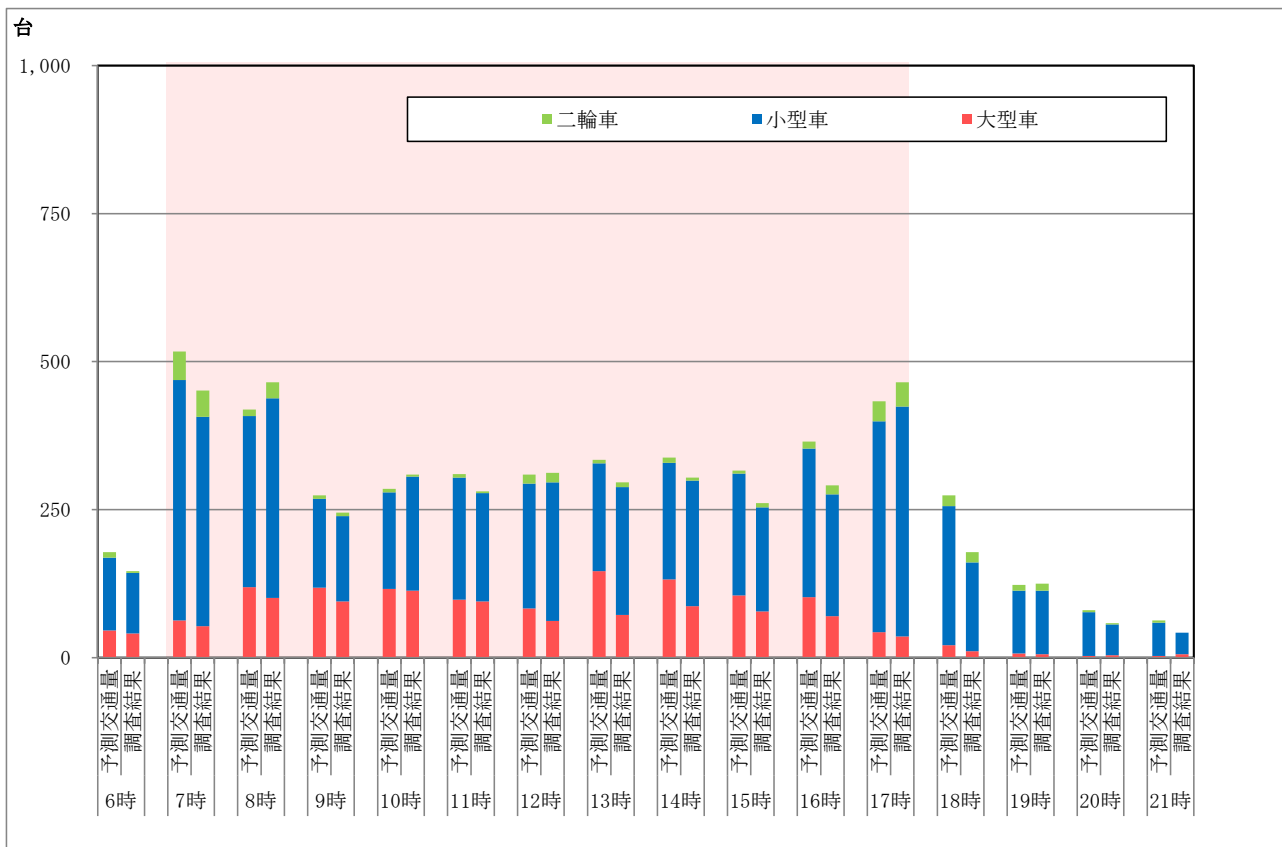


図 6. 2. 2-3 (2/2) 交通量予測結果の比較 (No. 4)

2.3 振動

1) 調査の概要

自動車交通の発生による振動について、調査の概要を表 6.2.3-1 に、調査地点を図 6.2.1-1 示す。
調査時期は、施設が平常稼働している平日とした。

表 6.2.3-1 調査の概要

区分	調査項目	調査年月日・時間	調査方法	調査地点
廃棄物の 搬出入	振動レベル	令和5年5月1日 0:00 ～ 令和5年5月1日 24:00	振動レベル測定法（JIS Z 8735）に定める方法	走行ルート2地点 No.3 No.4

2) 調査結果

調査結果を表 6.2.3-2 に示す。

調査結果について、2 地点とも要請限度を下回っていた。

表 6.2.3-2 調査結果

単位：dB

区 分	時間区分	
	昼 間 (8時～19時)	夜 間 (19時～翌8時)
No.3	43	35
No.4	42	33
要請限度 ²⁾	70	65

注：1) 時間率振動レベルの各観測時間値及び平均値は、算術平均値である。なお、時間区分の全ての時間で「<30」の場合は「<30」とし、一部の時間帯が「<30」の場合は「<30」を30dBとして算出した。

注：2) 要請限度は、振動規制法の指定区域内における道路交通振動の要請限度における「第2種区域」の値を示した。

3) 評価

予測結果との比較を表 6.2.3-3 及び図 6.2.3-1 に示す。

No. 3 について、夜間のみ予測結果を上回っていた。

No. 4 について、予測結果を上回っていた。

No. 3 について、騒音と同様に断面交通量の減少に伴って走行速度が速くなった影響により振動が大きくなったと考えられる。

No. 4 について、環境影響評価の調査が実施された際、南西側は空き地であったが、事後調査実施時には運送会社の駐車場として整備されている。多数の大型車が駐車されていることが確認されることから、駐車場を出入りする車両の影響によって朝の時間帯における振動が高くなったと考えられる。

なお、供用後の環境保全対策として廃棄物運搬車両は交通規則の遵守や搬入時期・時間の分散化を実施しており、2 地点ともに調査結果は環境保全目標を満足していた。

表 6. 2. 3-3 (1/2) 予測結果との比較 (No. 3)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和5年度供用時調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L ₁₀	(b)－(a)	L ₁₀	(b)－(c)	L ₁₀	
6～7時	43	－ 1	42	－ 1	43	「道路交通振動の限度 (要請限度)」第2種区域 昼間：70dB以下 (8時～19時) 夜間：65dB以下 (19時～8時)
7～8時	39	＋ 5	44	＋ 5	39	
8～9時	44	＋ 2	46	＋ 2	44	
9～10時	45	＋ 1	46	＋ 1	45	
10～11時	44	－ 1	43	－ 1	44	
11～12時	44	－ 2	42	－ 2	44	
12～13時	43	0	43	0	43	
13～14時	44	＋ 1	45	＋ 1	44	
14～15時	44	＋ 1	45	＋ 1	44	
15～16時	44	0	44	0	44	
16～17時	41	0	41	0	41	
17～18時	37	＋ 2	39	＋ 2	37	
18～19時	38	0	38	0	38	
19～20時	37	＋ 1	38	＋ 1	37	
20～21時	34	＋ 3	37	＋ 3	34	
21～22時	33	＋ 1	34	＋ 1	33	
23～23時	<30	＋ 1	31	＋ 1	<30	
24～1時	<30	＋ 1	31	＋ 1	<30	
24～1時	<30	0	<30	0	<30	
1～2時	<30	0	<30	0	<30	
2～3時	<30	0	<30	0	<30	
3～4時	<30	＋ 2	32	＋ 2	<30	
4～5時	37	－ 1	36	－ 1	37	
5～6時	39	＋ 2	41	＋ 2	39	
8～19時平均	43	－ 0	43	－ 0	43	目標との適否：適合
19～8時平均	33	＋ 2	35	＋ 2	33	

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価の調査結果。

注：2) 振動レベルの計算について、「<30」を「30」として取扱った。

注：3) 網掛けは廃棄物運搬車両が走行している時間帯を示す。

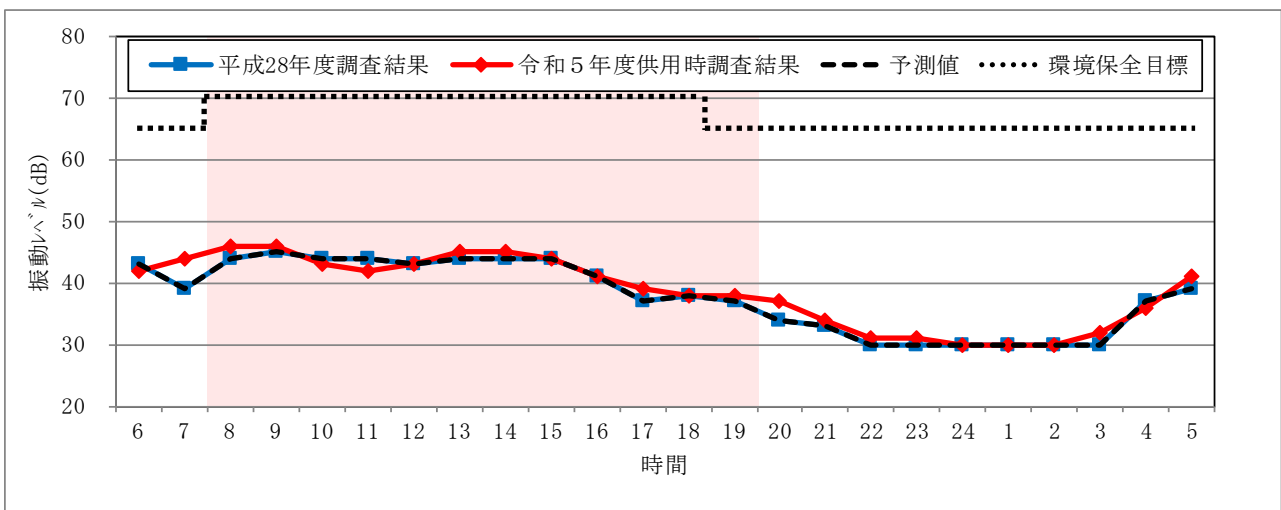


図 6. 2. 3-1 (1/2) 予測結果との比較 (No. 3)

表 6. 2. 3-3 (2/2) 予測結果との比較 (No. 4)

単位：dB

時間帯	平成28年度調査結果 (a) ¹⁾		令和5年度供用時調査結果 (b)	予測値 (c)		環境保全目標
	L ₁₀	(b) - (a)		(b) - (c)	L ₁₀	
6～7時	<30	+ 10	40	+ 10	<30	「道路交通振動の限度 (要請限度)」第2種区域 昼間：70dB以下 (8時～19時) 夜間：65dB以下 (19時～8時)
7～8時	30	+ 13	43	+ 13	30	
8～9時	32	+ 12	44	+ 12	32	
9～10時	40	+ 5	45	+ 4	41	
10～11時	44	+ 1	45	0	45	
11～12時	43	+ 1	44	0	44	
12～13時	41	+ 1	42	+ 1	41	
13～14時	43	- 1	42	- 2	44	
14～15時	43	0	43	0	43	
15～16時	43	+ 1	44	0	44	
16～17時	41	0	41	- 1	42	
17～18時	39	- 1	38	- 2	40	
18～19時	35	- 2	33	- 2	35	
19～20時	<30	0	<30	0	<30	
20～21時	<30	0	<30	0	<30	
21～22時	<30	0	<30	0	<30	
22～23時	<30	0	<30	0	<30	
23～24時	<30	0	<30	0	<30	
24～1時	<30	0	<30	0	<30	
1～2時	<30	0	<30	0	<30	
2～3時	<30	0	<30	0	<30	
3～4時	<30	+ 1	31	+ 1	<30	
4～5時	32	- 1	31	- 1	32	
5～6時	36	+ 2	38	+ 2	36	
8～19時平均	40	+ 2	42	+ 1	41	目標との適否：適合
19～8時平均	31	+ 2	33	+ 2	31	

注：1) 平成28年度調査結果は、環境影響評価の調査結果。

注：2) 振動レベルの計算について、「<30」を「30」として取扱った。

注：3) 網掛けは廃棄物運搬車両が走行している時間帯を示す。

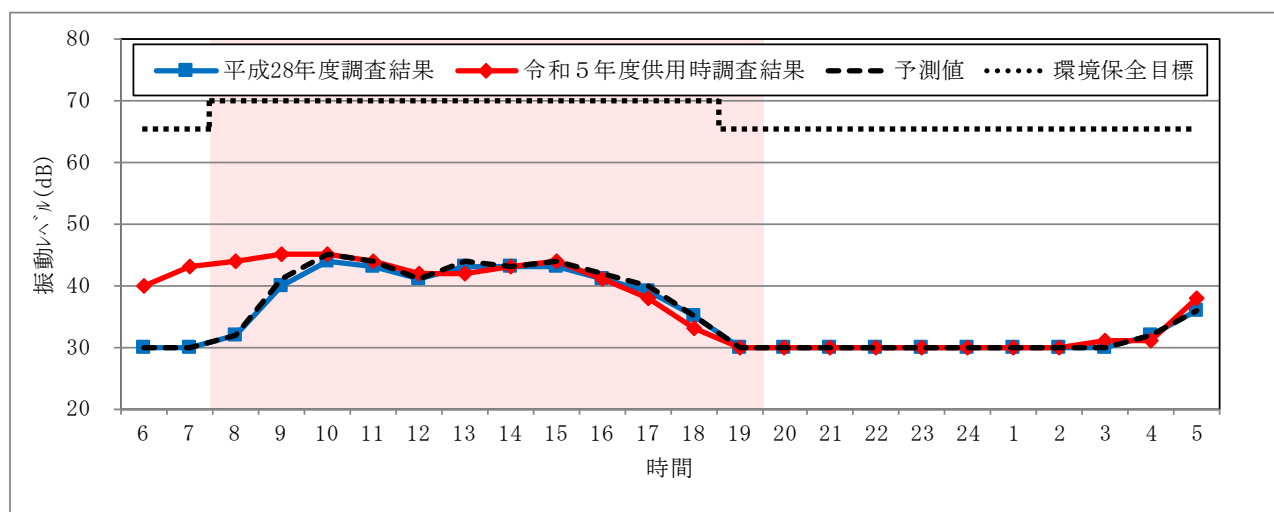


図 6. 2. 3-1 (2/2) 予測結果との比較 (No. 4)

2.4 悪臭

1) 調査の概要

施設の稼働による悪臭について、調査の概要を表 6.2.4-1 に、調査地点を図 6.2.4-1 に示す。
調査時期は、施設供用後の平日とした。

表 6.2.4-1 調査の概要

区分	調査項目	調査年月日・時間	調査方法	調査地点
施設の稼働	臭気指数	令和5年7月12日	「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法」に定める方法	敷地境界2地点 (ごみピットを挟んで 風上と風下) 発生源 煙突排出口

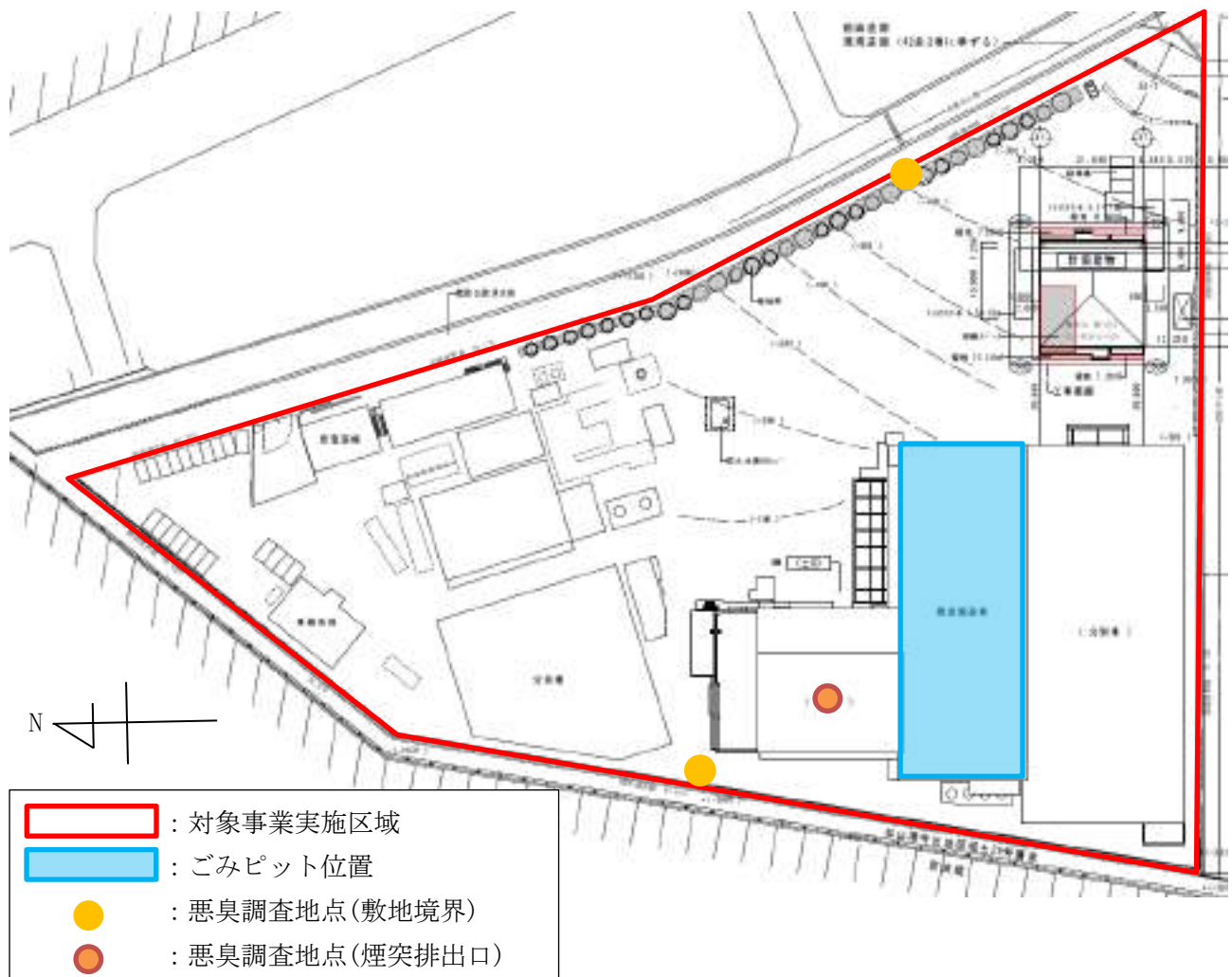


図 6.2.4-1 悪臭調査地点図

2) 調査結果

調査結果を表 6. 2. 4-2 に示す。

悪臭の調査結果について、敷地境界 2 地点及び煙突排出口における臭気指数は測定下限値未満であった。

表6. 2. 4-2 調査結果

項 目	単 位	敷地境界 風上地点	敷地境界 風下地点	煙突 排出口
調査日	—	令和5年7月12日		
試料採取時間	—	10:13～10:15	10:08～10:10	10:37～10:40
天候	—	晴れ		
気温	℃	29.0	29.7	—
湿度	%	67.4	70.3	—
風向	—	WNW	WNW	—
風速	m/s	1.5	0.6	—
臭気濃度	—	<10	<10	<10
臭気指数	—	<10	<10	<10

3) 評価

調査結果と環境保全目標の比較を表 6. 2. 4-3 に示す。

敷地境界における臭気指数は環境保全目標を満足していた。また、煙突排出口における臭気指数は敷地境界の環境保全目標から算出した臭気指数を下回っていた。

表 6. 2. 4-3 環境保全目標との比較

調査地点		臭気指数
敷地境界	風上地点	<10
	風下地点	<10
煙突排出口		<10
環境保全目標		10 (25 ¹⁾)

注：敷地境界における環境保全目標に基づき、悪臭防止法施行規則第 6 条の 2 に定める方法により算出した臭気指数。

3 その他(補足事項)

3.1 土壌汚染

1) 調査の概要

対象事業実施区域において、土壌汚染対策法に基づき実施された旧施設の解体に伴う土壌汚染状況調査から、対象事業実施区域は土壌汚染の可能性があることが判明した。

土壌に関する項目は環境影響評価の項目として選定しておらず、調査及び予測・評価を実施していないが、補足事項として対象事業実施区域における地歴調査及び土壌汚染状況調査の結果について、令和3年及び令和6年に実施された調査結果報告書の内容をとりまとめた。

2) 調査結果

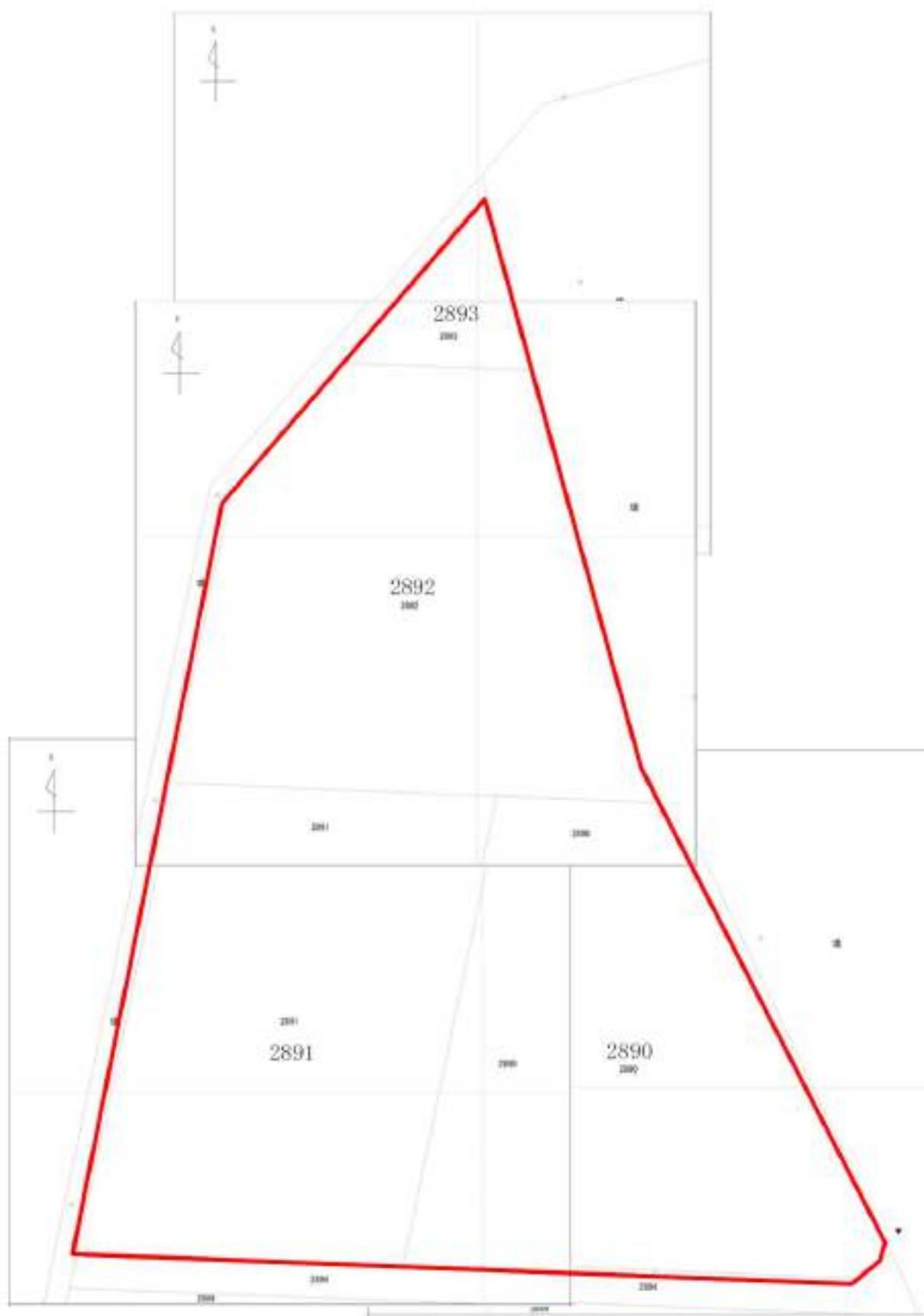
(1) 土地利用履歴

土地利用履歴の概要を表6.3.1-1に、また各地番の示す区域について、現在の公図の写しを図6.3.1-1に示す。

対象事業実施区域及びその周辺の4地番は利用の履歴が異なっている。現在は2890番及び2891番において本調査の対象施設が稼働中であり、2892番には令和5年から休止中の焼却施設が存在している。2893番は駐車場として利用されている。

表 6.3.1-1 土地利用履歴の概要

年		1976	1977	1984	2002	2006	2010	2023
地 番	2890	埋 立 竣 工	雑草地	木材置場 (1984年～2005年)	建設残土・ 砕石・ 資材仮置き場	建設残土等 一時たい積場	建設残土等 一時たい積場	焼却 施設
	2891							2023年 新設
	2892							2023年 休止
	2893							2023年 休止
年		1976	1979	1983	1992	2003	2004	2005
			1979年 新設	1983年 汚泥脱水施設 設置	1992年 廃プラスチック焼却炉 設置	2003年 廃止	2004年 取壊	2005年 新設



: 対象事業実施区域

図 6.3.1-1 現在の公図

(2) 地歴調査結果

地歴調査報告書に記載された対象事業実施区域とその周辺における土壤汚染のおそれについて、地番別に示す。また、土壤汚染状況調査が実施された範囲における土壤汚染のおそれの区分図について図 6.3.1-2 に示す。

・ 2890 番、2891 番

埋立地として竣工後、木材置き場としての土地利用及び建設残土や碎石、資材の仮置場として利用され、地盤高を 2.3m 程度嵩上げた造成が実施された後、建設残土のたい積場として利用されてきた。

過去に事業活動による特定有害物質を取扱う行為が行われていないこと、隣接する地番に存在していた焼却施設の廃棄物及び灰の保管場、運搬経路、排水経路として利用されていないことから、すべての特定有害物質について土壤汚染が存在する可能性はない。

・ 2892 番

埋立地として竣工後、木材置き場として土地利用が行われていた。地盤高を 2.3m 程度嵩上げた造成が実施された後、2002 年から 2023 年の間に産業廃棄物処理施設(焼却施設)として事業活動が行われていた。当該施設では、意図的に特定有害物質を取扱う土地利用履歴はないものの、焼却炉で発生した主灰及び飛灰から検出された定量下限値を上回る特定有害物質(六価クロム、鉛、砒素)について、焼却灰の飛散により土壤が汚染される可能性が否定できない。

焼却炉から発生した焼却灰は、収集した後、水密性の専用コンテナに保管され、規定容量毎に最終処分場へと場外搬出されていたため、敷地内の搬出経路は焼却灰による土壤汚染のおそれがあるものとした。

また、運搬経路上に飛散した焼却灰が雨水に混入して排水側溝へ流入していた可能性があることから、排水側溝と流末の雨水排水柵を含む排水経路は、焼却灰の混入した雨水による土壤汚染が存在するおそれがある。

よって、特定有害物質(六価クロム、鉛、砒素)について、土壤汚染が存在する恐れがある。汚染の恐れがある箇所は嵩上げ後の現地表面及び排水経路下である。

・ 2893 番

埋立地として竣工後、1979 年から 2004 年の期間に、産業廃棄物処理施設(焼却施設)が存在した区画である。当該施設の廃止後は地盤高が 2.3m 程度嵩上げされており、駐車場等として現在まで利用されてきた。

焼却施設について、意図的に特定有害物質を取り扱う土地利用履歴は無いものの、当時の立地を勘案すると、防腐等処理された木材が焼却処分され、焼却灰が飛散した可能性がある。そのため、木材防腐剤に含有され、かつ土壤中に残留する可能性のある六価クロム、砒素、ふっ素、ほう素による土壤汚染の可能性がある。

また、2892 番の休止施設で実施された主灰及び飛灰の分析結果において、定量下限値以上が確認された鉛についても土壤汚染が発生するおそれがある。

よって、特定有害物質(六価クロム、鉛、砒素)について、土壤汚染が存在する恐れがある。汚染の恐れがある箇所は嵩上げ前及び嵩上げ後の地表面である。

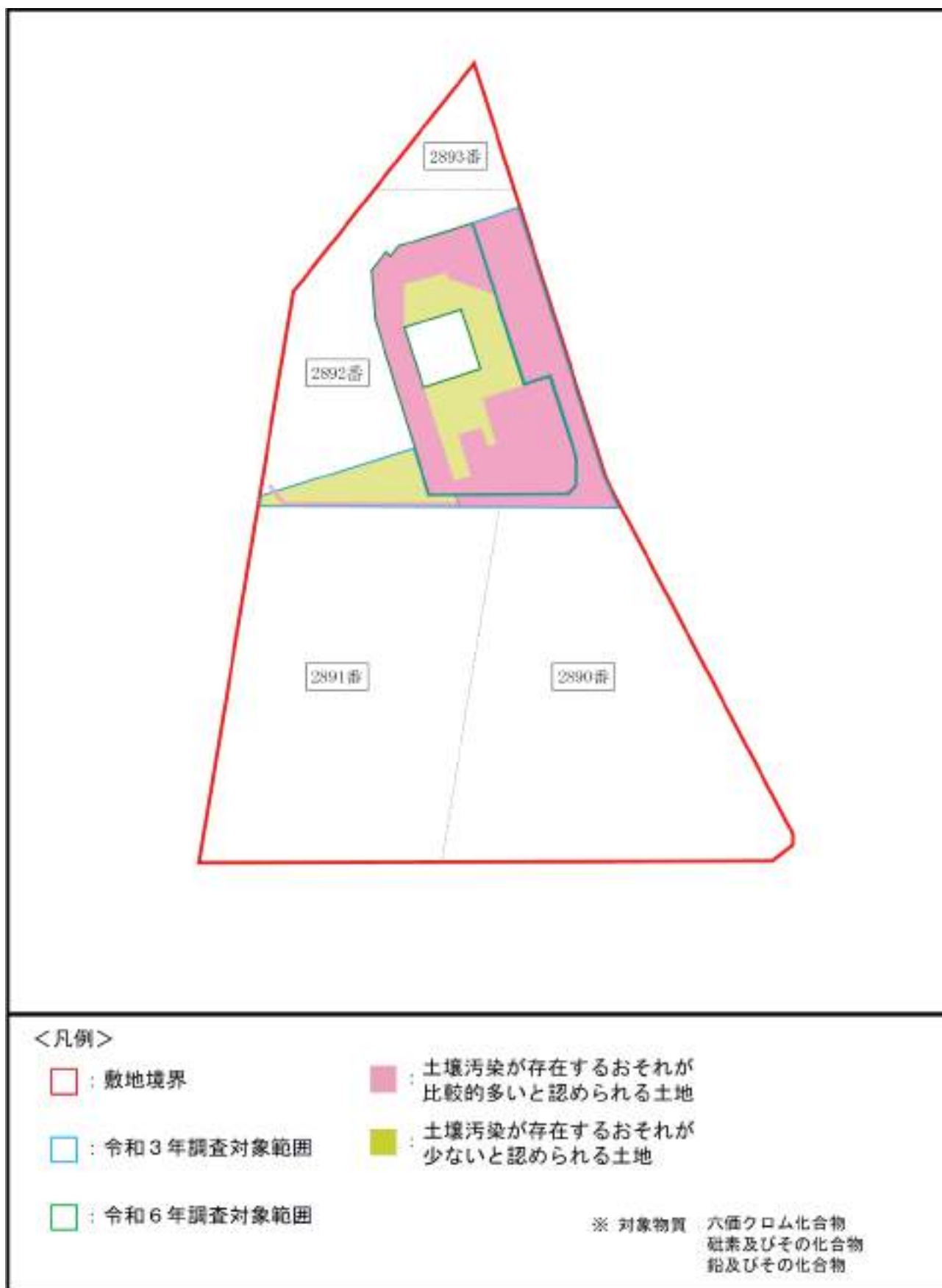


図 6.3.1-2 土壤汚染の恐れ区分図

(3) 土壌汚染状況調査結果

対象事業実施区域のうち、図 6.3.1-2 で示した土壌汚染の恐れがあると認められた 2892 番の一部区画において実施された土壌汚染状況調査の結果を以下に示す。

調査結果のうち、基準値を超過した地点の一覧を表 6.3.1-2 に、その位置を図 6.3.1-3 に示す。

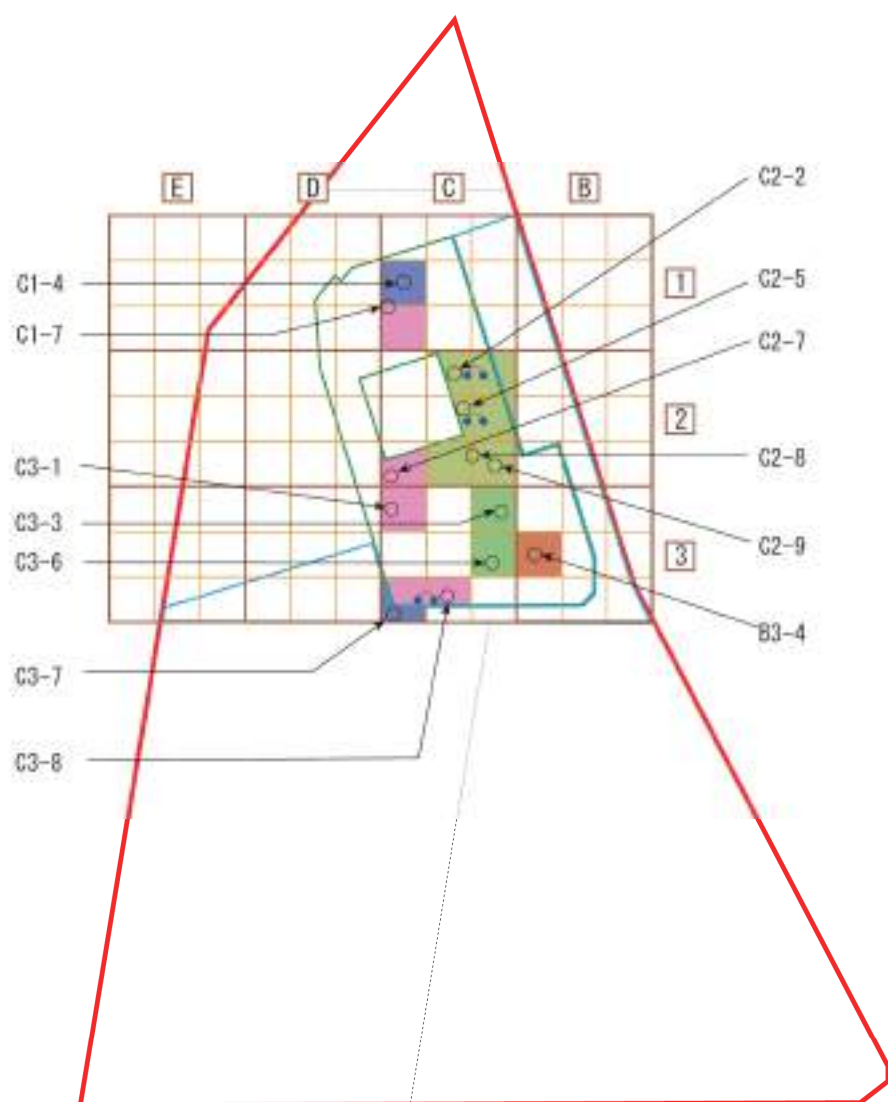
調査の結果、図 6.3.1-3 に示す箇所において、六価クロム化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物がそれぞれ検出されたため、対象事業実施区域のうち、2892 番の休止施設が存在する区画の一部が、六価クロム化合物(土壌溶出量)、鉛及びその化合物(土壌溶出量・土壌含有量)、砒素及びその化合物(土壌溶出量)について基準に適合しない土地であると評価されている。

なお、これらの調査結果を受けて、2892 番の一部は令和 3 年及び令和 6 年に松山市の形質変更時要届出区域に指定されている。基準に適合しない土地は管轄行政機関である松山市役所環境指導課の指導を受けながら適切な土壌汚染対策を実施する。

表 6.3.1-2 調査結果一覧表

分析項目		溶出量			含有量		
		六価クロム化合物	鉛及びその化合物	砒素及びその化合物	六価クロム化合物	鉛及びその化合物	砒素及びその化合物
単位		mg/L	mg/L	mg/L	mg/kg (dry)	mg/kg (dry)	mg/kg (dry)
基準値		0.05以下	0.01以下	0.01以下	250以下	150以下	150以下
令和3年	C3-7	<0.005	0.001	0.017	<5	21	2
令和6年	B3-4	<0.005	0.036	0.012	<25	96	<15
	C1-4	<0.005	0.007	0.012	<25	34	<15
	C1-7	0.068	<0.001	0.001	<25	37	<15
	C2-2	<0.005	<0.001	0.006	<25	470	<15
	C2-5	<0.005	<0.001	0.006	<25	580	<15
	C2-7	0.065	<0.001	0.001	<25	22	<15
	C2-8	<0.005	<0.001	0.001	<25	930	<15
	C2-9	<0.005	<0.001	0.003	<25	3000	22
	C3-1	0.069	<0.001	0.001	<25	31	<15
	C3-3	<0.005	0.025	0.006	<25	25	<15
	C3-6	<0.005	0.014	0.003	<25	36	<15
	C3-8	0.069	<0.001	0.001	<25	35	<15

注：1) 赤字は基準不適合を示す。



<凡例>

- : 敷地境界
- : 令和3年調査対象範囲
- : 令和6年調査対象範囲

1	2	3
4	5	6
7	8	9

- 採取地点
- 区画統合
- 30m格子線
- 10m格子線

基準不適合箇所

- : 六価クロム化合物（溶出量基準）
- : 鉛及びその化合物（溶出量基準）
- : 鉛及びその化合物（含有量基準）
- : 砒素及びその化合物（溶出量基準）
- : 鉛及びその化合物（溶出量基準）、砒素及びその化合物（溶出量基準）

図 6.3.1-3 土壤汚染状況調査結果

第7章 環境の保全のための措置

第7章 環境の保全のための措置

環境の保全のための措置の実施状況について、工事の実施時における実施状況を表 7-1 に、土地又は工作物の存在及び供用時における実施状況を表 7-2 に示す。

なお、評価書の記載内容の欄には、評価書の「第2章 6.5 工事中の環境保全対策」、「第2章 7.3 供用後の環境保全計画」及び「第6章 環境影響評価の調査、予測及び評価」に記載された環境の保全のための措置をとりまとめた。

表 7-1 (1/6) 環境保全のための措置の実施状況（工事中）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
大 気 質	建設機械は、極力排ガス対策型（低公害型）の建設機械を使用する。	建設機械は排ガス対策型のものを使用している。	
	建設機械は、運転する際に必要以上の暖機運転（アイドリング）をしないよう、毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。	建設機械のアイドリングストップについて周知徹底した。	-
	資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。	資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守していた。	-
	資材等運搬車両が集中しないよう、搬入時期・時間帯の分散に努める。	資材運搬車両は搬入の分散化に努めた。	-
	資材等運搬車両は、運転時に必要以上の暖機運転（アイドリング）をしないよう周知徹底する。	資材等運搬車両のアイドリングストップについて、周知徹底した。	-
	資材等運搬車両は、低公害車を積極的に導入するよう努める。	低公害車を積極的に導入するよう努めた。	
	洗車設備を設置し、工事用車両の洗車を徹底し、道路沿道の環境保全に努める。	工事車両は洗車を行い、周辺道路沿道の環境保全に努めた。	-
	工事の実施時は、適度な散水を行い粉じんの発生を防止する。	工事の実施時には散水を実施し、粉じんの飛散防止に努めた。	
	強風が予想される場合など、粉じん等の飛散が考えられる際には、作業を一時中止するなど、粉じん等の飛散をできる限り防止する。	気象状況を考慮し、粉じん等の飛散防止に努めた。	-
	裸地の早期緑化に努め、粉じんの発生を防止する。	裸地の早期緑化を図り、粉じんの発生防止に努めた。	-

表 7-1 (2/6) 環境保全のための措置の実施状況（工事中）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
騒音	建設機械は、極力低騒音型の建設機械を使用する。	低騒音型の建設機械を導入している。	
	工事工程等を十分検討し、建設機械の配置についても一箇所ですべて集中して稼働しないよう努める。	工事工程を検討し、建設機械稼働の分散化に努めた。	-
	建設機械は、所定の性能が発揮できるように維持管理に努める。	建設機械は、所定の性能が発揮されるように維持管理に努めた。	-
	建設機械は、運転する際に必要以上の暖機運転(アイドリング)をしないよう、運転手への指導を徹底する。	大気質と同様	-
	資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。特に、周辺道路においては速度を十分に落として走行することとし、騒音の低減に努める。	大気質と同様	-
	資材等運搬車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。	大気質と同様	-
	資材等運搬車両のアイドリングストップを毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。	大気質と同様	-
	工事関係者の通勤は極力相乗とすることにより通勤車両台数の抑制に努める。	工事関係者の通勤について、可能な限り相乗をして通勤台数の抑制に努めた。	-

表 7-1 (3/6) 環境保全のための措置の実施状況（工事中）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
振 動	建設機械は、極力低振動型の建設機械を使用する。	建設機械は、極力低振動型のものを使用した。	-
	工事工程等を十分検討し、建設機械の配置についても一箇所で集中して稼働しないよう努める。	騒音と同様	-
	建設機械は、所定の性能が発揮できるように維持管理に努める。	騒音と同様	-
	建設機械は、運転する際に必要以上の暖機運転（アイドリング）をしないよう、運転手への指導を徹底する。	騒音と同様	-
	資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。特に、周辺道路においては速度を十分に落として走行することとし、振動の低減に努める。	騒音と同様	-
	資材等運搬車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。	騒音と同様	-
	資材等運搬車両のアイドリングストップを毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。	騒音と同様	-
	工事関係者の通勤は極力相乗とすることにより通勤車両台数の抑制に努める。	騒音と同様	-

表 7-1 (4/6) 環境保全のための措置の実施状況（工事中）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
水 質	降雨時に発生する濁水は沈砂池で滞留させ、浮遊物質（SS）200mg/L以下として放流する。	降雨時の濁水は下記の措置の実施により浮遊物質（SS）200mg/L以下として放流していた。	-
	造成面積をできる限り小さくすること、また、土地の改変を行わない範囲と造成範囲を分離することにより、濁水発生量を抑制する。	土地の改変を行わない範囲と造成範囲を仮設のU字溝によって分離することにより、濁水発生量を抑制した。	
	特に濁水の発生が予想される激しい降雨時には、防砂シート等による裸地の被覆（ビニールシート工事）を実施し、濁水の発生を防止する。	掘削のり面をビニールシートで被覆するなど、降雨時の濁水発生を抑制するように努めた。	
	沈砂池の堆砂の定期的な除去や滞留水の排水を行い、沈砂池の機能（貯水容量）を確保する。	堆砂の定期的な撤去及び滞留水の排水を実施することで、沈砂池の機能（貯水容量）は維持されていた。	-
	工事中の降雨時において、裸地から発生する濁水については、沈砂池出口で定期的な事後調査を実施することにより、放流先海域への影響を最小限にとどめる。なお、発生する濁水が著しく濁っている場合については、新たな環境保全措置を講じることとする。	簡易水質計を使用し、降雨時の水質測定を実施していた。測定の結果、浮遊物質は十分に除去されていた。	
	工事にあたっては、沈砂池を可能な限り大きくすることにより、濁水のSS濃度を低下させ海域への影響を低減させる。（少なくとも26m³以上の沈砂池を設置する。）	令和3年6月から令和4年2月にかけて、約80m³の沈砂池を設け、十分に滞留・沈殿をした後放流した。また、その後は写真に示す16m³の沈砂池と6m³のノッチタンクを併用して濁水を滞留・沈殿させた後放流した。	

表 7-1 (5/6) 環境保全のための措置の実施状況（工事中）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
動物	降雨時に発生する濁水は沈砂池で滞留させ、浮遊物質量（SS）200mg/L以下として放流する。	水質と同様	水質と同様
	特に濁水の発生が予想される激しい降雨時には、防砂シート等による裸地の被覆（ビニールシート工事）を実施し、濁水の発生を防止する。	水質と同様	水質と同様
	沈砂池の堆砂は、定期的に除去して、沈砂池の機能を確保する。	水質と同様	-
	工事中の降雨時において、裸地から発生する濁水については、沈砂池出口で定期的な事後調査を実施することにより、放流先海域への影響を最小限にとどめる。なお、発生する濁水が著しく濁っている場合については、新たな環境保全措置を講じることとする。	水質と同様	水質と同様
植物	降雨時に発生する濁水は沈砂池で滞留させ、浮遊物質量（SS）200mg/L以下として放流する。	水質と同様	水質と同様
	特に濁水の発生が予想される激しい降雨時には、防砂シート等による裸地の被覆（ビニールシート工事）を実施し、濁水の発生を防止する。	水質と同様	水質と同様
	沈砂池の堆砂は、定期的に除去して、沈砂池の機能を確保する。	水質と同様	-
	工事中の降雨時において、裸地から発生する濁水については、沈砂池出口で定期的な事後調査を実施することにより、放流先海域への影響を最小限にとどめる。なお、発生する濁水が著しく濁っている場合については、新たな環境保全措置を講じることとする。	水質と同様	水質と同様

表 7-1 (6/6) 環境保全のための措置の実施状況（工事中）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
生態系	降雨時に発生する濁水は沈砂池で滞留させ、浮遊物質量（SS）200mg/L以下として放流する。	水質と同様	水質と同様
	特に濁水の発生が予想される激しい降雨時には、防砂シート等による裸地の被覆（ビニールシート工事）を実施し、濁水の発生を防止する。	水質と同様	水質と同様
	沈砂池の堆砂は、定期的に除去して、沈砂池の機能を確保する。	水質と同様	-
	工事中の降雨時において、裸地から発生する濁水については、沈砂池出口で定期的な事後調査を実施することにより、放流先海域への影響を最小限にとどめる。なお、発生する濁水が著しく濁っている場合については、新たな環境保全措置を講じることとする。	水質と同様	水質と同様
交通安全対策	資材等運搬車両の主要走行ルートを設定する。	主要走行ルートを設定し、運転者に周知徹底した。	-
	資材等運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を毎朝実施する始業前の朝礼で周知徹底する。	大気質と同様	-
	資材等運搬車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。	大気質と同様	-
廃棄物の発生	建設工事に伴い発生する産業廃棄物の分別排出を徹底する。	発生した廃棄物について、分別排出を周知徹底した。	
	産業廃棄物は、適正に処理する。	産業廃棄物の処理は適正に行われた。	
	積極的に廃棄物の再利用・再資源化に努める。	石膏ボード等の一部の資材について、可能な限り再利用を行った。	-
	有効利用促進のための分別排出を徹底し、現場作業員等への周知徹底及び指導を行う。	廃棄物の分別排出を周知徹底した。	-
	建設廃棄物の発生抑制を考慮した設計、工法及び資材の選定に努める。	事務所棟ではプレカット工法（KES工法）を採用するなど、建設廃棄物の抑制に努めた。	-
	資材等の搬入に伴う梱包の簡素化や使用する梱包材等は、再利用可能なものを利用するよう、搬入業者に周知する。	再利用可能な梱包材等を使用するよう搬入業者に周知徹底した。	-

表 7-2(1/4) 環境保全のための措置の実施状況（供用時）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
大 気 質	焼却ガスの温度、集じん機入口温度、排出ガス中の一酸化炭素濃度等の連続測定装置を設置し、適切な運転管理を行う。	焼却ガスの温度、集じん機入口温度、排出ガス中の一酸化炭素濃度等の連続測定等の実施により、運転管理を行っている。	
	排出ガス中の大気汚染物質の濃度は定期的な測定を実施し、結果を公表・保存する。	排出ガス中の大気汚染物質濃度の測定を定期的の実施しており、その結果を自社HPで公表している。	-
	排出ガス中の大気汚染物質については、最新の公害防止設備により除去・分解を行うことで、規制基準以下に設定した、より厳しい自主的な基準値の遵守を徹底する。	法規制値より厳しい自主基準値を設けており、基準値の遵守を徹底している。	-
	日常の設備点検や運転監視を着実にを行い、ごみの性状に的確に対応した施設の稼働を確保する。	設備点検や運転監視により、焼却施設の適切な運転を行っている。	-
	ごみピットに貯留されているごみをできる限り均一になるように攪拌することで、安定した焼却を行う。	ごみピット内のごみを均一に攪拌することで、焼却炉の安定した稼働に努めている。	-
	廃棄物運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。	廃棄物運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守している。	-
	敷地内で車両は、必要以上の暖機運転（アイドリング）をしないよう、運転手への指導を徹底する。	敷地内ではアイドリングストップを徹底するように周知している。	-
	廃棄物運搬車両及び事務車両は、低公害車の導入を検討する。	廃棄物運搬車両及び事務車両は、低公害車の導入を実施している。	

表 7-2 (2/4) 環境保全のための措置の実施状況（供用時）

	評価書の記載内容	措置の内容	写真
騒音	著しい騒音を発生させる機器設備を設置する場合には、屋内の専用室に設置するなど防音対策を実施し、騒音による周辺への影響を低減する。	空気圧縮機等の騒音の発生源となる機器は屋内の専用室に設置し、周辺への影響を低減するよう努めている。	
	騒音発生源となる設備機器を多く配置する焼却施設の配置について、敷地南側から離すことにより、周辺地域への騒音による影響を低減する。	焼却施設を含む建屋は敷地の北寄りに設置しており(写真に示す右奥の建屋)、周辺地域への騒音による影響を低減している。	
	機器の異常音等を発生させないよう、日常点検を実施し機器設備を適切に維持管理する。	日常点検の実施により、機器設備の適切な管理を実施している。	-
	廃棄物運搬車両は、速度や積載量等、交通規制の遵守を要請する。特に住宅等の近接する地域の走行については、丁寧な運転に努めるよう、運転手等に協力を要請する。また、敷地内ではアイドリングストップを徹底するよう運転手等に協力を要請する。	交通規則の遵守を徹底し、丁寧な運転を心がけるよう周知している。また、敷地内ではアイドリングストップの実施を周知している。	-
振動	著しい振動を発生させる機器設備を設置する場合には、単独基礎や防振ゴム、防振架台の設置等の対策を講じて、振動による周辺への影響を低減する。	振動の発生源となる機器には、防振架台の設置等の対策を講じることによって周辺への影響を低減するよう努めている。	
	振動発生源となる設備機器を多く配置する焼却施設の配置について、敷地南側から離すことにより、周辺地域への振動による影響を低減する。	焼却施設を含む建屋は敷地の北寄りに配置されており、周辺地域への振動による影響を低減している。	騒音と同様
	機器の異常音等を発生させないよう、日常点検を実施し機器設備を適切に維持管理する。	騒音と同様	-
	廃棄物運搬車両は、速度や積載量等、交通規制の遵守を要請する。特に住宅等の近接する地域の走行については、丁寧な運転に努めるよう、運転手等に協力を要請する。アイドリングストップを徹底するよう運転手等に協力を要請する。	騒音と同様	-

表 7-2(3/4) 環境保全のための措置の実施状況（供用時）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
悪 臭	ごみピットから発生する臭気は、燃焼空気としてピット内から吸引し、燃焼することにより酸化分解する。	ごみピット内の空気を燃焼用空気として焼却炉の中へ送り込み、高温で分解処理している。	-
	ごみピットは、外部との開口部分を必要最小限とするため投入扉を設置し、臭気の漏洩を防止する。	ごみピットに投入扉を設置し、ごみ投入時のみ開放することで臭気の漏洩を防止している。	
水 質	焼却施設の稼働に伴う排水はない。 降雨による雨水等は、敷地内の油水分離槽を経て放流する。	降雨による雨水は、雨水排水処理槽を経て放流している。	
景 観	景観に配慮した色彩やデザインを採用するなど、周辺環境との調和を図る。	道路のある敷地東側から建屋を離して設置し、圧迫感の軽減や清潔感の向上に配慮したデザインを採用している。 また、敷地境界付近には植栽を施すことで圧迫感の軽減と緑化に努めている。	 
	敷地内の土地利用において、敷地の東を通る道路側に設置する建屋等の高さをできる限り低く抑え、今出港防波堤を利用する住民等への圧迫感の低減を図る。		
	圧迫感の軽減や清潔感・親近感の向上に配慮したデザインとする。		
	計画施設の高さは既存施設と同程度とし、圧迫感の軽減に努める。		
	敷地内に植栽を施し、積極的な緑化に努める。		
触 れ 人 合 と い 自 然 動 と の 場	圧迫感の軽減や清潔感・親近感の向上に配慮したデザインとする。	景観と同様	景観と同様
	自社による廃棄物等の搬出入については、集中する時間を避けるなど分散に努める。	自社による搬入は混雑する時間を避け、搬入の分散化に努める。	-

表 7-2(4/4) 環境保全のための措置の実施状況（供用時）

評価書の記載内容		措置の内容	写真
廃棄物の発生	混合廃棄物等は破碎選別による前処理を行い、可能な限り資源等の回収に努める。	搬入された廃棄物は適切に選別を実施し、資源回収に努めている。	
	焼却残さ（焼却灰、飛灰等）等の搬出は、飛散防止のために覆い等を設けた適切な運搬車両を用いる。	焼却残さ等の搬出時には飛散防止のための覆いを設けた運搬車両を用いている。	
	施設の能力が十分発揮できるよう、維持管理に努める。	大気質と同様	-
温室効果ガス	使用電力量の抑制と発電効率の維持に努め、売電量の維持・増加を図る。	使用電力量の抑制と発電効率の維持に努めることにより、売電量の維持・増加を図っている。	-
	計画施設に設置する各機器は可能な限り省電力型のものを採用する。 不要な照明の消灯、冷暖房温度の適正な設定等に努め、場内の消費電力量を低減する。	使用機器は可能な限り省電力型のものを採用している。 また、不要な照明の消灯、冷暖房の適切な使用を徹底し、消費電力の低減に努めている。	-
	場内の積極的な緑化の推進を行うとともに、建物壁面等についても緑化を推進することにより、室温の低減効果、建物への蓄熱抑制、冷房排熱の低減を図る。	工場建屋の壁面は緑化を実施することで夏季における室温の低減、建屋の蓄熱抑制、冷房排熱の低減を図っている。	

第 8 章 事後調査結果の総括

第8章 事後調査結果の総括

1 環境影響評価との比較

1) 工事の実施

工事の実施に伴う調査の結果について、予測結果及び環境保全目標との比較を表 8. 1-1 に示す。

騒音について、No. 3 及び No. 4 における調査結果は予測結果を上回っていたが、すべて環境保全目標等を満足していた。

振動について、No. 4 における調査結果は予測結果を上回っていたが、すべて環境保全目標を満足していた。

水質について、環境の保全のための措置として設定された数値を下回っていた。

よって、調査結果はすべて環境保全目標等を満足しており、工事の実施による環境への影響は十分に低減されていたと評価する。

表 8. 1-1 環境影響評価との比較（工事の実施）

区分		調査地点	調査項目		調査結果	予測結果	環境保全目標	環境保全目標との比較
騒音	工事用資材の搬出入	No. 3	騒音レベル L _{Aeq}	昼間	70 dB	69 dB	75 dB	調査結果は環境保全目標を満足している。
		No. 4			67 dB	65 dB	75 dB	
振動		No. 3	振動レベル L ₁₀	昼間	42 dB	43 dB	70 dB	
				夜間	34 dB	34 dB	65 dB	
		No. 4		昼間	43 dB	40 dB	70 dB	
				夜間	33 dB	31 dB	65 dB	
水質	造成等の施工による一時的な影響	雨水排水処理槽	浮遊物質量(SS)	16 mg/L	-	200 mg/L ¹⁾		
				23 mg/L				
				29 mg/L				
				144 mg/L				
				31 mg/L				

注：1) 環境影響評価において環境保全目標が設定されていないため、環境の保全のための措置として設定された値を参考として示す。

注：2) 水質の調査結果はポータブルSS計による簡易測定結果のみを記載している。

2) 土地又は工作物の存在及び供用

土地又は工作物の存在及び供用に伴う調査の結果について、予測結果及び環境保全目標との比較を表 8.1-2 に示す。

大気質について、No.1 における二酸化窒素、水銀及びダイオキシン類と No.2 における水銀及びダイオキシン類の調査結果が予測結果を上回っていたが、すべての項目で環境保全目標及び自主基準値を満足していた。

騒音について、No.3 及び No.4 における調査結果が予測結果を上回っていたが、すべて環境保全目標を満足していた。

振動について、No.3 の夜間及び No.4 における調査結果が予測結果を上回っていたが、すべて環境保全目標を満足していた。

悪臭について、調査結果は予測結果及び環境保全目標等を満足していた。

よって、調査結果はすべて環境保全目標等を満足しており、土地又は工作物の存在及び供用による環境への影響は十分に低減されていたと評価する。

表 8.1-2 (1/3) 調査結果の比較（土地又は工作物の存在及び供用）

区分		調査地点	調査項目	調査結果	予測結果	環境保全目標	環境保全目標との比較
大気質	施設の稼働 (環境大気質)	No. 1	二酸化硫黄 (SO ₂)	0.006 ppm (0.002 ppm)	0.021 ppm (0.008 ppm)	二酸化硫黄 日平均値： 0.04ppm以下 二酸化窒素 日平均値：0.04～ 0.06ppmのゾーン 内又はそれ以下 浮遊粒子状物質 日平均値： 0.10mg/m ³ 以下	調査結果は 環境保全目標を 満足している。
			二酸化窒素 (NO ₂)	0.028 ppm (0.010 ppm)	0.022 ppm (0.010 ppm)		
			浮遊粒子状物質 (SPM)	0.023 mg/m ³ (0.010 mg/m ³)	0.046 mg/m ³ (0.019 mg/m ³)		
			塩化水素	<0.002 ppm	0.010 ppm		
			水銀	3.7 ng/m ³	2.0 ng/m ³		
			ダイオキシン類	0.066 pg-TEQ/m ³	0.024 pg-TEQ/m ³		
		No. 2	二酸化硫黄 (SO ₂)	0.006 ppm (0.002 ppm)	0.016 ppm (0.006 ppm)	塩化水素 目標環境濃度： 0.02ppm以下 水銀 指針値： 40ng/m ³ ダイオキシン類 年間平均値： 0.6pg-TEQ/m ³ 以下	
			二酸化窒素 (NO ₂)	0.017 ppm (0.006 ppm)	0.023 ppm (0.011 ppm)		
			浮遊粒子状物質 (SPM)	0.034 mg/m ³ (0.015 mg/m ³)	0.046 mg/m ³ (0.019 mg/m ³)		
			塩化水素	<0.002 ppm	0.010 ppm		
			水銀	2.6 ng/m ³	2.0 ng/m ³		
			ダイオキシン類	0.059 pg-TEQ/m ³	0.024 pg-TEQ/m ³		
	廃棄物の搬出入 (沿道大気質)	No. 3	二酸化窒素 (NO ₂)	0.024 ppm (0.013 ppm)	0.027 ppm	浮遊粒子状物質 日平均値： 0.10mg/m ³ 以下	
			浮遊粒子状物質 (SPM)	0.032 mg/m ³ (0.018 mg/m ³)	0.051 mg/m ³		
		No. 4	二酸化窒素 (NO ₂)	0.018 ppm (0.012 ppm)	0.026 ppm	二酸化窒素 日平均値：0.04～ 0.06ppmのゾーン 内又はそれ以下	
			浮遊粒子状物質 (SPM)	0.027 mg/m ³ (0.020 mg/m ³)	0.051 mg/m ³		

注：1) 調査結果は日平均最高濃度、() は期間内平均濃度を示す。

また、予測結果は日平均予測濃度（98%または2%除外値）を示す。

表 8.1-2 (2/3) 調査結果の比較（土地又は工作物の存在及び供用）

区分	調査地点	調査項目	調査結果 (令和5年度)				自主基準値	自主基準値 との比較
			令和5年			令和6年		
			7月	10月	12月	5月		
大気質	施設の稼働 (排ガス)	煙突	硫黄酸化物 (ppm)	11	0.9	1.0	4.0	200
			ばいじん (g/m ³ N)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
			窒素酸化物 (ppm)	80	78	66	130	250
			塩化水素 (ppm)	110	74	21	15	151
			水銀 (μg/m ³ N)	(0.7)	(0.4)	検出されず	(0.7)	30
			ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	0.087	0.023	0.012	0.047	0.1

注：1) 全水銀の測定値は、定量下限未満かつ検出下限以上の場合、()内に測定値を示した。

表 8.1-2 (3/3) 調査結果の比較（土地又は工作物の存在及び供用）

区分		調査地点		調査項目		調査結果	予測結果	環境保全目標	環境保全目標との比較
騒音	施設の稼働	敷地境界		騒音レベル L ₅	朝	51 dB	66 dB	70 dB	
					昼間	61 dB	66 dB	70 dB	
					夕	45 dB	65 dB	－	
					夜間	43 dB	65 dB	－	
振動	廃棄物の搬出入	沿道	No. 3	騒音レベル L _{Aeq}	昼間	70 dB	69 dB	75 dB	
			No. 4		夜間	66 dB	65 dB	75 dB	
		沿道	No. 3	振動レベル L ₁₀	昼間	43 dB	43 dB	70 dB	
					夜間	35 dB	34 dB	65 dB	
			No. 4		昼間	42 dB	41 dB	70 dB	
					夜間	33 dB	31 dB	65 dB	
		悪臭	施設の稼働	敷地境界	風上	臭気指数	<10	<10	10
					風下		<10	<10	10
煙突排出口				<10	－		25 ¹⁾		

注：1) 敷地境界における環境保全目標に基づき、悪臭防止法施行規則第6条の2に定める方法により算出した臭気指数。

第9章

事後調査を委託した者の名称・代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

第 9 章 事後調査を委託した者の名称・代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

事後調査に係る業務の委託先は以下のとおりである。

名 称：株式会社 日建技術コンサルタント 四国支社

代表者氏名：支社長 細谷 芳照

所 在 地：香川県高松市中央町 11 番 5 号(日建高松ビル)

資料編

1. 大気質調査結果

大気質調査結果を次頁以降に示す。

- ・ 春季（令和 5 年 4 月 25 日～5 月 1 日）

一酸化窒素調査結果 (No. 3) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No.3

単位：ppm

月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
1 ～	2 0.004	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.004	0.000	0.001
2 ～	3 0.001	0.001	0.002	0.002	0.000	0.000	0.001	7	0.002	0.000	0.001
3 ～	4 0.001	0.002	0.002	0.006	0.000	0.000	0.002	7	0.006	0.000	0.002
4 ～	5 0.003	0.005	0.007	0.004	0.001	0.000	0.006	7	0.007	0.000	0.004
5 ～	6 0.008	0.006	0.006	0.006	0.001	0.000	0.010	7	0.010	0.000	0.005
6 ～	7 0.006	0.012	0.009	0.010	0.001	0.000	0.014	7	0.014	0.000	0.007
7 ～	8 0.013	0.012	0.011	0.014	0.003	0.000	0.007	7	0.014	0.000	0.009
8 ～	9 0.014	0.008	0.007	0.013	0.006	0.001	0.011	7	0.014	0.001	0.009
9 ～	10 0.013	0.007	0.005	0.006	0.007	0.001	0.006	7	0.013	0.001	0.006
10 ～	11 0.012	0.012	0.005	0.005	0.007	0.001	0.004	7	0.012	0.001	0.007
11 ～	12 0.011	0.007	0.003	0.002	0.003	0.001	0.004	7	0.011	0.001	0.004
12 ～	13 0.012	0.003	0.002	0.000	0.004	0.001	0.001	7	0.012	0.000	0.003
13 ～	14 0.004	0.006	0.002	0.002	0.006	0.000	0.002	7	0.006	0.000	0.003
14 ～	15 0.010	0.004	0.002	0.002	0.006	0.000	0.002	7	0.010	0.000	0.004
15 ～	16 0.004	0.002	0.003	0.001	0.005	0.000	0.004	7	0.005	0.000	0.003
16 ～	17 0.005	0.003	0.003	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.005	0.001	0.002
17 ～	18 0.001	0.001	0.002	0.001	0.003	0.000	0.001	7	0.003	0.000	0.001
18 ～	19 0.001	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
19 ～	20 0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
20 ～	21 0.001	0.004	0.003	0.001	0.001	0.002	0.002	7	0.004	0.001	0.002
21 ～	22 0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.002	7	0.002	0.000	0.001
22 ～	23 0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.003	0.000	7	0.003	0.000	0.001
23 ～	24 0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.014	0.012	0.011	0.014	0.007	0.003	0.014		0.014		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000		
平 均	0.005	0.004	0.003	0.003	0.002	0.001	0.003				0.003
日平均値の最高値	0.005										

二酸化窒素調査結果 (No. 3) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No.3

測定地点：No.3											単位：ppm
月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.008	0.017	0.005	0.008	0.003	0.004	0.003	7	0.017	0.003	0.007
1 ～ 2	0.010	0.010	0.007	0.006	0.003	0.008	0.004	7	0.010	0.003	0.007
2 ～ 3	0.010	0.025	0.006	0.007	0.002	0.009	0.004	7	0.025	0.002	0.009
3 ～ 4	0.008	0.017	0.006	0.008	0.004	0.005	0.006	7	0.017	0.004	0.008
4 ～ 5	0.010	0.012	0.011	0.010	0.006	0.008	0.011	7	0.012	0.006	0.010
5 ～ 6	0.013	0.012	0.012	0.012	0.004	0.005	0.014	7	0.014	0.004	0.010
6 ～ 7	0.016	0.020	0.017	0.015	0.005	0.005	0.017	7	0.020	0.005	0.014
7 ～ 8	0.022	0.021	0.018	0.021	0.010	0.006	0.015	7	0.022	0.006	0.016
8 ～ 9	0.024	0.014	0.021	0.023	0.026	0.008	0.022	7	0.026	0.008	0.020
9 ～ 10	0.024	0.014	0.020	0.017	0.028	0.008	0.023	7	0.028	0.008	0.019
10 ～ 11	0.026	0.021	0.016	0.018	0.025	0.007	0.020	7	0.026	0.007	0.019
11 ～ 12	0.027	0.015	0.011	0.010	0.015	0.007	0.021	7	0.027	0.007	0.015
12 ～ 13	0.031	0.012	0.008	0.006	0.017	0.007	0.013	7	0.031	0.006	0.013
13 ～ 14	0.013	0.018	0.011	0.007	0.028	0.005	0.016	7	0.028	0.005	0.014
14 ～ 15	0.023	0.014	0.013	0.007	0.030	0.005	0.015	7	0.030	0.005	0.015
15 ～ 16	0.023	0.013	0.018	0.008	0.028	0.005	0.021	7	0.028	0.005	0.017
16 ～ 17	0.026	0.015	0.017	0.007	0.018	0.007	0.013	7	0.026	0.007	0.015
17 ～ 18	0.018	0.007	0.010	0.010	0.016	0.010	0.008	7	0.018	0.007	0.011
18 ～ 19	0.019	0.007	0.010	0.008	0.007	0.009	0.014	7	0.019	0.007	0.011
19 ～ 20	0.016	0.009	0.007	0.012	0.003	0.008	0.007	7	0.016	0.003	0.009
20 ～ 21	0.018	0.018	0.012	0.010	0.004	0.008	0.010	7	0.018	0.004	0.011
21 ～ 22	0.014	0.012	0.010	0.008	0.002	0.006	0.009	7	0.014	0.002	0.009
22 ～ 23	0.015	0.010	0.009	0.007	0.005	0.008	0.005	7	0.015	0.005	0.008
23 ～ 24	0.014	0.007	0.008	0.005	0.009	0.005	0.005	7	0.014	0.005	0.008
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.031	0.025	0.021	0.023	0.030	0.010	0.023		0.031		
最 低	0.008	0.007	0.005	0.005	0.002	0.004	0.003			0.002	
平 均	0.018	0.014	0.012	0.010	0.012	0.007	0.012				0.012

日 平 均 値 の 最 高 値		0.018
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数		0
日 平 均 値 が 0.04～0.06ppm を 超 え た 日 数		0

窒素酸化物調査結果 (No. 3) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No.3

単位：ppm

月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.009	0.017	0.005	0.009	0.003	0.004	0.003	7	0.017	0.003	0.007
1 ～	2 0.014	0.010	0.008	0.006	0.003	0.008	0.005	7	0.014	0.003	0.008
2 ～	3 0.011	0.026	0.008	0.009	0.002	0.009	0.005	7	0.026	0.002	0.010
3 ～	4 0.009	0.019	0.008	0.014	0.004	0.005	0.008	7	0.019	0.004	0.010
4 ～	5 0.013	0.017	0.018	0.014	0.007	0.008	0.017	7	0.018	0.007	0.013
5 ～	6 0.021	0.018	0.018	0.018	0.005	0.005	0.024	7	0.024	0.005	0.016
6 ～	7 0.022	0.032	0.026	0.025	0.006	0.005	0.031	7	0.032	0.005	0.021
7 ～	8 0.035	0.033	0.029	0.035	0.013	0.006	0.022	7	0.035	0.006	0.025
8 ～	9 0.038	0.022	0.028	0.036	0.032	0.009	0.033	7	0.038	0.009	0.028
9 ～	10 0.037	0.021	0.025	0.023	0.035	0.009	0.029	7	0.037	0.009	0.026
10 ～	11 0.038	0.033	0.021	0.023	0.032	0.008	0.024	7	0.038	0.008	0.026
11 ～	12 0.038	0.022	0.014	0.012	0.018	0.008	0.025	7	0.038	0.008	0.020
12 ～	13 0.043	0.015	0.010	0.006	0.021	0.008	0.014	7	0.043	0.006	0.017
13 ～	14 0.017	0.024	0.013	0.009	0.034	0.005	0.018	7	0.034	0.005	0.017
14 ～	15 0.033	0.018	0.015	0.009	0.036	0.005	0.017	7	0.036	0.005	0.019
15 ～	16 0.027	0.015	0.021	0.009	0.033	0.005	0.025	7	0.033	0.005	0.019
16 ～	17 0.031	0.018	0.020	0.008	0.020	0.008	0.014	7	0.031	0.008	0.017
17 ～	18 0.019	0.008	0.012	0.011	0.019	0.010	0.009	7	0.019	0.008	0.013
18 ～	19 0.020	0.007	0.011	0.008	0.008	0.010	0.014	7	0.020	0.007	0.011
19 ～	20 0.017	0.010	0.007	0.013	0.003	0.009	0.007	7	0.017	0.003	0.009
20 ～	21 0.019	0.022	0.015	0.011	0.005	0.010	0.012	7	0.022	0.005	0.013
21 ～	22 0.014	0.012	0.011	0.009	0.002	0.007	0.011	7	0.014	0.002	0.009
22 ～	23 0.016	0.011	0.010	0.008	0.005	0.011	0.005	7	0.016	0.005	0.009
23 ～	24 0.014	0.008	0.009	0.005	0.009	0.005	0.005	7	0.014	0.005	0.008
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.043	0.033	0.029	0.036	0.036	0.011	0.033		0.043		
最 低	0.009	0.007	0.005	0.005	0.002	0.004	0.003			0.002	
平 均	0.023	0.018	0.015	0.014	0.015	0.007	0.016				0.015
日平均値の最高値	0.023										

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 3) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No.3

単位：mg/m³

月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.018	0.014	0.020	0.023	0.011	0.014	0.020	7	0.023	0.011	0.017
1 ～	2 0.017	0.016	0.021	0.022	0.015	0.021	0.020	7	0.022	0.015	0.019
2 ～	3 0.017	0.011	0.021	0.021	0.016	0.018	0.019	7	0.021	0.011	0.018
3 ～	4 0.020	0.006	0.022	0.022	0.015	0.027	0.017	7	0.027	0.006	0.018
4 ～	5 0.018	0.013	0.022	0.020	0.015	0.030	0.019	7	0.030	0.013	0.020
5 ～	6 0.018	0.011	0.023	0.019	0.014	0.027	0.021	7	0.027	0.011	0.019
6 ～	7 0.019	0.009	0.022	0.019	0.012	0.028	0.023	7	0.028	0.009	0.019
7 ～	8 0.018	0.002	0.025	0.023	0.016	0.040	0.022	7	0.040	0.002	0.021
8 ～	9 0.018	0.000	0.023	0.023	0.024	0.039	0.021	7	0.039	0.000	0.021
9 ～	10 0.020	0.008	0.024	0.022	0.026	0.038	0.024	7	0.038	0.008	0.023
10 ～	11 0.022	0.002	0.022	0.021	0.027	0.036	0.023	7	0.036	0.002	0.022
11 ～	12 0.027	0.007	0.019	0.021	0.019	0.035	0.025	7	0.035	0.007	0.022
12 ～	13 0.026	0.011	0.019	0.018	0.025	0.035	0.024	7	0.035	0.011	0.023
13 ～	14 0.019	0.014	0.019	0.017	0.027	0.031	0.029	7	0.031	0.014	0.022
14 ～	15 0.024	0.013	0.018	0.017	0.033	0.027	0.028	7	0.033	0.013	0.023
15 ～	16 0.019	0.022	0.021	0.017	0.026	0.025	0.029	7	0.029	0.017	0.023
16 ～	17 0.024	0.024	0.021	0.015	0.022	0.027	0.027	7	0.027	0.015	0.023
17 ～	18 0.023	0.018	0.027	0.017	0.017	0.022	0.023	7	0.027	0.017	0.021
18 ～	19 0.025	0.018	0.022	0.017	0.014	0.019	0.014	7	0.025	0.014	0.018
19 ～	20 0.020	0.021	0.023	0.017	0.010	0.022	0.014	7	0.023	0.010	0.018
20 ～	21 0.025	0.024	0.023	0.018	0.006	0.022	0.016	7	0.025	0.006	0.019
21 ～	22 0.026	0.020	0.020	0.016	0.006	0.022	0.020	7	0.026	0.006	0.019
22 ～	23 0.019	0.019	0.022	0.013	0.013	0.022	0.015	7	0.022	0.013	0.018
23 ～	24 0.026	0.017	0.020	0.013	0.015	0.022	0.014	7	0.026	0.013	0.018
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.027	0.024	0.027	0.023	0.033	0.040	0.029		0.040		
最 低	0.017	0.000	0.018	0.013	0.006	0.014	0.014			0.000	
平 均	0.021	0.013	0.022	0.019	0.018	0.027	0.021				0.020
日 平 均 値 の 最 高 値											
0.027											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											
0											

一酸化窒素調査結果 (No. 4) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No. 4

単位：ppm

月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
1 ～	2 0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
2 ～	3 0.000	0.003	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.003	0.000	0.001
3 ～	4 0.000	0.004	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.004	0.000	0.001
4 ～	5 0.000	0.004	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.004	0.000	0.002
5 ～	6 0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	7	0.002	0.001	0.001
6 ～	7 0.003	0.003	0.002	0.003	0.001	0.001	0.003	7	0.003	0.001	0.002
7 ～	8 0.011	0.002	0.005	0.004	0.002	0.001	0.005	7	0.011	0.001	0.004
8 ～	9 0.042	0.004	0.013	0.007	0.006	0.001	0.006	7	0.042	0.001	0.011
9 ～	10 0.011	0.010	0.008	0.009	0.011	0.001	0.003	7	0.011	0.001	0.008
10 ～	11 0.009	0.010	0.009	0.005	0.006	0.004	0.006	7	0.010	0.004	0.007
11 ～	12 0.015	0.006	0.053	0.006	0.004	0.001	0.002	7	0.053	0.001	0.012
12 ～	13 0.012	0.002	0.066	0.002	0.004	0.001	0.007	7	0.066	0.001	0.013
13 ～	14 0.010	0.002	0.044	0.004	0.005	0.001	0.011	7	0.044	0.001	0.011
14 ～	15 0.012	0.002	0.040	0.002	0.005	0.001	0.002	7	0.040	0.001	0.009
15 ～	16 0.007	0.002	0.037	0.002	0.005	0.001	0.002	7	0.037	0.001	0.008
16 ～	17 0.006	0.002	0.039	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.039	0.001	0.007
17 ～	18 0.004	0.001	0.042	0.002	0.002	0.001	0.001	7	0.042	0.001	0.008
18 ～	19 0.003	0.001	0.012	0.002	0.002	0.001	0.001	7	0.012	0.001	0.003
19 ～	20 0.002	0.001	0.009	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.009	0.001	0.002
20 ～	21 0.004	0.001	0.001	0.001	0.004	0.001	0.000	7	0.004	0.000	0.002
21 ～	22 0.001	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
22 ～	23 0.002	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001
23 ～	24 0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.042	0.010	0.066	0.009	0.011	0.004	0.011		0.066		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000		0.000		
平 均	0.007	0.003	0.016	0.002	0.003	0.001	0.002				0.005
日平均値の最高値											
0.016											

二酸化窒素調査結果 (No. 4) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No.4

単位：ppm

月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.008	0.017	0.005	0.008	0.003	0.005	0.003	7	0.017	0.003	0.007
1 ～	2 0.008	0.011	0.007	0.006	0.003	0.007	0.003	7	0.011	0.003	0.006
2 ～	3 0.007	0.026	0.006	0.006	0.005	0.009	0.004	7	0.026	0.004	0.009
3 ～	4 0.007	0.016	0.005	0.005	0.005	0.008	0.005	7	0.016	0.005	0.007
4 ～	5 0.007	0.009	0.008	0.007	0.006	0.006	0.006	7	0.009	0.006	0.007
5 ～	6 0.011	0.007	0.010	0.009	0.002	0.004	0.009	7	0.011	0.002	0.007
6 ～	7 0.014	0.010	0.012	0.012	0.004	0.004	0.014	7	0.014	0.004	0.010
7 ～	8 0.022	0.012	0.014	0.011	0.011	0.005	0.017	7	0.022	0.005	0.013
8 ～	9 0.048	0.011	0.024	0.016	0.030	0.005	0.016	7	0.048	0.005	0.021
9 ～	10 0.029	0.018	0.023	0.021	0.032	0.007	0.011	7	0.032	0.007	0.020
10 ～	11 0.019	0.014	0.021	0.019	0.023	0.010	0.015	7	0.023	0.010	0.017
11 ～	12 0.032	0.011	0.044	0.020	0.016	0.007	0.007	7	0.044	0.007	0.020
12 ～	13 0.028	0.007	0.053	0.010	0.017	0.005	0.016	7	0.053	0.005	0.019
13 ～	14 0.020	0.008	0.048	0.011	0.023	0.004	0.030	7	0.048	0.004	0.021
14 ～	15 0.025	0.008	0.048	0.009	0.028	0.003	0.010	7	0.048	0.003	0.019
15 ～	16 0.023	0.011	0.051	0.010	0.035	0.004	0.011	7	0.051	0.004	0.021
16 ～	17 0.022	0.011	0.056	0.008	0.017	0.005	0.013	7	0.056	0.005	0.019
17 ～	18 0.023	0.007	0.059	0.010	0.014	0.006	0.007	7	0.059	0.006	0.018
18 ～	19 0.023	0.007	0.027	0.014	0.008	0.007	0.005	7	0.027	0.005	0.013
19 ～	20 0.019	0.010	0.022	0.015	0.003	0.008	0.007	7	0.022	0.003	0.012
20 ～	21 0.022	0.011	0.009	0.014	0.007	0.007	0.006	7	0.022	0.006	0.011
21 ～	22 0.019	0.011	0.008	0.007	0.003	0.006	0.008	7	0.019	0.003	0.009
22 ～	23 0.020	0.009	0.008	0.007	0.006	0.007	0.005	7	0.020	0.005	0.009
23 ～	24 0.017	0.006	0.007	0.006	0.007	0.006	0.004	7	0.017	0.004	0.008
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.048	0.026	0.059	0.021	0.035	0.010	0.030		0.059		
最 低	0.007	0.006	0.005	0.005	0.002	0.003	0.003			0.002	
平 均	0.020	0.011	0.024	0.011	0.013	0.006	0.010				0.013
日平均値の最高値											
日平均値が0.06ppmを超えた日数											
0											
日平均値が0.04～0.06ppmを超えた日数											
0											

- ・夏季（令和5年 7月 12日～18日）

窒素酸化物調査結果 (No. 4) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No. 4

単位：ppm

月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.008	0.018	0.005	0.009	0.004	0.006	0.004	7	0.018	0.004	0.008
1 ～	2 0.009	0.012	0.007	0.007	0.004	0.008	0.004	7	0.012	0.004	0.007
2 ～	3 0.007	0.029	0.006	0.006	0.006	0.010	0.005	7	0.029	0.005	0.010
3 ～	4 0.007	0.020	0.005	0.005	0.006	0.009	0.005	7	0.020	0.005	0.008
4 ～	5 0.007	0.013	0.010	0.008	0.008	0.007	0.007	7	0.013	0.007	0.009
5 ～	6 0.012	0.009	0.012	0.010	0.003	0.005	0.011	7	0.012	0.003	0.009
6 ～	7 0.017	0.013	0.014	0.015	0.005	0.005	0.017	7	0.017	0.005	0.012
7 ～	8 0.033	0.014	0.019	0.015	0.013	0.006	0.022	7	0.033	0.006	0.017
8 ～	9 0.090	0.015	0.037	0.023	0.036	0.006	0.022	7	0.090	0.006	0.033
9 ～	10 0.040	0.028	0.031	0.030	0.043	0.008	0.014	7	0.043	0.008	0.028
10 ～	11 0.028	0.024	0.030	0.024	0.029	0.014	0.021	7	0.030	0.014	0.024
11 ～	12 0.047	0.017	0.097	0.026	0.020	0.008	0.009	7	0.097	0.008	0.032
12 ～	13 0.040	0.009	0.119	0.012	0.021	0.006	0.023	7	0.119	0.006	0.033
13 ～	14 0.030	0.010	0.092	0.015	0.028	0.005	0.041	7	0.092	0.005	0.032
14 ～	15 0.037	0.010	0.088	0.011	0.033	0.004	0.012	7	0.088	0.004	0.028
15 ～	16 0.030	0.013	0.088	0.012	0.040	0.005	0.013	7	0.088	0.005	0.029
16 ～	17 0.028	0.013	0.095	0.009	0.018	0.006	0.014	7	0.095	0.006	0.026
17 ～	18 0.027	0.008	0.101	0.012	0.016	0.007	0.008	7	0.101	0.007	0.026
18 ～	19 0.026	0.008	0.039	0.016	0.010	0.008	0.006	7	0.039	0.006	0.016
19 ～	20 0.021	0.011	0.031	0.016	0.004	0.009	0.008	7	0.031	0.004	0.014
20 ～	21 0.026	0.012	0.010	0.015	0.011	0.008	0.006	7	0.026	0.006	0.013
21 ～	22 0.020	0.011	0.009	0.007	0.004	0.007	0.009	7	0.020	0.004	0.010
22 ～	23 0.022	0.010	0.008	0.008	0.007	0.008	0.005	7	0.022	0.005	0.010
23 ～	24 0.018	0.006	0.007	0.007	0.008	0.007	0.004	7	0.018	0.004	0.008
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.090	0.029	0.119	0.030	0.043	0.014	0.041		0.119		
最 低	0.007	0.006	0.005	0.005	0.003	0.004	0.004			0.003	
平 均	0.026	0.014	0.040	0.013	0.016	0.007	0.012				0.018
日平均値の最高値	0.040										

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 4) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月1日(月)

測定地点：No.4

単位：mg/m³

月日(曜) 時	4月25日 (火)	4月26日 (水)	4月27日 (木)	4月28日 (金)	4月29日 (土)	4月30日 (日)	5月1日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.011	0.014	0.009	0.023	0.014	0.017	0.011	7	0.023	0.009	0.014
1 ～	2 0.009	0.010	0.012	0.021	0.011	0.028	0.013	7	0.028	0.009	0.015
2 ～	3 0.010	0.010	0.013	0.015	0.011	0.032	0.013	7	0.032	0.010	0.015
3 ～	4 0.010	0.023	0.010	0.025	0.010	0.058	0.018	7	0.058	0.010	0.022
4 ～	5 0.010	0.021	0.014	0.018	0.010	0.048	0.014	7	0.048	0.010	0.019
5 ～	6 0.012	0.012	0.011	0.012	0.007	0.030	0.023	7	0.030	0.007	0.015
6 ～	7 0.015	0.009	0.016	0.016	0.013	0.042	0.018	7	0.042	0.009	0.018
7 ～	8 0.017	0.010	0.016	0.015	0.011	0.041	0.008	7	0.041	0.008	0.017
8 ～	9 0.018	0.001	0.014	0.011	0.019	0.041	0.014	7	0.041	0.001	0.017
9 ～	10 0.019	0.007	0.014	0.016	0.032	0.045	0.019	7	0.045	0.007	0.022
10 ～	11 0.023	0.007	0.016	0.016	0.023	0.056	0.016	7	0.056	0.007	0.022
11 ～	12 0.029	0.008	0.008	0.020	0.022	0.042	0.021	7	0.042	0.008	0.021
12 ～	13 0.020	0.006	0.011	0.017	0.017	0.036	0.013	7	0.036	0.006	0.017
13 ～	14 0.026	0.011	0.014	0.014	0.017	0.031	0.020	7	0.031	0.011	0.019
14 ～	15 0.026	0.012	0.019	0.009	0.029	0.029	0.020	7	0.029	0.009	0.021
15 ～	16 0.019	0.020	0.010	0.012	0.032	0.025	0.026	7	0.032	0.010	0.021
16 ～	17 0.026	0.025	0.017	0.006	0.022	0.026	0.028	7	0.028	0.006	0.021
17 ～	18 0.024	0.022	0.017	0.011	0.012	0.023	0.023	7	0.024	0.011	0.019
18 ～	19 0.016	0.022	0.017	0.012	0.009	0.021	0.009	7	0.022	0.009	0.015
19 ～	20 0.023	0.022	0.024	0.014	0.009	0.021	0.014	7	0.024	0.009	0.018
20 ～	21 0.020	0.026	0.023	0.021	0.010	0.016	0.009	7	0.026	0.009	0.018
21 ～	22 0.031	0.014	0.018	0.017	0.008	0.024	0.011	7	0.031	0.008	0.018
22 ～	23 0.020	0.015	0.021	0.020	0.018	0.014	0.011	7	0.021	0.011	0.017
23 ～	24 0.020	0.011	0.019	0.016	0.022	0.012	0.013	7	0.022	0.011	0.016
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.031	0.026	0.024	0.025	0.032	0.058	0.028		0.058		
最 低	0.009	0.001	0.008	0.006	0.007	0.012	0.008			0.001	
平 均	0.019	0.014	0.015	0.016	0.016	0.032	0.016				0.018
日平均値の最高値											
0.032											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数											
0											

二酸化硫黄調査結果 (No. 1) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.003	0.001	0.003	0.002	0.000	0.000	0.001	7	0.003	0.000	0.001
1 ～	2 0.002	0.001	0.002	0.002	0.000	0.000	0.001	7	0.002	0.000	0.001
2 ～	3 0.002	0.002	0.002	0.002	0.000	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
3 ～	4 0.001	0.001	0.003	0.001	0.000	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
4 ～	5 0.001	0.001	0.002	0.002	0.000	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
5 ～	6 0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
6 ～	7 0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
7 ～	8 0.002	0.002	0.004	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
8 ～	9 0.002	0.002	0.008	0.001	0.000	0.005	0.003	7	0.008	0.000	0.003
9 ～	10 0.001	0.002	0.010	0.001	0.000	0.020	0.014	7	0.020	0.000	0.007
10 ～	11 0.001	0.002	0.007	0.001	0.000	0.006	0.003	7	0.007	0.000	0.003
11 ～	12 0.001	0.001	0.006	0.001	0.000	0.013	0.001	7	0.013	0.000	0.003
12 ～	13 0.002	0.001	0.008	0.001	0.000	0.001	0.002	7	0.008	0.000	0.002
13 ～	14 0.002	0.001	0.005	0.001	0.000	0.002	0.001	7	0.005	0.000	0.002
14 ～	15 0.002	0.001	0.006	0.001	0.000	0.000	0.001	7	0.006	0.000	0.002
15 ～	16 0.001	0.001	0.004	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
16 ～	17 0.001	0.002	0.003	0.000	0.005	0.000	0.001	7	0.005	0.000	0.002
17 ～	18 0.001	0.003	0.002	0.000	0.009	0.001	0.005	7	0.009	0.000	0.003
18 ～	19 0.001	0.003	0.002	0.000	0.008	0.001	0.002	7	0.008	0.000	0.002
19 ～	20 0.001	0.002	0.003	0.000	0.010	0.000	0.001	7	0.010	0.000	0.002
20 ～	21 0.001	0.003	0.002	0.000	0.002	0.002	0.001	7	0.003	0.000	0.002
21 ～	22 0.000	0.003	0.002	0.000	0.001	0.002	0.001	7	0.003	0.000	0.001
22 ～	23 0.001	0.001	0.002	0.000	0.000	0.003	0.001	7	0.003	0.000	0.001
23 ～	24 0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	0.002	0.001	7	0.002	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.003	0.003	0.010	0.002	0.010	0.020	0.014		0.020		
最 低	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.001	0.002	0.004	0.001	0.002	0.002	0.002				0.002
日平均値の最高値 0.004											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 0											
日平均値が0.04ppmを超えた日数 0											

一酸化窒素調査結果 (No. 1) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.005	0.014	0.012	0.000	0.000	0.001	0.002	7	0.014	0.000	0.005
1 ～	2 0.005	0.011	0.005	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.011	0.000	0.003
2 ～	3 0.006	0.009	0.007	0.001	0.002	0.000	0.001	7	0.009	0.000	0.004
3 ～	4 0.002	0.010	0.004	0.002	0.001	0.000	0.001	7	0.010	0.000	0.003
4 ～	5 0.002	0.021	0.005	0.004	0.002	0.000	0.002	7	0.021	0.000	0.005
5 ～	6 0.019	0.021	0.017	0.001	0.004	0.001	0.002	7	0.021	0.001	0.009
6 ～	7 0.009	0.018	0.011	0.005	0.002	0.002	0.003	7	0.018	0.002	0.007
7 ～	8 0.009	0.017	0.011	0.006	0.003	0.004	0.004	7	0.017	0.003	0.008
8 ～	9 0.009	0.014	0.011	0.004	0.001	0.006	0.008	7	0.014	0.001	0.008
9 ～	10 0.005	0.008	0.007	0.003	0.001	0.010	0.009	7	0.010	0.001	0.006
10 ～	11 0.003	0.011	0.005	0.003	0.000	0.003	0.003	7	0.011	0.000	0.004
11 ～	12 0.002	0.008	0.002	0.002	0.000	0.005	0.002	7	0.008	0.000	0.003
12 ～	13 0.002	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	7	0.002	0.001	0.002
13 ～	14 0.003	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.003	0.001	0.002
14 ～	15 0.003	0.004	0.002	0.001	0.002	0.000	0.003	7	0.004	0.000	0.002
15 ～	16 0.001	0.003	0.001	0.001	0.003	0.000	0.001	7	0.003	0.000	0.001
16 ～	17 0.001	0.003	0.001	0.001	0.004	0.001	0.002	7	0.004	0.001	0.002
17 ～	18 0.001	0.005	0.001	0.001	0.008	0.001	0.001	7	0.008	0.001	0.003
18 ～	19 0.000	0.001	0.000	0.001	0.004	0.001	0.002	7	0.004	0.000	0.001
19 ～	20 0.000	0.001	0.000	0.001	0.004	0.001	0.002	7	0.004	0.000	0.001
20 ～	21 0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.002	7	0.002	0.000	0.001
21 ～	22 0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	7	0.002	0.000	0.001
22 ～	23 0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.004	0.002	7	0.004	0.000	0.001
23 ～	24 0.026	0.016	0.000	0.001	0.001	0.003	0.000	7	0.026	0.000	0.007
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.026	0.021	0.017	0.006	0.008	0.010	0.009		0.026		
最 低	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.005	0.008	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002				0.004
日平均値の最高値											
0.008											

二酸化窒素調査結果 (No. 1) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.017	0.023	0.020	0.001	0.001	0.007	0.012	7	0.023	0.001	0.012
1 ～	2 0.014	0.021	0.017	0.002	0.003	0.004	0.009	7	0.021	0.002	0.010
2 ～	3 0.016	0.021	0.017	0.005	0.003	0.003	0.006	7	0.021	0.003	0.010
3 ～	4 0.008	0.017	0.017	0.005	0.002	0.003	0.004	7	0.017	0.002	0.008
4 ～	5 0.008	0.017	0.016	0.007	0.006	0.003	0.007	7	0.017	0.003	0.009
5 ～	6 0.015	0.015	0.015	0.005	0.007	0.003	0.006	7	0.015	0.003	0.009
6 ～	7 0.011	0.013	0.015	0.008	0.004	0.003	0.003	7	0.015	0.003	0.008
7 ～	8 0.009	0.012	0.011	0.006	0.004	0.005	0.004	7	0.012	0.004	0.007
8 ～	9 0.008	0.011	0.011	0.005	0.002	0.008	0.007	7	0.011	0.002	0.007
9 ～	10 0.008	0.009	0.008	0.003	0.001	0.012	0.010	7	0.012	0.001	0.007
10 ～	11 0.007	0.010	0.007	0.003	0.001	0.006	0.005	7	0.010	0.001	0.006
11 ～	12 0.005	0.009	0.005	0.003	0.001	0.008	0.004	7	0.009	0.001	0.005
12 ～	13 0.005	0.004	0.004	0.003	0.001	0.005	0.005	7	0.005	0.001	0.004
13 ～	14 0.008	0.006	0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	7	0.008	0.002	0.004
14 ～	15 0.007	0.009	0.002	0.002	0.002	0.001	0.008	7	0.009	0.001	0.004
15 ～	16 0.003	0.008	0.002	0.001	0.004	0.001	0.002	7	0.008	0.001	0.003
16 ～	17 0.004	0.008	0.001	0.001	0.005	0.004	0.004	7	0.008	0.001	0.004
17 ～	18 0.004	0.013	0.001	0.001	0.009	0.005	0.005	7	0.013	0.001	0.005
18 ～	19 0.004	0.009	0.001	0.001	0.010	0.006	0.010	7	0.010	0.001	0.006
19 ～	20 0.006	0.006	0.001	0.001	0.016	0.007	0.017	7	0.017	0.001	0.008
20 ～	21 0.010	0.012	0.001	0.001	0.008	0.010	0.017	7	0.017	0.001	0.008
21 ～	22 0.006	0.014	0.001	0.001	0.004	0.012	0.020	7	0.020	0.001	0.008
22 ～	23 0.007	0.007	0.001	0.001	0.003	0.012	0.014	7	0.014	0.001	0.006
23 ～	24 0.026	0.016	0.001	0.002	0.005	0.011	0.003	7	0.026	0.001	0.009
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.026	0.023	0.020	0.008	0.016	0.012	0.020		0.026		
最 低	0.003	0.004	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002			0.001	
平 均	0.009	0.012	0.007	0.003	0.004	0.006	0.008				0.007
日平均値の最高値											
日平均値が0.06ppmを超えた日数											
0											
日平均値が0.04～0.06ppmを超えた日数											
0											

窒素酸化物調査結果 (No. 1) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.022	0.037	0.032	0.001	0.001	0.008	0.014	7	0.037	0.001	0.016
1 ～ 2	0.019	0.032	0.022	0.002	0.004	0.005	0.010	7	0.032	0.002	0.013
2 ～ 3	0.022	0.030	0.024	0.006	0.005	0.003	0.007	7	0.030	0.003	0.014
3 ～ 4	0.010	0.027	0.021	0.007	0.003	0.003	0.005	7	0.027	0.003	0.011
4 ～ 5	0.010	0.038	0.021	0.011	0.008	0.003	0.009	7	0.038	0.003	0.014
5 ～ 6	0.034	0.036	0.032	0.006	0.011	0.004	0.008	7	0.036	0.004	0.019
6 ～ 7	0.020	0.031	0.026	0.013	0.006	0.005	0.006	7	0.031	0.005	0.015
7 ～ 8	0.018	0.029	0.022	0.012	0.007	0.009	0.008	7	0.029	0.007	0.015
8 ～ 9	0.017	0.025	0.022	0.009	0.003	0.014	0.015	7	0.025	0.003	0.015
9 ～ 10	0.013	0.017	0.015	0.006	0.002	0.022	0.019	7	0.022	0.002	0.013
10 ～ 11	0.010	0.021	0.012	0.006	0.001	0.009	0.008	7	0.021	0.001	0.010
11 ～ 12	0.007	0.017	0.007	0.005	0.001	0.013	0.006	7	0.017	0.001	0.008
12 ～ 13	0.007	0.005	0.006	0.005	0.002	0.007	0.007	7	0.007	0.002	0.006
13 ～ 14	0.011	0.008	0.004	0.005	0.003	0.004	0.003	7	0.011	0.003	0.005
14 ～ 15	0.010	0.013	0.004	0.003	0.004	0.001	0.011	7	0.013	0.001	0.007
15 ～ 16	0.004	0.011	0.003	0.002	0.007	0.001	0.003	7	0.011	0.001	0.004
16 ～ 17	0.005	0.011	0.002	0.002	0.009	0.005	0.006	7	0.011	0.002	0.006
17 ～ 18	0.005	0.018	0.002	0.002	0.017	0.006	0.006	7	0.018	0.002	0.008
18 ～ 19	0.004	0.010	0.001	0.002	0.014	0.007	0.012	7	0.014	0.001	0.007
19 ～ 20	0.006	0.007	0.001	0.002	0.020	0.008	0.019	7	0.020	0.001	0.009
20 ～ 21	0.011	0.013	0.001	0.001	0.009	0.011	0.019	7	0.019	0.001	0.009
21 ～ 22	0.006	0.015	0.001	0.001	0.004	0.013	0.022	7	0.022	0.001	0.009
22 ～ 23	0.008	0.008	0.001	0.002	0.003	0.016	0.016	7	0.016	0.001	0.008
23 ～ 24	0.052	0.032	0.001	0.003	0.006	0.014	0.003	7	0.052	0.001	0.016
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.052	0.038	0.032	0.013	0.020	0.022	0.022		0.052		
最 低	0.004	0.005	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003			0.001	
平 均	0.014	0.020	0.012	0.005	0.006	0.008	0.010				0.011
日平均値の最高値											0.011

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 1) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.1

単位：mg/m³

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.025	0.016	0.040	0.009	0.013	0.000	0.006	7	0.040	0.000	0.016
1 ～ 2	0.020	0.002	0.022	0.023	0.031	0.008	0.000	7	0.031	0.000	0.015
2 ～ 3	0.025	0.017	0.020	0.027	0.009	0.000	0.017	7	0.027	0.000	0.016
3 ～ 4	0.016	0.027	0.039	0.000	0.010	0.000	0.000	7	0.039	0.000	0.013
4 ～ 5	0.000	0.018	0.026	0.023	0.000	0.008	0.000	7	0.026	0.000	0.011
5 ～ 6	0.007	0.016	0.010	0.000	0.000	0.009	0.020	7	0.020	0.000	0.009
6 ～ 7	0.023	0.010	0.009	0.003	0.000	0.019	0.001	7	0.023	0.000	0.009
7 ～ 8	0.011	0.003	0.010	0.011	0.000	0.017	0.005	7	0.017	0.000	0.008
8 ～ 9	0.009	0.020	0.032	0.011	0.000	0.018	0.027	7	0.032	0.000	0.017
9 ～ 10	0.007	0.005	0.026	0.037	0.000	0.017	0.000	7	0.037	0.000	0.013
10 ～ 11	0.029	0.000	0.016	0.016	0.013	0.003	0.013	7	0.029	0.000	0.013
11 ～ 12	0.013	0.034	0.029	0.002	0.007	0.000	0.000	7	0.034	0.000	0.012
12 ～ 13	0.000	0.003	0.036	0.016	0.008	0.000	0.018	7	0.036	0.000	0.012
13 ～ 14	0.021	0.004	0.018	0.007	0.009	0.003	0.000	7	0.021	0.000	0.009
14 ～ 15	0.041	0.019	0.017	0.016	0.000	0.022	0.018	7	0.041	0.000	0.019
15 ～ 16	0.024	0.022	0.015	0.014	0.011	0.000	0.003	7	0.024	0.000	0.013
16 ～ 17	0.010	0.018	0.014	0.005	0.015	0.006	0.007	7	0.018	0.005	0.011
17 ～ 18	0.016	0.018	0.000	0.014	0.005	0.005	0.000	7	0.018	0.000	0.008
18 ～ 19	0.018	0.023	0.038	0.000	0.020	0.000	0.000	7	0.038	0.000	0.014
19 ～ 20	0.007	0.030	0.019	0.020	0.007	0.010	0.020	7	0.030	0.007	0.016
20 ～ 21	0.019	0.034	0.003	0.000	0.007	0.006	0.017	7	0.034	0.000	0.012
21 ～ 22	0.000	0.023	0.040	0.002	0.005	0.002	0.009	7	0.040	0.000	0.012
22 ～ 23	0.000	0.011	0.014	0.007	0.003	0.005	0.013	7	0.014	0.000	0.008
23 ～ 24	0.006	0.028	0.000	0.015	0.019	0.023	0.000	7	0.028	0.000	0.013
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.041	0.034	0.040	0.037	0.031	0.023	0.027		0.041		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.014	0.017	0.021	0.012	0.008	0.008	0.008				0.012
日 平 均 値 の 最 高 値											
0.021											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											
0											

二酸化硫黄調査結果 (No. 2) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.000	0.001	7	0.002	0.000	0.001
1 ～ 2	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
2 ～ 3	0.002	0.001	0.001	0.003	0.002	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
3 ～ 4	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
4 ～ 5	0.002	0.001	0.001	0.003	0.002	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
5 ～ 6	0.002	0.001	0.001	0.002	0.003	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
6 ～ 7	0.002	0.001	0.001	0.003	0.003	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
7 ～ 8	0.002	0.001	0.004	0.002	0.002	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.002
8 ～ 9	0.002	0.001	0.003	0.002	0.001	0.007	0.004	7	0.007	0.001	0.003
9 ～ 10	0.001	0.001	0.004	0.003	0.000	0.003	0.002	7	0.004	0.000	0.002
10 ～ 11	0.001	0.001	0.003	0.003	0.000	0.002	0.001	7	0.003	0.000	0.002
11 ～ 12	0.001	0.001	0.006	0.002	0.000	0.001	0.001	7	0.006	0.000	0.002
12 ～ 13	0.001	0.001	0.006	0.002	0.000	0.001	0.000	7	0.006	0.000	0.002
13 ～ 14	0.002	0.001	0.004	0.003	0.000	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
14 ～ 15	0.001	0.001	0.003	0.002	0.000	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
15 ～ 16	0.001	0.001	0.004	0.001	0.000	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
16 ～ 17	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.003	0.001	0.001
17 ～ 18	0.001	0.001	0.002	0.000	0.003	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
18 ～ 19	0.002	0.001	0.002	0.000	0.011	0.000	0.001	7	0.011	0.000	0.002
19 ～ 20	0.001	0.001	0.002	0.001	0.004	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
20 ～ 21	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.001
21 ～ 22	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	7	0.001	0.000	0.001
22 ～ 23	0.002	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
23 ～ 24	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.002	0.001	0.006	0.003	0.011	0.007	0.004		0.011		
最 低	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001				0.001
日平均値の最高値 0.002											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 0											
日平均値が0.04ppmを超えた日数 0											

一酸化窒素調査結果 (No. 2) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1	0.018	0.023	0.020	0.002	0.005	0.010	0.014	0.023	0.002	0.013
1 ～	2	0.018	0.021	0.017	0.007	0.009	0.006	0.010	0.021	0.006	0.013
2 ～	3	0.015	0.020	0.018	0.009	0.013	0.005	0.008	0.020	0.005	0.013
3 ～	4	0.008	0.018	0.016	0.010	0.010	0.005	0.005	0.018	0.005	0.010
4 ～	5	0.009	0.019	0.015	0.008	0.012	0.005	0.005	0.019	0.005	0.010
5 ～	6	0.017	0.017	0.016	0.009	0.012	0.004	0.006	0.017	0.004	0.012
6 ～	7	0.013	0.014	0.015	0.008	0.008	0.005	0.005	0.015	0.005	0.010
7 ～	8	0.012	0.014	0.012	0.012	0.009	0.005	0.007	0.014	0.005	0.010
8 ～	9	0.009	0.012	0.015	0.011	0.005	0.010	0.010	0.015	0.005	0.010
9 ～	10	0.009	0.011	0.013	0.008	0.006	0.010	0.010	0.013	0.006	0.010
10 ～	11	0.009	0.012	0.008	0.011	0.006	0.007	0.009	0.012	0.006	0.009
11 ～	12	0.008	0.010	0.007	0.009	0.007	0.007	0.014	0.014	0.007	0.009
12 ～	13	0.007	0.006	0.008	0.007	0.006	0.007	0.008	0.008	0.006	0.007
13 ～	14	0.013	0.007	0.011	0.009	0.005	0.008	0.008	0.013	0.005	0.009
14 ～	15	0.011	0.010	0.009	0.012	0.005	0.005	0.013	0.013	0.005	0.009
15 ～	16	0.006	0.010	0.011	0.012	0.006	0.007	0.008	0.012	0.006	0.009
16 ～	17	0.006	0.014	0.007	0.010	0.007	0.012	0.011	0.014	0.006	0.010
17 ～	18	0.008	0.014	0.006	0.006	0.011	0.011	0.011	0.014	0.006	0.010
18 ～	19	0.013	0.012	0.005	0.006	0.015	0.010	0.016	0.016	0.005	0.011
19 ～	20	0.010	0.010	0.004	0.009	0.018	0.009	0.021	0.021	0.004	0.012
20 ～	21	0.014	0.009	0.003	0.010	0.010	0.011	0.018	0.018	0.003	0.011
21 ～	22	0.007	0.012	0.002	0.008	0.007	0.013	0.019	0.019	0.002	0.010
22 ～	23	0.014	0.007	0.002	0.012	0.005	0.014	0.015	0.015	0.002	0.010
23 ～	24	0.027	0.021	0.002	0.007	0.008	0.013	0.010	0.027	0.002	0.013
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.027	0.023	0.020	0.012	0.018	0.014	0.021	0.027			
最 低	0.006	0.006	0.002	0.002	0.005	0.004	0.005	0.002			
平 均	0.012	0.013	0.010	0.009	0.009	0.008	0.011	0.010			0.010
日平均値の最高値	0.013										

二酸化窒素調査結果 (No. 2) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.2

単位：ppm											平 均
月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	
0 ～ 1	0.012	0.022	0.014	0.000	0.000	0.011	0.002	7	0.022	0.000	0.009
1 ～ 2	0.006	0.016	0.011	0.002	0.010	0.000	0.000	7	0.016	0.000	0.006
2 ～ 3	0.005	0.011	0.017	0.006	0.028	0.000	0.000	7	0.028	0.000	0.010
3 ～ 4	0.000	0.013	0.012	0.015	0.012	0.000	0.000	7	0.015	0.000	0.007
4 ～ 5	0.001	0.038	0.008	0.005	0.015	0.000	0.000	7	0.038	0.000	0.010
5 ～ 6	0.038	0.026	0.016	0.008	0.016	0.000	0.002	7	0.038	0.000	0.015
6 ～ 7	0.012	0.017	0.018	0.008	0.004	0.000	0.004	7	0.018	0.000	0.009
7 ～ 8	0.012	0.024	0.012	0.027	0.009	0.000	0.002	7	0.027	0.000	0.012
8 ～ 9	0.004	0.014	0.013	0.026	0.000	0.002	0.006	7	0.026	0.000	0.009
9 ～ 10	0.001	0.006	0.011	0.004	0.000	0.001	0.002	7	0.011	0.000	0.004
10 ～ 11	0.001	0.010	0.002	0.007	0.000	0.000	0.000	7	0.010	0.000	0.003
11 ～ 12	0.000	0.003	0.001	0.003	0.000	0.000	0.003	7	0.003	0.000	0.001
12 ～ 13	0.000	0.000	0.004	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
13 ～ 14	0.004	0.000	0.009	0.002	0.000	0.000	0.000	7	0.009	0.000	0.002
14 ～ 15	0.002	0.000	0.005	0.006	0.000	0.000	0.000	7	0.006	0.000	0.002
15 ～ 16	0.000	0.000	0.010	0.006	0.000	0.000	0.000	7	0.010	0.000	0.002
16 ～ 17	0.000	0.001	0.003	0.002	0.000	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
17 ～ 18	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
18 ～ 19	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.000
19 ～ 20	0.000	0.000	0.001	0.005	0.001	0.000	0.001	7	0.005	0.000	0.001
20 ～ 21	0.000	0.000	0.000	0.008	0.000	0.000	0.000	7	0.008	0.000	0.001
21 ～ 22	0.000	0.000	0.000	0.004	0.000	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
22 ～ 23	0.004	0.000	0.000	0.014	0.000	0.005	0.000	7	0.014	0.000	0.003
23 ～ 24	0.034	0.025	0.000	0.003	0.001	0.001	0.010	7	0.034	0.000	0.011
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.038	0.038	0.018	0.027	0.028	0.011	0.010		0.038		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.006	0.009	0.007	0.007	0.004	0.001	0.001				0.005

日 平 均 値 の 最 高 値		0.009
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数		0
日 平 均 値 が 0.04～0.06ppm を 超 え た 日 数		0

窒素酸化物調査結果 (No. 2) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	0.030	0.045	0.034	0.002	0.005	0.021	0.016	7	0.045	0.002	0.022
1 ～	0.024	0.037	0.028	0.009	0.019	0.006	0.010	7	0.037	0.006	0.019
2 ～	0.020	0.031	0.035	0.015	0.041	0.005	0.008	7	0.041	0.005	0.022
3 ～	0.008	0.031	0.028	0.025	0.022	0.005	0.005	7	0.031	0.005	0.018
4 ～	0.010	0.057	0.023	0.013	0.027	0.005	0.005	7	0.057	0.005	0.020
5 ～	0.055	0.043	0.032	0.017	0.028	0.004	0.008	7	0.055	0.004	0.027
6 ～	0.025	0.031	0.033	0.016	0.012	0.005	0.009	7	0.033	0.005	0.019
7 ～	0.024	0.038	0.024	0.039	0.018	0.005	0.009	7	0.039	0.005	0.022
8 ～	0.013	0.026	0.028	0.037	0.005	0.012	0.016	7	0.037	0.005	0.020
9 ～	0.010	0.017	0.024	0.012	0.006	0.011	0.012	7	0.024	0.006	0.013
10 ～	0.010	0.022	0.010	0.018	0.006	0.007	0.009	7	0.022	0.006	0.012
11 ～	0.008	0.013	0.008	0.012	0.007	0.007	0.017	7	0.017	0.007	0.010
12 ～	0.007	0.006	0.012	0.007	0.006	0.007	0.008	7	0.012	0.006	0.008
13 ～	0.017	0.007	0.020	0.011	0.005	0.008	0.008	7	0.020	0.005	0.011
14 ～	0.013	0.010	0.014	0.018	0.005	0.005	0.013	7	0.018	0.005	0.011
15 ～	0.006	0.010	0.021	0.018	0.006	0.007	0.008	7	0.021	0.006	0.011
16 ～	0.006	0.015	0.010	0.012	0.007	0.012	0.011	7	0.015	0.006	0.010
17 ～	0.008	0.015	0.007	0.006	0.012	0.011	0.011	7	0.015	0.006	0.010
18 ～	0.013	0.012	0.005	0.007	0.017	0.010	0.016	7	0.017	0.005	0.011
19 ～	0.010	0.010	0.005	0.014	0.019	0.009	0.022	7	0.022	0.005	0.013
20 ～	0.014	0.009	0.003	0.018	0.010	0.011	0.018	7	0.018	0.003	0.012
21 ～	0.007	0.012	0.002	0.012	0.007	0.013	0.019	7	0.019	0.002	0.010
22 ～	0.018	0.007	0.002	0.026	0.005	0.019	0.015	7	0.026	0.002	0.013
23 ～	0.061	0.046	0.002	0.010	0.009	0.014	0.020	7	0.061	0.002	0.023
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.061	0.057	0.035	0.039	0.041	0.021	0.022		0.061		
最 低	0.006	0.006	0.002	0.002	0.005	0.004	0.005			0.002	
平 均	0.017	0.023	0.017	0.016	0.013	0.009	0.012				0.015
日平均値の最高値											0.023

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 2) 【夏季】

調査時期：夏季

調査期間：令和5年7月12日(水)～7月18日(火)

測定地点：No.2

単位：mg/m³

月日(曜) 時	7月12日 (水)	7月13日 (木)	7月14日 (金)	7月15日 (土)	7月16日 (日)	7月17日 (月)	7月18日 (火)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.023	0.019	0.033	0.024	0.031	0.030	0.025	7	0.033	0.019	0.026
1 ～	2 0.019	0.018	0.020	0.016	0.037	0.015	0.045	7	0.045	0.015	0.024
2 ～	3 0.019	0.006	0.035	0.028	0.022	0.007	0.012	7	0.035	0.006	0.018
3 ～	4 0.000	0.003	0.024	0.030	0.039	0.019	0.006	7	0.039	0.000	0.017
4 ～	5 0.004	0.002	0.014	0.026	0.020	0.008	0.004	7	0.026	0.002	0.011
5 ～	6 0.006	0.007	0.054	0.011	0.010	0.004	0.003	7	0.054	0.003	0.014
6 ～	7 0.014	0.019	0.016	0.041	0.033	0.006	0.004	7	0.041	0.004	0.019
7 ～	8 0.013	0.015	0.010	0.027	0.028	0.004	0.000	7	0.028	0.000	0.014
8 ～	9 0.001	0.026	0.021	0.005	0.003	0.014	0.000	7	0.026	0.000	0.010
9 ～	10 0.001	0.003	0.004	0.028	0.005	0.002	0.000	7	0.028	0.000	0.006
10 ～	11 0.005	0.005	0.006	0.054	0.000	0.004	0.000	7	0.054	0.000	0.011
11 ～	12 0.013	0.002	0.013	0.011	0.000	0.018	0.000	7	0.018	0.000	0.008
12 ～	13 0.004	0.006	0.023	0.004	0.003	0.019	0.000	7	0.023	0.000	0.008
13 ～	14 0.010	0.010	0.037	0.010	0.003	0.015	0.000	7	0.037	0.000	0.012
14 ～	15 0.026	0.010	0.011	0.018	0.004	0.006	0.000	7	0.026	0.000	0.011
15 ～	16 0.035	0.021	0.019	0.016	0.005	0.010	0.003	7	0.035	0.003	0.016
16 ～	17 0.015	0.032	0.009	0.020	0.002	0.010	0.002	7	0.032	0.002	0.013
17 ～	18 0.039	0.048	0.002	0.024	0.013	0.009	0.001	7	0.048	0.001	0.019
18 ～	19 0.014	0.041	0.001	0.036	0.024	0.028	0.004	7	0.041	0.001	0.021
19 ～	20 0.008	0.051	0.007	0.038	0.036	0.033	0.009	7	0.051	0.007	0.026
20 ～	21 0.006	0.058	0.004	0.025	0.032	0.030	0.008	7	0.058	0.004	0.023
21 ～	22 0.009	0.034	0.018	0.015	0.022	0.026	0.016	7	0.034	0.009	0.020
22 ～	23 0.003	0.015	0.017	0.039	0.007	0.030	0.004	7	0.039	0.003	0.016
23 ～	24 0.006	0.025	0.017	0.020	0.006	0.028	0.000	7	0.028	0.000	0.015
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.039	0.058	0.054	0.054	0.039	0.033	0.045		0.058		
最 低	0.000	0.002	0.001	0.004	0.000	0.002	0.000			0.000	
平 均	0.012	0.020	0.017	0.024	0.016	0.016	0.006				0.016
日 平 均 値 の 最 高 値											
0.024											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											
0											

- ・ 秋季（令和 5 年 10 月 20 日～26 日）

二酸化硫黄調査結果 (No. 1) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
1 ～	2 0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001
2 ～	3 0.001	0.001	0.001	0.001	-	0.001	0.000	6	0.001	0.000	0.001
3 ～	4 0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
4 ～	5 0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001
5 ～	6 0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001
6 ～	7 0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.003	0.000	0.001
7 ～	8 0.003	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.003	0.000	0.001
8 ～	9 0.007	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.000	7	0.007	0.000	0.002
9 ～	10 0.012	0.001	0.001	0.001	0.005	-	0.002	6	0.012	0.001	0.004
10 ～	11 0.002	0.001	0.001	0.003	0.004	-	0.001	6	0.004	0.001	0.002
11 ～	12 0.002	0.000	0.001	0.002	0.002	-	0.001	6	0.002	0.000	0.001
12 ～	13 0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	-	0.001	6	0.002	0.001	0.001
13 ～	14 0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.003	0.001	7	0.003	0.001	0.001
14 ～	15 0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	7	0.002	0.001	0.001
15 ～	16 0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	7	0.002	0.001	0.001
16 ～	17 0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
17 ～	18 0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	7	0.003	0.001	0.001
18 ～	19 0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001
19 ～	20 0.005	0.003	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000	7	0.005	0.000	0.002
20 ～	21 0.007	0.003	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.007	0.000	0.002
21 ～	22 0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
22 ～	23 0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.001
23 ～	24 0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	23	20	24	163			
最 高	0.012	0.003	0.001	0.003	0.005	0.003	0.002		0.012		
最 低	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.003	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000				0.001
日平均値の最高値											
0.003											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数											
0											
日平均値が0.04ppmを超えた日数											
0											

一酸化窒素調査結果 (No. 1) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	6	0.000	0.000	0.000
1 ～ 2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	-	5	0.000	0.000	0.000
2 ～ 3	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	-	5	0.000	0.000	0.000
3 ～ 4	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	6	0.000	0.000	0.000
4 ～ 5	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	6	0.000	0.000	0.000
5 ～ 6	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	6	0.000	0.000	0.000
6 ～ 7	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	-	6	0.001	0.000	0.001
7 ～ 8	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	-	6	0.001	0.000	0.001
8 ～ 9	0.000	0.000	0.001	0.001	0.002	0.001	-	6	0.002	0.000	0.001
9 ～ 10	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	-	-	5	0.001	0.000	0.001
10 ～ 11	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	-	5	0.000	0.000	0.000
11 ～ 12	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	-	-	5	0.001	0.000	0.000
12 ～ 13	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	-	5	0.000	0.000	0.000
13 ～ 14	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	-	-	5	0.001	0.000	0.000
14 ～ 15	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
15 ～ 16	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
16 ～ 17	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
17 ～ 18	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
18 ～ 19	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
19 ～ 20	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
20 ～ 21	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
21 ～ 22	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
22 ～ 23	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
23 ～ 24	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000	6	0.000	0.000	0.000
測定数	24	24	24	24	23	8	10	137			
最 高	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000		0.002		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000				0.000
日平均値の最高値	0.000										

二酸化窒素調査結果 (No. 1) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.005	0.004	0.003	0.003	0.004	0.004	-	6	0.005	0.003	0.004
1 ～ 2	0.005	0.005	0.003	0.003	0.003	-	-	5	0.005	0.003	0.004
2 ～ 3	0.004	0.004	0.003	0.003	-	0.004	-	5	0.004	0.003	0.004
3 ～ 4	0.005	0.004	0.003	0.003	0.003	0.004	-	6	0.005	0.003	0.004
4 ～ 5	0.005	0.005	0.003	0.004	0.004	0.005	-	6	0.005	0.003	0.004
5 ～ 6	0.009	0.005	0.003	0.006	0.006	0.007	-	6	0.009	0.003	0.006
6 ～ 7	0.012	0.003	0.003	0.007	0.008	0.009	-	6	0.012	0.003	0.007
7 ～ 8	0.005	0.003	0.004	0.010	0.010	0.011	-	6	0.011	0.003	0.007
8 ～ 9	0.005	0.002	0.005	0.008	0.012	0.011	-	6	0.012	0.002	0.007
9 ～ 10	0.006	0.002	0.004	0.006	0.010	-	-	5	0.010	0.002	0.006
10 ～ 11	0.004	0.002	0.003	0.006	0.007	-	-	5	0.007	0.002	0.004
11 ～ 12	0.005	0.003	0.003	0.005	0.007	-	-	5	0.007	0.003	0.005
12 ～ 13	0.002	0.002	0.003	0.004	0.005	-	-	5	0.005	0.002	0.003
13 ～ 14	0.006	0.002	0.003	0.004	0.004	-	-	5	0.006	0.002	0.004
14 ～ 15	0.003	0.002	0.003	0.003	0.004	-	0.005	6	0.005	0.002	0.003
15 ～ 16	0.003	0.003	0.003	0.004	0.005	-	0.006	6	0.006	0.003	0.004
16 ～ 17	0.003	0.002	0.004	0.004	0.005	-	0.006	6	0.006	0.002	0.004
17 ～ 18	0.004	0.003	0.004	0.005	0.006	-	0.007	6	0.007	0.003	0.005
18 ～ 19	0.004	0.003	0.006	0.006	0.006	-	0.010	6	0.010	0.003	0.006
19 ～ 20	0.006	0.005	0.006	0.009	0.008	-	0.011	6	0.011	0.005	0.008
20 ～ 21	0.007	0.007	0.005	0.006	0.008	-	0.007	6	0.008	0.005	0.007
21 ～ 22	0.004	0.005	0.004	0.005	0.007	-	0.005	6	0.007	0.004	0.005
22 ～ 23	0.006	0.005	0.005	0.004	0.005	-	0.004	6	0.006	0.004	0.005
23 ～ 24	0.005	0.004	0.003	0.004	0.005	-	0.004	6	0.005	0.003	0.004
測定数	24	24	24	24	23	8	10	137			
最 高	0.012	0.007	0.006	0.010	0.012	0.011	0.011		0.012		
最 低	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.004	0.004			0.002	
平 均	0.005	0.004	0.004	0.005	0.006	0.007	0.007				0.005
日 平 均 値 の 最 高 値											
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数											
0											
日 平 均 値 が 0.04 ～ 0.06ppm を 超 え た 日 数											
0											

窒素酸化物調査結果 (No. 1) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	0.005	0.004	0.003	0.003	0.004	0.004	-	6	0.005	0.003	0.004
1 ～	0.005	0.005	0.003	0.003	0.003	-	-	5	0.005	0.003	0.004
2 ～	0.004	0.004	0.003	0.003	-	0.004	-	5	0.004	0.003	0.004
3 ～	0.005	0.004	0.003	0.003	0.003	0.004	-	6	0.005	0.003	0.004
4 ～	0.005	0.005	0.003	0.004	0.004	0.005	-	6	0.005	0.003	0.004
5 ～	0.009	0.005	0.003	0.006	0.006	0.007	-	6	0.009	0.003	0.006
6 ～	0.013	0.004	0.003	0.008	0.008	0.009	-	6	0.013	0.003	0.008
7 ～	0.005	0.004	0.005	0.011	0.011	0.012	-	6	0.012	0.004	0.008
8 ～	0.005	0.002	0.006	0.009	0.014	0.012	-	6	0.014	0.002	0.008
9 ～	0.007	0.002	0.004	0.007	0.011	-	-	5	0.011	0.002	0.006
10 ～	0.004	0.002	0.003	0.006	0.007	-	-	5	0.007	0.002	0.004
11 ～	0.005	0.003	0.003	0.005	0.008	-	-	5	0.008	0.003	0.005
12 ～	0.002	0.002	0.003	0.004	0.005	-	-	5	0.005	0.002	0.003
13 ～	0.007	0.002	0.003	0.004	0.004	-	-	5	0.007	0.002	0.004
14 ～	0.003	0.002	0.003	0.003	0.004	-	0.005	6	0.005	0.002	0.003
15 ～	0.003	0.003	0.003	0.004	0.005	-	0.006	6	0.006	0.003	0.004
16 ～	0.003	0.002	0.004	0.004	0.005	-	0.006	6	0.006	0.002	0.004
17 ～	0.004	0.003	0.004	0.005	0.006	-	0.007	6	0.007	0.003	0.005
18 ～	0.004	0.003	0.006	0.006	0.006	-	0.010	6	0.010	0.003	0.006
19 ～	0.006	0.005	0.006	0.009	0.008	-	0.011	6	0.011	0.005	0.008
20 ～	0.007	0.007	0.005	0.006	0.008	-	0.007	6	0.008	0.005	0.007
21 ～	0.004	0.005	0.004	0.005	0.007	-	0.005	6	0.007	0.004	0.005
22 ～	0.006	0.005	0.005	0.004	0.005	-	0.004	6	0.006	0.004	0.005
23 ～	0.005	0.004	0.003	0.004	0.005	-	0.004	6	0.005	0.003	0.004
測定数	24	24	24	24	23	8	10	137			
最 高	0.013	0.007	0.006	0.011	0.014	0.012	0.011		0.014		
最 低	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.004	0.004			0.002	
平 均	0.005	0.004	0.004	0.005	0.006	0.007	0.007				0.005
日平均値の最高値	0.007										

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 1) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.1

単位：mg/m³

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.030	0.000	0.005	0.023	0.005	0.010	0.009	7	0.030	0.000	0.012
1 ～ 2	0.024	0.009	0.000	0.000	0.000	0.022	0.001	7	0.024	0.000	0.008
2 ～ 3	0.009	0.000	0.013	0.008	-	0.017	0.004	6	0.017	0.000	0.009
3 ～ 4	0.023	0.000	0.000	0.004	0.014	0.004	0.004	7	0.023	0.000	0.007
4 ～ 5	0.009	0.000	0.000	0.010	0.005	0.004	0.018	7	0.018	0.000	0.007
5 ～ 6	0.024	0.015	0.000	0.042	0.007	0.027	0.000	7	0.042	0.000	0.016
6 ～ 7	0.005	0.005	0.004	0.008	0.000	0.015	0.008	7	0.015	0.000	0.006
7 ～ 8	0.019	0.000	0.006	0.000	0.006	0.000	0.010	7	0.019	0.000	0.006
8 ～ 9	0.022	0.005	0.021	0.005	0.000	0.000	0.011	7	0.022	0.000	0.009
9 ～ 10	0.019	0.002	0.004	0.021	0.000	-	0.018	6	0.021	0.000	0.011
10 ～ 11	0.024	0.016	0.002	0.000	0.018	-	0.011	6	0.024	0.000	0.012
11 ～ 12	0.000	0.004	0.000	0.000	0.000	-	0.003	6	0.004	0.000	0.001
12 ～ 13	0.003	0.000	0.018	0.019	0.007	-	0.004	6	0.019	0.000	0.009
13 ～ 14	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.014	0.018	7	0.018	0.000	0.005
14 ～ 15	0.000	0.012	0.015	0.003	0.018	0.000	0.000	7	0.018	0.000	0.007
15 ～ 16	0.009	0.000	0.000	0.000	0.017	0.000	0.027	7	0.027	0.000	0.008
16 ～ 17	0.000	0.000	0.000	0.014	0.011	0.000	0.000	7	0.014	0.000	0.004
17 ～ 18	0.007	0.000	0.004	0.010	0.012	0.015	0.030	7	0.030	0.000	0.011
18 ～ 19	0.013	0.000	0.000	0.022	0.023	0.009	0.016	7	0.023	0.000	0.012
19 ～ 20	0.006	0.000	0.020	0.013	0.002	0.030	0.005	7	0.030	0.000	0.011
20 ～ 21	0.023	0.020	0.000	0.000	0.010	0.000	0.006	7	0.023	0.000	0.008
21 ～ 22	0.000	0.000	0.000	0.001	0.030	0.000	0.000	7	0.030	0.000	0.004
22 ～ 23	0.001	0.000	0.038	0.009	0.023	0.012	0.010	7	0.038	0.000	0.013
23 ～ 24	0.001	0.008	0.001	0.013	0.024	0.000	0.021	7	0.024	0.000	0.010
測定数	24	24	24	24	23	20	24	163			
最 高	0.030	0.020	0.038	0.042	0.030	0.030	0.030		0.042		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000		
平 均	0.011	0.004	0.006	0.009	0.010	0.009	0.010				0.009
日 平 均 値 の 最 高 値											
0.011											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											
0											

二酸化硫黄調査結果 (No. 2) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.002	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.001	7	0.002	0.000	0.001
1 ～	2 0.002	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.001	7	0.002	0.000	0.001
2 ～	3 0.002	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.001	7	0.002	0.000	0.001
3 ～	4 0.002	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
4 ～	5 0.002	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
5 ～	6 0.003	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.003	0.000	0.001
6 ～	7 0.003	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.003	0.000	0.001
7 ～	8 0.004	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.004	0.000	0.001
8 ～	9 0.022	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.022	0.000	0.004
9 ～	10 0.020	0.000	0.001	0.001	0.005	0.003	0.002	7	0.020	0.000	0.005
10 ～	11 0.004	0.000	0.003	0.006	0.006	0.008	0.002	7	0.008	0.000	0.004
11 ～	12 0.003	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.002	7	0.005	0.000	0.002
12 ～	13 0.002	0.000	0.001	0.002	0.002	0.005	0.002	7	0.005	0.000	0.002
13 ～	14 0.001	0.000	0.001	0.001	0.002	0.005	0.002	7	0.005	0.000	0.002
14 ～	15 0.001	0.000	0.001	0.001	0.003	0.004	0.002	7	0.004	0.000	0.002
15 ～	16 0.000	0.000	0.001	0.001	0.003	0.004	0.002	7	0.004	0.000	0.002
16 ～	17 0.000	0.000	0.001	0.001	0.003	0.003	0.002	7	0.003	0.000	0.001
17 ～	18 0.001	0.000	0.001	0.002	0.004	0.002	0.002	7	0.004	0.000	0.002
18 ～	19 0.001	0.001	0.001	0.003	0.006	0.002	0.001	7	0.006	0.001	0.002
19 ～	20 0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
20 ～	21 0.001	0.005	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.005	0.000	0.002
21 ～	22 0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
22 ～	23 0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
23 ～	24 0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.022	0.005	0.003	0.006	0.006	0.008	0.002		0.022		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001			0.000	
平 均	0.003	0.000	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001				0.002
日平均値の最高値 0.003											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 0											
日平均値が0.04ppmを超えた日数 0											

一酸化窒素調査結果 (No. 2) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
1 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
2 ～	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
3 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
4 ～	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000
5 ～	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
6 ～	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
7 ～	0.001	0.000	0.000	0.001	0.003	0.002	0.002	7	0.003	0.000	0.001
8 ～	0.002	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
9 ～	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
10 ～	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
11 ～	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000
12 ～	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
13 ～	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000
14 ～	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
15 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
16 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
17 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
18 ～	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	7	0.001	0.000	0.000
19 ～	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
20 ～	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
21 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
22 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
23 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
23 ～ 24	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.002	0.000	0.001	0.001	0.003	0.002	0.002		0.003		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000				0.000
日平均値の最高値	0.001										

二酸化窒素調査結果 (No. 2) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.006	0.003	0.002	0.001	0.002	0.002	0.004	7	0.006	0.001	0.003
1 ～	2 0.004	0.003	0.002	0.001	0.002	0.002	0.005	7	0.005	0.001	0.003
2 ～	3 0.005	0.003	0.001	0.002	0.002	0.003	0.004	7	0.005	0.001	0.003
3 ～	4 0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	0.004	0.004	7	0.004	0.002	0.003
4 ～	5 0.005	0.003	0.002	0.003	0.003	0.005	0.003	7	0.005	0.002	0.003
5 ～	6 0.006	0.003	0.003	0.006	0.004	0.007	0.008	7	0.008	0.003	0.005
6 ～	7 0.008	0.003	0.003	0.009	0.008	0.008	0.010	7	0.010	0.003	0.007
7 ～	8 0.005	0.002	0.003	0.006	0.013	0.008	0.010	7	0.013	0.002	0.007
8 ～	9 0.010	0.001	0.002	0.004	0.005	0.006	0.007	7	0.010	0.001	0.005
9 ～	10 0.004	0.001	0.002	0.003	0.008	0.006	0.006	7	0.008	0.001	0.004
10 ～	11 0.008	0.001	0.003	0.005	0.005	0.008	0.005	7	0.008	0.001	0.005
11 ～	12 0.008	0.001	0.002	0.003	0.005	0.005	0.004	7	0.008	0.001	0.004
12 ～	13 0.008	0.001	0.001	0.002	0.003	0.004	0.004	7	0.008	0.001	0.003
13 ～	14 0.005	0.001	0.002	0.003	0.003	0.005	0.003	7	0.005	0.001	0.003
14 ～	15 0.002	0.001	0.002	0.003	0.003	0.004	0.003	7	0.004	0.001	0.003
15 ～	16 0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.004	0.004	7	0.004	0.002	0.003
16 ～	17 0.002	0.002	0.002	0.003	0.004	0.006	0.005	7	0.006	0.002	0.003
17 ～	18 0.003	0.003	0.003	0.004	0.003	0.006	0.005	7	0.006	0.003	0.004
18 ～	19 0.004	0.002	0.006	0.008	0.006	0.006	0.012	7	0.012	0.002	0.006
19 ～	20 0.003	0.001	0.009	0.010	0.007	0.007	0.009	7	0.010	0.001	0.007
20 ～	21 0.002	0.004	0.006	0.006	0.010	0.004	0.005	7	0.010	0.002	0.005
21 ～	22 0.002	0.004	0.003	0.003	0.007	0.004	0.003	7	0.007	0.002	0.004
22 ～	23 0.003	0.003	0.003	0.002	0.004	0.004	0.003	7	0.004	0.002	0.003
23 ～	24 0.003	0.002	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	7	0.003	0.002	0.002
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.010	0.004	0.009	0.010	0.013	0.008	0.012		0.013		
最 低	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002			0.001	
平 均	0.005	0.002	0.003	0.004	0.005	0.005	0.005				0.004
日平均値の最高値											
日平均値が0.06ppmを超えた日数											
0											
日平均値が0.04～0.06ppmを超えた日数											
0											

窒素酸化物調査結果 (No. 2) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.007	0.003	0.002	0.001	0.002	0.002	0.004	7	0.007	0.001	0.003
1 ～	2 0.004	0.003	0.002	0.001	0.002	0.002	0.005	7	0.005	0.001	0.003
2 ～	3 0.006	0.003	0.001	0.002	0.002	0.003	0.004	7	0.006	0.001	0.003
3 ～	4 0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	0.004	0.004	7	0.004	0.002	0.003
4 ～	5 0.006	0.003	0.002	0.003	0.003	0.006	0.003	7	0.006	0.002	0.004
5 ～	6 0.007	0.003	0.003	0.007	0.004	0.008	0.009	7	0.009	0.003	0.006
6 ～	7 0.009	0.003	0.003	0.010	0.009	0.009	0.011	7	0.011	0.003	0.008
7 ～	8 0.006	0.002	0.003	0.007	0.016	0.010	0.012	7	0.016	0.002	0.008
8 ～	9 0.012	0.001	0.003	0.005	0.006	0.007	0.008	7	0.012	0.001	0.006
9 ～	10 0.005	0.001	0.002	0.004	0.009	0.007	0.007	7	0.009	0.001	0.005
10 ～	11 0.009	0.001	0.004	0.006	0.006	0.009	0.006	7	0.009	0.001	0.006
11 ～	12 0.009	0.001	0.002	0.003	0.006	0.006	0.004	7	0.009	0.001	0.004
12 ～	13 0.009	0.001	0.001	0.002	0.003	0.004	0.004	7	0.009	0.001	0.003
13 ～	14 0.006	0.001	0.002	0.003	0.003	0.006	0.003	7	0.006	0.001	0.003
14 ～	15 0.002	0.001	0.002	0.003	0.003	0.004	0.003	7	0.004	0.001	0.003
15 ～	16 0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.004	0.004	7	0.004	0.002	0.003
16 ～	17 0.002	0.002	0.002	0.003	0.004	0.006	0.005	7	0.006	0.002	0.003
17 ～	18 0.003	0.003	0.003	0.004	0.003	0.006	0.005	7	0.006	0.003	0.004
18 ～	19 0.004	0.002	0.006	0.009	0.006	0.006	0.013	7	0.013	0.002	0.007
19 ～	20 0.003	0.001	0.010	0.011	0.008	0.008	0.010	7	0.011	0.001	0.007
20 ～	21 0.002	0.004	0.007	0.007	0.011	0.004	0.005	7	0.011	0.002	0.006
21 ～	22 0.002	0.004	0.003	0.003	0.008	0.004	0.003	7	0.008	0.002	0.004
22 ～	23 0.003	0.003	0.003	0.002	0.004	0.004	0.003	7	0.004	0.002	0.003
23 ～	24 0.003	0.002	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	7	0.003	0.002	0.002
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.012	0.004	0.010	0.011	0.016	0.010	0.013		0.016		
最 低	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002			0.001	
平 均	0.005	0.002	0.003	0.004	0.005	0.006	0.006				0.004
日平均値の最高値											
0.006											

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 2) 【秋季】

調査時期：秋季

調査期間：令和5年10月20日(金)～10月26日(木)

測定地点：No.2

単位：mg/m³

月日(曜) 時	10月20日 (金)	10月21日 (土)	10月22日 (日)	10月23日 (月)	10月24日 (火)	10月25日 (水)	10月26日 (木)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.029	0.006	0.008	0.009	0.011	0.023	0.015	7	0.029	0.006	0.014
1 ～	2 0.025	0.005	0.006	0.010	0.014	0.018	0.016	7	0.025	0.005	0.013
2 ～	3 0.022	0.008	0.007	0.009	0.014	0.018	0.014	7	0.022	0.007	0.013
3 ～	4 0.026	0.005	0.008	0.008	0.014	0.015	0.015	7	0.026	0.005	0.013
4 ～	5 0.024	0.006	0.005	0.009	0.012	0.016	0.015	7	0.024	0.005	0.012
5 ～	6 0.025	0.006	0.008	0.012	0.012	0.013	0.016	7	0.025	0.006	0.013
6 ～	7 0.027	0.010	0.006	0.010	0.013	0.013	0.015	7	0.027	0.006	0.013
7 ～	8 0.016	0.008	0.009	0.009	0.015	0.013	0.016	7	0.016	0.008	0.012
8 ～	9 0.027	0.008	0.011	0.013	0.016	0.015	0.015	7	0.027	0.008	0.015
9 ～	10 0.021	0.008	0.009	0.012	0.016	0.016	0.019	7	0.021	0.008	0.014
10 ～	11 0.017	0.007	0.014	0.013	0.015	0.018	0.018	7	0.018	0.007	0.015
11 ～	12 0.018	0.005	0.010	0.009	0.014	0.017	0.016	7	0.018	0.005	0.013
12 ～	13 0.012	0.006	0.009	0.010	0.015	0.015	0.018	7	0.018	0.006	0.012
13 ～	14 0.009	0.006	0.011	0.013	0.017	0.018	0.014	7	0.018	0.006	0.013
14 ～	15 0.001	0.005	0.011	0.010	0.019	0.018	0.016	7	0.019	0.001	0.011
15 ～	16 0.004	0.006	0.011	0.012	0.017	0.016	0.016	7	0.017	0.004	0.012
16 ～	17 0.007	0.007	0.010	0.011	0.019	0.015	0.017	7	0.019	0.007	0.012
17 ～	18 0.004	0.005	0.011	0.009	0.020	0.013	0.010	7	0.020	0.004	0.010
18 ～	19 0.008	0.009	0.016	0.010	0.018	0.013	0.020	7	0.020	0.008	0.013
19 ～	20 0.010	0.005	0.017	0.010	0.018	0.013	0.017	7	0.018	0.005	0.013
20 ～	21 0.006	0.007	0.010	0.014	0.019	0.017	0.016	7	0.019	0.006	0.013
21 ～	22 0.006	0.007	0.011	0.011	0.021	0.014	0.017	7	0.021	0.006	0.012
22 ～	23 0.009	0.006	0.014	0.013	0.018	0.017	0.017	7	0.018	0.006	0.013
23 ～	24 0.008	0.006	0.010	0.013	0.020	0.013	0.018	7	0.020	0.006	0.013
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.029	0.010	0.017	0.014	0.021	0.023	0.020		0.029		
最 低	0.001	0.005	0.005	0.008	0.011	0.013	0.010			0.001	
平 均	0.015	0.007	0.010	0.011	0.016	0.016	0.016				0.013
日 平 均 値 の 最 高 値											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											

- ・ 冬季（令和 5 年 12 月 14 日～20 日）

二酸化硫黄調査結果 (No. 1) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1	0.000	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
1 ～	2	0.000	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
2 ～	3	0.000	0.000	0.001	0.001	0.002	-	6	0.002	0.000	0.001
3 ～	4	0.000	0.000	0.001	0.002	0.004	-	6	0.004	0.000	0.001
4 ～	5	0.001	0.000	0.001	0.003	0.003	-	6	0.003	0.000	0.001
5 ～	6	0.001	0.002	0.001	0.004	0.002	0.001	7	0.004	0.000	0.002
6 ～	7	0.001	0.000	0.001	0.004	0.001	0.001	7	0.004	0.000	0.001
7 ～	8	0.001	0.000	0.000	0.004	0.001	0.001	7	0.004	0.000	0.001
8 ～	9	0.001	0.004	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.004	0.000	0.001
9 ～	10	0.001	0.012	0.000	0.002	0.001	0.000	7	0.012	0.000	0.002
10 ～	11	0.005	0.009	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.009	0.000	0.002
11 ～	12	0.008	0.019	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.019	0.000	0.004
12 ～	13	0.008	0.005	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.008	0.000	0.002
13 ～	14	0.008	0.011	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.011	0.000	0.003
14 ～	15	0.011	0.007	0.002	0.001	0.001	0.000	7	0.011	0.000	0.003
15 ～	16	0.009	0.005	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.009	0.000	0.003
16 ～	17	0.007	0.004	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.007	0.000	0.002
17 ～	18	0.002	0.004	0.002	0.001	0.001	0.005	7	0.005	0.000	0.002
18 ～	19	0.001	0.003	0.001	0.001	0.001	0.002	7	0.003	0.000	0.001
19 ～	20	0.000	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
20 ～	21	0.000	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
21 ～	22	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
22 ～	23	0.000	0.000	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
23 ～	24	0.000	0.000	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	21	165			
最 高	0.011	0.019	0.001	0.002	0.004	0.004	0.005		0.019		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000			0.000	
平 均	0.003	0.004	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001				0.002
日平均値の最高値											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数											
日平均値が0.04ppmを超えた日数											
0											
0											

一酸化窒素調査結果 (No. 1) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1	0.000	0.001	0.000	0.003	0.004	0.019	7	0.019	0.000	0.004
1 ～	2	0.000	0.001	0.000	0.002	0.005	0.023	7	0.023	0.000	0.004
2 ～	3	0.000	0.001	0.000	0.000	0.005	-	6	0.005	0.000	0.001
3 ～	4	0.000	0.001	0.000	0.000	0.002	-	6	0.002	0.000	0.001
4 ～	5	0.000	0.002	0.000	0.002	0.000	-	6	0.002	0.000	0.001
5 ～	6	0.000	0.003	0.000	0.001	0.000	0.001	7	0.003	0.000	0.001
6 ～	7	0.001	0.007	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.007	0.000	0.001
7 ～	8	0.006	0.021	0.000	0.001	0.000	0.001	7	0.021	0.000	0.004
8 ～	9	0.014	0.030	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.030	0.000	0.006
9 ～	10	0.006	0.039	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.039	0.000	0.007
10 ～	11	0.005	0.024	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.024	0.000	0.004
11 ～	12	0.004	0.050	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.050	0.000	0.008
12 ～	13	0.003	0.016	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.016	0.000	0.003
13 ～	14	0.004	0.025	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.025	0.000	0.004
14 ～	15	0.005	0.017	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.017	0.000	0.003
15 ～	16	0.005	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.005	0.000	0.001
16 ～	17	0.003	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	7	0.003	0.000	0.001
17 ～	18	0.002	0.000	0.000	0.000	-	0.001	6	0.002	0.000	0.001
18 ～	19	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	7	0.002	0.000	0.000
19 ～	20	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	7	0.002	0.000	0.000
20 ～	21	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	7	0.002	0.000	0.000
21 ～	22	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	7	0.002	0.000	0.001
22 ～	23	0.001	0.000	0.000	0.000	0.002	0.002	7	0.002	0.000	0.001
23 ～	24	0.000	0.000	0.000	0.003	0.009	0.000	7	0.009	0.000	0.002
測定数	24	24	24	24	24	23	21	164			
最 高	0.014	0.050	0.000	0.000	0.003	0.009	0.023		0.050		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000		
平 均	0.003	0.010	0.000	0.000	0.001	0.001	0.003				0.002
日平均値の最高値											
0.010											

二酸化窒素調査結果 (No. 1) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.012	0.022	0.008	0.002	0.026	0.029	0.033	7	0.033	0.002	0.019
1 ～	2 0.011	0.023	0.007	0.002	0.016	0.034	0.035	7	0.035	0.002	0.018
2 ～	3 0.011	0.024	0.007	0.002	0.009	0.030	-	6	0.030	0.002	0.014
3 ～	4 0.011	0.026	0.010	0.003	0.009	0.020	-	6	0.026	0.003	0.013
4 ～	5 0.013	0.024	0.009	0.003	0.011	0.011	-	6	0.024	0.003	0.012
5 ～	6 0.014	0.034	0.009	0.002	0.011	0.012	0.011	7	0.034	0.002	0.013
6 ～	7 0.020	0.036	0.015	0.002	0.009	0.013	0.010	7	0.036	0.002	0.015
7 ～	8 0.030	0.036	0.010	0.002	0.012	0.020	0.011	7	0.036	0.002	0.017
8 ～	9 0.035	0.037	0.008	0.003	0.012	0.023	0.008	7	0.037	0.003	0.018
9 ～	10 0.024	0.045	0.006	0.003	0.015	0.027	0.007	7	0.045	0.003	0.018
10 ～	11 0.023	0.042	0.006	0.003	0.015	0.029	0.008	7	0.042	0.003	0.018
11 ～	12 0.023	0.050	0.005	0.003	0.012	0.026	0.010	7	0.050	0.003	0.018
12 ～	13 0.024	0.042	0.005	0.003	0.009	0.019	0.009	7	0.042	0.003	0.016
13 ～	14 0.025	0.048	0.006	0.003	0.010	0.015	0.008	7	0.048	0.003	0.016
14 ～	15 0.028	0.048	0.005	0.004	0.009	0.012	0.007	7	0.048	0.004	0.016
15 ～	16 0.038	0.025	0.005	0.003	0.009	0.011	0.004	7	0.038	0.003	0.014
16 ～	17 0.040	0.015	0.005	0.002	0.011	0.010	0.004	7	0.040	0.002	0.012
17 ～	18 0.035	0.023	0.003	0.008	0.010	-	0.005	6	0.035	0.003	0.014
18 ～	19 0.031	0.006	0.002	0.008	0.009	0.007	0.010	7	0.031	0.002	0.010
19 ～	20 0.035	0.018	0.002	0.007	0.007	0.008	0.017	7	0.035	0.002	0.013
20 ～	21 0.028	0.016	0.002	0.010	0.007	0.008	0.017	7	0.028	0.002	0.013
21 ～	22 0.025	0.012	0.003	0.011	0.013	0.011	0.020	7	0.025	0.003	0.014
22 ～	23 0.027	0.010	0.002	0.023	0.024	0.021	0.014	7	0.027	0.002	0.017
23 ～	24 0.018	0.011	0.002	0.026	0.031	0.030	0.003	7	0.031	0.002	0.017
測定数	24	24	24	24	24	23	21	164			
最 高	0.040	0.050	0.015	0.026	0.031	0.034	0.035		0.050		
最 低	0.011	0.006	0.002	0.002	0.007	0.007	0.003			0.002	
平 均	0.024	0.028	0.006	0.006	0.013	0.019	0.012				0.015
日平均値の最高値											
日平均値が0.06ppmを超えた日数											
0											
日平均値が0.04～0.06ppmを超えた日数											
0											

窒素酸化物調査結果 (No. 1) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1	0.012	0.023	0.008	0.002	0.029	0.033	7	0.052	0.002	0.023
1 ～	2	0.011	0.024	0.007	0.002	0.018	0.039	7	0.058	0.002	0.023
2 ～	3	0.011	0.025	0.007	0.002	0.009	0.035	6	0.035	0.002	0.015
3 ～	4	0.011	0.027	0.010	0.003	0.009	0.022	6	0.027	0.003	0.014
4 ～	5	0.013	0.026	0.009	0.003	0.013	0.011	6	0.026	0.003	0.013
5 ～	6	0.014	0.037	0.009	0.002	0.012	0.012	7	0.037	0.002	0.014
6 ～	7	0.021	0.043	0.015	0.002	0.009	0.011	7	0.043	0.002	0.016
7 ～	8	0.036	0.057	0.010	0.002	0.013	0.012	7	0.057	0.002	0.021
8 ～	9	0.049	0.067	0.008	0.003	0.012	0.023	7	0.067	0.003	0.024
9 ～	10	0.030	0.084	0.006	0.003	0.015	0.027	7	0.084	0.003	0.025
10 ～	11	0.028	0.066	0.006	0.003	0.015	0.029	7	0.066	0.003	0.022
11 ～	12	0.027	0.100	0.005	0.003	0.012	0.026	7	0.100	0.003	0.026
12 ～	13	0.027	0.058	0.005	0.003	0.009	0.019	7	0.058	0.003	0.019
13 ～	14	0.029	0.073	0.006	0.003	0.010	0.015	7	0.073	0.003	0.021
14 ～	15	0.033	0.065	0.005	0.004	0.009	0.012	7	0.065	0.004	0.019
15 ～	16	0.043	0.030	0.005	0.003	0.009	0.011	7	0.043	0.003	0.015
16 ～	17	0.043	0.015	0.005	0.002	0.011	0.010	7	0.043	0.002	0.013
17 ～	18	0.037	0.023	0.003	0.008	0.010	—	6	0.037	0.003	0.015
18 ～	19	0.032	0.006	0.002	0.008	0.009	0.007	7	0.032	0.002	0.011
19 ～	20	0.036	0.018	0.002	0.007	0.007	0.008	7	0.036	0.002	0.014
20 ～	21	0.029	0.016	0.002	0.010	0.007	0.008	7	0.029	0.002	0.013
21 ～	22	0.026	0.012	0.003	0.011	0.013	0.012	7	0.026	0.003	0.014
22 ～	23	0.028	0.010	0.002	0.023	0.024	0.023	7	0.028	0.002	0.018
23 ～	24	0.018	0.011	0.002	0.026	0.034	0.039	7	0.039	0.002	0.019
測定数	24	24	24	24	24	24	23	164			
最 高	0.049	0.100	0.015	0.026	0.034	0.039	0.058		0.100		
最 低	0.011	0.006	0.002	0.002	0.007	0.007	0.003			0.002	
平 均	0.027	0.038	0.006	0.006	0.013	0.020	0.015				0.018
日平均値の最高値	0.038										

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 1) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.1

単位：mg/m³

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.000	0.001	0.006	0.000	0.004	0.003	0.002	7	0.006	0.000	0.002
1 ～ 2	0.012	0.013	0.007	0.005	0.006	0.000	0.008	7	0.013	0.000	0.007
2 ～ 3	0.007	0.007	0.001	0.000	0.001	0.001	-	6	0.007	0.000	0.003
3 ～ 4	0.004	0.005	0.016	0.000	0.000	0.000	-	6	0.016	0.000	0.004
4 ～ 5	0.003	0.026	0.000	0.000	0.000	0.000	-	6	0.026	0.000	0.005
5 ～ 6	0.000	0.010	0.000	0.016	0.000	0.013	0.010	7	0.016	0.000	0.007
6 ～ 7	0.000	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.010	7	0.010	0.000	0.003
7 ～ 8	0.000	0.023	0.000	0.000	0.006	0.000	0.000	7	0.023	0.000	0.004
8 ～ 9	0.017	0.033	0.013	0.015	0.003	0.000	0.000	7	0.033	0.000	0.012
9 ～ 10	0.013	0.040	0.000	0.014	0.000	0.000	0.014	7	0.040	0.000	0.012
10 ～ 11	0.000	0.000	0.000	0.008	0.007	0.011	0.012	7	0.012	0.000	0.005
11 ～ 12	0.014	0.028	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.028	0.000	0.006
12 ～ 13	0.010	0.014	0.012	0.001	0.000	0.012	0.007	7	0.014	0.000	0.008
13 ～ 14	0.018	0.025	0.000	0.000	0.000	0.000	0.010	7	0.025	0.000	0.008
14 ～ 15	0.000	0.022	0.008	0.000	0.015	0.000	0.000	7	0.022	0.000	0.006
15 ～ 16	0.016	0.010	0.001	0.000	0.009	0.000	0.000	7	0.016	0.000	0.005
16 ～ 17	0.005	0.024	0.000	0.009	0.000	0.000	0.007	7	0.024	0.000	0.006
17 ～ 18	0.001	0.005	0.000	0.011	0.007	0.008	0.000	7	0.011	0.000	0.005
18 ～ 19	0.000	0.020	0.007	0.000	0.000	0.004	0.000	7	0.020	0.000	0.004
19 ～ 20	0.000	0.001	0.004	0.000	0.000	0.000	0.020	7	0.020	0.000	0.004
20 ～ 21	0.013	0.013	0.019	0.000	0.000	0.007	0.017	7	0.019	0.000	0.010
21 ～ 22	0.000	0.011	0.000	0.000	0.000	0.002	0.009	7	0.011	0.000	0.003
22 ～ 23	0.007	0.005	0.000	0.000	0.011	0.000	0.013	7	0.013	0.000	0.005
23 ～ 24	0.007	0.000	0.000	0.000	0.015	0.000	0.000	7	0.015	0.000	0.003
測定数	24	24	24	24	24	24	21	165			
最 高	0.018	0.040	0.019	0.016	0.015	0.013	0.020		0.040		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000		
平 均	0.006	0.014	0.004	0.003	0.004	0.003	0.007				0.006
日 平 均 値 の 最 高 値											
0.014											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											
0											

二酸化硫黄調査結果 (No. 2) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
1 ～ 2	0.000	0.001	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.000
2 ～ 3	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
3 ～ 4	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
4 ～ 5	0.001	0.001	0.002	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
5 ～ 6	0.001	0.003	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
6 ～ 7	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
7 ～ 8	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
8 ～ 9	0.002	0.003	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.003	0.000	0.001
9 ～ 10	0.002	0.009	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.009	0.000	0.002
10 ～ 11	0.005	0.017	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.017	0.000	0.004
11 ～ 12	0.006	0.010	0.001	0.000	0.002	0.002	0.001	7	0.010	0.000	0.003
12 ～ 13	0.005	0.005	0.001	0.000	0.002	0.002	0.001	7	0.005	0.000	0.002
13 ～ 14	0.009	0.005	0.000	0.001	0.001	0.002	0.001	7	0.009	0.000	0.003
14 ～ 15	0.007	0.005	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.007	0.000	0.002
15 ～ 16	0.005	0.004	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.005	0.000	0.002
16 ～ 17	0.007	0.008	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	7	0.008	0.000	0.003
17 ～ 18	0.005	0.011	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.011	0.000	0.002
18 ～ 19	0.002	0.006	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.006	0.000	0.001
19 ～ 20	0.001	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.008	0.000	0.001
20 ～ 21	0.001	0.010	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.010	0.000	0.002
21 ～ 22	0.001	0.006	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.006	0.000	0.001
22 ～ 23	0.001	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.000
23 ～ 24	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.009	0.017	0.002	0.001	0.002	0.002	0.001		0.017		
最 低	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.003	0.005	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000				0.001
日平均値の最高値											
0.005											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数											
0											
日平均値が0.04ppmを超えた日数											
0											

一酸化窒素調査結果 (No. 2) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.001	0.001	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
1 ～	2 0.001	0.001	0.004	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.004	0.000	0.001
2 ～	3 0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
3 ～	4 0.001	0.002	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.001
4 ～	5 0.001	0.002	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
5 ～	6 0.001	0.003	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.003	0.000	0.001
6 ～	7 0.001	0.005	0.001	0.000	0.001	0.001	0.002	7	0.005	0.000	0.002
7 ～	8 0.004	0.028	0.001	0.000	0.002	0.005	0.004	7	0.028	0.000	0.006
8 ～	9 0.005	0.017	0.001	0.000	0.002	0.003	0.006	7	0.017	0.000	0.005
9 ～	10 0.003	0.014	0.001	0.000	0.001	0.004	0.007	7	0.014	0.000	0.004
10 ～	11 0.003	0.019	0.001	0.000	0.001	0.003	0.001	7	0.019	0.000	0.004
11 ～	12 0.003	0.009	0.003	0.000	0.001	0.002	0.001	7	0.009	0.000	0.003
12 ～	13 0.002	0.006	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.006	0.000	0.002
13 ～	14 0.003	0.007	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.007	0.000	0.002
14 ～	15 0.003	0.010	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.010	0.000	0.002
15 ～	16 0.002	0.007	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.007	0.000	0.002
16 ～	17 0.002	0.011	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.011	0.000	0.002
17 ～	18 0.002	0.016	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.016	0.000	0.003
18 ～	19 0.001	0.004	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.004	0.000	0.001
19 ～	20 0.001	0.017	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.017	0.000	0.003
20 ～	21 0.001	0.019	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.019	0.000	0.003
21 ～	22 0.001	0.005	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.005	0.000	0.001
22 ～	23 0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000
23 ～	24 0.001	0.002	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.005	0.028	0.004	0.000	0.002	0.005	0.007		0.028		
最 低	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.002	0.009	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001				0.002
日平均値の最高値	0.009										

二酸化窒素調査結果 (No. 2) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.005	0.010	0.013	0.002	0.001	0.005	0.003	7	0.013	0.001	0.006
1 ～	2 0.005	0.010	0.014	0.001	0.003	0.004	0.003	7	0.014	0.001	0.006
2 ～	3 0.005	0.011	0.003	0.001	0.002	0.003	0.003	7	0.011	0.001	0.004
3 ～	4 0.004	0.013	0.006	0.001	0.004	0.004	0.003	7	0.013	0.001	0.005
4 ～	5 0.006	0.012	0.006	0.001	0.004	0.004	0.003	7	0.012	0.001	0.005
5 ～	6 0.006	0.017	0.004	0.001	0.006	0.005	0.004	7	0.017	0.001	0.006
6 ～	7 0.006	0.016	0.005	0.001	0.007	0.011	0.009	7	0.016	0.001	0.008
7 ～	8 0.012	0.019	0.004	0.001	0.011	0.017	0.011	7	0.019	0.001	0.011
8 ～	9 0.013	0.017	0.003	0.001	0.010	0.013	0.012	7	0.017	0.001	0.010
9 ～	10 0.008	0.020	0.003	0.000	0.006	0.016	0.013	7	0.020	0.000	0.009
10 ～	11 0.009	0.023	0.004	0.001	0.004	0.012	0.005	7	0.023	0.001	0.008
11 ～	12 0.011	0.018	0.007	0.001	0.003	0.009	0.005	7	0.018	0.001	0.008
12 ～	13 0.009	0.016	0.003	0.001	0.002	0.007	0.003	7	0.016	0.001	0.006
13 ～	14 0.010	0.020	0.002	0.002	0.002	0.005	0.004	7	0.020	0.002	0.006
14 ～	15 0.012	0.022	0.002	0.001	0.002	0.007	0.004	7	0.022	0.001	0.007
15 ～	16 0.012	0.018	0.002	0.001	0.003	0.009	0.004	7	0.018	0.001	0.007
16 ～	17 0.021	0.020	0.002	0.002	0.004	0.010	0.004	7	0.021	0.002	0.009
17 ～	18 0.019	0.026	0.002	0.001	0.005	0.012	0.003	7	0.026	0.001	0.010
18 ～	19 0.015	0.012	0.002	0.001	0.008	0.010	0.003	7	0.015	0.001	0.007
19 ～	20 0.014	0.028	0.001	0.001	0.005	0.008	0.003	7	0.028	0.001	0.009
20 ～	21 0.012	0.028	0.001	0.001	0.006	0.006	0.003	7	0.028	0.001	0.008
21 ～	22 0.011	0.009	0.001	0.001	0.005	0.004	0.002	7	0.011	0.001	0.005
22 ～	23 0.013	0.005	0.002	0.001	0.004	0.006	0.002	7	0.013	0.001	0.005
23 ～	24 0.009	0.009	0.002	0.001	0.004	0.004	0.002	7	0.009	0.001	0.004
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.021	0.028	0.014	0.002	0.011	0.017	0.013		0.028		
最 低	0.004	0.005	0.001	0.000	0.001	0.003	0.002			0.000	
平 均	0.010	0.017	0.004	0.001	0.005	0.008	0.005				0.007
日平均値の最高値											
日平均値が0.06ppmを超えた日数											
0											
日平均値が0.04～0.06ppmを超えた日数											
0											

窒素酸化物調査結果 (No. 2) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.006	0.011	0.015	0.002	0.001	0.005	0.003	7	0.015	0.001	0.006
1 ～	2 0.006	0.011	0.018	0.001	0.003	0.004	0.003	7	0.018	0.001	0.007
2 ～	3 0.006	0.012	0.004	0.001	0.002	0.003	0.003	7	0.012	0.001	0.004
3 ～	4 0.005	0.015	0.007	0.001	0.004	0.004	0.003	7	0.015	0.001	0.006
4 ～	5 0.007	0.014	0.007	0.001	0.004	0.005	0.004	7	0.014	0.001	0.006
5 ～	6 0.007	0.020	0.005	0.001	0.006	0.006	0.005	7	0.020	0.001	0.007
6 ～	7 0.007	0.021	0.006	0.001	0.008	0.012	0.011	7	0.021	0.001	0.009
7 ～	8 0.016	0.047	0.005	0.001	0.013	0.022	0.015	7	0.047	0.001	0.017
8 ～	9 0.018	0.034	0.004	0.001	0.012	0.016	0.018	7	0.034	0.001	0.015
9 ～	10 0.011	0.034	0.004	0.000	0.007	0.020	0.020	7	0.034	0.000	0.014
10 ～	11 0.012	0.042	0.005	0.001	0.005	0.015	0.006	7	0.042	0.001	0.012
11 ～	12 0.014	0.027	0.010	0.001	0.004	0.011	0.006	7	0.027	0.001	0.010
12 ～	13 0.011	0.022	0.004	0.001	0.003	0.008	0.004	7	0.022	0.001	0.008
13 ～	14 0.013	0.027	0.003	0.002	0.003	0.006	0.005	7	0.027	0.002	0.008
14 ～	15 0.015	0.032	0.003	0.001	0.003	0.008	0.005	7	0.032	0.001	0.010
15 ～	16 0.014	0.025	0.003	0.001	0.004	0.010	0.005	7	0.025	0.001	0.009
16 ～	17 0.023	0.031	0.003	0.002	0.005	0.011	0.005	7	0.031	0.002	0.011
17 ～	18 0.021	0.042	0.003	0.001	0.006	0.013	0.004	7	0.042	0.001	0.013
18 ～	19 0.016	0.016	0.003	0.001	0.009	0.011	0.003	7	0.016	0.001	0.008
19 ～	20 0.015	0.045	0.001	0.001	0.005	0.009	0.004	7	0.045	0.001	0.011
20 ～	21 0.013	0.047	0.001	0.001	0.007	0.007	0.003	7	0.047	0.001	0.011
21 ～	22 0.012	0.014	0.001	0.001	0.005	0.005	0.002	7	0.014	0.001	0.006
22 ～	23 0.014	0.006	0.002	0.001	0.004	0.007	0.002	7	0.014	0.001	0.005
23 ～	24 0.010	0.011	0.002	0.001	0.004	0.005	0.002	7	0.011	0.001	0.005
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.023	0.047	0.018	0.002	0.013	0.022	0.020		0.047		
最 低	0.005	0.006	0.001	0.000	0.001	0.003	0.002			0.000	
平 均	0.012	0.025	0.005	0.001	0.005	0.009	0.006				0.009
日平均値の最高値	0.025										

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 2) 【冬季】

調査時期：冬季

調査期間：令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

測定地点：No.2

単位：mg/m³

月日(曜) 時	12月14日 (木)	12月15日 (金)	12月16日 (土)	12月17日 (日)	12月18日 (月)	12月19日 (火)	12月20日 (水)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.009	0.012	0.009	0.006	0.004	0.006	0.001	7	0.012	0.001	0.007
1 ～ 2	0.008	0.015	0.015	0.004	0.006	0.006	0.003	7	0.015	0.003	0.008
2 ～ 3	0.007	0.013	0.009	0.004	0.006	0.007	0.004	7	0.013	0.004	0.007
3 ～ 4	0.007	0.014	0.002	0.004	0.003	0.008	0.004	7	0.014	0.002	0.006
4 ～ 5	0.008	0.015	0.004	0.006	0.005	0.006	0.003	7	0.015	0.003	0.007
5 ～ 6	0.006	0.019	0.001	0.007	0.004	0.005	0.002	7	0.019	0.001	0.006
6 ～ 7	0.008	0.020	0.005	0.004	0.005	0.009	0.007	7	0.020	0.004	0.008
7 ～ 8	0.009	0.021	0.005	0.005	0.003	0.009	0.004	7	0.021	0.003	0.008
8 ～ 9	0.009	0.025	0.005	0.006	0.005	0.007	0.006	7	0.025	0.005	0.009
9 ～ 10	0.009	0.026	0.007	0.007	0.006	0.008	0.006	7	0.026	0.006	0.010
10 ～ 11	0.011	0.032	0.009	0.005	0.005	0.008	0.006	7	0.032	0.005	0.011
11 ～ 12	0.012	0.022	0.007	0.005	0.004	0.006	0.010	7	0.022	0.004	0.009
12 ～ 13	0.010	0.025	0.003	0.004	0.005	0.005	0.016	7	0.025	0.003	0.010
13 ～ 14	0.013	0.029	0.006	0.004	0.003	0.003	0.013	7	0.029	0.003	0.010
14 ～ 15	0.016	0.028	0.009	0.004	0.004	0.006	0.015	7	0.028	0.004	0.012
15 ～ 16	0.012	0.010	0.011	0.005	0.005	0.004	0.011	7	0.012	0.004	0.008
16 ～ 17	0.018	0.017	0.016	0.003	0.005	0.008	0.016	7	0.018	0.003	0.012
17 ～ 18	0.015	0.020	0.013	0.004	0.003	0.009	0.014	7	0.020	0.003	0.011
18 ～ 19	0.019	0.015	0.007	0.002	0.004	0.005	0.014	7	0.019	0.002	0.009
19 ～ 20	0.017	0.016	0.009	0.003	0.006	0.005	0.014	7	0.017	0.003	0.010
20 ～ 21	0.016	0.016	0.006	0.005	0.005	0.005	0.011	7	0.016	0.005	0.009
21 ～ 22	0.017	0.013	0.005	0.006	0.006	0.004	0.009	7	0.017	0.004	0.009
22 ～ 23	0.017	0.013	0.007	0.005	0.007	0.006	0.009	7	0.017	0.005	0.009
23 ～ 24	0.016	0.012	0.005	0.005	0.008	0.003	0.010	7	0.016	0.003	0.008
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.019	0.032	0.016	0.007	0.008	0.009	0.016		0.032		
最 低	0.006	0.010	0.001	0.002	0.003	0.003	0.001			0.001	
平 均	0.012	0.019	0.007	0.005	0.005	0.006	0.009				0.009
日 平 均 値 の 最 高 値											
0.019											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											
0											

- ・春季（令和6年 5月 21日～27日）

二酸化硫黄調査結果 (No. 1) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.001	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
1 ～ 2	0.001	0.001	0.001	0.000	0.003	0.001	0.001	7	0.003	0.000	0.001
2 ～ 3	0.000	0.000	0.001	0.000	0.003	0.000	0.001	7	0.003	0.000	0.001
3 ～ 4	0.000	0.000	0.003	0.000	0.002	0.000	0.000	7	0.003	0.000	0.001
4 ～ 5	0.000	0.000	0.002	0.000	0.003	0.001	0.000	7	0.003	0.000	0.001
5 ～ 6	0.000	0.000	0.002	0.000	0.003	0.001	0.000	7	0.003	0.000	0.001
6 ～ 7	0.001	0.000	0.005	0.000	0.003	0.001	0.001	7	0.005	0.000	0.002
7 ～ 8	0.003	0.000	0.006	0.000	0.002	0.005	0.001	7	0.006	0.000	0.002
8 ～ 9	0.002	0.002	0.007	0.001	0.011	0.013	0.005	7	0.013	0.001	0.006
9 ～ 10	-	0.003	0.006	0.001	0.011	0.033	0.004	6	0.033	0.001	0.010
10 ～ 11	-	0.003	0.006	0.000	0.032	0.030	0.005	6	0.032	0.000	0.013
11 ～ 12	0.026	0.007	0.004	0.001	0.027	0.014	0.006	7	0.027	0.001	0.012
12 ～ 13	0.052	0.002	0.002	0.000	0.030	0.002	0.005	7	0.052	0.000	0.013
13 ～ 14	0.004	0.002	0.003	0.000	0.010	0.003	0.004	7	0.010	0.000	0.004
14 ～ 15	0.002	0.009	0.002	0.001	0.003	0.004	0.002	7	0.009	0.001	0.003
15 ～ 16	0.002	0.014	0.002	0.001	0.003	0.001	0.002	7	0.014	0.001	0.004
16 ～ 17	0.001	0.005	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.005	0.001	0.002
17 ～ 18	0.001	0.003	0.002	0.001	0.000	0.002	0.000	7	0.003	0.000	0.001
18 ～ 19	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	7	0.002	0.001	0.001
19 ～ 20	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.000	0.002	7	0.002	0.000	0.001
20 ～ 21	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.001
21 ～ 22	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.001
22 ～ 23	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001
23 ～ 24	0.000	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001
測定数	22	24	24	24	24	24	24	166			
最 高	0.052	0.014	0.007	0.002	0.032	0.033	0.006		0.052		
最 低	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000		
平 均	0.005	0.002	0.003	0.001	0.006	0.005	0.002				0.003
日平均値の最高値											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数											
日平均値が0.04ppmを超えた日数											

一酸化窒素調査結果 (No. 1) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001
1 ～	2	0.000	0.001	0.001	0.001	-	0.001	6	0.001	0.000	0.001
2 ～	3	0.000	0.001	0.004	0.001	0.001	0.001	7	0.004	0.000	0.001
3 ～	4	0.000	0.001	0.020	0.001	0.001	0.001	7	0.020	0.000	0.004
4 ～	5	0.000	0.001	0.011	0.001	0.001	0.001	7	0.011	0.000	0.002
5 ～	6	0.000	0.001	0.025	0.001	0.001	0.001	7	0.025	0.000	0.004
6 ～	7	0.001	0.001	0.011	0.001	0.001	0.002	7	0.011	0.001	0.003
7 ～	8	0.004	0.001	0.011	0.001	0.002	0.002	7	0.011	0.001	0.003
8 ～	9	0.005	0.002	0.010	0.002	0.007	0.010	7	0.010	0.001	0.005
9 ～	10	-	0.002	0.008	0.002	0.015	0.014	6	0.015	0.001	0.007
10 ～	11	-	0.002	0.005	0.008	0.008	0.017	6	0.017	0.001	0.007
11 ～	12	0.004	0.003	0.003	0.006	0.002	0.011	7	0.011	0.001	0.004
12 ～	13	0.006	0.002	0.001	0.005	0.001	0.009	7	0.009	0.001	0.004
13 ～	14	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	7	0.002	0.001	0.002
14 ～	15	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
15 ～	16	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
16 ～	17	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
17 ～	18	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.001	0.001
18 ～	19	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	7	0.002	0.001	0.001
19 ～	20	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	7	0.002	0.001	0.001
20 ～	21	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	7	0.002	0.001	0.001
21 ～	22	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.001	0.001
22 ～	23	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.001	0.001
23 ～	24	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
測定数	22	24	24	24	24	23	24	165			
最 高	0.006	0.003	0.025	0.002	0.008	0.015	0.017		0.025		
最 低	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001			0.000	
平 均	0.001	0.001	0.005	0.001	0.002	0.002	0.004				0.002
日平均値の最高値	0.005										

二酸化窒素調査結果 (No. 1) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.1

単位：ppm											平 均
月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	
0 ～	1 0.006	0.005	0.033	0.007	0.011	0.008	0.008	7	0.033	0.005	0.011
1 ～	2 0.006	0.007	0.017	0.006	0.016	0.009	0.008	7	0.017	0.006	0.010
2 ～	3 0.006	0.006	0.017	0.006	0.020	0.005	0.004	7	0.020	0.004	0.009
3 ～	4 0.007	0.005	0.038	0.005	0.015	0.004	0.003	7	0.038	0.003	0.011
4 ～	5 0.006	0.007	0.032	0.004	0.011	0.005	0.002	7	0.032	0.002	0.010
5 ～	6 0.008	0.007	0.034	0.006	0.014	0.007	0.002	7	0.034	0.002	0.011
6 ～	7 0.008	0.008	0.033	0.007	0.009	0.006	0.011	7	0.033	0.006	0.012
7 ～	8 0.021	0.008	0.029	0.007	0.007	0.012	0.009	7	0.029	0.007	0.013
8 ～	9 0.024	0.014	0.028	0.010	0.015	0.023	0.027	7	0.028	0.010	0.020
9 ～	10 -	0.017	0.027	0.008	0.015	0.029	0.028	6	0.029	0.008	0.021
10 ～	11 -	0.016	0.024	0.005	0.031	0.027	0.029	6	0.031	0.005	0.022
11 ～	12 0.029	0.016	0.016	0.008	0.028	0.015	0.025	7	0.029	0.008	0.020
12 ～	13 0.041	0.014	0.011	0.004	0.029	0.004	0.019	7	0.041	0.004	0.017
13 ～	14 0.010	0.013	0.016	0.004	0.013	0.006	0.008	7	0.016	0.004	0.010
14 ～	15 0.007	0.016	0.013	0.004	0.006	0.006	0.007	7	0.016	0.004	0.008
15 ～	16 0.006	0.017	0.013	0.004	0.015	0.004	0.007	7	0.017	0.004	0.009
16 ～	17 0.007	0.019	0.011	0.004	0.011	0.005	0.011	7	0.019	0.004	0.010
17 ～	18 0.009	0.022	0.011	0.004	0.008	0.009	0.007	7	0.022	0.004	0.010
18 ～	19 0.008	0.020	0.008	0.006	0.008	0.006	0.012	7	0.020	0.006	0.010
19 ～	20 0.009	0.016	0.013	0.009	0.013	0.003	0.021	7	0.021	0.003	0.012
20 ～	21 0.009	0.017	0.010	0.009	0.020	0.004	0.014	7	0.020	0.004	0.012
21 ～	22 0.007	0.013	0.011	0.007	0.013	0.004	0.009	7	0.013	0.004	0.009
22 ～	23 0.009	0.020	0.007	0.007	0.009	0.005	0.009	7	0.020	0.005	0.009
23 ～	24 0.006	0.027	0.007	0.013	0.006	0.004	0.008	7	0.027	0.004	0.010
測定数	22	24	24	24	24	24	24	166			
最 高	0.041	0.027	0.038	0.013	0.031	0.029	0.029		0.041		
最 低	0.006	0.005	0.007	0.004	0.006	0.003	0.002			0.002	
平 均	0.011	0.014	0.019	0.006	0.014	0.009	0.012				0.012

日平均値の最高値		0.019
日平均値が0.06ppmを超えた日数		0
日平均値が0.04～0.06ppmを超えた日数		0

窒素酸化物調査結果 (No. 1) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.1

単位：ppm

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.006	0.006	0.035	0.008	0.012	0.009	0.009	7	0.035	0.006	0.012
1 ～ 2	0.006	0.008	0.018	0.007	0.017	-	0.009	6	0.018	0.006	0.011
2 ～ 3	0.006	0.007	0.021	0.007	0.021	0.006	0.005	7	0.021	0.005	0.010
3 ～ 4	0.007	0.006	0.058	0.006	0.016	0.005	0.004	7	0.058	0.004	0.015
4 ～ 5	0.006	0.008	0.043	0.005	0.012	0.006	0.003	7	0.043	0.003	0.012
5 ～ 6	0.008	0.008	0.059	0.007	0.015	0.008	0.003	7	0.059	0.003	0.015
6 ～ 7	0.009	0.009	0.044	0.009	0.010	0.007	0.013	7	0.044	0.007	0.014
7 ～ 8	0.025	0.009	0.040	0.009	0.008	0.014	0.011	7	0.040	0.008	0.017
8 ～ 9	0.029	0.016	0.038	0.011	0.017	0.030	0.037	7	0.038	0.011	0.025
9 ～ 10	-	0.019	0.035	0.009	0.017	0.044	0.042	6	0.044	0.009	0.028
10 ～ 11	-	0.018	0.029	0.006	0.039	0.035	0.046	6	0.046	0.006	0.029
11 ～ 12	0.033	0.019	0.019	0.009	0.034	0.017	0.036	7	0.036	0.009	0.024
12 ～ 13	0.047	0.016	0.012	0.005	0.034	0.005	0.028	7	0.047	0.005	0.021
13 ～ 14	0.011	0.015	0.018	0.005	0.015	0.007	0.010	7	0.018	0.005	0.012
14 ～ 15	0.008	0.018	0.014	0.005	0.007	0.007	0.008	7	0.018	0.005	0.010
15 ～ 16	0.007	0.019	0.014	0.005	0.017	0.005	0.008	7	0.019	0.005	0.011
16 ～ 17	0.008	0.021	0.012	0.005	0.012	0.006	0.012	7	0.021	0.005	0.011
17 ～ 18	0.010	0.023	0.012	0.005	0.009	0.010	0.008	7	0.023	0.005	0.011
18 ～ 19	0.009	0.021	0.009	0.007	0.009	0.007	0.014	7	0.021	0.007	0.011
19 ～ 20	0.010	0.017	0.014	0.010	0.014	0.004	0.023	7	0.023	0.004	0.013
20 ～ 21	0.010	0.018	0.011	0.010	0.021	0.005	0.016	7	0.021	0.005	0.013
21 ～ 22	0.008	0.014	0.012	0.008	0.014	0.005	0.010	7	0.014	0.005	0.010
22 ～ 23	0.010	0.021	0.008	0.008	0.010	0.006	0.010	7	0.021	0.006	0.010
23 ～ 24	0.007	0.029	0.008	0.014	0.007	0.005	0.009	7	0.029	0.005	0.011
測定数	22	24	24	24	24	23	24	165			
最 高	0.047	0.029	0.059	0.014	0.039	0.044	0.046		0.059		
最 低	0.006	0.006	0.008	0.005	0.007	0.004	0.003			0.003	
平 均	0.013	0.015	0.024	0.008	0.016	0.011	0.016				0.015
日平均値の最高値	0.024										

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 1) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.1

単位：mg/m³

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.017	0.005	0.000	0.009	0.028	0.003	0.028	7	0.028	0.000	0.013
1 ～ 2	0.026	0.000	0.025	0.006	0.017	0.021	0.009	7	0.026	0.000	0.015
2 ～ 3	0.013	0.024	0.048	0.001	0.015	0.012	0.000	7	0.048	0.000	0.016
3 ～ 4	0.003	0.029	0.008	0.032	0.035	0.003	0.017	7	0.035	0.003	0.018
4 ～ 5	0.000	0.026	0.015	0.010	0.047	0.000	0.005	7	0.047	0.000	0.015
5 ～ 6	0.013	0.012	0.023	0.005	0.026	0.000	0.020	7	0.026	0.000	0.014
6 ～ 7	0.000	0.000	0.021	0.029	0.000	0.022	0.011	7	0.029	0.000	0.012
7 ～ 8	0.004	0.000	0.034	0.029	0.009	0.012	0.033	7	0.034	0.000	0.017
8 ～ 9	0.005	0.007	0.023	0.026	0.024	0.002	0.022	7	0.026	0.002	0.016
9 ～ 10	-	0.015	0.006	0.019	0.009	0.000	0.019	6	0.019	0.000	0.011
10 ～ 11	-	0.000	0.036	0.000	0.012	0.000	0.027	6	0.036	0.000	0.013
11 ～ 12	0.005	0.014	0.006	0.022	0.029	0.004	0.018	7	0.029	0.004	0.014
12 ～ 13	0.029	0.030	0.009	0.013	0.000	0.025	0.028	7	0.030	0.000	0.019
13 ～ 14	0.034	0.017	0.019	0.041	0.011	0.018	0.009	7	0.041	0.009	0.021
14 ～ 15	0.000	0.009	0.017	0.019	0.010	0.027	0.023	7	0.027	0.000	0.015
15 ～ 16	0.013	0.017	0.023	0.021	0.009	0.000	0.021	7	0.023	0.000	0.015
16 ～ 17	0.000	0.020	0.023	0.020	0.010	0.000	0.035	7	0.035	0.000	0.015
17 ～ 18	0.022	0.032	0.020	0.030	0.003	0.000	0.000	7	0.032	0.000	0.015
18 ～ 19	0.003	0.011	0.026	0.038	0.000	0.016	0.012	7	0.038	0.000	0.015
19 ～ 20	0.036	0.004	0.060	0.041	0.000	0.025	0.021	7	0.060	0.000	0.027
20 ～ 21	0.006	0.044	0.042	0.023	0.005	0.000	0.010	7	0.044	0.000	0.019
21 ～ 22	0.000	0.012	0.032	0.023	0.014	0.000	0.019	7	0.032	0.000	0.014
22 ～ 23	0.033	0.031	0.006	0.019	0.007	0.013	0.024	7	0.033	0.006	0.019
23 ～ 24	0.000	0.010	0.032	0.022	0.004	0.023	0.010	7	0.032	0.000	0.014
測定数	22	24	24	24	24	24	24	166			
最 高	0.036	0.044	0.060	0.041	0.047	0.027	0.035		0.060		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.012	0.015	0.023	0.021	0.014	0.009	0.018				0.016
日 平 均 値 の 最 高 値											
0.023											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数											
0											

二酸化硫黄調査結果 (No. 2) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	0.000	0.001	0.001	0.001	0.003	0.003	0.001	7	0.003	0.000	0.001
1 ～	0.000	0.001	0.001	0.001	0.004	0.005	0.001	7	0.005	0.000	0.002
2 ～	0.000	0.001	0.001	0.000	0.010	0.001	0.003	7	0.010	0.000	0.002
3 ～	0.000	0.001	0.004	0.000	0.004	0.001	0.001	7	0.004	0.000	0.002
4 ～	0.000	0.000	0.005	0.000	0.005	0.001	0.000	7	0.005	0.000	0.002
5 ～	0.000	0.000	0.004	0.000	0.004	0.001	0.000	7	0.004	0.000	0.001
6 ～	0.000	0.001	0.004	0.000	0.006	0.001	0.006	7	0.006	0.000	0.003
7 ～	0.004	0.001	0.007	0.001	0.003	0.003	0.002	7	0.007	0.001	0.003
8 ～	0.003	0.001	0.008	0.003	0.009	0.015	0.011	7	0.015	0.001	0.007
9 ～	0.003	0.003	0.008	0.001	0.006	0.005	0.011	7	0.011	0.001	0.005
10 ～	0.015	0.004	0.009	0.001	0.005	0.003	0.009	7	0.015	0.001	0.007
11 ～	0.023	0.005	0.006	0.001	0.004	0.003	0.011	7	0.023	0.001	0.008
12 ～	0.010	0.003	0.006	0.001	0.002	0.002	0.008	7	0.010	0.001	0.005
13 ～	0.004	0.002	0.003	0.001	0.006	0.002	0.003	7	0.006	0.001	0.003
14 ～	0.003	0.003	0.003	0.002	0.006	0.003	0.002	7	0.006	0.002	0.003
15 ～	0.003	0.005	0.003	0.002	0.010	0.003	0.002	7	0.010	0.002	0.004
16 ～	0.002	0.003	0.004	0.002	0.009	0.002	0.002	7	0.009	0.002	0.003
17 ～	0.002	0.002	0.004	0.003	0.002	0.002	0.001	7	0.004	0.001	0.002
18 ～	0.002	0.003	0.003	0.008	0.002	0.002	0.001	7	0.008	0.001	0.003
19 ～	0.001	0.002	0.002	0.008	0.001	0.001	0.002	7	0.008	0.001	0.002
20 ～	0.004	0.002	0.003	0.008	0.004	0.001	0.001	7	0.008	0.001	0.003
21 ～	0.007	0.001	0.005	0.003	0.002	0.000	0.002	7	0.007	0.000	0.003
22 ～	0.002	0.001	0.003	0.001	0.004	0.001	0.001	7	0.004	0.001	0.002
23 ～	0.001	0.001	0.002	0.003	0.002	0.001	0.000	7	0.003	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.023	0.005	0.009	0.008	0.010	0.015	0.011		0.023		
最 低	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.004	0.002	0.004	0.002	0.005	0.003	0.003				0.003
日平均値の最高値											
1時間値が0.1ppmを超えた時間数											
日平均値が0.04ppmを超えた日数											

一酸化窒素調査結果 (No. 2) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
1 ～	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000
2 ～	0.000	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.005	0.000	0.001
3 ～	0.000	0.000	0.022	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.022	0.000	0.003
4 ～	0.000	0.000	0.024	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.024	0.000	0.003
5 ～	0.001	0.000	0.020	0.000	0.001	0.000	0.001	7	0.020	0.000	0.003
6 ～	0.001	0.001	0.020	0.001	0.001	0.001	0.004	7	0.020	0.001	0.004
7 ～	0.005	0.001	0.014	0.002	0.001	0.003	0.001	7	0.014	0.001	0.004
8 ～	0.007	0.003	0.012	0.002	0.002	0.005	0.010	7	0.012	0.002	0.006
9 ～	0.008	0.002	0.008	0.000	0.001	0.003	0.018	7	0.018	0.000	0.006
10 ～	0.004	0.002	0.004	0.001	0.001	0.001	0.023	7	0.023	0.001	0.005
11 ～	0.002	0.003	0.003	0.001	0.001	0.000	0.009	7	0.009	0.000	0.003
12 ～	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.004	7	0.004	0.000	0.001
13 ～	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.002	7	0.002	0.000	0.001
14 ～	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001
15 ～	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	7	0.001	0.000	0.001
16 ～	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	7	0.002	0.000	0.001
17 ～	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000
18 ～	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001
19 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	7	0.001	0.000	0.000
20 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
21 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.001	0.000	0.000
22 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
23 ～	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
23 ～ 24	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.001	0.000	0.000
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.008	0.003	0.024	0.002	0.002	0.005	0.023		0.024		
最 低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000	
平 均	0.001	0.001	0.006	0.000	0.001	0.001	0.003				0.002
日平均値の最高値	0.006										

二酸化窒素調査結果 (No. 2) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.001	0.002	0.021	0.005	0.005	0.007	0.005	7	0.021	0.001	0.007
1 ～	2 0.003	0.003	0.008	0.005	0.013	0.007	0.006	7	0.013	0.003	0.006
2 ～	3 0.002	0.004	0.017	0.005	0.015	0.003	0.012	7	0.017	0.002	0.008
3 ～	4 0.002	0.003	0.037	0.003	0.010	0.003	0.002	7	0.037	0.002	0.009
4 ～	5 0.003	0.004	0.033	0.002	0.006	0.003	0.001	7	0.033	0.001	0.007
5 ～	6 0.006	0.004	0.032	0.003	0.010	0.005	0.001	7	0.032	0.001	0.009
6 ～	7 0.006	0.006	0.028	0.004	0.009	0.005	0.013	7	0.028	0.004	0.010
7 ～	8 0.015	0.007	0.029	0.007	0.004	0.010	0.007	7	0.029	0.004	0.011
8 ～	9 0.021	0.016	0.027	0.008	0.008	0.014	0.027	7	0.027	0.008	0.017
9 ～	10 0.021	0.010	0.023	0.003	0.005	0.009	0.029	7	0.029	0.003	0.014
10 ～	11 0.016	0.012	0.020	0.005	0.006	0.004	0.030	7	0.030	0.004	0.013
11 ～	12 0.014	0.013	0.016	0.003	0.006	0.002	0.020	7	0.020	0.002	0.011
12 ～	13 0.011	0.007	0.011	0.002	0.005	0.003	0.011	7	0.011	0.002	0.007
13 ～	14 0.012	0.009	0.012	0.001	0.006	0.002	0.003	7	0.012	0.001	0.006
14 ～	15 0.008	0.015	0.010	0.008	0.006	0.003	0.005	7	0.015	0.003	0.008
15 ～	16 0.004	0.011	0.011	0.011	0.007	0.003	0.007	7	0.011	0.003	0.008
16 ～	17 0.005	0.012	0.008	0.008	0.004	0.002	0.011	7	0.012	0.002	0.007
17 ～	18 0.006	0.014	0.007	0.008	0.011	0.010	0.004	7	0.014	0.004	0.009
18 ～	19 0.009	0.013	0.005	0.004	0.016	0.005	0.011	7	0.016	0.004	0.009
19 ～	20 0.014	0.010	0.007	0.005	0.015	0.001	0.020	7	0.020	0.001	0.010
20 ～	21 0.008	0.010	0.004	0.007	0.011	0.001	0.011	7	0.011	0.001	0.007
21 ～	22 0.005	0.013	0.006	0.004	0.007	0.001	0.008	7	0.013	0.001	0.006
22 ～	23 0.006	0.024	0.005	0.004	0.008	0.002	0.009	7	0.024	0.002	0.008
23 ～	24 0.003	0.026	0.005	0.011	0.004	0.001	0.008	7	0.026	0.001	0.008
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.021	0.026	0.037	0.011	0.016	0.014	0.030		0.037		
最 低	0.001	0.002	0.004	0.001	0.004	0.001	0.001			0.001	
平 均	0.008	0.010	0.016	0.005	0.008	0.004	0.011				0.009
日平均値の最高値 0.016											
日平均値が0.06ppmを超えた日数 0											
日平均値が0.04～0.06ppmを超えた日数 0											

窒素酸化物調査結果 (No. 2) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.2

単位：ppm

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～	1 0.001	0.002	0.022	0.005	0.005	0.007	0.005	7	0.022	0.001	0.007
1 ～	2 0.003	0.003	0.009	0.005	0.013	0.007	0.006	7	0.013	0.003	0.007
2 ～	3 0.002	0.004	0.022	0.005	0.015	0.003	0.013	7	0.022	0.002	0.009
3 ～	4 0.002	0.003	0.059	0.003	0.010	0.003	0.002	7	0.059	0.002	0.012
4 ～	5 0.003	0.004	0.057	0.002	0.006	0.003	0.001	7	0.057	0.001	0.011
5 ～	6 0.007	0.004	0.052	0.003	0.011	0.005	0.002	7	0.052	0.002	0.012
6 ～	7 0.007	0.007	0.048	0.005	0.010	0.006	0.017	7	0.048	0.005	0.014
7 ～	8 0.020	0.008	0.043	0.009	0.005	0.013	0.008	7	0.043	0.005	0.015
8 ～	9 0.028	0.019	0.039	0.010	0.010	0.019	0.037	7	0.039	0.010	0.023
9 ～	10 0.029	0.012	0.031	0.003	0.006	0.012	0.047	7	0.047	0.003	0.020
10 ～	11 0.020	0.014	0.024	0.006	0.007	0.005	0.053	7	0.053	0.005	0.018
11 ～	12 0.016	0.016	0.019	0.004	0.007	0.002	0.029	7	0.029	0.002	0.013
12 ～	13 0.012	0.008	0.012	0.002	0.006	0.003	0.015	7	0.015	0.002	0.008
13 ～	14 0.013	0.010	0.013	0.002	0.007	0.002	0.005	7	0.013	0.002	0.007
14 ～	15 0.009	0.017	0.011	0.009	0.007	0.004	0.006	7	0.017	0.004	0.009
15 ～	16 0.004	0.012	0.012	0.012	0.008	0.003	0.008	7	0.012	0.003	0.008
16 ～	17 0.006	0.013	0.008	0.008	0.004	0.003	0.013	7	0.013	0.003	0.008
17 ～	18 0.006	0.015	0.007	0.008	0.012	0.011	0.004	7	0.015	0.004	0.009
18 ～	19 0.010	0.013	0.005	0.005	0.017	0.006	0.012	7	0.017	0.005	0.010
19 ～	20 0.014	0.010	0.007	0.005	0.016	0.001	0.021	7	0.021	0.001	0.011
20 ～	21 0.008	0.010	0.004	0.007	0.011	0.001	0.011	7	0.011	0.001	0.007
21 ～	22 0.005	0.013	0.006	0.004	0.007	0.001	0.009	7	0.013	0.001	0.006
22 ～	23 0.006	0.024	0.005	0.004	0.008	0.002	0.009	7	0.024	0.002	0.008
23 ～	24 0.003	0.027	0.005	0.011	0.004	0.001	0.009	7	0.027	0.001	0.009
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.029	0.027	0.059	0.012	0.017	0.019	0.053		0.059		
最 低	0.001	0.002	0.004	0.002	0.004	0.001	0.001			0.001	
平 均	0.010	0.011	0.022	0.006	0.009	0.005	0.014				0.011
日平均値の最高値	0.022										

浮遊粒子状物質調査結果 (No. 2) 【春季】

調査時期：春季

調査期間：令和6年5月21日(火)～5月27日(月)

測定地点：No.2

単位：mg/m³

月日(曜) 時	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)	5月25日 (土)	5月26日 (日)	5月27日 (月)	測定数	最 高	最 低	平 均
0 ～ 1	0.015	0.024	0.038	0.027	0.025	0.013	0.028	7	0.038	0.013	0.024
1 ～ 2	0.016	0.022	0.032	0.027	0.026	0.011	0.019	7	0.032	0.011	0.022
2 ～ 3	0.016	0.022	0.030	0.026	0.027	0.011	0.018	7	0.030	0.011	0.021
3 ～ 4	0.016	0.021	0.034	0.025	0.029	0.013	0.017	7	0.034	0.013	0.022
4 ～ 5	0.018	0.022	0.034	0.024	0.027	0.014	0.007	7	0.034	0.007	0.021
5 ～ 6	0.017	0.021	0.037	0.024	0.018	0.020	0.008	7	0.037	0.008	0.021
6 ～ 7	0.017	0.020	0.036	0.025	0.020	0.014	0.010	7	0.036	0.010	0.020
7 ～ 8	0.021	0.022	0.034	0.019	0.014	0.027	0.019	7	0.034	0.014	0.022
8 ～ 9	0.019	0.022	0.034	0.017	0.016	0.015	0.029	7	0.034	0.015	0.022
9 ～ 10	0.019	0.023	0.033	0.020	0.015	0.015	0.024	7	0.033	0.015	0.021
10 ～ 11	0.005	0.026	0.033	0.020	0.013	0.017	0.033	7	0.033	0.005	0.021
11 ～ 12	0.030	0.023	0.029	0.020	0.015	0.017	0.009	7	0.030	0.009	0.020
12 ～ 13	0.029	0.021	0.030	0.014	0.012	0.017	0.015	7	0.030	0.012	0.020
13 ～ 14	0.029	0.021	0.033	0.015	0.009	0.016	0.013	7	0.033	0.009	0.019
14 ～ 15	0.028	0.020	0.030	0.020	0.020	0.017	0.014	7	0.030	0.014	0.021
15 ～ 16	0.026	0.023	0.031	0.021	0.014	0.020	0.013	7	0.031	0.013	0.021
16 ～ 17	0.028	0.023	0.033	0.024	0.013	0.018	0.019	7	0.033	0.013	0.023
17 ～ 18	0.026	0.024	0.034	0.027	0.015	0.027	0.022	7	0.034	0.015	0.025
18 ～ 19	0.021	0.023	0.035	0.032	0.017	0.021	0.007	7	0.035	0.007	0.022
19 ～ 20	0.023	0.023	0.034	0.028	0.010	0.018	0.022	7	0.034	0.010	0.023
20 ～ 21	0.024	0.022	0.033	0.035	0.015	0.019	0.012	7	0.035	0.012	0.023
21 ～ 22	0.021	0.022	0.038	0.030	0.010	0.021	0.020	7	0.038	0.010	0.023
22 ～ 23	0.024	0.029	0.039	0.031	0.011	0.020	0.019	7	0.039	0.011	0.025
23 ～ 24	0.025	0.032	0.032	0.033	0.013	0.022	0.014	7	0.033	0.013	0.024
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168			
最 高	0.030	0.032	0.039	0.035	0.029	0.027	0.033		0.039		
最 低	0.005	0.020	0.029	0.014	0.009	0.011	0.007			0.005	
平 均	0.021	0.023	0.034	0.024	0.017	0.018	0.017				0.022
日平均値の最高値											
0.034											
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数											
0											
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数											
0											

2. 騒音調査結果

騒音調査結果を次頁以降に示す。

調査対象： 道路交通騒音
調査期間： 令和4年7月14日(木) 6:00 ～ 令和4年7月15日(金) 6:00
天 候： 晴れ
調査地点： No. 3

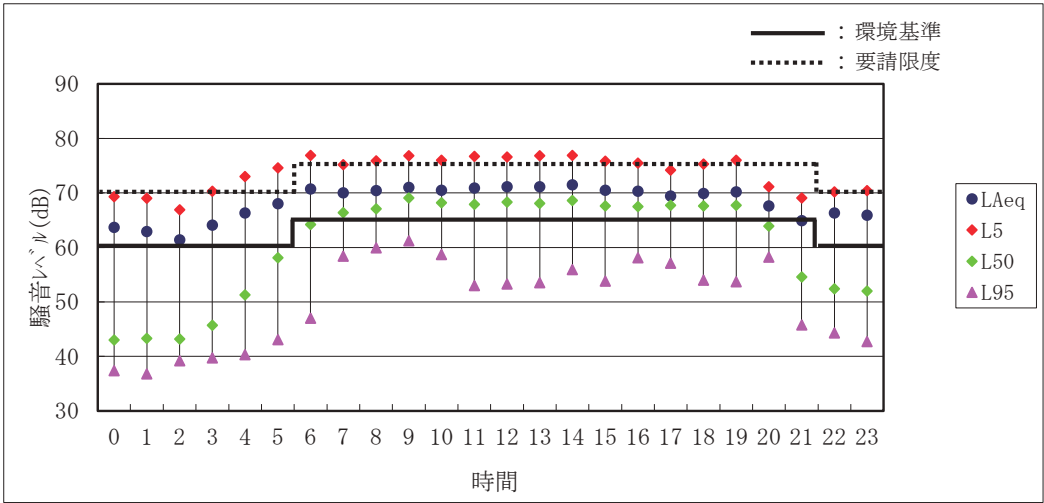
単位：dB

調査日	時間区分	時 間	等価騒音 レベル	時 間 率 騒 音 レ ベ ル		
			LAeq	L5	L50	L95
R4. 7. 15	夜間	0:00 ～ 1:00	63.7	69	43	37
		1:00 ～ 2:00	62.9	69	43	37
		2:00 ～ 3:00	61.4	67	43	39
		3:00 ～ 4:00	64.1	70	46	40
		4:00 ～ 5:00	66.3	73	51	40
		5:00 ～ 6:00	68.0	75	58	43
R4. 7. 14	昼間	6:00 ～ 7:00	70.7	77	64	47
		7:00 ～ 8:00	70.0	75	66	58
		8:00 ～ 9:00	70.4	76	67	60
		9:00 ～ 10:00	71.0	77	69	61
		10:00 ～ 11:00	70.5	76	68	59
		11:00 ～ 12:00	70.9	77	68	53
		12:00 ～ 13:00	71.1	77	68	53
		13:00 ～ 14:00	71.1	77	68	54
		14:00 ～ 15:00	71.5	77	69	56
		15:00 ～ 16:00	70.5	76	68	54
		16:00 ～ 17:00	70.3	76	68	58
		17:00 ～ 18:00	69.4	74	68	57
		18:00 ～ 19:00	69.9	75	68	54
		19:00 ～ 20:00	70.2	76	68	54
		20:00 ～ 21:00	67.6	71	64	58
		21:00 ～ 22:00	64.9	69	55	46
	夜間	22:00 ～ 23:00	66.3	70	52	44
		23:00 ～ 24:00	65.9	70	52	43
平均値		昼間（6時～22時）	70.2	75	67	55
		夜間（22時～6時）	65.3	70	49	40
環境基準		幹線交通を担う道路 に近接する空間	昼間	70		
			夜間	65		
要請限度		幹線交通を担う道路 に近接する空間	昼間	75		
			夜間	70		

注：1）等価騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値をエネルギー平均した値である。

注：2）時間率騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。

注：3）昼間は6時～22時、夜間は22時～6時を示す。



騒音レベルの時間変化

調査対象： 道路交通騒音
 調査期間： 令和4年7月14日(木) 6:00 ～ 令和4年7月15日(金) 6:00
 天 候： 晴れ
 調査地点： No. 4

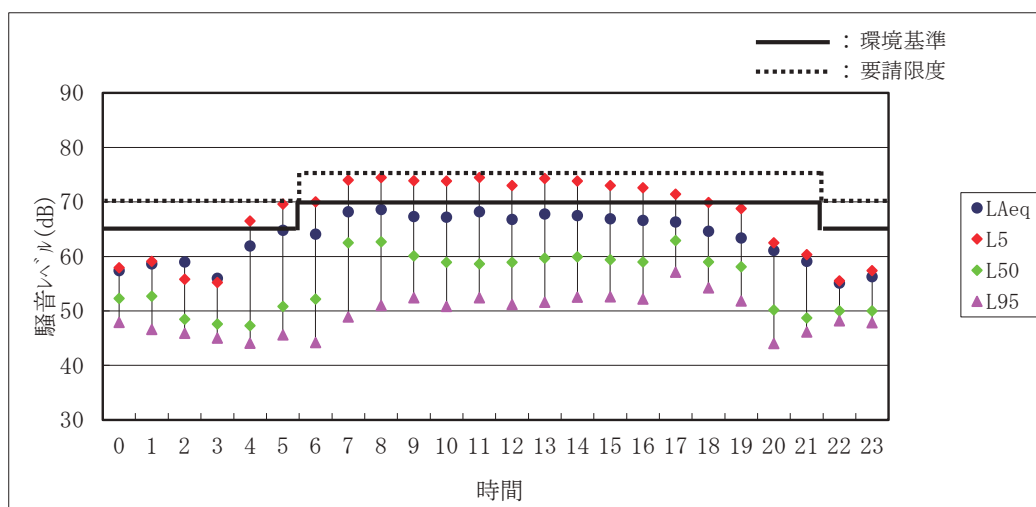
単位：dB

調査日	時間区分	時 間	等価騒音 レベル	時 間 率 騒 音 レ ベ ル		
			LAeq	L5	L50	L95
R4. 7. 15	夜間	0:00 ～ 1:00	57.4	58	52	48
		1:00 ～ 2:00	58.6	59	53	47
		2:00 ～ 3:00	59.0	56	49	46
		3:00 ～ 4:00	56.0	55	48	45
		4:00 ～ 5:00	61.9	67	47	44
		5:00 ～ 6:00	64.8	70	51	46
R4. 7. 14	昼間	6:00 ～ 7:00	64.1	70	52	44
		7:00 ～ 8:00	68.2	74	63	49
		8:00 ～ 9:00	68.6	75	63	51
		9:00 ～ 10:00	67.3	74	60	52
		10:00 ～ 11:00	67.2	74	59	51
		11:00 ～ 12:00	68.2	75	59	52
		12:00 ～ 13:00	66.8	73	59	51
		13:00 ～ 14:00	67.8	74	60	52
		14:00 ～ 15:00	67.5	74	60	53
		15:00 ～ 16:00	66.9	73	59	53
		16:00 ～ 17:00	66.6	73	59	52
		17:00 ～ 18:00	66.3	71	63	57
		18:00 ～ 19:00	64.6	70	59	54
		19:00 ～ 20:00	63.4	69	58	52
		20:00 ～ 21:00	61.1	63	50	44
		21:00 ～ 22:00	59.1	60	49	46
	夜間	22:00 ～ 23:00	55.1	56	50	48
		23:00 ～ 24:00	56.3	57	50	48
平均値		昼間（6時～22時）	66.5	71	58	51
		夜間（22時～6時）	59.9	60	50	46
環境基準		B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	昼間	65		
			夜間	60		
要請限度		b区域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する区域	昼間	75		
			夜間	70		

注：1) 等価騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値をエネルギー平均した値である。

注：2) 時間率騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。

注：3) 昼間は6時～22時、夜間は22時～6時を示す。



騒音レベルの時間変化

表 交通量の調査結果

調査地点：N0.3

調査日：令和4年7月14日～令和4年7月15日

種 調査時刻	方向・車	断面交通量				大型車 混入率 (%)
		大型車	小型車	二輪車	合計	
0:00 ～ 1:00		26	59	5	90	30.6
1:00 ～ 2:00		22	63	3	88	25.9
2:00 ～ 3:00		37	48	8	93	43.5
3:00 ～ 4:00		33	59	2	94	35.9
4:00 ～ 5:00		62	104	12	178	37.3
5:00 ～ 6:00		89	207	15	311	30.1
6:00 ～ 7:00		99	592	42	733	14.3
7:00 ～ 8:00		149	1,006	78	1,233	12.9
8:00 ～ 9:00		239	860	46	1,145	21.7
9:00 ～ 10:00		260	830	28	1,118	23.9
10:00 ～ 11:00		274	860	25	1,159	24.2
11:00 ～ 12:00		231	845	31	1,107	21.5
12:00 ～ 13:00		184	886	33	1,103	17.2
13:00 ～ 14:00		220	860	23	1,103	20.4
14:00 ～ 15:00		249	907	17	1,173	21.5
15:00 ～ 16:00		171	907	44	1,122	15.9
16:00 ～ 17:00		143	1,048	31	1,222	12.0
17:00 ～ 18:00		70	1,261	95	1,426	5.3
18:00 ～ 19:00		56	1,085	51	1,192	4.9
19:00 ～ 20:00		30	779	41	850	3.7
20:00 ～ 21:00		28	419	27	474	6.3
21:00 ～ 22:00		44	706	37	787	5.9
22:00 ～ 23:00		11	175	16	202	5.9
23:00 ～ 0:00		12	147	8	167	7.5
合計		2,739	14,713	718	18,170	15.7

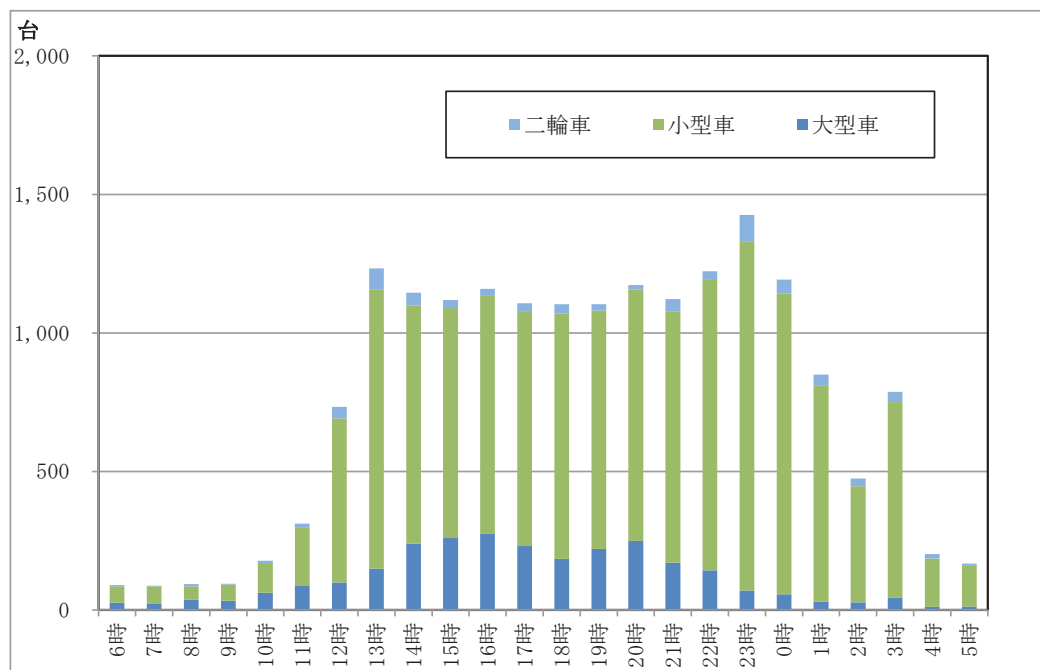
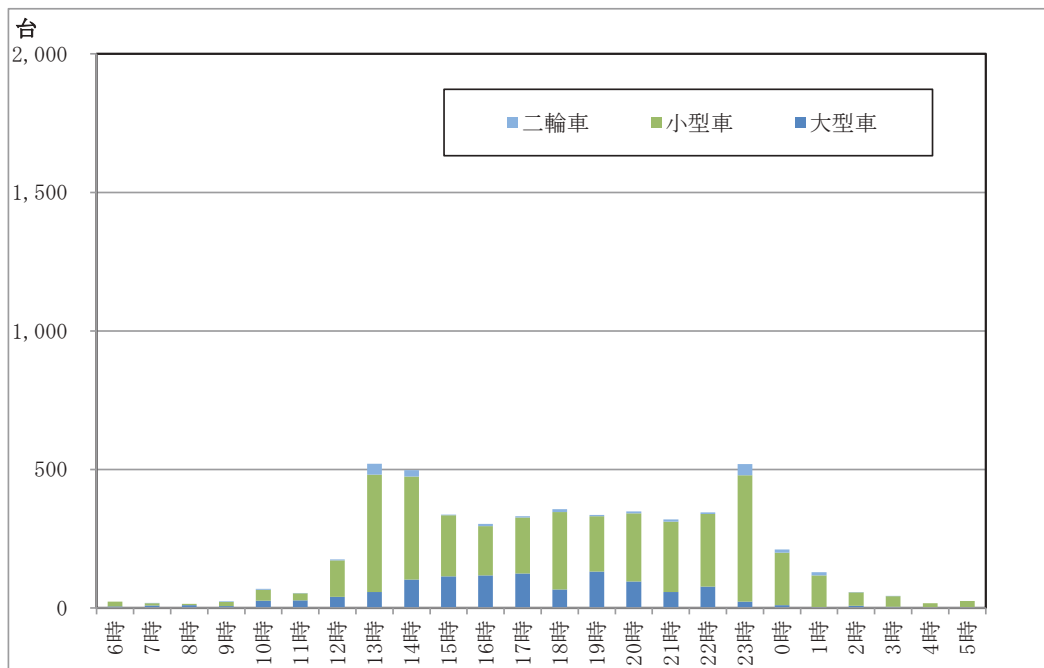


表 交通量の調査結果

調査地点：N0. 4

調査日：令和4年7月14日～令和4年7月15日

種 調査時刻	方向・車	断面交通量				大型車 混入率 (%)
		大型車	小型車	二輪車	合計	
0:00 ～ 1:00		6	17	0	23	26.1
1:00 ～ 2:00		9	8	1	18	52.9
2:00 ～ 3:00		10	5	0	15	66.7
3:00 ～ 4:00		7	15	2	24	31.8
4:00 ～ 5:00		26	40	3	69	39.4
5:00 ～ 6:00		28	25	1	54	52.8
6:00 ～ 7:00		40	132	3	175	23.3
7:00 ～ 8:00		58	423	39	520	12.1
8:00 ～ 9:00		102	372	23	497	21.5
9:00 ～ 10:00		114	221	2	337	34.0
10:00 ～ 11:00		118	177	8	303	40.0
11:00 ～ 12:00		124	203	4	331	37.9
12:00 ～ 13:00		67	279	11	357	19.4
13:00 ～ 14:00		131	200	5	336	39.6
14:00 ～ 15:00		96	246	6	348	28.1
15:00 ～ 16:00		58	254	8	320	18.6
16:00 ～ 17:00		77	262	6	345	22.7
17:00 ～ 18:00		23	456	40	519	4.8
18:00 ～ 19:00		10	189	12	211	5.0
19:00 ～ 20:00		3	114	12	129	2.6
20:00 ～ 21:00		8	48	2	58	14.3
21:00 ～ 22:00		4	39	1	44	9.3
22:00 ～ 23:00		1	16	0	17	5.9
23:00 ～ 0:00		2	23	0	25	8.0
合計		1,122	3,764	189	5,075	23.0

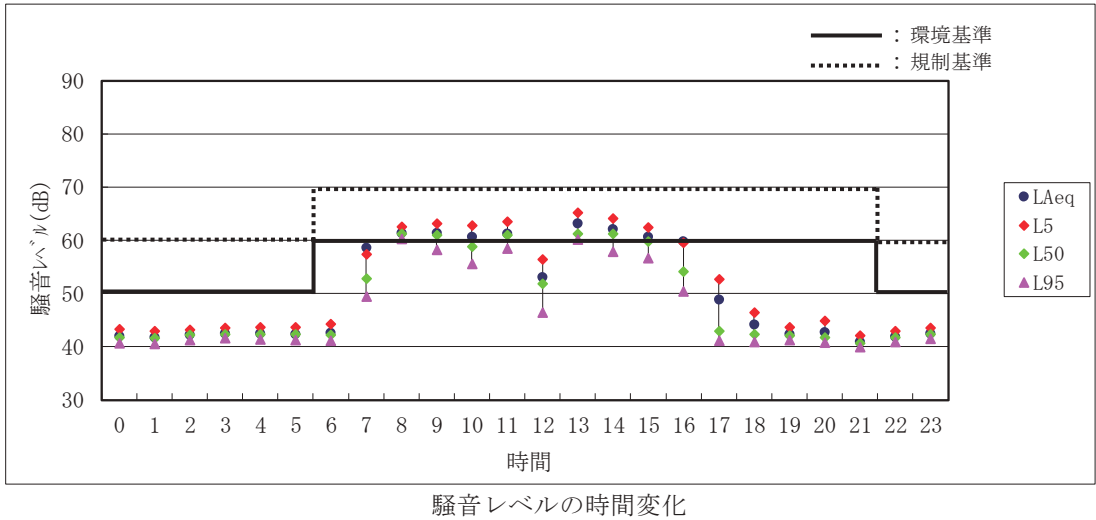


調査対象： 環境騒音
調査期間： 令和6年5月20日(月) 13:00 ～ 令和6年5月21日(火) 13:00
天 候： 晴れ
調査地点： 敷地境界

単位：dB

調査日	時間区分 (環境基準)	時間区分 (規制基準)	時 間		等価騒音 レベル	時 間 率 騒 音 レ ベ ル			
					LAeq	L5	L50	L95	
R6. 5. 21	夜間	夜間	0:00 ～ 1:00		42.0	43	42	41	
			1:00 ～ 2:00		41.7	43	42	41	
			2:00 ～ 3:00		42.2	43	42	41	
			3:00 ～ 4:00		42.5	44	42	42	
			4:00 ～ 5:00		42.5	44	42	41	
			5:00 ～ 6:00		42.4	44	42	41	
	R6. 5. 21	昼間	朝	6:00 ～ 7:00		42.6	44	42	41
				7:00 ～ 8:00		58.6	57	53	49
			昼間	8:00 ～ 9:00		61.4	63	61	60
				9:00 ～ 10:00		61.4	63	61	58
				10:00 ～ 11:00		60.7	63	59	56
				11:00 ～ 12:00		61.3	64	61	59
		12:00 ～ 13:00		53.1	56	52	47		
		13:00 ～ 14:00		63.2	65	61	60		
14:00 ～ 15:00		62.1		64	61	58			
15:00 ～ 16:00		60.7		63	60	57			
夜間		夜間	16:00 ～ 17:00		59.8	60	54	50	
			17:00 ～ 18:00		48.8	53	43	41	
			18:00 ～ 19:00		44.1	47	42	41	
			19:00 ～ 20:00		42.4	44	42	41	
	20:00 ～ 21:00		42.7	45	42	41			
	21:00 ～ 22:00		40.9	42	41	40			
22:00 ～ 23:00		41.9	43	42	41				
23:00 ～ 24:00		42.5	44	42	42				
平均値			昼間（6時～22時）	58.8	56	52	50		
			夜間（22時～6時）	42.2	43	42	41		
平均値			朝（6時～8時）	55.7	51	48	45		
			昼間（8時～18時）	60.6	61	57	55		
			夕（18時～21時）	43.1	45	42	41		
			夜間（21時～6時）	42.1	43	42	41		
環境基準			C 類型	昼間	60				
				夜間	50				
規制基準			第 4 種区域 （参考）	朝		70			
				昼間		70			
				夕		70			
				夜間		60			

注：1) 等価騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値をエネルギー平均した値である。
注：2) 時間率騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。
注：3) 環境基準の昼間は6時～22時、夜間は22時～6時を示す。
注：4) 規制基準の朝は6時～8時、昼間は8時～19時、夕は19時～22時、夜間は22時～6時を示す。



騒音レベルの時間変化

調査対象： 道路交通騒音
調査期間： 令和5年5月1日(月) 0:00 ～ 令和5年5月1日(月) 24:00
天 候： 晴れ
調査地点： No. 4

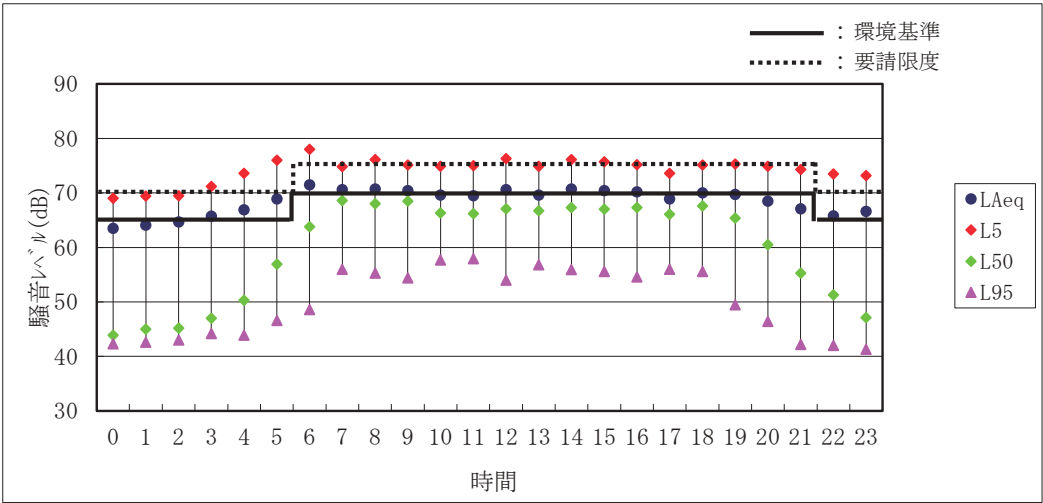
単位：dB

調査日	時間区分	時 間	等価騒音 レベル	時 間 率 騒 音 レ ベ ル		
			LAeq	L5	L50	L95
R5. 5. 1	夜間	0:00 ～ 1:00	63. 5	69	44	42
		1:00 ～ 2:00	64. 1	69	45	43
		2:00 ～ 3:00	64. 7	70	45	43
		3:00 ～ 4:00	65. 7	71	47	44
		4:00 ～ 5:00	66. 9	74	50	44
		5:00 ～ 6:00	68. 9	76	57	47
	昼間	6:00 ～ 7:00	71. 5	78	64	49
		7:00 ～ 8:00	70. 6	75	69	56
		8:00 ～ 9:00	70. 7	76	68	55
		9:00 ～ 10:00	70. 4	75	69	54
		10:00 ～ 11:00	69. 6	75	66	58
		11:00 ～ 12:00	69. 5	75	66	58
		12:00 ～ 13:00	70. 6	76	67	54
		13:00 ～ 14:00	69. 6	75	67	57
		14:00 ～ 15:00	70. 7	76	67	56
		15:00 ～ 16:00	70. 4	76	67	56
		16:00 ～ 17:00	70. 2	75	67	55
		17:00 ～ 18:00	68. 9	74	66	56
		18:00 ～ 19:00	70. 0	75	68	56
		19:00 ～ 20:00	69. 7	75	65	50
		20:00 ～ 21:00	68. 5	75	61	46
		21:00 ～ 22:00	67. 1	74	55	42
	夜間	22:00 ～ 23:00	65. 8	74	51	42
		23:00 ～ 24:00	66. 6	73	47	41
平均値		昼間（6時～22時）	70. 0	75	66	54
		夜間（22時～6時）	66. 1	72	48	43
環境基準		幹線交通を担う道路 に近接する空間	昼間	70		
			夜間	65		
要請限度		幹線交通を担う道路 に近接する区域	昼間	75		
			夜間	70		

注：1）等価騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値をエネルギー平均した値である。

注：2）時間率騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。

注：3）昼間は6時～22時，夜間は22時～6時を示す。



騒音レベルの時間変化

調査対象： 道路交通騒音
 調査期間： 令和5年5月1日(月) 0:00 ～ 令和5年5月1日(月) 24:00
 天 候： 晴れ
 調査地点： No. 3

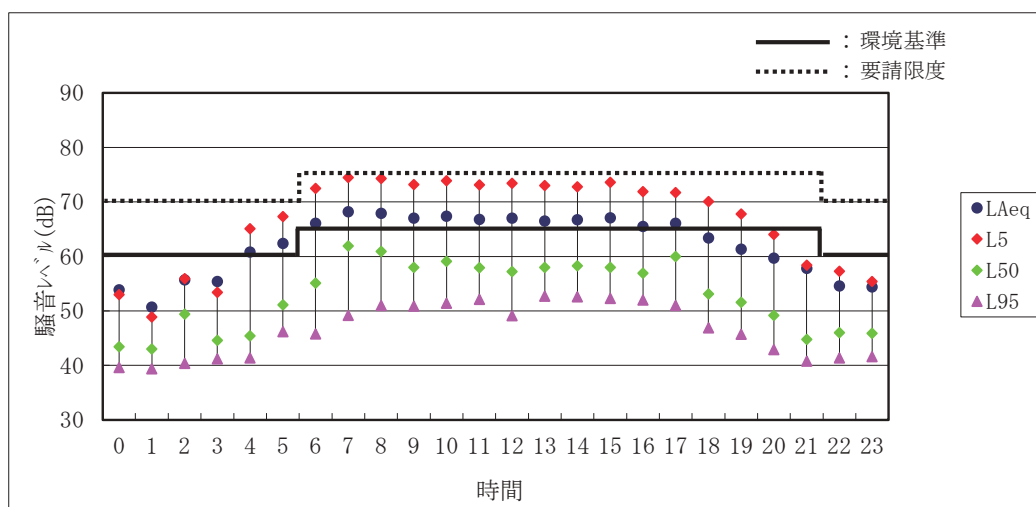
単位：dB

調査日	時間区分	時 間	等価騒音 レベル	時 間 率 騒 音 レ ベ ル		
			LAeq	L5	L50	L95
R5. 5. 1	夜間	0:00 ～ 1:00	53.9	53	43	40
		1:00 ～ 2:00	50.7	49	43	39
		2:00 ～ 3:00	55.7	56	49	40
		3:00 ～ 4:00	55.4	53	45	41
		4:00 ～ 5:00	60.8	65	45	41
		5:00 ～ 6:00	62.4	67	51	46
	昼間	6:00 ～ 7:00	66.1	73	55	46
		7:00 ～ 8:00	68.2	75	62	49
		8:00 ～ 9:00	67.9	74	61	51
		9:00 ～ 10:00	67.0	73	58	51
		10:00 ～ 11:00	67.4	74	59	51
		11:00 ～ 12:00	66.8	73	58	52
		12:00 ～ 13:00	67.0	73	57	49
		13:00 ～ 14:00	66.5	73	58	53
		14:00 ～ 15:00	66.7	73	58	53
		15:00 ～ 16:00	67.1	74	58	52
		16:00 ～ 17:00	65.5	72	57	52
		17:00 ～ 18:00	66.1	72	60	51
		18:00 ～ 19:00	63.4	70	53	47
		19:00 ～ 20:00	61.3	68	52	46
		20:00 ～ 21:00	59.7	64	49	43
		21:00 ～ 22:00	57.8	58	45	41
	夜間	22:00 ～ 23:00	54.6	57	46	41
		23:00 ～ 24:00	54.4	55	46	42
平均値		昼間（6時～22時）	66.0	71	56	49
		夜間（22時～6時）	57.6	57	46	41
環境基準		B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	昼間	65		
			夜間	60		
要請限度		b区域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する区域	昼間	75		
			夜間	70		

注：1) 等価騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値をエネルギー平均した値である。

注：2) 時間率騒音レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。

注：3) 昼間は6時～22時、夜間は22時～6時を示す。



騒音レベルの時間変化

表 交通量の調査結果

調査地点：N0.3

調査日：令和5年5月1日

種 調査時刻	方向・車	断面交通量				大型車 混入率 (%)
		大型車	小型車	二輪車	合計	
0:00 ～ 1:00		14	69	5	88	16.9
1:00 ～ 2:00		15	60	3	78	20.0
2:00 ～ 3:00		21	52	5	78	28.8
3:00 ～ 4:00		33	51	2	86	39.3
4:00 ～ 5:00		52	80	13	145	39.4
5:00 ～ 6:00		81	196	17	294	29.2
6:00 ～ 7:00		100	527	39	666	15.9
7:00 ～ 8:00		147	980	76	1,203	13.0
8:00 ～ 9:00		210	896	48	1,154	19.0
9:00 ～ 10:00		273	841	26	1,140	24.5
10:00 ～ 11:00		229	964	32	1,225	19.2
11:00 ～ 12:00		278	996	24	1,298	21.8
12:00 ～ 13:00		167	970	35	1,172	14.7
13:00 ～ 14:00		244	945	38	1,227	20.5
14:00 ～ 15:00		222	985	24	1,231	18.4
15:00 ～ 16:00		220	973	43	1,236	18.4
16:00 ～ 17:00		141	1,054	46	1,241	11.8
17:00 ～ 18:00		89	1,237	97	1,423	6.7
18:00 ～ 19:00		51	1,008	79	1,138	4.8
19:00 ～ 20:00		38	702	37	777	5.1
20:00 ～ 21:00		25	435	29	489	5.4
21:00 ～ 22:00		16	270	11	297	5.6
22:00 ～ 23:00		10	193	17	220	4.9
23:00 ～ 0:00		15	152	14	181	9.0
合計		2,691	14,636	760	18,087	15.5

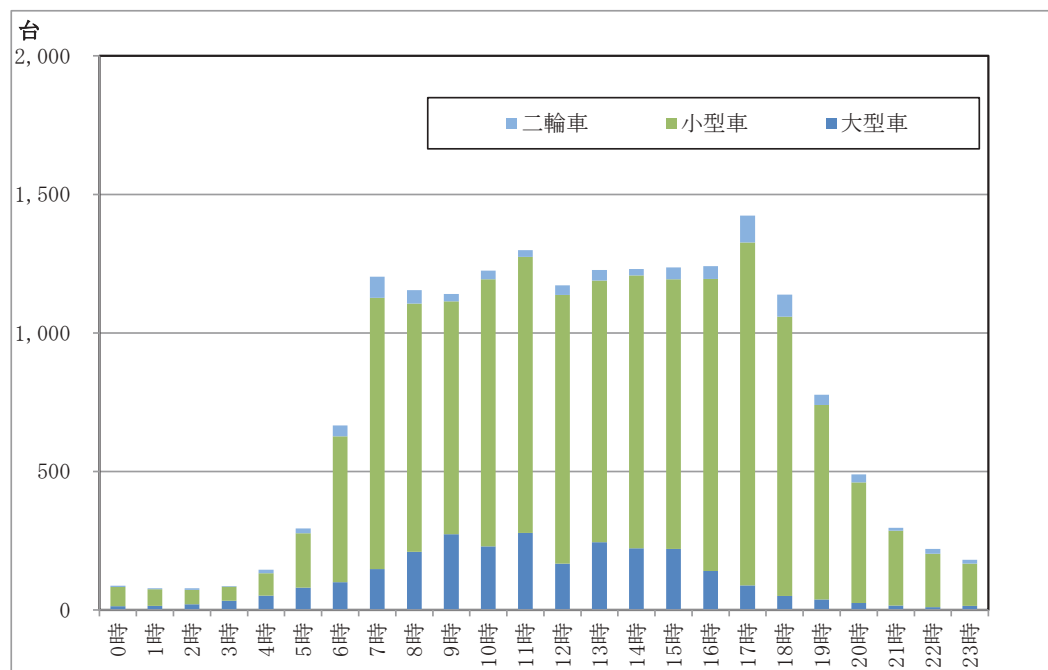
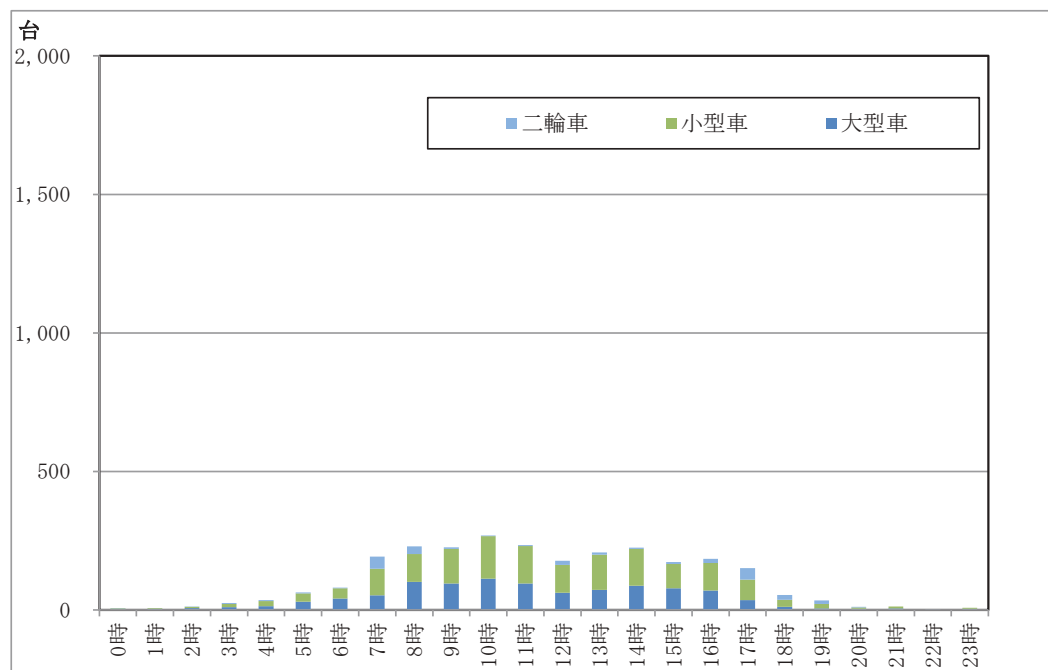


表 交通量の調査結果

調査地点：N0. 4

調査日：令和5年5月1日

種 調査時刻	方向・車	断面交通量				大型車 混入率 (%)
		大型車	小型車	二輪車	合計	
0:00 ～ 1:00		2	3	2	7	18. 2
1:00 ～ 2:00		4	3	0	7	50. 0
2:00 ～ 3:00		7	4	2	13	31. 8
3:00 ～ 4:00		10	12	3	25	41. 7
4:00 ～ 5:00		14	18	4	36	33. 3
5:00 ～ 6:00		30	30	3	63	41. 1
6:00 ～ 7:00		41	37	3	81	28. 7
7:00 ～ 8:00		53	96	44	193	13. 0
8:00 ～ 9:00		101	101	27	229	23. 1
9:00 ～ 10:00		95	125	6	226	39. 7
10:00 ～ 11:00		113	153	3	269	36. 9
11:00 ～ 12:00		95	136	3	234	34. 2
12:00 ～ 13:00		62	100	16	178	20. 9
13:00 ～ 14:00		72	128	8	208	25. 0
14:00 ～ 15:00		87	133	5	225	29. 1
15:00 ～ 16:00		78	88	7	173	30. 7
16:00 ～ 17:00		70	99	15	184	25. 4
17:00 ～ 18:00		36	74	41	151	8. 5
18:00 ～ 19:00		11	26	17	54	6. 8
19:00 ～ 20:00		6	16	12	34	5. 3
20:00 ～ 21:00		4	5	2	11	7. 1
21:00 ～ 22:00		6	6	0	12	14. 3
22:00 ～ 23:00		1	0	1	2	3. 7
23:00 ～ 0:00		4	4	0	8	19. 0
合計		1, 002	1, 397	224	2, 623	23. 6



3. 振動調査結果

振動調査結果を次頁以降に示す。

調査対象： 道路交通振動
調査期間： 令和4年7月14日(木) 6:00 ～ 令和4年7月15日(金) 6:00
天 候： 晴れ
調査地点： No. 3

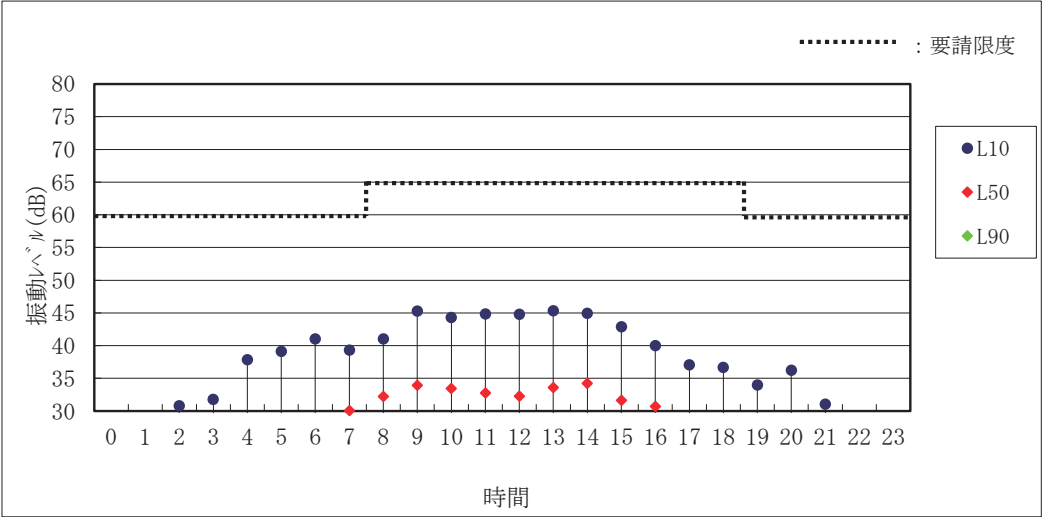
単位：dB

調査日	時間 区分	時 間	時 間 率 振 動 レ ベ ル		
			L10	L50	L90
R4. 7. 15	夜間	0:00 ～ 1:00	<30	<30	<30
		1:00 ～ 2:00	<30	<30	<30
		2:00 ～ 3:00	31	<30	<30
		3:00 ～ 4:00	32	<30	<30
		4:00 ～ 5:00	38	<30	<30
		5:00 ～ 6:00	39	<30	<30
		R4. 7. 14	6:00 ～ 7:00	41	<30
7:00 ～ 8:00	39		30	<30	
昼間	8:00 ～ 9:00		41	32	<30
	9:00 ～ 10:00		45	34	<30
	10:00 ～ 11:00		44	33	<30
	11:00 ～ 12:00		45	33	<30
	12:00 ～ 13:00		45	32	<30
	13:00 ～ 14:00		45	34	<30
	14:00 ～ 15:00		45	34	<30
	15:00 ～ 16:00		43	32	<30
	16:00 ～ 17:00		40	31	<30
	17:00 ～ 18:00		37	<30	<30
18:00 ～ 19:00	37		<30	<30	
夜間	19:00 ～ 20:00		34	<30	<30
	20:00 ～ 21:00		36	<30	<30
	21:00 ～ 22:00		31	<30	<30
	22:00 ～ 23:00		<30	<30	<30
	23:00 ～ 24:00		<30	<30	<30
平均値		昼間（8時～19時）	42		
		夜間（19時～8時）	34		
要請限度(第 2 種区域)		昼間（8時～19時）	70		
		夜間（19時～8時）	65		

注：1) 時間率振動レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。
なお、時間区分の全ての時間で「<30」の場合は「<30」とし、一部の時間帯が「<30」の場合は「<30」を30dBとして算出した。

注：2) 測定下限値（30dB）未満の値については「<30」と示す。

注：3) 振動規制法に基づく第1種区域に該当する。



振動レベルの時間変化

調査対象： 道路交通振動
調査期間： 令和4年7月14日(木) 6:00 ～ 令和4年7月15日(金) 6:00
天 候： 晴れ
調査地点： No. 4

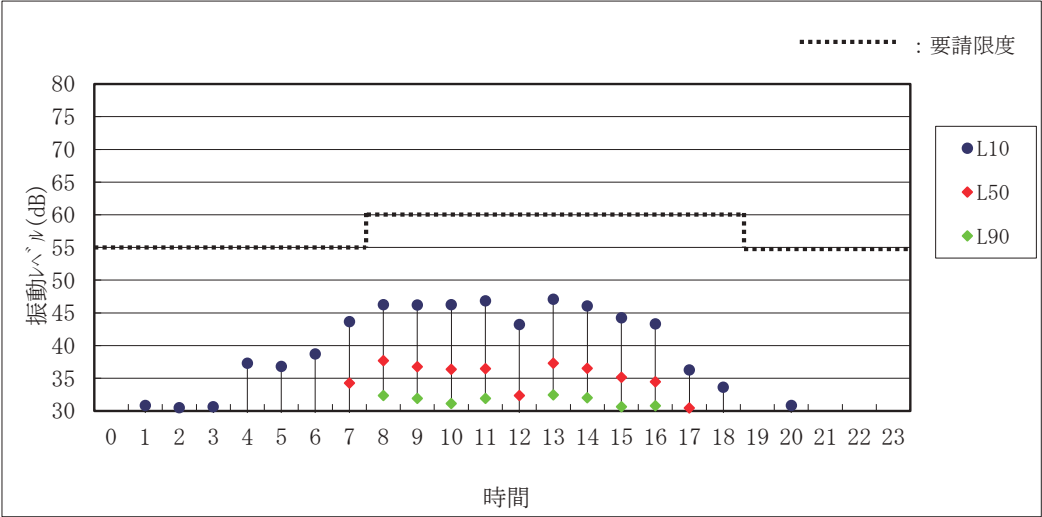
単位：dB

調査日	時間 区分	時 間	時 間 率 振 動 レ ベ ル		
			L10	L50	L90
R4. 7. 15	夜間	0:00 ～ 1:00	<30	<30	<30
		1:00 ～ 2:00	31	<30	<30
		2:00 ～ 3:00	31	<30	<30
		3:00 ～ 4:00	31	<30	<30
		4:00 ～ 5:00	37	<30	<30
		5:00 ～ 6:00	37	<30	<30
		R4. 7. 14	夜間	6:00 ～ 7:00	39
7:00 ～ 8:00	44			34	<30
昼間	8:00 ～ 9:00		46	38	32
	9:00 ～ 10:00		46	37	32
	10:00 ～ 11:00		46	36	31
	11:00 ～ 12:00		47	36	32
	12:00 ～ 13:00		43	32	<30
	13:00 ～ 14:00		47	37	32
	14:00 ～ 15:00		46	37	32
	15:00 ～ 16:00		44	35	31
	16:00 ～ 17:00		43	34	31
	17:00 ～ 18:00		36	30	<30
18:00 ～ 19:00	34		<30	<30	
夜間	19:00 ～ 20:00		<30	<30	<30
	20:00 ～ 21:00		31	<30	<30
	21:00 ～ 22:00		<30	<30	<30
	22:00 ～ 23:00		<30	<30	<30
	23:00 ～ 24:00		<30	<30	<30
平均値		昼間 (8時～19時)	43		
		夜間 (19時～8時)	33		
要請限度(第 2 種区域)		昼間 (8時～19時)	70		
		夜間 (19時～8時)	65		

注：1) 時間率振動レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。
なお、時間区分の全ての時間で「<30」の場合は「<30」とし、一部の時間帯が「<30」の場合は「<30」を30dBとして算出した。

注：2) 測定下限値（30dB）未満の値については「<30」と示す。

注：3) 振動規制法に基づく第1種区域に該当する。



振動レベルの時間変化

調査対象： 道路交通振動
調査期間： 令和5年5月1日(月) 0:00 ～ 令和5年5月1日(月) 24:00
天 候： 晴れ
調査地点： No. 3

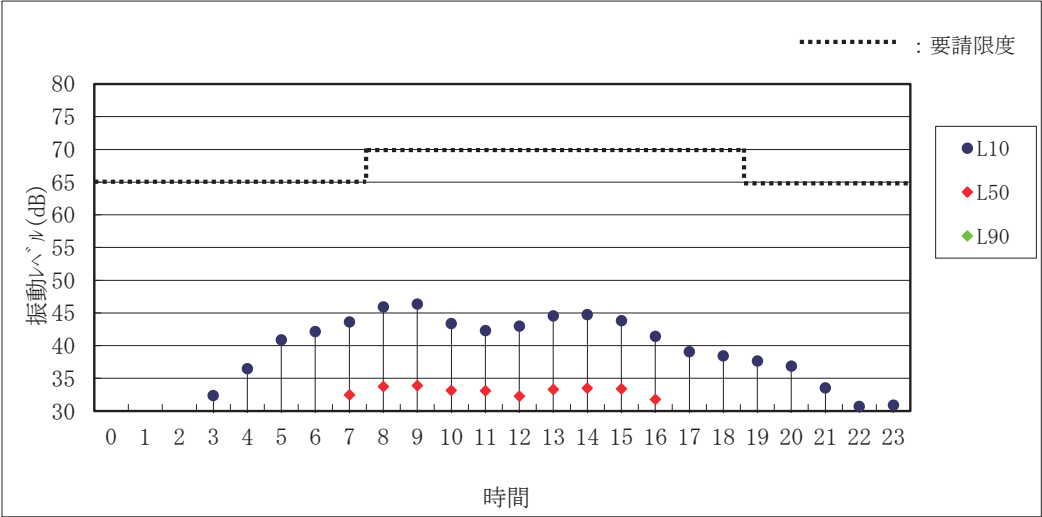
単位：dB

調査日	時間 区分	時 間	時 間 率 振 動 レ ベ ル		
			L10	L50	L90
R5. 5. 1	夜間	0:00 ～ 1:00	<30	<30	<30
		1:00 ～ 2:00	<30	<30	<30
		2:00 ～ 3:00	<30	<30	<30
		3:00 ～ 4:00	32	<30	<30
		4:00 ～ 5:00	36	<30	<30
		5:00 ～ 6:00	41	<30	<30
		6:00 ～ 7:00	42	<30	<30
		7:00 ～ 8:00	44	32	<30
	昼間	8:00 ～ 9:00	46	34	<30
		9:00 ～ 10:00	46	34	<30
		10:00 ～ 11:00	43	33	<30
		11:00 ～ 12:00	42	33	<30
		12:00 ～ 13:00	43	32	<30
		13:00 ～ 14:00	45	33	<30
		14:00 ～ 15:00	45	33	<30
		15:00 ～ 16:00	44	33	<30
		16:00 ～ 17:00	41	32	<30
		17:00 ～ 18:00	39	<30	<30
	18:00 ～ 19:00	38	<30	<30	
	夜間	19:00 ～ 20:00	38	<30	<30
20:00 ～ 21:00		37	<30	<30	
21:00 ～ 22:00		34	<30	<30	
22:00 ～ 23:00		31	<30	<30	
23:00 ～ 24:00		31	<30	<30	
平均値		昼間（8時～19時）	43		
		夜間（19時～8時）	35		
要請限度(第 2 種区域)		昼間（8時～19時）	70		
		夜間（19時～8時）	65		

注：1) 時間率振動レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。
なお、時間区分の全ての時間で「<30」の場合は「<30」とし、一部の時間帯が「<30」の場合は「<30」を30dBとして算出した。

注：2) 測定下限値（30dB）未満の値については「<30」と示す。

注：3) 振動規制法に基づく第1種区域に該当する。



振動レベルの時間変化

調査対象： 道路交通振動
調査期間： 令和5年5月1日(月) 0:00 ～ 令和5年5月1日(月) 24:00
天 候： 晴れ
調査地点： No. 4

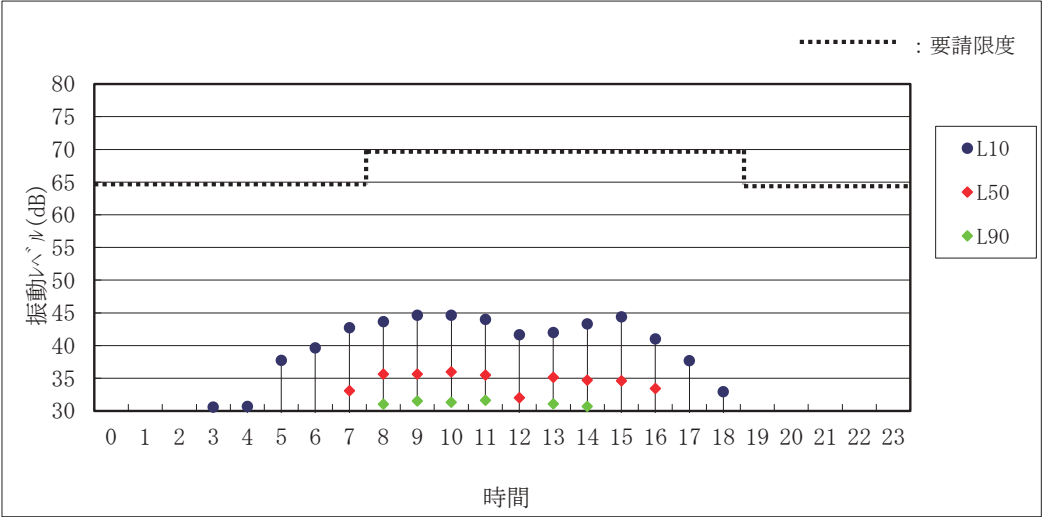
単位：dB

調査日	時間 区分	時 間	時 間 率 振 動 レ ベ ル		
			L10	L50	L90
R5. 5. 1	夜間	0:00 ～ 1:00	<30	<30	<30
		1:00 ～ 2:00	<30	<30	<30
		2:00 ～ 3:00	<30	<30	<30
		3:00 ～ 4:00	31	<30	<30
		4:00 ～ 5:00	31	<30	<30
		5:00 ～ 6:00	38	<30	<30
		6:00 ～ 7:00	40	<30	<30
		7:00 ～ 8:00	43	33	<30
	昼間	8:00 ～ 9:00	44	36	31
		9:00 ～ 10:00	45	36	32
		10:00 ～ 11:00	45	36	31
		11:00 ～ 12:00	44	35	32
		12:00 ～ 13:00	42	32	<30
		13:00 ～ 14:00	42	35	31
		14:00 ～ 15:00	43	35	31
		15:00 ～ 16:00	44	35	<30
		16:00 ～ 17:00	41	33	<30
		17:00 ～ 18:00	38	<30	<30
	18:00 ～ 19:00	33	<30	<30	
	夜間	19:00 ～ 20:00	<30	<30	<30
20:00 ～ 21:00		<30	<30	<30	
21:00 ～ 22:00		<30	<30	<30	
22:00 ～ 23:00		<30	<30	<30	
23:00 ～ 24:00		<30	<30	<30	
平均値		昼間（8時～19時）	42		
		夜間（19時～8時）	33		
要請限度(第 2 種区域)		昼間（8時～19時）	70		
		夜間（19時～8時）	65		

注：1) 時間率振動レベルの平均値は、各時間毎の測定値を算術平均した値である。
なお、時間区分の全ての時間で「<30」の場合は「<30」とし、一部の時間帯が「<30」の場合は「<30」を30dBとして算出した。

注：2) 測定下限値（30dB）未満の値については「<30」と示す。

注：3) 振動規制法に基づく第1種区域に該当する。



振動レベルの時間変化